

可児市一般廃棄物処理基本計画 (第4次)

令和8年3月

可児市

目次

序 計画の策定にあたって

第1章 計画の策定にあたって	1
1) 計画策定の背景	1
2) 計画の位置づけ	2
3) 計画の期間と範囲	3
4) 関連上位計画	4

第1部 ごみ処理基本計画

第1章 ごみ処理に関する基本的事項の整理	11
1) ごみ処理の概要	11
2) ごみの性状	21
3) ごみの発生排出抑制・資源化の現況	24
4) 収集運搬の状況	33
5) 中間処理施設の概要	34
6) 最終処分の状況	38
7) ごみ処理体制の状況	39
8) ごみ処理の評価	41
9) アンケート結果の概要	42
10) 関係市町村等の動向	48
第2章 前計画の目標達成状況	49
第3章 ごみ処理に関する課題の整理	50
1) ごみの発生・排出抑制に関する課題	50
2) ごみの資源化に関する課題	52
3) ごみの適正処理に関する課題	52
第4章 ごみ排出量の推計	54
1) 推計方法	54
2) ごみ排出量推計結果のまとめ	57

第5章 ごみ処理基本計画	59
1) 計画の基本方針	59
2) 計画の基本目標	62
3) 基本施策	65
4) 収集運搬計画	73
5) 中間処理計画	75
6) 最終処分計画	77
7) ごみ処理施設の整備	78
8) その他	78

第2部 食ロス削減推進計画

第1章 食ロス削減に関する基本事項の整理	81
1) 食ロスの概要	81
2) 基礎調査の結果	83
3) これまでの取組	86
第2章 食ロス削減に関する課題の整理	87
1) 家庭系食ロス発生抑制に関する課題	87
2) 事業系食ロス発生抑制に関する課題	88
第3章 食ロス削減推進計画	89
1) 計画の基本方針	89
2) 計画の基本目標	90
3) 計画の基本施策	91

第3部 生活排水処理基本計画

第1章 生活排水処理に関する基本的事項の整理	93
1) 生活排水処理の体系	93
2) 生活排水処理の整備状況	95
3) 生活排水の排出状況	98
第2章 前計画の目標達成状況	102
第3章 生活排水処理に関する課題の整理	103
1) 生活排水処理施設の整備に関する課題	103
2) し尿・浄化槽汚泥の排出・処理に関する課題	104

第4章 生活排水処理基本計画	105
1) 計画の基本方針	105
2) 計画の基本目標	107
3) 基本施策	110

第4部 計画の推進

1) 脱炭素社会、循環経済に向けた取組	113
2) 計画の推進と公表	113

資料編

資料1. 現計画の事業評価結果	115
資料2. 本市の概況	119
資料3. ごみ排出量の将来予測	127

序 計画の策定にあたって

第1章 計画の策定にあたって

1) 計画策定の背景

廃棄物処理の分野において目指すべき姿は、「脱炭素社会・循環経済の実現」である。

可児市（以下、「本市」という。）は、平成28年3月に策定した可児市一般廃棄物処理基本計画（以下、「前計画」という。）により、ごみの減量・リサイクル、適正処理及び市民・事業者・行政の三者の協働による取り組みを推進した結果、ごみ排出量は減少傾向を示している。

しかし、近年は「循環型社会」の構築に向けた国内外の情勢や社会経済の変化等により、脱炭素社会の実現やSDGs（持続可能な開発目標）の達成、大規模自然災害の発生及び人口減少等に対応できるような「持続可能な」社会づくりが求められてきている。

わが国においては、令和2年のパリ協定より「2050年カーボンニュートラル」に向けた脱炭素化を推進し、また、令和3年10月の地球温暖化対策計画改定では、3R+Renewableをはじめとする循環経済への移行を地球温暖化対策の一つとして位置づけた。

その後は令和6年8月に閣議決定された第五次循環型社会形成推進基本計画において、循環経済（サーキュラーエコノミー）への移行を国家戦略として取り組むべき重要な課題と定める等、実現化に向けた動きが加速している。

本市においても、未来の可児市やそこに住む私たちのこどもたちに良好な生活環境を引き継ぐためには、更なる「脱炭素社会・循環経済」のための取組が必要であり、市民・事業者・行政がそれぞれの役割と責任を果たし、地域の実情を踏まえて実現していくことが求められている。

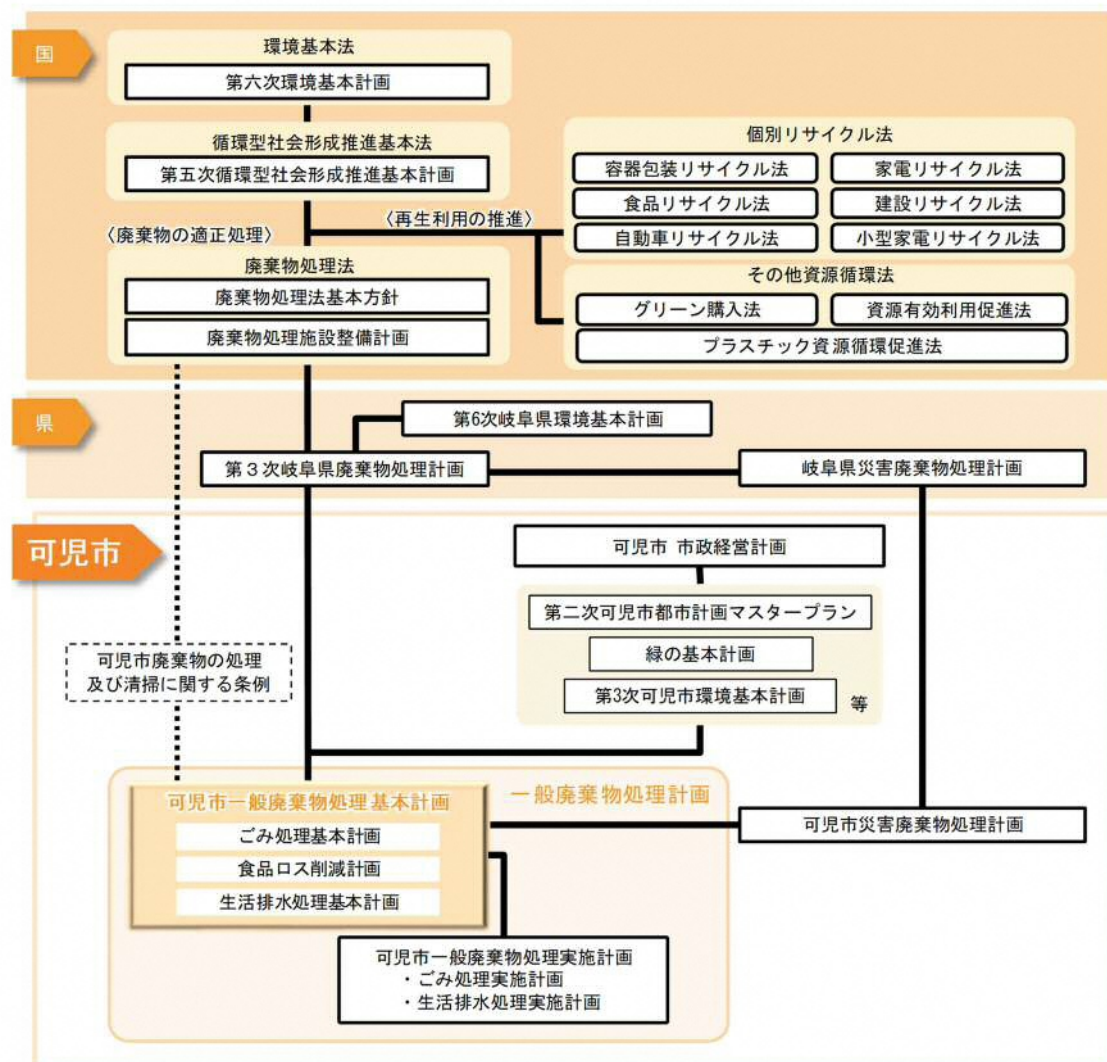
今回策定する可児市一般廃棄物処理基本計画（以下、「本計画」という。）では、「持続可能な循環型社会」の構築を目指したごみの減量化・リサイクルの推進及び生活排水の適正処理を推進し、様々な問題の解決に向け、必要となる施策を推進するための総合的かつ中長期的な計画を策定するものである。

2) 計画の位置づけ

一般廃棄物処理基本計画は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下「廃棄物処理法」という。）第6条第1項、「市町村は区域内の一般廃棄物の処理に関する計画を定めなければならない」の規定に基づく「一般廃棄物処理計画」の基本計画である。

また、本市の上位計画である「可児市市政経営計画」、「第3次可児市環境基本計画」等との整合を図り、循環型社会の形成に向けた計画と位置付けている。

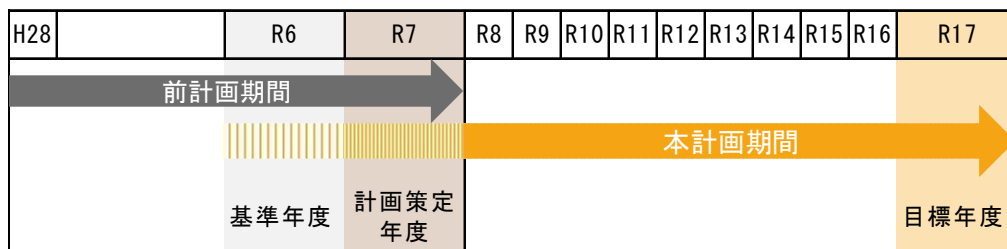
関連する法規則や条例との関係について、以下に示す。



3) 計画の期間と範囲

(1) 計画の期間

本計画の期間は、令和8年度から令和17年度までの10年間とする。なお、計画の進捗状況や社会的情勢等を考慮しながら、必要に応じて見直しを行うものとする。

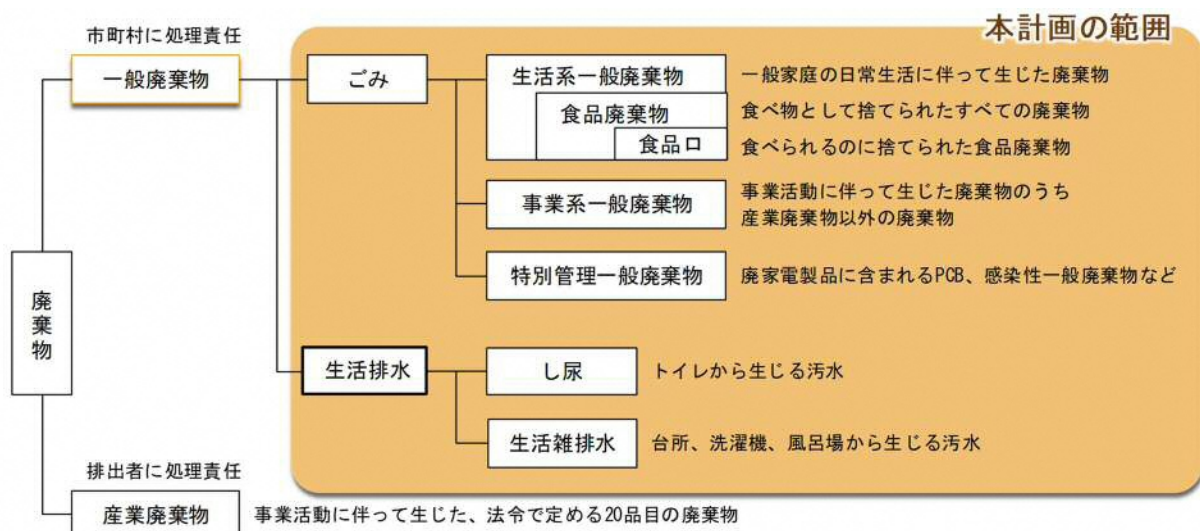


(2) 計画の範囲

本計画の対象範囲は下図に示すとおりである。

廃棄物は一般廃棄物と産業廃棄物に区分され、処理において市町村が統括的な責任を有する一般廃棄物を、本計画の範囲とする。

また、本計画の計画処理区域は、本市全域とする。



4) 関連上位計画

(1) 国際的な廃棄物処理関連の目標

① SDGs

SDGsは、「Sustainable Development Goals」(持続可能な開発目標)の略で、平成27年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された国際社会共通の目標であり、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」を基本理念にしている。



4 質の高い教育を みんなに	【4 質の高い教育を みんなに】	環境教育や環境学習を通じ、より多くの人がごみ問題について学ぶことで、ごみ減量や資源循環に対する意識の向上を図ります。	6 安全な水とトイレを 世界中に
11 住み続けられる まちづくりを	【11 住み続けられる まちづくりを】	廃棄物を適正に収集・処理することで、良好な都市環境を維持し、環境への影響が低減するように努めます	12 つくる責任 つかう責任
13 気候変動に 具体的な対策を	【13 気候変動に 具体的な対策を】	社会に大きな影響を及ぼす地球温暖化の進行を抑制するため、ごみの減量等、カーボンニュートラルに向けた取組を推進します。	14 海の豊かさを 守ろう
17 パートナリシップで 目標を達成しよう	【17 パートナリシップで 目標を達成しよう】	市民・事業者・行政が協働し、効果的・効率的に施策を推進することで、ごみの減量やゼロカーボンシティの達成を目指します。	

② パリ協定

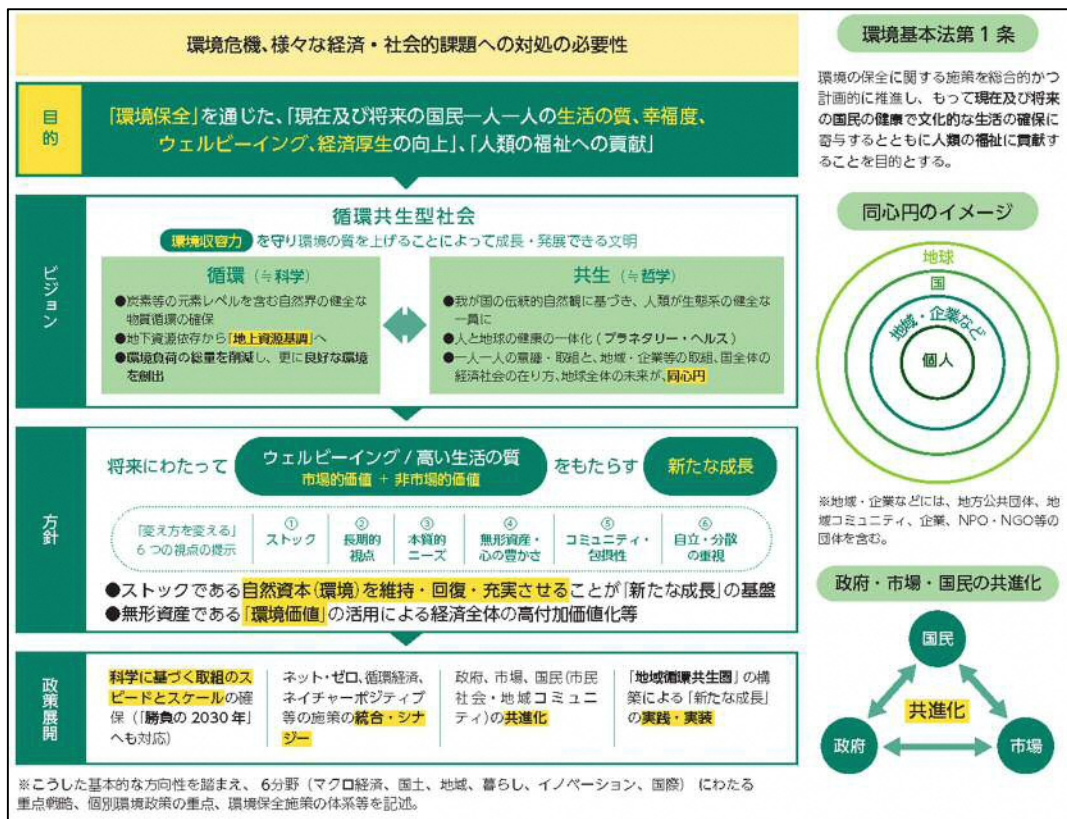
平成27年の国連気候変動枠組条約の締約国会議(通称COP)で合意された「パリ協定」では、世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃より十分低く保ち、1.5℃に抑える努力をすること、そのため、21世紀後半には、温室効果ガス排出量と森林などによる吸収量のバランスをとるという世界共通の長期目標が掲げられた。

わが国においては、令和3年10月に地球温暖化対策計画や気候変動適応計画が改定されて、カーボンニュートラルに向けた様々な取組が進められている。

(2) わが国の廃棄物処理関連計画

① 第六次環境基本計画

現在、私たちが直面している気候変動、生物多様性の損失、汚染という地球の3つの危機に対し、早急に経済社会システムの変革を図り、環境収容力を守り環境の質を上げることによって、経済社会が成長・発展できる「循環共生型社会」の実現を打ち出す計画であり、「現在及び将来の国民一人一人のウェルビーイング／高い生活の質」の実現を環境政策の最上位の目標として掲げている。



資料：環境白書

② 第五次循環型社会形成推進基本計画

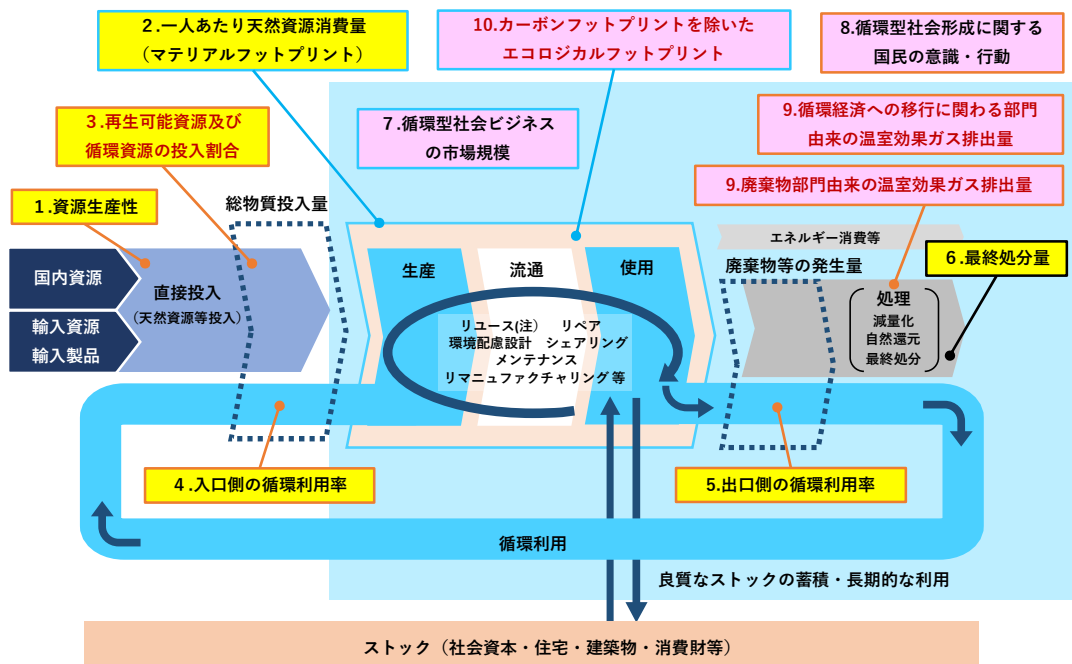
循環経済への移行は、気候変動、生物多様性の保全、環境汚染の防止等の環境面の課題と合わせて、地方創生や質の高い暮らしの実現、産業競争力の強化や経済安全保障といった社会課題の同時解決にもつながるものであり、国家戦略として取り組むべき重要な政策課題である。

こうした観点から、本計画では、循環経済への移行を国家戦略として位置付けた上で、5つの重点分野及び循環型社会に関する全体像の指標（概要）を掲げている。

第五次循環型社会形成推進基本計画の5つの重点分野

- ① 循環型社会形成に向けた循環経済への移行による持続可能な地域と社会づくり
- ② 資源循環のための事業者間連携によるライフサイクル全体での徹底的な資源循環
- ③ 多種多様な地域の循環システムの構築と地方創生の実現
- ④ 資源循環・廃棄物管理基盤の強靱化と着実な適正処理・環境再生の実行
- ⑤ 適正な国際資源循環体制の構築と循環産業の海外展開の推進

■ どれだけの資源を採取、消費、廃棄しているかというものの流れ（物質フロー）の断面や各種取組の進展を測る、循環型社会に関する全体像の指標として10指標を設定。



※ 投入された物質のうち、輸入（製品等）、消費（食料・エネルギー）されるものもあるが、単純化のためこの図では省略している
(注)統計上、一部は循環利用としてカウントされている。

赤字：第5次計画で新たに追加・拡充された指標
黄色：物質フロー指標
ピンク：取組指標

③ 廃棄物の減量その他適正な処理に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本的な方針（廃棄物処理基本方針）

廃棄物処理法基本方針は、廃棄物処理法第5条の2第1項に基づき、廃棄物の減量とその他の適正な処理に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るために定められている。

令和5年度には、2050年カーボンニュートラルに向けた脱炭素化の推進、地域循環共生圏の構築推進、ライフサイクル全体での徹底した資源循環の促進等、廃棄物処理を取り巻く情勢が変化していることを踏まえた変更を実施し、令和6年8月に決定された第五次循環型社会形成推進基本計画と整合させる形で廃棄物の減量化の目標を改訂した。

④ 廃棄物処理施設整備計画

廃棄物処理施設整備計画は、廃棄物処理法第5条の3第1項の規定に基づき、廃棄物処理施設整備事業を計画的に実施するため、廃棄物処理法基本方針に即して定められている。

新計画は、気候変動への対応について「2050年カーボンニュートラルに向けた脱炭素化」の視点を新たに記載し、「3R・適正処理の推進」については、災害時を含めその方向性を堅持するとともに、「循環型社会の実現に向けた資源循環の強化」の視点を追加し、「地域循環共生圏の構築に向けた取組」の視点を脱炭素化や廃棄物処理施設の創出する価値の多面性に着目しつつ深化させた計画となっており、令和5年6月に閣議決定された。

(3) 岐阜県の廃棄物処理関連計画

① 第3次岐阜県廃棄物処理計画

岐阜県では、廃棄物の減量化と適正処理を推進するための基本方針として「岐阜県廃棄物処理計画」を策定している。

「廃棄物の排出抑制・循環的利用及び適正処理の推進」、「美しい生活環境の保全」、「災害・感染症・気候変動への備え」の3つを施策の柱にするとともに、「プラスチックごみ削減の推進」、「食品廃棄物削減の推進」、「各主体との連携強化」を重点分野に位置づけて、取組を推進している。

基本方針	資源循環型社会の形成		
施策の柱	1 廃棄物の排出抑制・循環的利用及び適正処理の推進	2 美しい生活環境の保全	3 災害・感染症・気候変動への備え
個別の取組	(1)ごみ減量化の推進 (2)リサイクルの推進 (3)一般廃棄物の適正処理の推進 (4)産業廃棄物の適正処理の推進 (5)有害廃棄物の適正処理の推進	(1)不法投棄等の不適正処理対策の徹底 (2)街や川の清掃など海洋ごみ対策の推進	(1)災害廃棄物処理対策の推進 (2)感染症対策の推進 (3)気候変動への対応
	4 各主体との連携強化 (1)プラスチック資源循環推進のための会議の開催 (2)SNS等を活用した緩やかなつながりの構築 (3)各市町村の廃棄物処理状況や取組事例の共有 (4)取組効果を見える化する仕組の構築		

第3次計画の新たな取組

新たな取組を重点分野として推進

- プラスチックごみ削減の推進
- 食品廃棄物削減の推進
- 各主体との連携強化

(4) 可児市のごみ処理関連計画

① 可児市市政経営計画

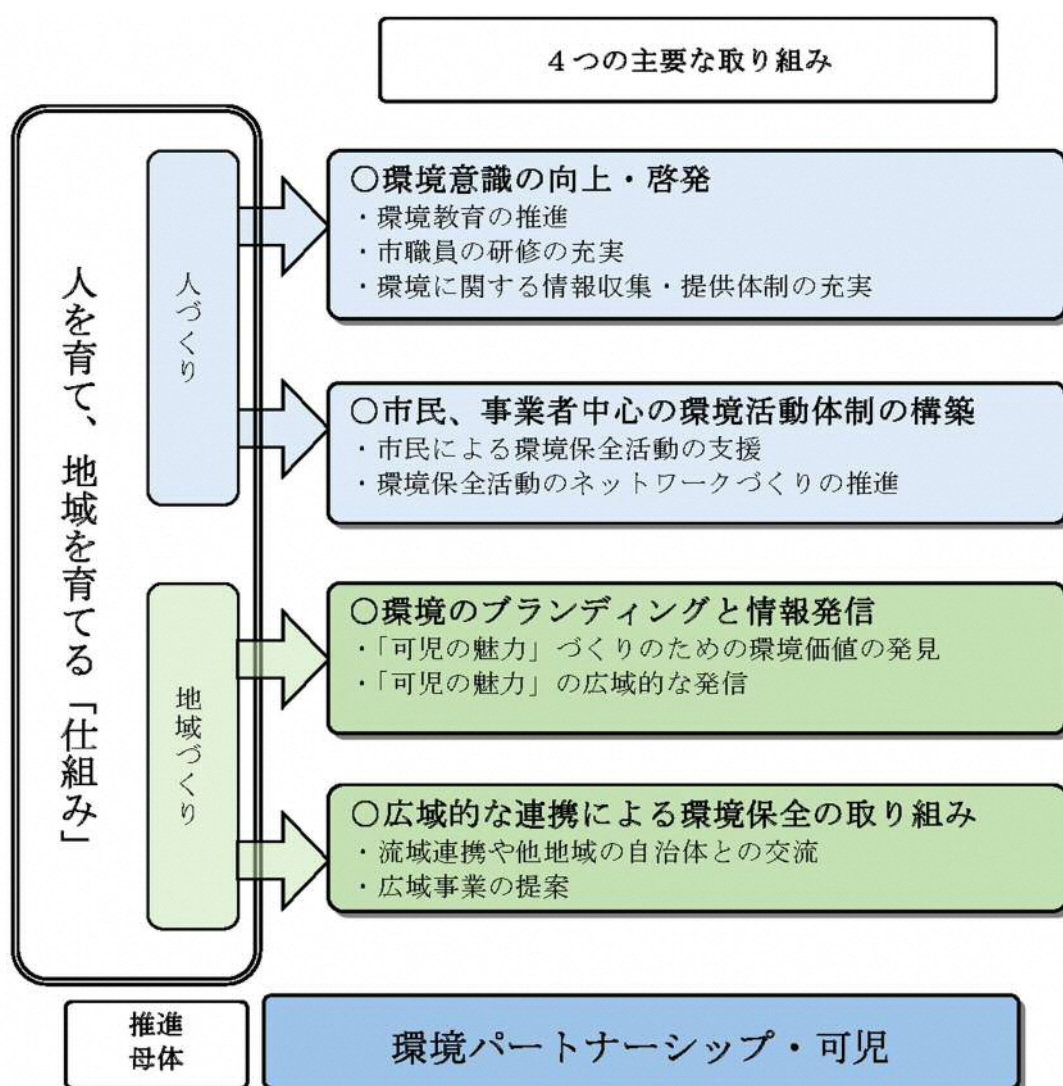
全国の地方都市で人口減少や少子高齢化が問題になっている中、DX（デジタルトランスフォーメーション）やGX（グリーントランスフォーメーション）の推進など、従来よりも高度な行政活動が求められている中で、本市において持続可能で暮らしやすいまちづくりを表現するために、令和6年3月に「可児市市政経営計画」を策定した。

市政運営の各分野で定めている諸計画と整合性を図りつつ、重点的に取り組むべきものを体系化している。

② 可児市環境基本計画

本市では可児市環境基本条例第7条に基づき、平成12年に「可児市環境基本計画」を策定し、平成23年には地球温暖化や生物多様性の重視といった新たな課題に対応するため、そして令和2年にも「地球環境共生圏」の創造や「持続可能な開発目標(SDGs)」を掲げる「持続可能な開発のための2030アジェンダ」、岐阜県の第6次環境基本計画の考えを取り入れるために改訂を実施した。

令和2年の改訂では、“人を育て、地域を育てる「仕組み」”をさらに発展させ、「目指すべき環境像を実現するための4つの柱」を実践することで、市民と事業者、行政の連携をさらに進め、環境行政を進めていくこととしている。



第 1 部 ごみ処理基本計画

第1章 ごみ処理に関する基本的事項の整理

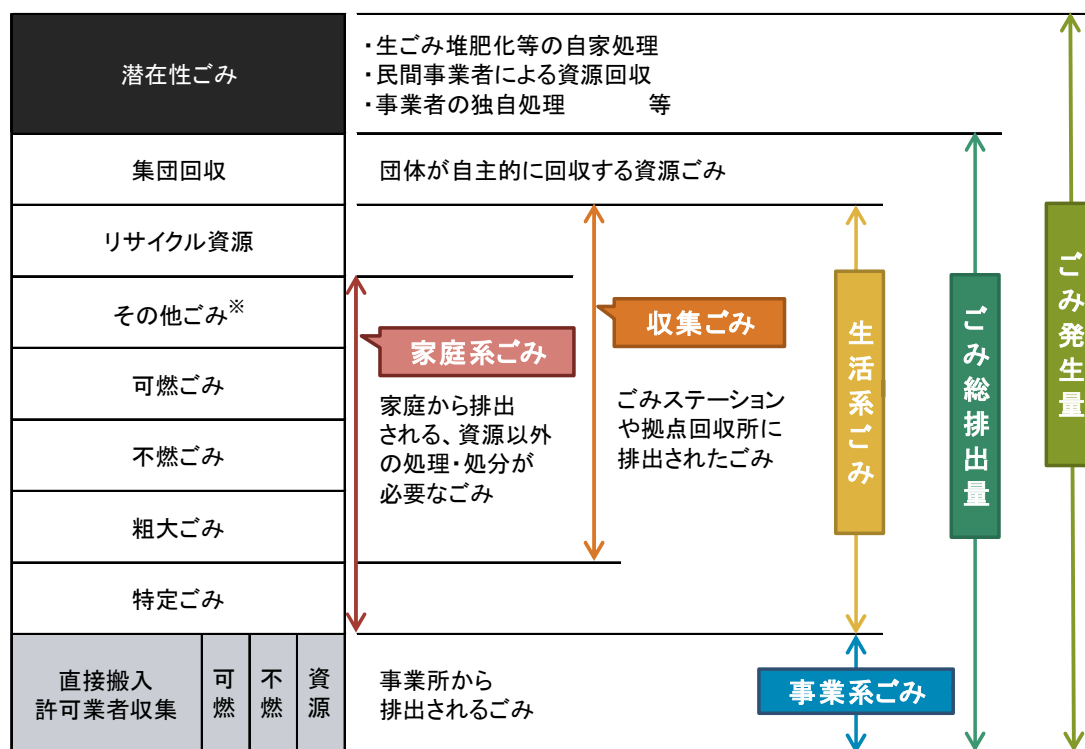
1) ごみ処理の概要

(1) ごみの発生・排出に関する定義

図1-1にごみの発生・排出に関する定義を示す。本計画では、廃棄物処理法に規定する一般廃棄物のうち、市民の生活や事業活動等によって発生するすべての不要物を「ごみ発生量」とし、その中で、堆肥化などで自己処理されているごみや民間事業者の資源回収など（潜在性ごみ）を除いた量、すなわち統計的に把握されている量を「ごみ総排出量」とする。

排出されたごみのうち、家庭から排出されたごみを「生活系ごみ」（資源回収団体が自主的に回収するリサイクル資源を除く）、市が収集したごみを「収集ごみ」（資源回収団体が自主的に回収するリサイクル資源を除く）、家庭から排出される、資源以外の処理・処分が必要なごみを「家庭系ごみ」とする。また、事業所等から排出されるごみで、直接搬入および許可業者により収集されたものを「事業系ごみ」とする。

図1-1 ごみの発生・排出に関する定義



※ その他ごみのうち、資源化されるものについては「家庭系ごみ」に含めない

(2) ごみの分別区分

本市のごみの分別区分を表1-1及び表1-2に示す。

ごみの分別数は、26種類である。

表1-1 家庭系ごみの分別区分（令和6年度）

区分		種類	備考
可燃ごみ		生ごみ、紙くず類、布類、ビニール類	○ 可燃ごみ袋に入る大きさにし、口元を結んで、地区名及び氏名を明記して出す ○ 可燃ごみ袋1つの重量は20kg以下とすること ○ 残飯、野菜くず等の生ごみは、水切りを十分行うこと ○ 布団、じゅうたん、毛布、カーペット等は、30cm角程度に細かく切って出す ○ 庭木の剪定枝等は長さ70cm・太さ3cm以下に細かくして出す
不燃ごみ	金物類	プラスチックの塊、金属類等	○ 金物類、ガラス類、陶磁器類に分けて、不燃ごみ袋に入れ、区分・氏名・住所を明記して出す ○ 不燃ごみ袋1つの重量は20kg以下とすること ○ 油缶、オイル缶などは、空にしてから出すこと ○ スプレー缶は必ず使い切ってから出す ○ 袋が突起物で破れる場合を除き、幾重にも包まない ○ 20kgを超える陶磁器やブロック、レンガ、ガレキ等は処分場に直接搬入する
	ガラス類	ガラス製品、白熱電球、化粧ビン、葉のビン等	
	陶磁器類	瓦、コンクリート破片、皿、茶碗等	
粗大ごみ		家具、布団、自転車等	○ 可燃・不燃ごみ袋に入らないもので、寸法150cm×80cm×60cm以内のものは、氏名・住所を明記した粗大ごみシールを貼って出す ○ 寸法150cm×80cm×60cmを超えるものは許可業者を利用する ○ 同一品目を束ねて出す場合、一人で持てる程度(20kg)を目安とし、紐等で束ね粗大ごみシールを見やすい位置に貼って出す ○ 同一品目以外は束ねない
特定ごみ		石臼、ウインドサーフィン(サーフボード)、ウエイト、金庫(耐火)、珪藻土製品(アスベストを含む)、サイディング、スレート、石膏ボード、太陽熱温水器、断熱材、つけもの石(加工品)、電気温水器、物干し土台、浴槽、リヤカー	○ 同一品目以外は束ねないこと ○ 処理手数料は廃棄物収集運搬許可業者に支払うこと ○ 取扱事業者または販売店にてリサイクル等の引取ができないもの
その他ごみ		乾電池・ボタン電池	○ ボタン電池はテープ等で絶縁して回収ボックスへ入れる
		蛍光管・水銀式体温計・水銀式血圧計	○ 割れた蛍光管は不燃ごみガラス類として排出すること ○ 白熱電球はガラス類として収集する ○ マンガン・アルカリ・ボタン・ニッカド・リチウム電池、蛍光灯、体温計(水銀タイプ)は回収箱で収集する
		使用済み小型家電・充電式電池	○ 投入口(30cm×15cm)に入る大きさの物 ○ 充電式電池は、分解しないこと ○ 刃などの鋭利な部品は外すこと ○ コード類以外の本体から取り外し可能な部品は外すこと ○ 充電式電池はテープ等で絶縁すること

表1-2 リサイクル資源の分別区分（令和6年度）

区分		備考
ビン	無色のビン 茶色のビン その他色のビン 生きビン	○ 飲食用であること ○ 異物が付着・混入していないこと ○ ふたが取り除かれていること ○ 洗浄されていること
カン		○ 飲食用であること ○ 異物が付着・混入していないこと ○ 洗浄されていること ○ つぶされていないこと
ペットボトル		○ 飲食用であること ○ 異物が付着・混入していないこと ○ ふたが取り除かれていること ○ ラベルが取り除かれていること ○ 洗浄されていること ○ つぶされていないこと
発泡スチロール・トレイ		○ 異物が付着・混入していないこと ○ 洗浄されていること
紙容器		○ 異物が付着・混入していないこと ○ 石鹼、洗剤など、においの強いものでないこと ○ 箱等はつぶすこと ○ ひも等でしばられていないこと
新聞紙		○ 折込チラシ等と混在しないこと ○ ひも等でしばられていないこと
雑誌・雑紙		○ 紙以外のものは取り除かれていること ○ ひも等でしばられていないこと
折込チラシ		○ 新聞紙と混在しないこと ○ ひも等でしばられていないこと
紙パック		○ 牛乳、乳飲料、果汁等の紙パックであること ○ 内側がコーティングされていないこと
段ボール		○ 異物が取り除かれていること
繊維類		○ 汚れていないもの ○ 破れていないもの ○ 濡れていないもの
廃食用油		○ 食用の油であること
ペットボトルキャップ		○ 洗浄されていること
羽毛布団		○ ダウンの割合が50%以上のもの ○ 汚れていないもの ○ 破れていないもの ○ 濡れていないもの

(3) ごみ処理フロー

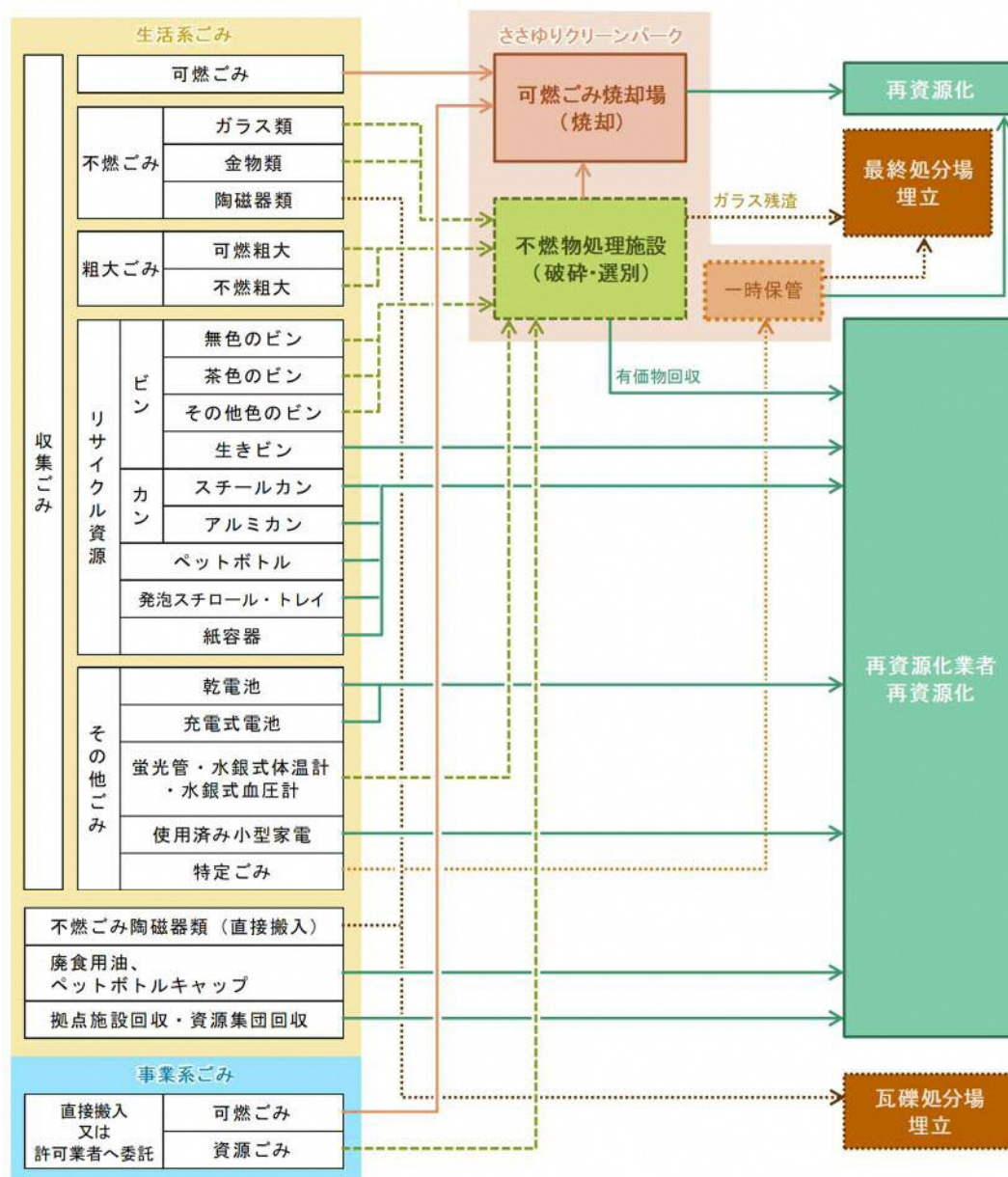
本市のごみ処理フロー（ごみや資源の流れ）を図1-2に示す。

収集ごみは、可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、リサイクル資源の収集は、ステーション方式となっており、その他ごみ（使用済み小型家電等）は拠点回収となっている。

不燃ごみ陶磁器類は埋立処分場への直接搬入となっている。

事業系ごみは、直接搬入または許可業者が収集し、ささゆりクリーンパーク（可茂衛生施設利用組合）へ搬入されている。

図1-2 ごみ処理フロー



(4) ごみ排出量の実績

① 種類別排出量

ごみの種類別排出量を図1-3及び表1-3に示す。本市におけるごみの総排出量は令和元年から減少しており、令和6年度は24,372tとなっている。

図1-3 ごみの種類別排出量の推移

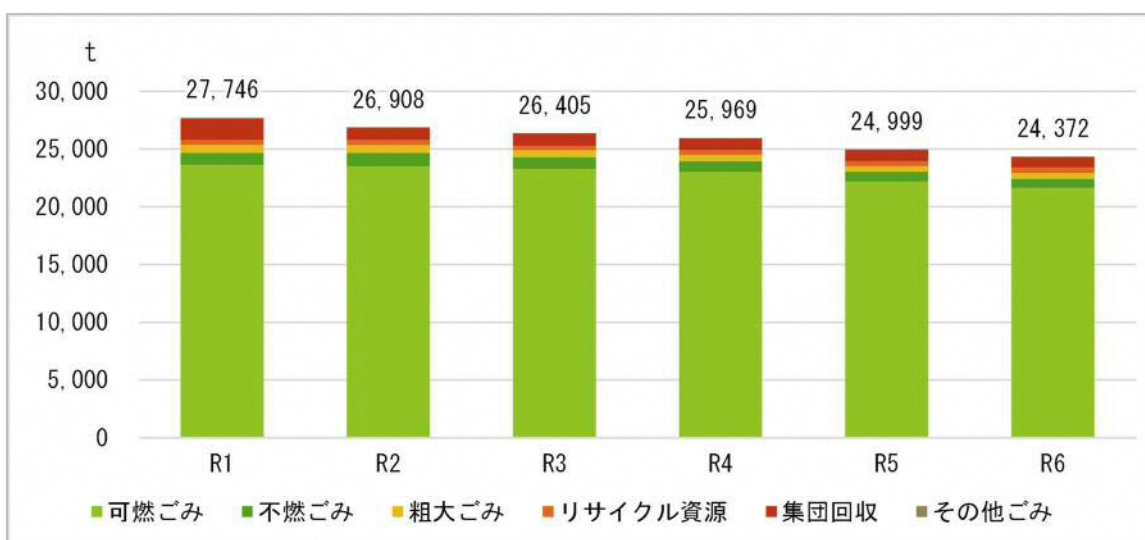


表1-3 ごみの種類別排出量の推移

単位: t

年度	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	リサイクル資源	資源 集団回収	その他 ごみ	合計
R1	23,633	1,068	647	459	1,855	84	27,746
R2	23,489	1,210	629	444	1,087	50	26,908
R3	23,302	1,008	583	408	1,062	42	26,405
R4	23,047	906	534	397	1,030	55	25,969
R5	22,189	834	490	424	1,004	58	24,999
R6	21,634	804	500	441	941	43	24,372

資料: 可児市のごみ処理状況

② 排出形態別排出量

ごみの排出形態別排出量を図1-4及び表1-4に示す。令和6年度における本市の生活系ごみ排出量（資源集団回収含む）は18,012（73.9%）、事業系ごみ排出量は6,351t（26.1%）となっている。

経年変化をみると、生活系ごみと事業系ごみの構成割合はほぼ一定で推移しており、生活系ごみが約4分の3を占めている。

図1-4 ごみの排出形態別排出量の推移

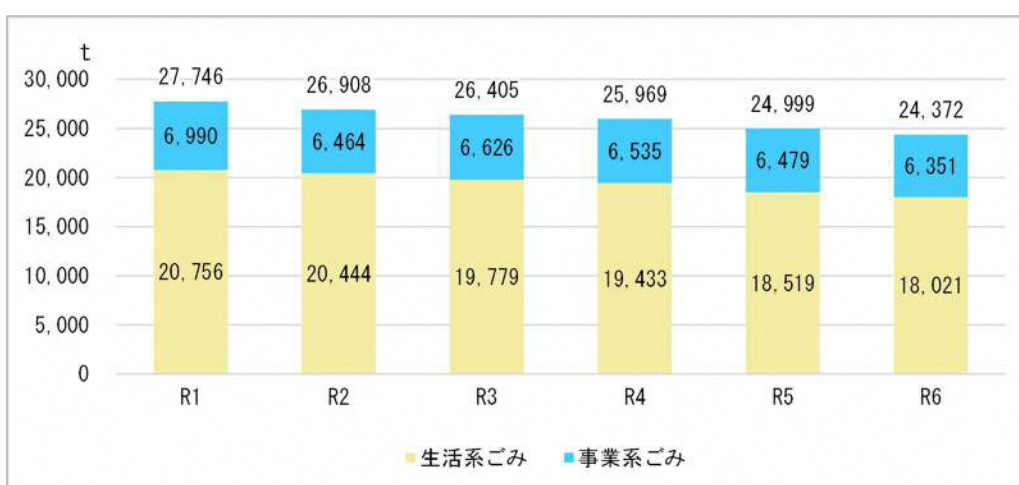


表1-4 ごみの排出形態別排出量の推移

年度	生活系ごみ		事業系ごみ		合計
	排出量(t)	構成比(%)	排出量(t)	構成比(%)	排出量(t)
R1	20,756	74.8	6,990	25.2	27,746
R2	20,444	76.0	6,464	24.0	26,908
R3	19,779	74.9	6,626	25.1	26,405
R4	19,433	74.8	6,536	25.2	25,969
R5	18,519	74.1	6,479	25.9	24,999
R6	18,012	73.9	6,351	26.1	24,372

資料：可児市のごみ処理状況

③ ごみ総排出量原単位

ごみ総排出量原単位（一人一日あたりのごみ排出量）の実績を図1－5及び表1－5に示す。令和6年度における本市のごみ総排出量原単位は669g/人・日となっている。

なお、令和元年度から令和2年度にかけて家庭系ごみ原単位が増加している理由は、新型コロナウイルス感染症による外出自粛中に片付けた家庭内のごみが、排出されたことが主な原因である。

図1－5 ごみ排出量原単位の推移

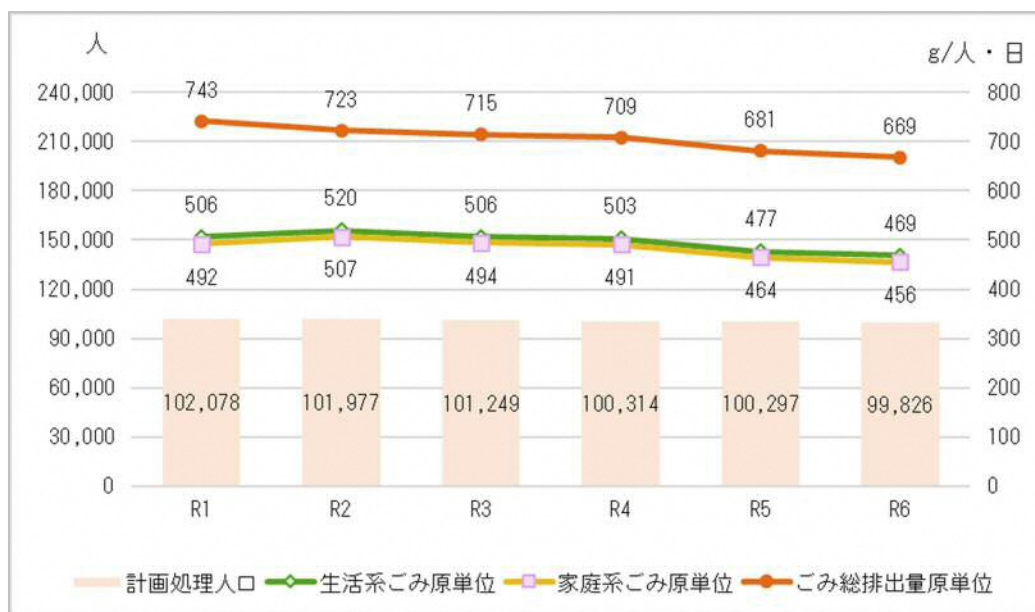


表1－5 ごみ排出量原単位の推移

単位：g/人・日

年度	計画処理人口 (人)	ごみ総排出量 原単位	生活系ごみ 原単位	家庭系ごみ 原単位
R1	102,078	743	506	492
R2	101,977	723	520	507
R3	101,249	715	506	494
R4	100,314	709	503	491
R5	100,297	681	477	464
R6	99,826	669	469	456

※計画処理人口は、可児市の統計の人口を参考

資料：可児市のごみ処理状況

④ ごみ総排出量原単位の他市町村との比較

ごみ総排出量原単位（資源集団回収を含む）、生活系ごみ排出量原単位及び家庭系ごみ排出量原単位の県内他市町村との比較を表 1－6～表 1－8 に示す。

表 1－6 岐阜県内市町村のごみ総排出量原単位（令和 5 年度）

原単位	市		町村	
1,000g/人・日以上	—		岐南町	1,070
			白川村	1,088
828g/人・日以上 1,000g/人・日未満	岐阜市	859	垂井町	847
	大垣市	853	安八町	880
	高山市	935	揖斐川町	830
	多治見市	946		
	関市	840		
	中津川市	925		
	美濃市	849		
	瑞浪市	920		
	土岐市	941		
	各務原市	850		
	郡上市	866		
	下呂市	945		
828g/人・日未満	羽島市	711	笠松町	796
	恵那市	758	養老町	808
	美濃加茂市	676	関ヶ原町	791
	可児市	700※	神戸町	751
	山県市	695	輪之内町	756
	瑞穂市	692	大野町	652
	飛騨市	812	池田町	680
	本巣市	800	北方町	769
	海津市	746	坂祝町	651
			富加町	711
			川辺町	570
			七宗町	575
			八百津町	582
			白川町	576
			東白川村	571
			御嵩町	655

※算出に用いた総人口が異なるため表 1-5 とは値が異なる

資料：一般廃棄物実態調査

表1-7 岐阜県内市町村の生活系ごみ排出量原単位（令和5年度）

原単位	市		町村	
1,000g/人・日以上	—		白川村	1,088
572g/人・日以上 1,000g/人・日未満	岐阜市	588	養老町	594
	高山市	645	垂井町	781
	多治見市	596	関ヶ原町	577
	中津川市	691	神戸町	591
	美濃市	593	輪之内町	602
	瑞浪市	638	揖斐川町	700
	土岐市	636		
	各務原市	627		
	飛騨市	652		
	郡上市	633		
	海津市	587		
572g/人・日未満	大垣市	511	岐南町	570
	関市	568	笠松町	482
	羽島市	494	安八町	488
	恵那市	535	大野町	503
	美濃加茂市	471	池田町	517
	可児市	520※	北方町	529
	山県市	511	坂祝町	522
	瑞穂市	452	富加町	497
	本巣市	476	川辺町	487
	下呂市	571	七宗町	510
			八百津町	426
			白川町	443
			東白川村	514
			御嵩町	479

※算出に用いた総人口が異なるため表1-5とは値が異なる

資料：一般廃棄物実態調査

表1-8 岐阜県内市町村の家庭系ごみ排出量原単位（令和5年度）

原単位	市	町村
1,000g/人・日以上	—	—
491g/人・日以上 1,000g/人・日未満	高山市 514	養老町 537
	多治見市 498	垂井町 721
	関市 519	神戸町 543
	中津川市 586	揖斐川町 557
	美濃市 568	白川村 800
	瑞浪市 526	
	恵那市 509	
	土岐市 534	
	各務原市 558	
	飛騨市 510	
	郡上市 545	
	海津市 504	
491g/人・日未満	岐阜市 488	岐南町 483
	大垣市 457	笠松町 409
	羽島市 393	関ヶ原町 467
	美濃加茂市 453	輪之内町 461
	可児市 475※	安八町 435
	山県市 468	大野町 460
	瑞穂市 366	池田町 402
	本巣市 381	北方町 472
	下呂市 479	坂祝町 475
		富加町 461
		川辺町 422
		七宗町 418
		八百津町 365
		白川町 365
		東白川村 351
		御嵩町 417

※算出に用いた総人口が異なるため表1-5とは値が異なる

資料：一般廃棄物実態調査

2) ごみの性状

(1) ごみの三成分

可燃ごみの性状については、可茂衛生施設利用組合ささゆりクリーンパークで定期的に分析を実施している。

可燃ごみのごみ質分析結果（年度平均値）を図1－6及び表1－9に示す。令和6年度におけるごみの三成分は、水分47.4%、灰分5.9%、可燃分46.7%であり、低位発熱量は7,600kcal/kgとなっている。経年変化を見てみると、可燃分の増加に伴い低位発熱量も増加し、可燃分の減少に伴い低位発熱量も減少している。

図1－6 可燃ごみのごみ質成分結果

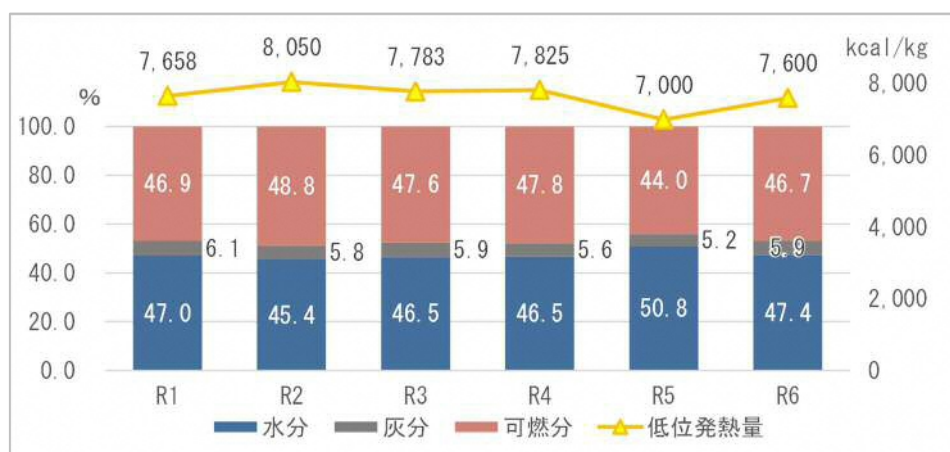


表1－9 可燃ごみのごみ質分析結果

年度	三成分			低位発熱量 (kcal/kg)
	水分 (%)	灰分 (%)	可燃分 (%)	
R1	47.0	6.1	46.9	7,658
R2	45.4	5.8	48.8	8,050
R3	46.5	5.9	47.6	7,783
R4	46.5	5.7	47.8	7,825
R5	50.8	5.2	44.0	7,000
R6	47.4	5.9	46.7	7,600

※数値は平均値

資料：可茂衛生施設利用組合

(2) ごみの種類組成（定期分析結果）

ささゆりクリーンパークにおいて実施している定期分析結果のうち、可燃ごみのごみ種類組成（年度平均）を図1-7及び表1-10に示す。

令和6年度においては、紙・布類（41.6%）の割合が最も高く、次いでプラスチック類（16.8%）である。

紙・布類の割合は年々減少しており、厨芥類の割合が増加傾向にある。

図1-7 可燃ごみのごみ種類組成

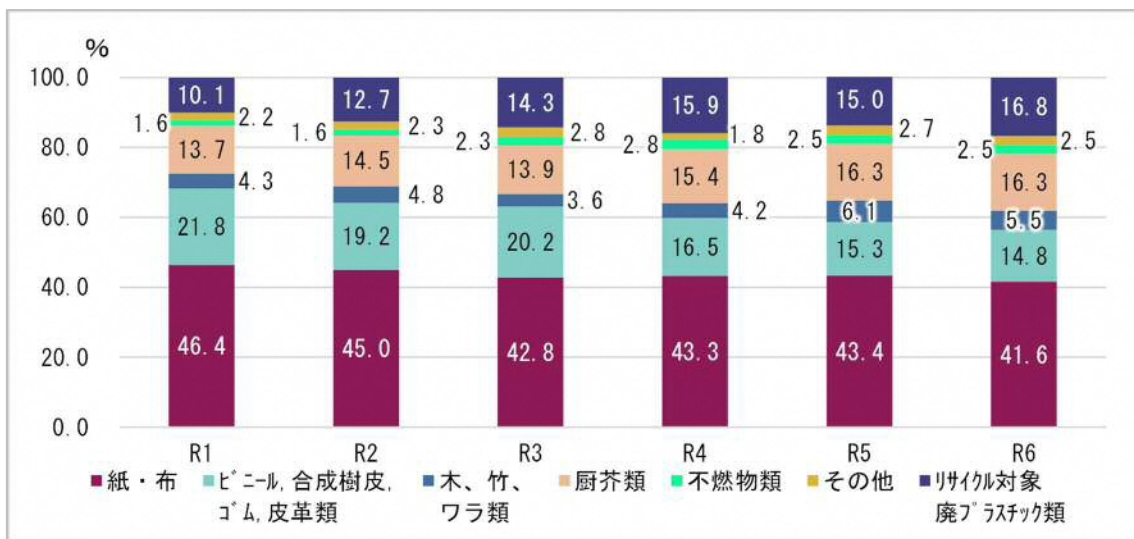


表1-10 可燃ごみのごみ種類組成（乾ベース）

年度	紙・布	ビニール, 合成樹皮, ゴム, 皮革類	木、竹、ワラ類	厨芥類	不燃物類	その他	リサイクル対象廃プラスチック類
R1	46.4	21.8	4.3	13.7	1.6	2.2	10.1
R2	45.0	19.2	4.8	14.5	1.6	2.3	12.7
R3	42.8	20.2	3.6	13.9	2.3	2.8	14.3
R4	43.3	16.5	4.2	15.4	2.8	1.8	15.9
R5	43.4	15.3	4.9	16.3	2.5	2.7	15.0
R6	41.6	14.8	5.5	16.3	2.5	2.5	16.8

資料：可茂衛生施設利用組合

(3) ごみの種類組成（令和6年度実施ごみ組成調査結果）

令和6年度に実施した食品廃棄物及びプラスチック類を主とし実施したごみ組成調査の結果を図1-8及び表1-11に示す。

可燃ごみ中の食品廃棄物の割合は3割程度、プラスチックの割合は2割程度である。

図1-8 可燃ごみのごみ種類組成

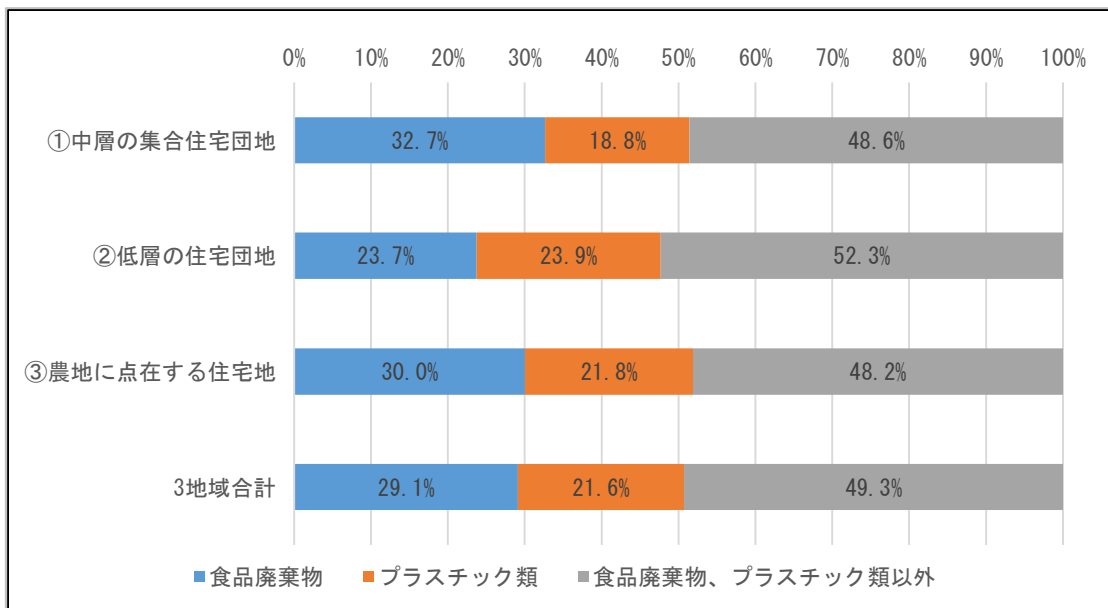


表1-11 可燃ごみのごみ種類組成（湿ベース）

	試料 全体 A (kg)	食品 廃棄物 B (kg)	プラ スチック 類 C (kg)	食品 廃棄物 割合 D (=B÷A) (%)	プラ スチック類 割合 E (=C÷A) (%)	食品廃棄物、 プラスチック類 以外の割合 F (=1-D-E) (%)
①中層の 集合住宅団地	78.8	25.7	14.8	32.7	18.8	48.6
②低層の 住宅団地	81.0	19.2	19.4	23.7	23.9	52.3
③農地に 点在する集落地	164.9	49.5	35.9	30.0	21.8	48.2
3地域合計	324.7	94.4	70.1	29.1	21.6	49.3

※各地域で回収した袋数が違うことから、重量での比較ではなく、割合（網掛け部）で比較を行うこととした。

3) ごみの発生排出抑制・資源化の現況

(1) ごみの減量化・資源化の取り組み

ごみの発生排出を抑制し、ごみの減量化及び資源化を推進するために、本市がこれまでに行ってきた主な取り組みを表1-12に示す。

表1-12 (1) ごみの減量化・資源化の取り組み

年月	主な施策
昭和61年4月	コンポスト容器設置者に対する補助金の交付開始 ～平成11年度 購入金額の3分の1 平成12年度～ 購入金額の2分の1（限度額3,000円）
平成3年4月	資源回収を行うボランティア団体等に対する奨励金の交付開始 ～平成4年度 交付金額2円/kg（牛乳パックのみ5円/kg） 平成5年度～ 交付金額5円/kg、平成10年度～ 交付金額7円/kg 平成18年度～ 交付金額5円/kg、平成23年度～ 交付金額4円/kg
平成5年4月	家庭用ごみ焼却施設設置者に対する補助金の交付開始 →平成10年度廃止
平成7年4月	機械式生ごみ処理機設置者に対する補助金の交付開始 ～平成11年度 購入金額の3分の1 平成12年度～ 購入金額の2分の1（限度額20,000円）
平成8年4月	生ごみ減量化モデル事業開始（市内の自治会を対象としたイーエムボカシの普及拡大） →平成15年度事業終了
平成10年6月	リサイクル資源の分別収集事業開始（4種8品目）
平成11年4月	不燃ごみの指定袋制度の導入 可児市生活学校主催の市民リサイクルステーション開設による古紙類等のリサイクル資源の回収開始（月1回・16品目） 資源回収を行うボランティア団体等に対する逆有償分の奨励金の交付開始～17年度
平成11年6月	粗大ごみの指定シール制度による有料化の導入
平成11年8月	生ごみ減量研究施設において生ごみ減量研究事業開始
平成12年6月	紙容器・包装紙の収集事業開始（5種9品目）
平成14年4月	枝葉粉碎処理機設置者に対する補助金の交付開始 購入金額の2分の1（限度額20,000円）
平成15年6月	市民リサイクルステーションにおいて廃食用油の回収開始
平成16年4月	密閉式発酵容器設置者に対する補助金の交付開始 購入金額の2分の1（限度額1,000円） イーエムボカシ小売価格の半額の補助開始
平成17年4月	生ごみ減量研究施設において「1m ² 運動」の研究を開始
平成18年12月	常設全天候型リサイクルステーション「エコドーム」の運営開始
平成19年4月	エコドームにおいて家庭用廃食用油の回収を開始

表1-12(2) ごみの減量化・資源化の取り組み

年月	主な施策
平成21年4月	エコドームの主催が可児市生活学校から市直営に変更になり、5月からは開催日を毎週火曜日と第2・4日曜日に拡大させ、ボランティア団体「自立を支援する会 そら」と、市の委託業務によって運営し、古着・ペットボトルキャップの回収を開始
平成25年4月	エコドームの開催日を毎週日曜日（午前9時から午後3時）に拡大
平成26年2月	エコドームにおいて、実証事業として使用済み小型家電の回収事業を開始
平成26年4月	エコドームの開催日を毎週木曜日（午前9時から正午）に拡大し、ボランティア団体「自立を支援する会 そら」、「生涯学習かに」、「ふれあいの里可児」、「ピュア・マインド」と、市の委託業務によって運営
平成26年12月	使用済み小型家電回収の実証事業を市役所・各連絡所に拡大
平成30年2月	「全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会」に参加
平成31年2月	使用済み小型家電の回収品目を拡大
令和2年1月	エコドームにおいて羽毛布団の回収を開始
令和2年3月	パソコンリサイクル回収を拡大
令和2年4月	使用済み小型家電回収BOXに入る大きさ、回収品目の変更
令和4年4月	ささゆりクリーンパークで処理できない「ごみ」のうち、一部のごみを「特定ごみ」として回収を開始
令和4年4月	ペットボトルの「ボトル to ボトル」リサイクル事業を開始
令和5年2月	市の公共施設や市内小中学校で施設利用者、児童・生徒によるペットボトルの回収を開始
令和6年1月	リユースプラットフォーム「おいくら」を通じた不要品売却事業を開始
令和6年1月	エコドーム・市立小中学校・市内店舗等に設置される資源回収拠点と回収品目を掲載した「可児市資源回収ステーションマップ」を市民向けに提供開始
令和6年11月	市内4店舗にフードドライブポストを設置

資料：可児市のごみ処理状況

(2) ごみの減量化・資源化の実績

① 生ごみ堆肥化

家庭用廃棄物等処理施設

家庭用廃棄物等処理施設設置補助事業の実績を図1-9及び表1-13に示す。
全体の設置基数は令和2年度からは横ばいの傾向にあり、令和6年度においては68基となっている。

図1-9 家庭用廃棄物等処理施設設置補助事業の実績

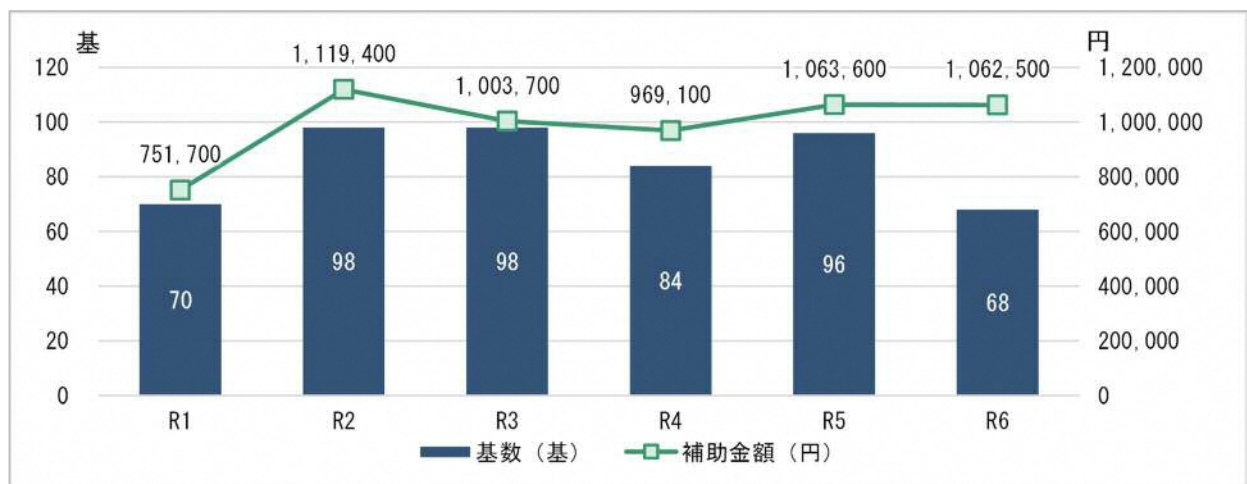


表1-13 家庭用廃棄物等処理施設設置補助事業の実績

年度	コンポスト容器		機械式生ごみ処理機		枝葉粉碎処理機		密閉式発酵容器		合計	
	基数 (基)	補助金額 (円)	基数 (基)	補助金額 (円)	基数 (基)	補助金額 (円)	基数 (基)	補助金額 (円)	基数 (基)	補助金額 (円)
R1	21	49,500	20	342,100	25	355,300	4	4,800	70	751,700
R2	18	40,600	29	456,700	40	613,000	11	9,100	98	1,119,400
R3	30	69,500	24	401,700	32	522,900	12	9,600	98	1,003,700
R4	25	66,700	31	536,400	23	360,800	6	5,200	85	969,100
R5	34	81,900	37	684,600	19	291,300	6	5,800	96	1,063,600
R6	10	27,500	42	786,000	14	247,000	2	2,000	68	1,062,500
累計 基数	昭和61年から 2,859基		平成7年から 2,846基		平成14年から 690基		平成16年から 237基		—	
限度額	購入金額の1/2 上限3,000円 (平成11年度までは1/3)		購入金額の1/2 上限20,000円 (平成11年度までは1/3)		購入金額の1/2 上限20,000円		購入金額の1/2 上限1,000円		—	

資料：可見市のごみ処理状況

イーエムボカシ

令和元年度以降のイーエムボカシの販売実績を図1-10及び表1-14に示す。イーエムボカシの販売実績は年々減少傾向にあり、令和6年度では令和元年度の約66%となっている。

図1-10 イーエムボカシの販売実績

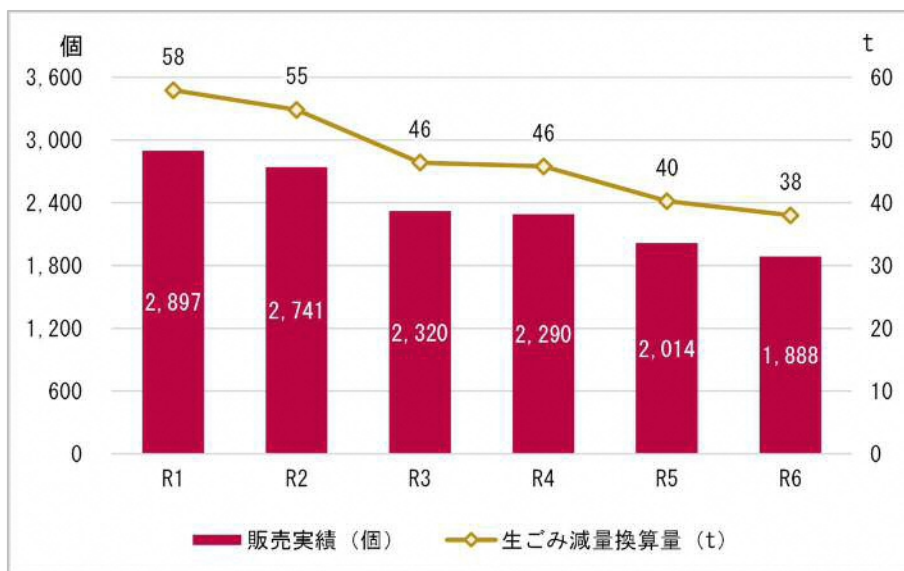


表1-14 イーエムボカシの販売実績

年度	販売実績 (個)	生ごみ減量換算量 (t)
R1	2,897	58
R2	2,741	55
R3	2,320	46
R4	2,290	46
R5	2,014	40
R6	1,888	38

資料：可児市のごみ処理状況

② 資源収集量

本市においては、現在5種9品目のリサイクル資源及びその他ごみ6品目の収集・資源化を実施し、収集を行っていない資源物についてはエコドームにおいて回収を行っている。

令和元年以降の実績を図1-11及び表1-15に示す。

各品目とも若干の増減はあるものの、大きな変動はみられない。

なお、カン、ペットボトル及びトレイについては、概ね4割を超える市民がスーパー等での店頭回収を利用していることがアンケート結果で示されており、実績値から全体の排出量を把握することが難しい状況にある。

図1-11 資源収集量の推移

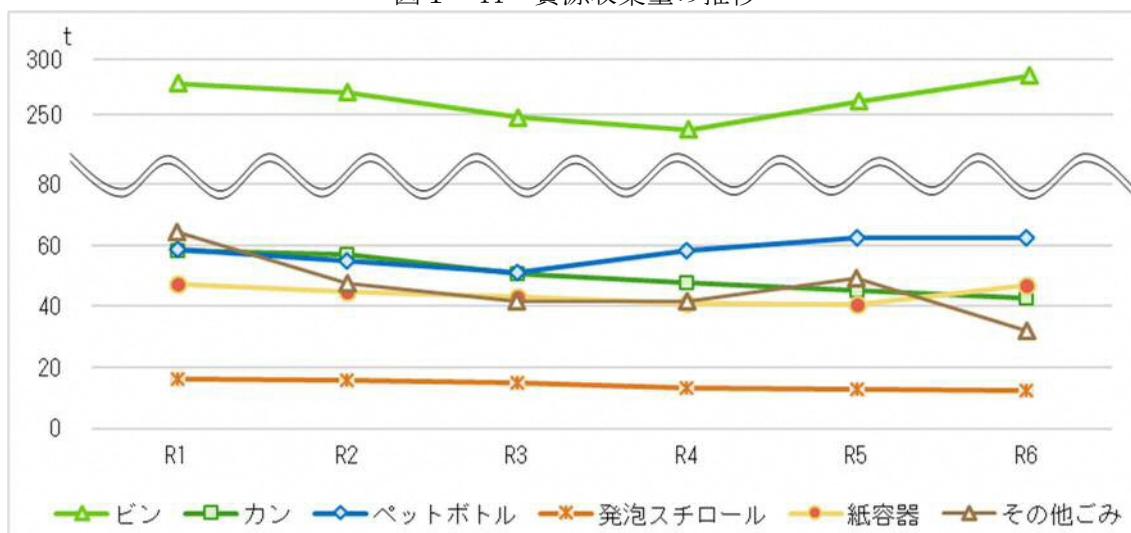


表1-15 資源収集量の推移

単位: t

年度	リサイクル資源					その他の ごみ※	合計
	ビン	カン	ペットボトル	発泡スチロール	紙容器		
R1	279	58	59	16	48	64	524
R2	270	57	55	16	45	48	491
R3	248	51	51	15	43	42	450
R4	236	48	59	14	41	42	439
R5	262	45	63	13	40	49	473
R6	286	43	63	13	38	32	473

※その他のごみは、「使用済み小型家電」、「廃乾電池」、「廃蛍光灯等」、「廃食用油」、「ペットボトルキャップ」、「無料パソコン回収」の資源化量である。

資料: 可児市のごみ処理状況

③ 資源集団回収量

本市では、リサイクル資源収集、その他ごみの拠点回収とともに、資源集団回収を行っている。令和元年以降の資源集団回収量の実績を図1-12及び表1-16に示す。令和元年度から令和2年度に掛けての大幅な回収量の減少は、新型コロナウイルス感染症の影響により、資源集団回収の実施を控えたためである。令和2年度以降の経年変化を見てみると、年間回収量はダンボールを除いて減少傾向にある。令和6年度の回収量は、雑誌等（369 t）が最も多く、次いで新聞紙（264 t）、ダンボール（249 t）となっており、大部分を紙類が占めている。

図1-12 資源集団回収の推移

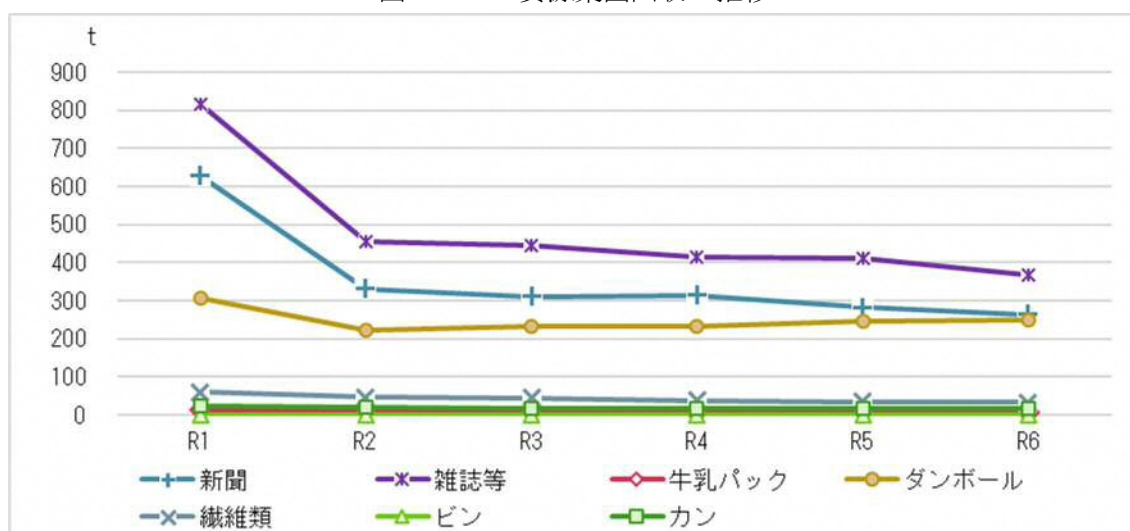


表1-16 資源集団回収の推移

単位：t

年度	紙類				繊維類	ビン	カン	合計
	新聞	雑誌等	牛乳パック	ダンボール				
R1	628	818	16	309	60	0	25	1,855
R2	331	457	9	223	47	0	20	1,087
R3	312	445	9	233	45	0	17	1,061
R4	315	416	9	234	39	0	18	1,030
R5	283	412	9	246	35	0	19	1,004
R6	264	369	8	249	33	0	18	941

資料：可児市のごみ処理状況

また、本市では、小中学校PTA等の団体による自主的資源回収について奨励金を交付しており、令和7年度現在では再生資源化物1kg または1本あたり4円を交付している。

資源集団回収事業奨励金の実績を図1-13及び表1-17に示す。本市では令和2年度以降は資源集団回収量が激減し、奨励金の交付額も激減した。令和6年度の登録団体数は28団体であり、奨励金の交付額は2,978千円となっている。

図1-13 資源集団回収事業の実績



表1-17 資源集団回収事業の実績

単位：t

	団体回収量 (t)	登録団体数 (件)	実施回数 (回)	奨励金交付額 (千円)
R1	1,671	34	127	6,683
R2	836	29	107	3,344
R3	798	32	123	3,191
R4	882	31	136	3,529
R5	786	29	150	3,145
R6	745	28	163	2,978

資料：可見市のごみ処理状況

エコドーム回収実績

令和元年以降のエコドーム回収量実績を図 1-14 及び表 1-18 に示す。
回収量は減少している。

図 1-14 エコドーム回収量の実績

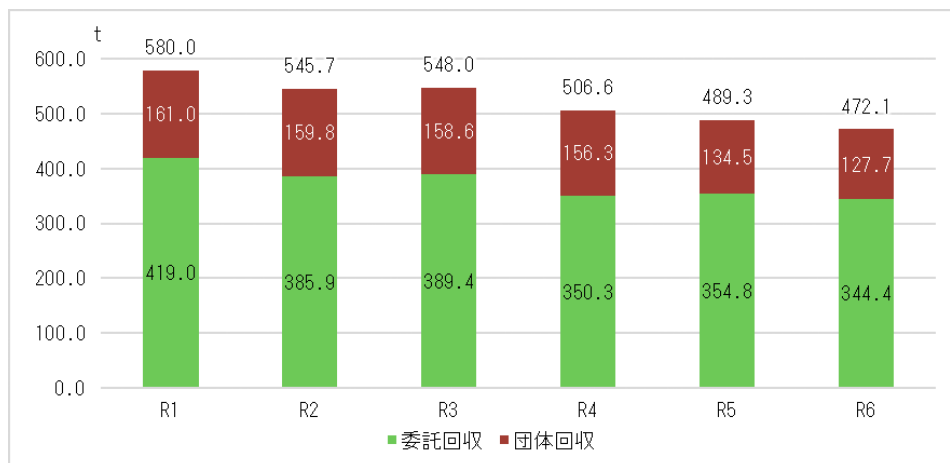


表 1-18 エコドーム回収量の実績

単位：t

年度	委託回収	団体回収	合計
R1	419.0	161.0	580.0
R2	385.9	159.8	545.7
R3	389.4	158.6	548.0
R4	350.3	156.3	506.6
R5	354.8	134.5	489.3
R6	344.4	127.7	472.1

資料：可児市のごみ処理状況

④ 資源化量・資源化率

資源化の実績を図1-15及び表1-19に示す。本市の資源回収量は年々減少しており、資源化率は、令和元年度8.6%に対して、令和6年度で5.7%となっている。

経年変化をみると、新型コロナウイルス感染の影響により令和2年度に集団資源回収量が大きく減少し、その後横ばいで推移している。

図1-15 資源化量及び資源化率の推移

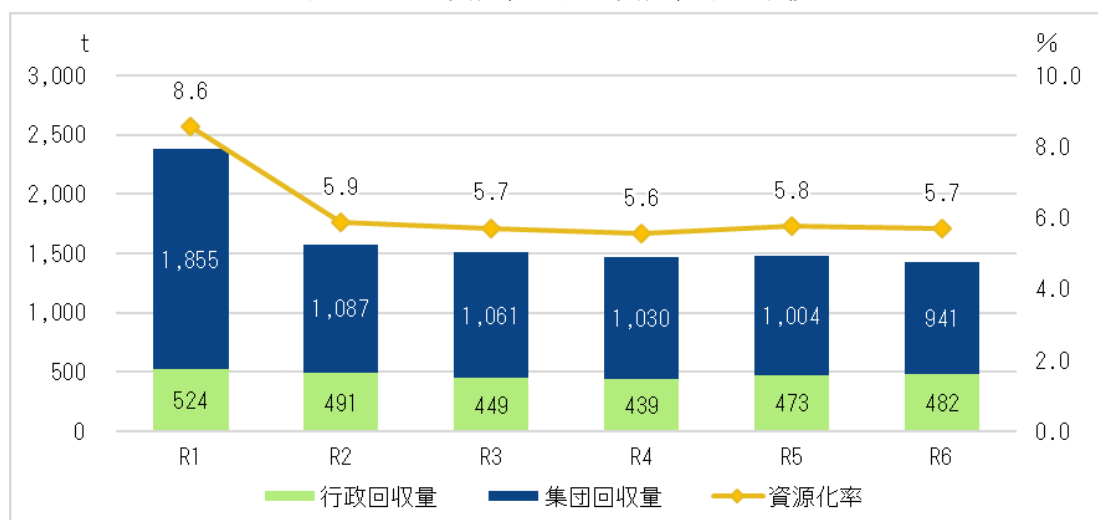


表1-19 資源化量及び資源化率の推移

年度	行政回収		資源集団回収		資源回収量 合計 (t)	資源化率 (%)
	資源回収量 (t)	資源化率 (%)	資源回収量 (t)	資源化率 (%)		
R1	524	2.8	1,855	100.0	2,379.0	8.6
R2	491	2.5	1,087	101.0	1,578.2	5.9
R3	449	2.4	1,062	102.0	1,510.7	5.7
R4	439	2.4	1,030	103.0	1,468.5	5.6
R5	473	2.7	1,004	104.0	1,477.1	5.8
R6	482	2.8	941	105.0	1,423.5	5.7

資料：可見市のごみ処理状況

4) 収集運搬の状況

本市のごみ収集状況を表1-20に示す。本市では、生活系ごみの収集・運搬を委託しており、事業系ごみについては、事業者が自ら直接搬入または許可業者が収集・運搬している。

家庭から排出された陶磁器類に限り、市民が大森瓦礫処分場へ直接搬入することができる。

表1-20 ごみの収集状況（令和7年）

区分		収集形態	収集回数	排出方法
可燃ごみ		委託	週2回	有料指定袋
不燃ごみ	ガラス類	委託	月1回	有料指定袋
	金物類			
	陶磁器類	委託	2ヶ月に1回	
粗大ごみ		委託	月1回	有料シール
その他ごみ	乾電池	直営	随時	回収ボックス
	蛍光管 水銀式体温計 水銀式血圧計	直営	随時	回収ボックス
	使用済み小型家電	直営	随時	回収ボックス
	充電式電池	直営	随時	回収ボックス
特定ごみ		委託	随時	(株)橋本・小森産業(株)
リサイクル資源	ビン4種類	委託	月1回	リサイクルボックス
	カン2種類			リサイクルネット
	ペットボトル			
	発泡スチロール・トレイ			
	紙容器			リサイクルボックス横
「ボトル to ボトル」リサイクル		直営	随時	回収ボックス・リサイクルネット

資料：可児市のごみ処理状況

5) 中間処理施設の概要

(1) 中間処理施設の概要

本市から搬入される可燃ごみは、ささゆりクリーンパークの可燃ごみ処理施設で焼却処理を行い、不燃ごみ及び粗大ごみは、不燃物処理施設で粉砕・選別処理を行っている。中間処理施設の概要を表1-21に示す。

表1-21 中間処理施設の概要

名称	ささゆりクリーンパーク（可茂衛生施設利用組合）	
所在地	岐阜県可児市塩河 839 番地	
敷地面積	25,789m ²	
建築面積	10,430m ²	
供用開始年月	平成 11 年 4 月	
施設の種類	可燃ごみ処理施設	リサイクルプラザ
処理対象物	可燃ごみ	金物類、ガラス類、粗大ごみ
延床面積	16,606 m ²	7,989 m ²
処理方式及び能力	焼却炉 全連続燃焼式ストーカ炉 240t/日（80t/24h×3 炉） 溶融炉※ 電気プラズマ式電気溶融炉 60t/日（30t/24h×2 炉）	破碎形式 油圧式二軸低速回転破碎機及び 高速回転破碎機併用型 32t/5h 不燃粗大 21t/5h 可燃粗大 11t/5h 分別方式（4 種分別） ビンライン 手選別方式 (17t/5h) カンライン※ 機械式 (17t/5h)

※可燃ごみ処理施設の溶融炉及びリサイクルプラザのカンラインは、令和2年4月に休止

資料：可茂衛生施設利用組合

(2) 搬入量

令和元年度以降において、本市からささゆりクリーンパークに搬入されたごみの搬入量を図1-16及び表1-22に示す。本市の合計量についての経年変化をみると、減少傾向を示している。

図1-16 ごみの搬入量

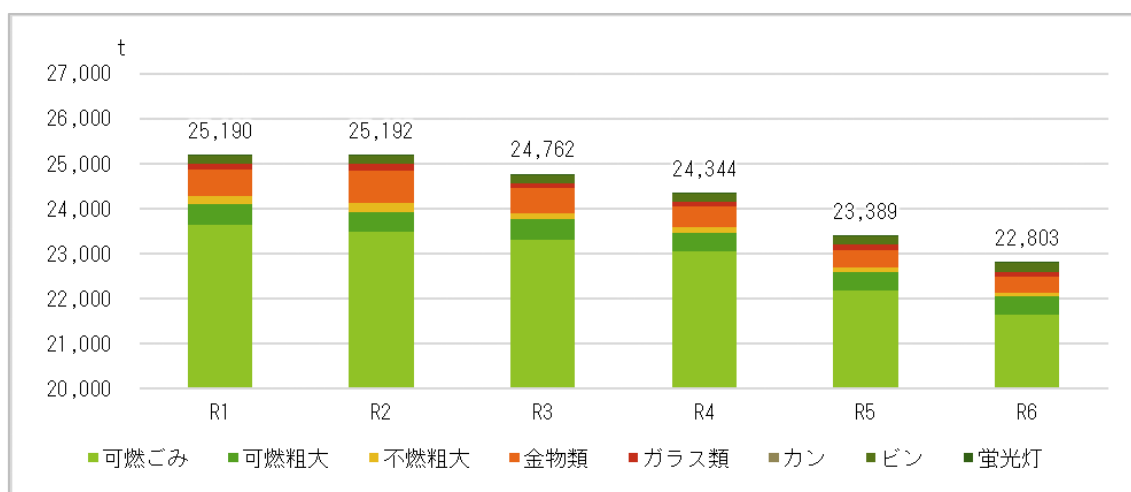


表1-22 ごみの搬入量

単位 t

	可燃ごみ	可燃粗大	不燃粗大	金物類	ガラス類	カン	ビン	蛍光灯	合計
R1	23,633	471	176	587	123	0	189	12	25,191
R2	23,489	431	198	730	144	0	189	12	25,191
R3	23,302	463	120	561	126	0	180	9	24,762
R4	23,047	424	111	463	119	0	173	8	24,345
R5	22,189	395	95	394	118	0	190	8	23,389
R6	21,634	410	90	345	115	0	204	7	22,805

資料：可茂衛生施設利用組合

(3) 中間処理量

① 可燃ごみの中間処理量

令和元年度以降における可燃ごみ処理施設の稼働実績を表 1-23 に示す。

表 1-23 可燃ごみ処理施設の稼働実績（本市分）

	焼却量 (t)	稼働日数 (日)	日焼却量 (t/日)	焼却残渣量 (t)	焼却残渣率 (%)
R1	24,511	356	69	387	1.6
R2	24,406	356	69	3,279	13.4
R3	24,133	354	68	2,999	12.3
R4	23,778	356	67	3,012	12.7
R5	22,865	354	65	2,803	12.3
R6	22,300	353	63	2,695	12.1

※1 稼働日数＝3 炉交互置換稼働日数

資料：可茂衛生施設利用組合

※2 焼却残渣率＝焼却残渣量/焼却量×100

② 不燃・粗大ごみの中間処理量

令和元年度以降における不燃物処理施設の稼働実績を表 1-24 に示す。

表 1-24 不燃物処理施設の稼働実績（本市分）

	破碎処理量(t)	稼働日数(日)	日処理量(t/日)
R1	1,321	236	6
R2	1,344	233	6
R3	1,140	234	5
R4	1,076	235	5
R5	961	228	4
R6	921	220	4

資料：可茂衛生施設利用組合

(4) 環境保全の状況

ささゆりクリーンパークでは、施設の排出ガス測定を実施している。令和 6 年の測定結果を表 1－25 に示す。

表 1－25 焼却施設の測定結果

項目		ばいじん量	硫黄酸化物	窒素酸化物	塩化水素	ダイオキシン類
測定日						
単位		g/m³N	K 値	ppm	ppm	Ng-TEQ/m³N
法の規制値		0.04 以下	11.5 以下	250 以下	430 以下	5 以下
組合の設定値		0.02 以下	80 以下	150 以下	100 以下	0.1 以下
R6.5.29	2 号炉	0.002 未満	0.058	78	30	－
R6.6.15	3 号炉	0.002 未満	0.049	81	34	0.0011
R6.7.5	1 号炉	0.002	0.080	61	43	0.023
R6.12.14	1 号炉	0.003 未満	0.022	47	29	0.0080
	2 号炉	0.003 未満	0.085	77	45	0.0048
R7.1.10	3 号炉	0.002 未満	0.049	58	34	－

資料：可茂衛生施設利用組合

6) 最終処分場の状況

(1) 最終処分場の概要

ささゆりクリーンパークから排出される焼却灰は全て資源化されているため、ささゆりクリーンパーク最終処分場は現在では使用されていない。陶磁器類は大森瓦礫処分場にて埋立を行っている。最終処分場の概要を表1-26に示す。

表1-26 最終処分場の概要

名称	ささゆりクリーンパーク 最終処分場	大森瓦礫処分場	兼山瓦礫処分場※
所在地	可児市塩河 839 番地	可児市大森 370 番地 2	可児市兼山 1384 番地 2
埋立開始年	第 2 期 平成 27 年～	昭和 59 年	平成 4 年
埋立地面積	4,650m ²	7,170m ²	670m ²
埋立地容量	22,400m ³	40,517m ³	2,000m ³
埋立方式	サンドイッチ工法	サンドイッチ工法	サンドイッチ工法
処理対象物	溶融スラグ	陶磁器類	陶磁器類

※兼山瓦礫処分場は第1期埋立容量に達したため、平成19年度から使用休止

資料：可茂衛生施設利用組合、環境課

(2) 埋立処分量

大森瓦礫処分場における埋立処分の実績を表1-27に示す。埋立処分量はほぼ横ばいとなっている。

表1-27 埋立処分量の実績

年度	大森瓦礫処分場		搬入量合計 (t)	埋立量 (m ³)
	直接搬入分 (t)	行政回収分 (t)		
R1	163.8	194.4	358.2	596.9
R2	142.0	194.0	336.0	560.0
R3	127.5	193.6	321.1	535.1
R4	128.6	194.8	323.3	538.9
R5	128.4	192.9	321.3	535.6
R6	149.3	194.7	344.0	573.3

資料：環境課

7) ごみ処理体制の状況

(1) 運営管理体制

本市におけるごみ処理事業に係る行政組織及び事務掌握を図1-17及び表1-28に示す。

ごみ処理については、市民文化部環境課に位置付けており、図1-15に示すように各部署で役割を分担し清掃事業を実施している。また、本市は2市7町1村で構成した可茂衛生施設利用組合においてごみの広域処理を行っている。

図1-17 ごみ処理事業に係る行政組織

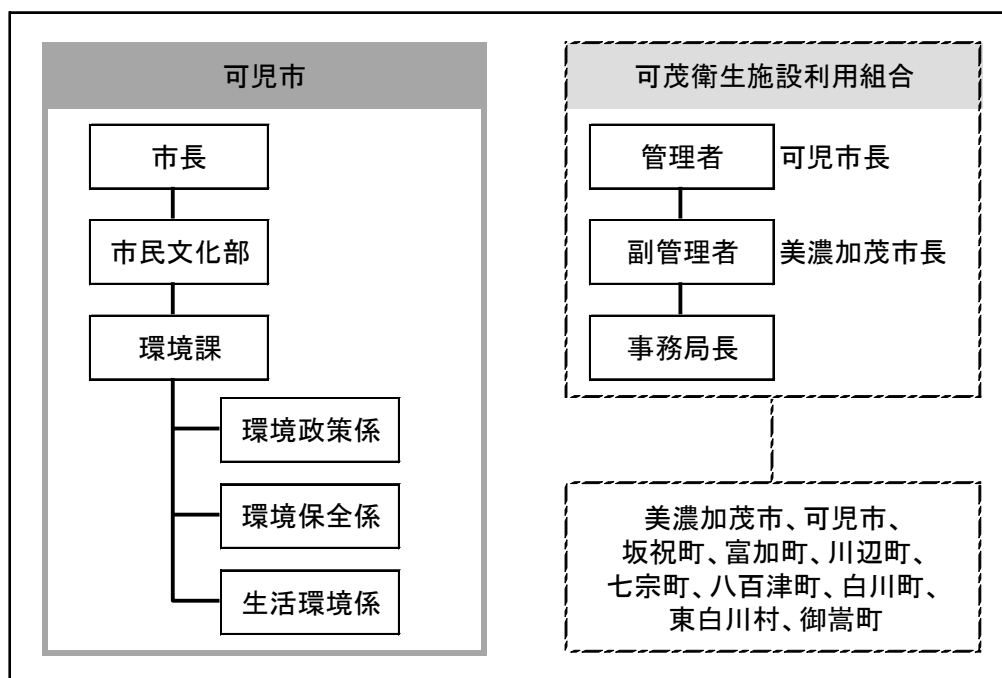


表1-28 環境課の事務掌握

組織		事務分掌	
環境課	環境政策係	- 環境基本計画 - 地球温暖化対策	- 再生可能エネルギーの利活用 - 環境政策の推進
	環境保全係	- 自然環境保全 - 各種公害対策 - 環境調査	- 特定施設の監視及び立入検査 - 環境保全団体との連携 - 空き地の適正管理
	生活環境係	- 一般廃棄物処理及び減量化 - リサイクル事業の推進 - 不法投棄等の監視 - 犬の登録及び狂犬病予防注射	- 墓地等の経営及び改葬の許可 - 愛護動物の飼養

(2) ごみ処理費用

本市におけるごみ処理費用（収集運搬費、処理及び維持管理費）を図1-18及び表1-29に示す。ごみ処理に係る費用のうち、収集運搬費は概ね横ばいに推移しているが、処理及び維持管理費は組合施設の維持管理状況によって変動しているため、処理経費全体としても変動している。また、一人あたりのごみ処理経費についても同様の傾向を示している。

図1-18 ごみ処理費用の推移

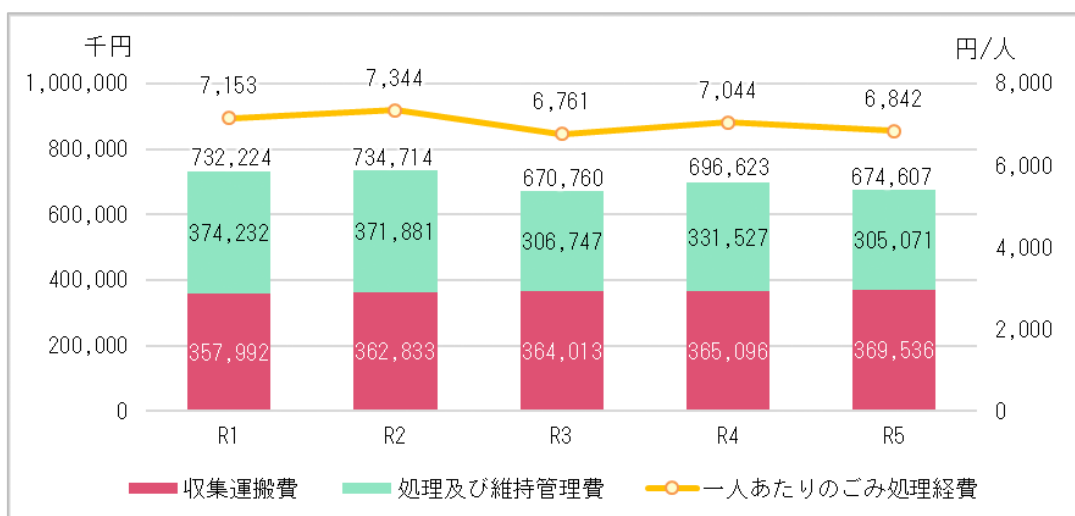


表1-29 ごみ処理費用の推移

		R1	R2	R3	R4	R5
処理経費 (千円/年)	収集運搬費	357,992	362,833	364,013	365,096	369,536
	処理及び維持管理費	374,232	371,881	306,747	331,527	305,071
	合計	732,224	734,714	670,760	696,623	674,607
ごみ量 (t)	収集運搬量	25,839	26,057	25,574	25,111	24,142
	中間処理量	25,361	25,359	24,915	24,686	23,712
	最終処分量	1,716	336	321	419	476
	総排出量	27,758	27,145	26,601	26,251	25,250
1t 当たり 処理経費 (円/t)	収集運搬量	13,855	13,925	14,234	14,539	15,307
	中間処理量	13,821	14,473	12,155	13,206	12,612
	最終処分量					
	総排出量	26,379	27,066	25,216	26,537	26,717
一人当たり処理経費 (円/人・年)		7,153	7,344	6,761	7,044	6,842
人口		102,361	100,037	99,215	98,891	98,594

資料：一般廃棄物処理実態調査

8) ごみ処理の評価

本市と人口及び産業構造が類似する自治体の廃棄物処理に係る各項目の実績を比較した結果を図 1－19 及び表 1－30 に示す。

「最終処分減量に要する費用」が若干、平均値を下回っている（指数値 100 未満）が、その他の項目については全て平均値を上回っており良好である。

図 1－19 類似団体との比較

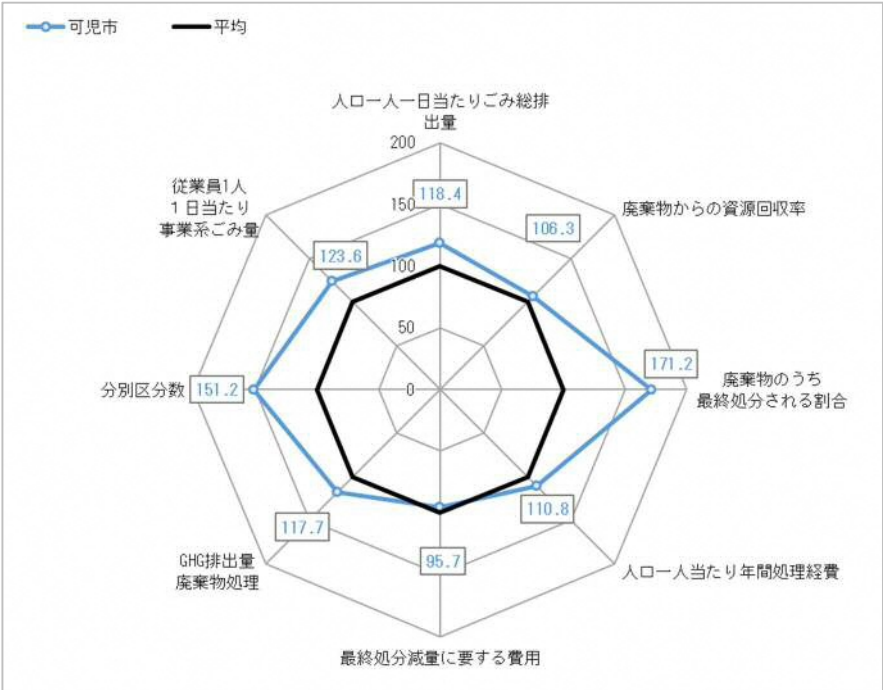


表 1－30 類似団体との比較

		人口一人 一日当たり ごみ総 排出量	廃棄物 からの 資源回 収率	廃棄物 のうち 最終処 分され る割合	人口一人 当たり年 間処理経 費	最終処 分減量 に要す る費用	GHG 排出 量廃棄 物処理	分別区 分数	従業員一人 一日当たり 事業系ごみ 排出量
		(kg/人・日)	(t/t)	(t/t)	(円/人・日)	(円/ t)	(1000 tCO2)		(kg/人・日)
可児市		0.700	0.187	0.019	10,272	40,261	13	26	0.412
類似団体 (4 市)	平均	0.858	0.176	0.066	11,513	38,606	15.8	17.2	0.539
	最大	1.070	0.310	0.117	13,735	43,759	37	26	0.856
	最小	0.700	0.107	0.019	9,313	31,650	7	11	0.374
指数値		118.4	106.3	171.2	110.8	95.7	117.7	151.2	123.6

※GHG 排出量（廃棄物処理）：自治体排出量カルテ令和 4 年度実績（令和 7 年 3 月）
※その他の項目：一般廃棄物処理実態調査（令和 5 年度）
【類似団体】人口：9 万人以上 11 万人未満・
産業構造：Ⅱ次・Ⅲ次人口比 95%以上、Ⅲ次人口比 65%未満
類似団体名：群馬県桐生市、新潟県三条市、石川県小松市、愛知県大府市

9) アンケート結果の概要

(1) アンケート回収状況

令和6年度に実施した市民アンケート調査及び事業所アンケートの回収状況は以下のとおり。

市民アンケートは53.5%、事業所アンケートは56.0%の回収率であった。

○市民アンケート		○事業所アンケート	
発送数	: 1,000	発送数	: 100
回答数	: 535	回答数	: 56
回収率	: 53.5%	回収率	: 56.0%

(2) 市民アンケート調査

市民アンケート調査の結果の内、留意が必要な内容を抽出した。

市民アンケート結果（抜粋）は、以下に示すとおりである。

表1-31 (1) 市民アンケート結果（抜粋）

項目	設問	結果概要	可児市のごみ処理における課題
ごみ減量・リサイクルについて	問7-1. あなたの、ごみ問題について興味のある内容は？	「分別・リサイクル」が59.3%、「ごみ出しマナーが悪いこと」が33.1%、「空き地などへの不法投棄」が32.1%であった。	・分別・リサイクル、マナーや不法投棄についての関心度が高くなっている。
	問10. あなたのご家庭では、どの程度の食品ロスが発生していますか？	「全く発生していない」が6.2%、「ほとんど発生していない」が42.6%、「少し発生している」が48.4%、「たくさん発生している」が1.5%であった。	・食品ロスの発生 半数の回答者の家庭で食品ロスが発生している。
	問11. 問9で「4. 意味を知っており、食品ロスを減らすための取り組みを行っている」と回答した方にお聞きします。あなたはどのような取り組みをしていますか？	「冷凍保存を活用する」が61.7%、「食べ物は残さずに食べる」が60.7%、「冷蔵庫の中身を確認してから買い物をする」が41.3%であった。 一方、「フードドライブを活用する」が0.5%であった。	・フードドライブの活用 「冷凍保存を活用する」等の取り組みがある程度行われている一方で、 フードドライブの活用はほとんど行われていない。

表1-31 (2) 市民アンケート結果 (抜粋)

項目	設問	結果概要	可児市のごみ処理における課題
ごみ減量・リサイクルについて	問12. あなたは、ごみ減量・リサイクルの取り組みをどの程度実践していますか？	「不用品を譲ったりバザーに出す等する」を「実践していない」と回答した割合は26.0%、「生ごみの堆肥化を行う」を「実践していない」と回答した割合が60.7%と多い。 「20歳代」は、「あまり実践していない」と回答した割合が33.3%と多い。	・若い世代が取り組みをあまり実践していない。 ・前回よりも「方法がわからない」や「面倒」などの理由でごみ減量・リサイクルの取り組みが実践されていない。
	問12-1. 問12で「あまり実践していない」と「実践していない」と1つ以上回答した方にお聞きします。その理由は何ですか？	「方法が分からないから」が44.7% 「面倒だから」が36.3%、「その他」が16.3%であった。 「30歳代」、「50歳代」は、「方法が分からないから」と回答した割合が多い。	
	問14. ごみ分別アプリ「さんあ〜る」を活用していますか？	大多数の回答者は知らない。 「活用している」が11.8%、「知っているが活用はしていない」が10.3%、「知らない」が75.5%であった。	・ごみ分別アプリ「さんあ〜る」の認識度が低い。 ・一定数の回答者が、ごみ分別アプリ「さんあ〜る」はわかりにくいと思っている。
	問14-1. 問14で「1. 活用している」と「2. 知っているが活用はしていない」と回答した方にお聞きします。ごみ分別アプリ「さんあ〜る」はわかりやすいと思いますか？	大多数の回答者は、わかりやすいと思っている。 「わかりやすい」が22.9%、「どちらかといえばわかりやすい」が55.1%、「どちらかといえばわかりにくい」が15.3%、「わかりにくい」が3.4%であった。	
	問15. あなたは、近くのごみ集積場の利用マナーはどう思いますか？	大多数の回答者は、良いと思っている。 「良いと思う」が30.8%、「どちらかといえば良いと思う」が48.4%、 「どちらかといえば悪いと思う」が11.4%、「悪いと思う」が5.4%であった。	・「正しい分別がされていない」、「収集日・時間が守られていない」や「管理をしている地区以外の方がごみを出しに来る」等のマナーの問題が、前回と変わらず存在する。
	問15-1. 問15で「3. どちらかといえば悪いと思う」と「4. 悪いと思う」と回答した方にお聞きします。その理由は何ですか？	「正しい分別がされていない」が41.1%、「収集日・時間が守られていない」が40.0%、「管理をしている地区以外の方がごみを出しに来る」が33.3%であった。	

表1-31(3) 市民アンケート結果(抜粋)

項目	設問	結果概要	可児市のごみ処理における課題
ごみ減量・リサイクルについて	問16. あなたは、可児市のごみ・資源回収の回数についてどう思いますか？	すべての項目で、「ちょうど良い」と回答した割合が75.1%以上と多い。 自由意見で、プラスチックの分別・回収を要望する意見が4件あった。	-
	問17. あなたは、可児市のごみ・資源分別数についてどう思いますか？	ほとんどの回答者は、ちょうど良いと思っている。 「ちょうど良い」が88.6%、「多すぎる」が4.5%、「さらに細分化すべき」が3.4%であった。	-
ごみ・資源の分別・収集について	問18. あなたのご家庭では、資源物の処理方法はどちらですか？	缶、ペットボトル、トレイは、「スーパー等の店頭回収」の割合が多く、びん、紙容器・包装紙、段ボール、使用済み小型家電は、「リサイクルステーションでの資源回収」の割合が多く、古着は、「ごみとして出す」の割合が多い。	・缶、ペットボトル、トレイ等の資源物が、民間の回収に排出されている。
	問20. 現在、プラスチック製品は燃えるごみとして収集していますが、これをリサイクル資源として分別したら、どう思いますか？	「リサイクル資源として分別したほうが良い」が37.4%、「燃えるごみのままのほうが良い」が57.2%であった。	・半数以上の回答者は、プラスチック製品は「燃えるごみのままのほうが良い」と考えている。 理由として「「プラスチック製品」の定義がわかりにくいから」、「分別するのが面倒だから」や「分別項目が多すぎて対応できないから」等が挙げられており、プラスチックの分別収集を行う場合は、分別の煩雑さの解消や意識の変容が必要である。
	問20-1. 問20で、「1. リサイクル資源として分別したほうがよい」と回答した方にお聞きします。その理由は何ですか？	「ごみを減量できるから」が51.0%、「資源としてきちんとリサイクルすべきだから」が45.5%、「燃焼による二酸化炭素の排出量を削減できるから」が43.5%であった。	
	問20-2. 問20で、「2. 燃えるごみのままのほうがよい」と回答した方にお聞きします。その理由は何ですか？	「「プラスチック製品」の定義がわかりにくいから」が44.8%、次いで「分別するのが面倒だから」が37.6%、「分別項目が多すぎて対応できないから」が26.8%であった。	

表1-31(4) 市民アンケート結果(抜粋)

項目	設問	結果概要	可児市のごみ処理における課題
ごみ・資源の分別・収集について	問21. あなたは、ごみ処理に関する市の取り組みについて満足していますか？	大多数の回答者は、満足している。 「満足している」が22.4%、「どちらかといえば満足している」が57.6%、「あまり満足していない」が7.3%、「満足していない」が1.5%であった。	・ 大多数はごみ処理に関する市の取り組みに満足しているが、一定数、満足していない方が存在する。 ・ 市民は特に「不法投棄防止対策の強化」、「プラスチック容器包装やプラスチック製品の分別収集」、「ごみ分別徹底の啓発や環境教育の充実」等について、市に力を入れてほしいと考えている。 ・ 市の情報提供への満足度は、前回と比べて高くなったが、一定数情報提供がまだ不十分だと思っている方が一定数存在する。 ・ 市民は、「ごみと資源の区別」、「収集日時と場所の知らせ」や「家庭でできるごみ・資源の減量・リサイクル方法」などの情報提供を希望している。
	問22. あなたは、ごみ処理に関して市が力を入れるべきことは何だと思いますか？	「不法投棄防止対策の強化」が45.8%、「プラスチック容器包装やプラスチック製品の分別収集」が22.1%、「ごみ分別徹底の啓発や環境教育の充実」が21.9%であった。	
	問23. あなたが主にごみ処理に関する情報を得ている主な情報源は何ですか？	「ごみ・リサイクル資源収集日程表」が81.5%、「ごみ・リサイクル資源分け方・出し方」が49.3%、「広報かに」が41.1%であった。	
ごみに関する情報提供について	問24. 可児市のごみ処理に関する情報提供は十分だと思いますか？	「十分に行われていると思う」が18.5%、「ある程度行われていると思う」が59.1%、「まだ不十分であると思う」が13.1%、「全く行われていないと思う」が0.7%であった。	
	問25. あなたは、可児市からどのようなごみ処理情報がほしいですか？	「ごみと資源の区別」が45.6%、「収集日時と場所の知らせ」が33.6%、「家庭でできるごみ・資源の減量・リサイクル方法」が30.5%であった。	

(3) 事業所アンケート調査

事業所アンケート調査の結果の内、留意が必要な内容を抽出した。

事業所アンケート結果（抜粋）は、以下に示すとおりである。

表1-32 (1) 事業所アンケート結果（抜粋）

項目	設問	結果概要	可児市のごみ処理における課題
ごみ減量・リサイクルの取り組みについて	問6. あなたの事業所では、廃棄物削減の計画を作成し、実行していますか？	「既に行っている」が32.1%、「 今後行っていく 」が 33.9% 、「 今後も行わない 」が 28.6% であった。	・ごみの削減、適正処理への意識の低下 「関係ないと感じる」、「手間やコストがかかる」、「効果が期待できない」などの理由で取り組みを行う意識が低下している。
	問7. 問6で「3. 今後も行わない」と回答した方にお聞きます。その理由は何ですか？	「手間がかかる」が43.8%、「効果が期待できない」が31.3%、「ノウハウがない」と「関係ないと感じる」が25.0%であった。	
	問14. あなたの事業所では、ごみ減量・リサイクルを行う上での問題点は何ですか？	「減量できるものが少ない」が37.5%、「特に問題はない」が30.4%、「ごみとの分別に手間がかかる」が25.0%、「保管スペースがとれない」が17.9%、「従業員の意識改革が難しい」が12.5%であった。	・「減量できるものが少ない」、「手間がかかる」、「保管スペースがとれない」、「従業員の意識改革が難しい」などの問題点がある。
ごみの排出について	問18. あなたの事業所で、排出量の多いごみは何ですか。（重量を把握していない場合は推測で構いません）	「 可燃ごみ（紙類） 」が 83.9% 、「 可燃ごみ（生ごみ、食べ残し等） 」が 32.1% 、「可燃ごみ（木くず、剪定枝等）」が19.6%であった。	・「可燃ごみ（紙類）」の排出量が特に多い。
情報提供について	問21. ごみ減量・リサイクルを推進するにあたり、市に期待することは何ですか？	「 業種別のごみ減量化・リサイクルの方法を示したマニュアルの作成・配布 」と「 ごみ処理業者やリサイクルを行う業者等の紹介 」が 30.4% 、「ごみ減量・リサイクルに関する経済的メリットが得られる仕組みの構築」が26.8%であった。	・業種別のマニュアル作成・配布、業者紹介や経済的メリットが得られる仕組みの構築などの市のサポートが期待されている。
	問22. 食品を取り扱う事業所の方にお聞きます。あなたの事業所での、食品ロスの発生原因は何ですか？	「 賞味期限切れ 」が 50.0% 、「 食べ残し・調理くず 」が 41.7% 、「その他」が16.7%であった。	・食品ロスの発生 前回と同様に「賞味期限切れ」、「食べ残し・調理くず」によって食品ロスが発生しており、あまり改善していない。

表1-32 (2) 事業所アンケート結果 (抜粋)

項目	設問	結果概要	可児市のごみ処理における課題
食品ロスについて	問23. 食品を取り扱う事業所の方にお聞きします。あなたの事業所では、食品ロスを減らす取り組みを行っていますか？	ほとんどの事業所は行っている。 「している」が91.7%、「これから取り組む予定である」が8.3%であった。	・食品ロスを減らす取り組みを行っていない事業所が、前回と変わらず一定数存在する。
	問24. 問23で「1. している」や「3. これから取り組む予定である」と回答した方にお聞きします。あなたの事業所では、どのような取り組みをしていますか（する予定ですか）？	「賞味期限の迫った商品の特価販売」が50.0%、「製造（販売）量に合わせた仕入れ」が41.7%、「ロスが出ないよう商品・材料を見直し」と「調理（生産）くずを減らすための調理（生産）方法の改善」が33.3%であった。	-

10) 関係市町村等の動向

近年のごみ処理は、排出量の変化や質の多様化、環境保全対策、最終処分場の確保等、様々な課題を抱えており、これまでの市町村や一部事務組合ごとの処理体制では困難な状況となっている。

本市は市制施行以前の昭和35年6月に1市4町（美濃加茂市、川辺町、八百津町、可児町、御嵩町）で構成した可茂衛生施設利用組合に加入し、ごみの広域処理を開始した。その後、昭和38年7月には坂祝町、兼山町、昭和39年6月には富加町、七宗町、白川町、東白川村が加入し共同処理を続けてきた。平成11年4月には、ごみ処理施設と一体化した公園「ささゆりクリーンパーク」を市内の塩河地区に整備し、操業を開始している。

平成31年3月に環境省から示された「持続可能な適正処理の確保に向けたごみ処理の広域化及びごみ処理施設の集約化について（通知）」により、岐阜県においても令和4年3月に「岐阜県ごみ処理広域化・集約化計画」が策定されており、その中で現在組合を構成している2市7町1村は「中濃ブロック」に位置付けられている。

図1-20 中濃ブロック管内図



第2章 前計画の目標達成状況

前計画の目標達成状況は、以下のとおりである。

表2-1 前計画の目標達成状況

	単位	実績値		目標値	評価
		H26	R6	R7	
①ごみ総排出量	t/年	27,99837	24,371.6	25,500.0	○
②生活系可燃ごみ 原単位の削減	g/人・日	483.8	468.8	400.0	×
③資源集団回収の原 単位の維持	g/人・日	81.5	25.8	81.6	×

「①ごみ総排出量」は減少傾向にあり、目標は達成済みと、良好な状態である。

背景には、人口減少によってごみの総量が減少していることが考えられる。

一方、「②生活系可燃ごみ原単位の削減」は、削減傾向にはあるが、目標の達成は困難な状況であると言える。

「③資源集団回収の原単位の維持」については、令和6年度の実績値が平成26年度の3割程度まで減少していることから、達成は困難である。その原因として、令和2年度から流行した新型コロナウイルス感染症への対策として、集団で資源回収を行う資源集団回収での回収量が大幅に減少したことに加え、民間の資源回収が活発化したことで、市での資源回収量が減少傾向にあったことが挙げられる。

第3章 ごみ処理に関する課題の整理

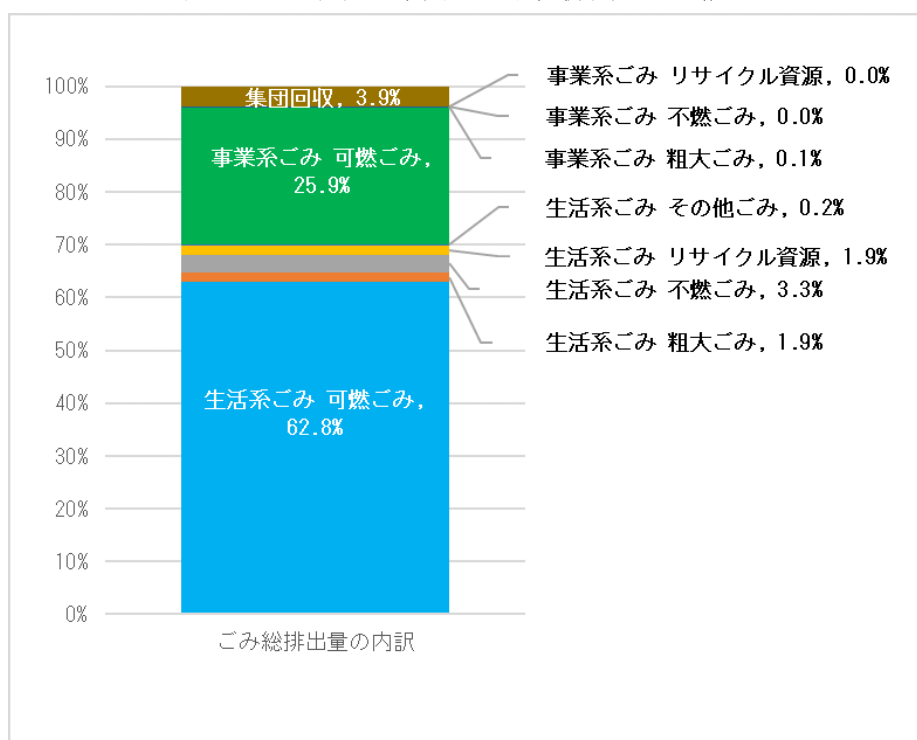
1) ごみ発生・排出抑制に関する課題

(1) 発生・排出抑制を要する重点項目

令和6年度におけるごみ総排出量の内訳を図3-1に示す。

排出されるごみの中では可燃ごみが最も多く、事業系可燃ごみは25.9%、生活系可燃ごみは62.8%を占めており排出抑制対策を重点的に検討する必要がある。

図3-1 令和6年度のごみ総排出量の内訳

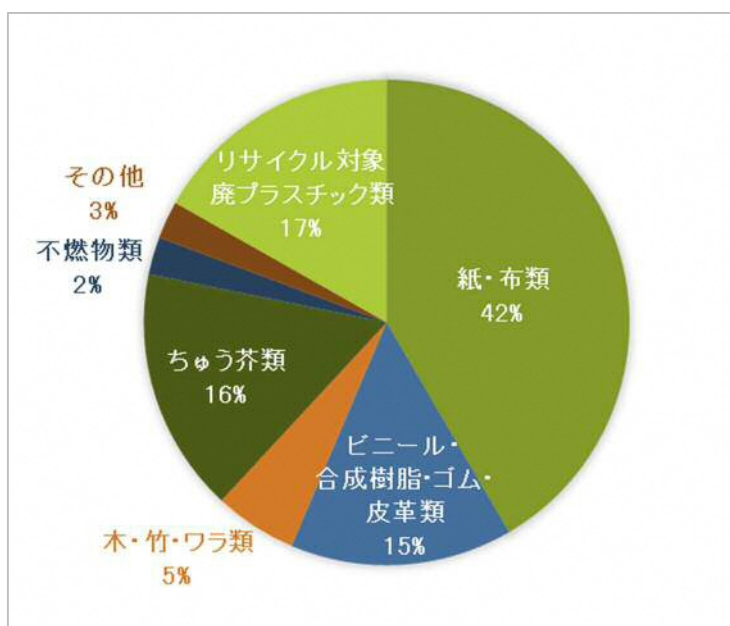


(2) 可燃ごみの減量化

○令和6年度における可燃ごみの種類組成調査結果(乾ベース)では、紙・布類が40.0%、ビニール・合成樹脂・ゴム・皮革類や不燃物が合わせて30%以上を占めている(図3-2参照)。可燃ごみを減らすためには、可燃ごみとして排出されている紙・布類の他、リサイクル対象廃プラスチック類の分別の徹底を図る必要がある。

○令和6年度実施のごみ組成調査結果(湿ベース)では、食品廃棄物が29.1%を占めており排出抑制対策を検討する必要がある(図3-3参照)。

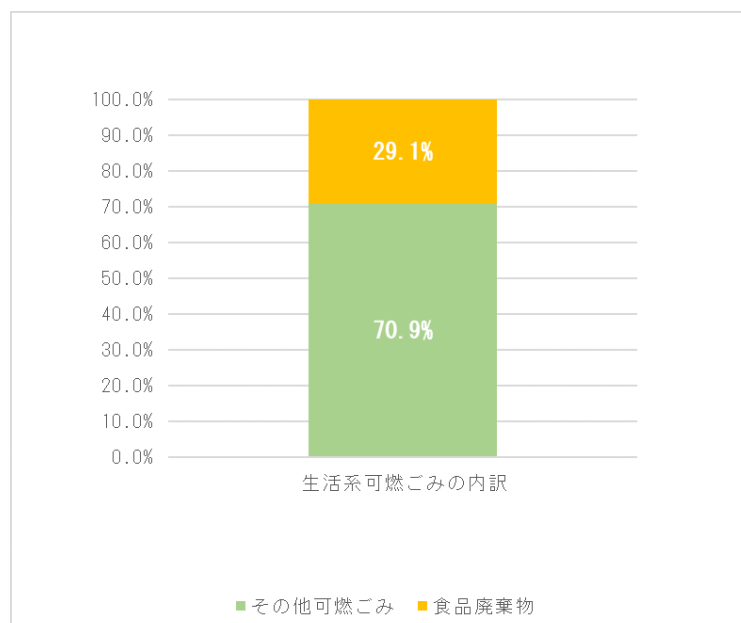
図3-2 令和6年度ごみ処理施設に搬入されたごみ組成調査結果（乾ベース※）



※乾ベースとは乾燥後のごみを種類別に測定した結果

資料：可茂衛生施設利用組合

図3-3 令和6年度ごみ組成調査結果（湿ベース※）



※湿ベースとはサンプリング後のごみをそのまま種類別に測定した結果

2) ごみの資源化に関する課題

- リサイクル資源の回収量について、カン、ペットボトル及びトレイをはじめとし多くの品目がスーパー等の店頭回収が利用されていることが市民アンケート調査結果から確認され、本市が回収する資源ごみの量が減少している要因と推察される。正確な資源化率を把握するためには、店頭回収を実施している店舗に情報提供を求めるなどの検討が必要である。
- これまでの資源化が求められてきたカン、ビン、ペットボトル等の容器包装廃棄物に加え、令和4年4月にプラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律が施行され、プラスチック使用製品廃棄物についてもリサイクルを推進する仕組みが設けられた。本市においては、令和9年度からプラスチック類の一括回収を開始する計画であるが、市民への効果的な啓発や収集運搬体制の整備を行っていく必要がある。

3) ごみの適正処理に関する課題

(1) 収集・運搬に関する課題

- 市民アンケート調査結果では、ごみ・資源回収の回数について概ね8割以上市民がちょうど良いと考えており、今後も現分別品目に対しては現行の体制を維持することが望ましい。ただし、令和9年度から分別を開始する「プラスチック類」については、収集回数や運搬方法等について検討が必要である。
- 生活環境の保全のためにも、ごみ収集車両の安全、安心な収集運搬が求められる。その上で、車両のテールゲートを開けたまま走行しない等のルールを徹底する必要がある。
- 市民アンケート調査結果（自由意見）では、高齢や身体の不自由等により自力でごみ出しが困難との意見があるため、対策を検討する必要がある。

(2) 中間処理・最終処分に関する課題

- 類似団体との比較において平均値を下回っていた「最終処分減量に要する費用」の削減を行う必要がある。具体的には、ごみ排出量を削減しささゆりクリーンパークでの処理量を抑えることで処理に係る分担金を低減する。
- ささゆりクリーンパークエコサイクルプラザ（焼却施設及びリサイクル施設）及び一般廃棄物最終処分場は、地元住民との協定に基づき稼働時期が令和20年度末までとなっており、現在次期ごみ処理施設の計画を行っている。本市も可茂衛生施設利用組合の構成市として、より良い施設建設に向けて事業を遂行する必要がある。

- 陶磁器類等の不燃ごみを直接埋立している大森瓦礫処分場について、埋立残余量の状況に応じて、拡充を検討する必要がある。

(3) その他適正処理に関する課題

- リチウムイオン電池やガスボンベなどの火災原因廃棄物について、可燃ごみの中にリチウムイオン電池などが混入し、ごみ収集車の中で火災となる事例や、処理施設のごみピット（収集ごみを溜めておく場所）で火災となり甚大な被害になっている事例が全国的に急増している。本市では、火災原因廃棄物についてホームページで啓発を行っているが、適正な分別方法等を含めさらに周知する対策を検討する必要がある。
- ごみ集積場の利用マナーについて、アンケートで「どちらかというと思う」「悪いと思う」と回答した割合は 17%程度である。本市は外国人が占める人口の割合が 1 割程度と高く、市民アンケート調査結果（自由意見）でも外国人がごみ出しルールを理解していないとの意見もあることから、正しい分別方法やごみ出し日等の情報が周知できていない可能性がある。なお、ごみ出しの方法について外国語での説明をホームページで公開しているが、さらに周知の方法を検討する必要がある。

第4章 ごみ排出量の推計

1) 推計方法

本市におけるごみ排出量を推計するにあたっては、生活系ごみと事業系ごみに分けて、それぞれ過去の実績値の推移から時系列トレンド推計方式により推計を行った。なお、人口については、可児市人口ビジョンを基に算定した数値を用いた。

排出量の原単位の考え方としては、生活系ごみは人口の増減の影響を受けることから1人1日あたりの排出量(g/人・日)を採用し、事業系ごみは人口の影響を受けないため、1日あたりの排出量(t/日)を用いた。

実績値としては、令和2年から令和6年までの5年間の実績値を基に推計を行った。

推計に用いる推計式は、「ごみ処理施設構造指針解説」(環境省)に基づき、次頁の表4-2に示す式を用いた。また、推計結果では、これまでのごみ量の推移や今後の社会経済情勢等を踏まえ、より実績に近いと考えられる推計式を採用した。

なお、詳細は資料編に示す。

図4-1 各ごみの推計方法及び採用実績

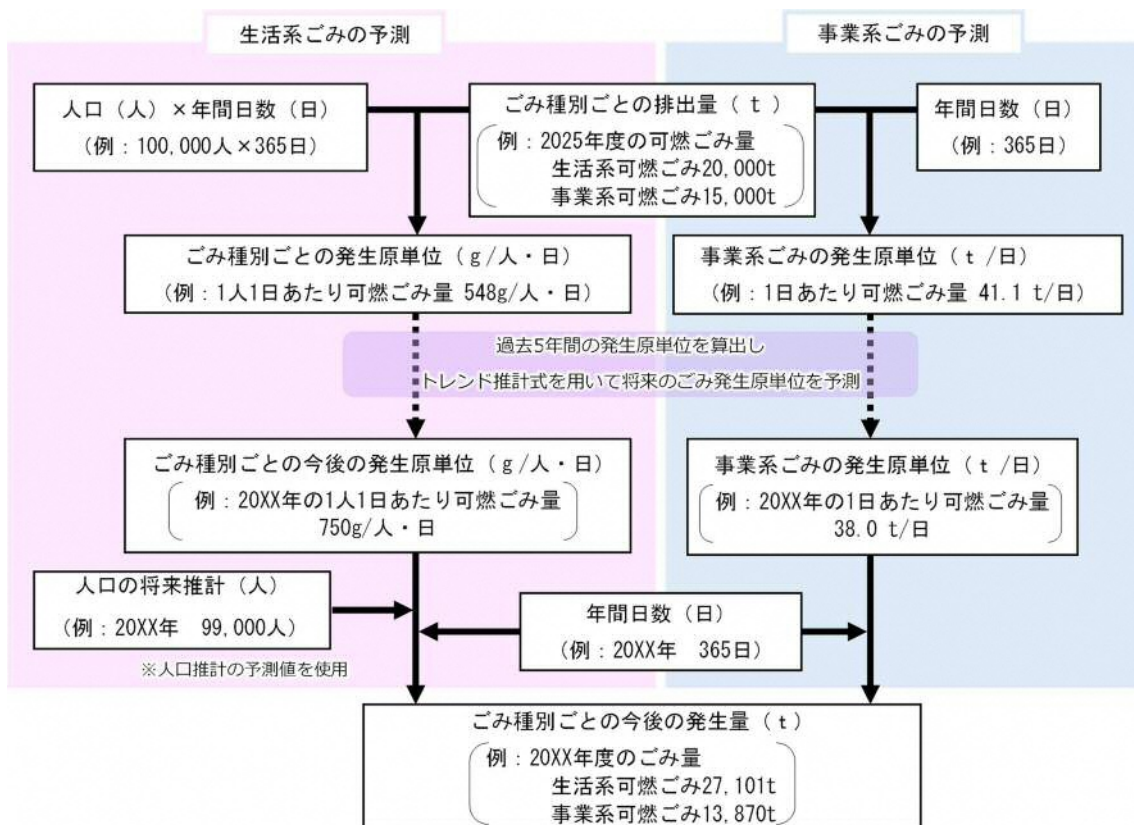


表4-1 推計に用いたトレンド推計式

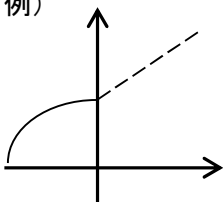
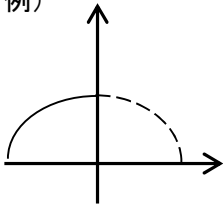
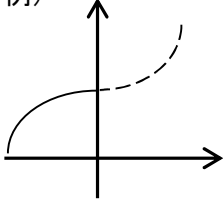
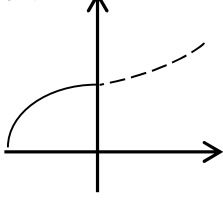
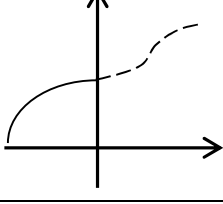
数式	数式図	特徴
一次傾向式 $y = ax + b$	例) 	トレンドを直線に置き換えたときの推計式。 式の a は、この勾配が正符号のとき上昇傾向となり、負符号のとき下降傾向となる。 推計値が少なく出る傾向がある。
二次傾向式 $y = ax^2 + bx + c$	例) 	トレンドを放物線に置き換えたときの推計式。 徐々に増加又は減少を示す曲線。
一次指数式 $y = a \cdot e^{bx}$	例) 	過去のデータの伸びを一定の比率で増加又は減少させる推計式。 増加あるいは減少傾向は急激になる。 過去のデータが同比率的な傾向のときにあてはめやすい。
べき乗式 $y = a \cdot x^b$	例) 	過去のデータの伸びを徐々に増加率（減少率）が増加していく推計式。 実績値が増加し続ける条件で、最もあてはまりが良い。
ロジスティック式 $y = \frac{K}{1 + e^{b-ax}}$	例) 	増加又は減少傾向を加速度的に伸ばした後、徐々に鈍化させ、一定の値で飽和に達する推計式。
y : ごみ量 x : 経過年数 a, b, c : 係数 K : 飽和係数 e : 自然対数の底		
相関係数 【 $-0.2 \leq r \leq 0.2$ 】 : ほとんど相関がない 【 $0.2 \leq r \leq 0.4$ ($-0.4 \leq r \leq -0.2$)】 : 弱い正の（負の）相関 【 $0.4 \leq r \leq 0.7$ ($-0.7 \leq r \leq -0.4$)】 : 正の（負の）相関 【 $0.7 \leq r \leq 1$ ($-1 \leq r \leq -0.7$)】 : 強い正の（負の）相関		

図4-2 人口の推移

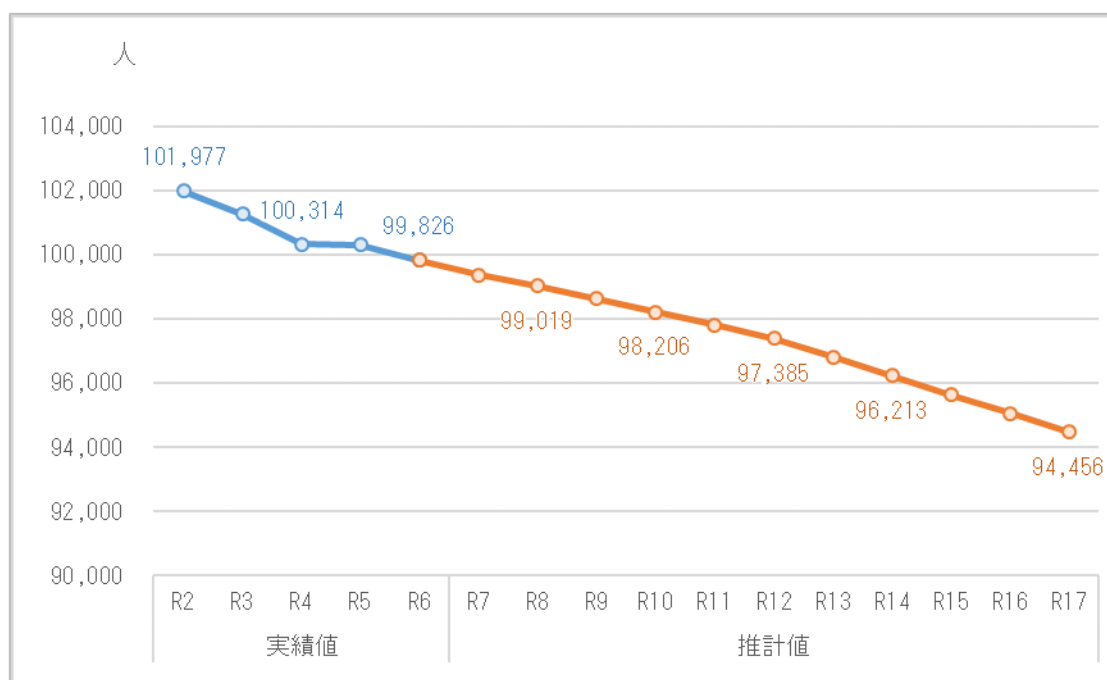


表4-2 推計に用いた人口

年度		人口	参考
実績値	R2	101,977	可児市の統計
	R3	101,249	
	R4	100,314	
	R5	100,297	
	R6	99,826	
推計値	R7	99,360	可児市 人口ビジョン
	R8	99,019	
	R9	98,613	
	R10	98,206	
	R11	97,799	
	R12	97,385	
	R13	96,799	
	R14	96,213	
	R15	95,628	
	R16	95,042	
	R17	94,456	

2) ごみ排出量推計結果のまとめ

前頁までの方法で求めた、令和17年度のごみ総排出量の推計値及び実績値との比較を表4-3及び図4-3に示す。

ごみ排出量は、人口減少にともない全体的に減少することが推測される。

図4-3 ごみ排出量推計結果のまとめ

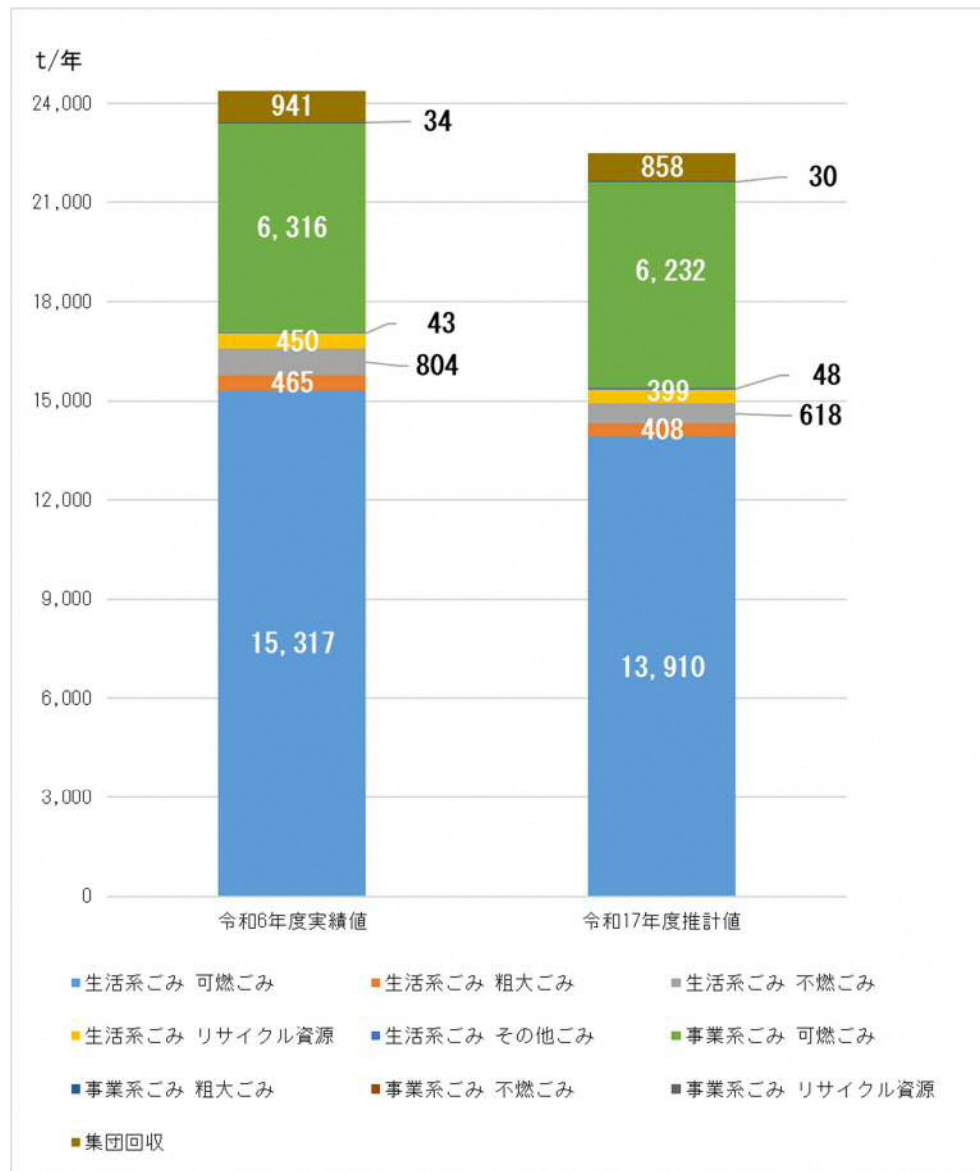


表4-3 ごみ排出量推計結果のまとめ

項目	R6(実績値)		R17(推計値)		R6からの増減	
	排出量 (t/年)	構成比 (%)	排出量 (t/年)	構成比 (%)	排出量差 (t/年)	割合 (%)
生活系ごみ	17,079.70	70.1	15,381.81	68.4	-1,697.89	-1.7
可燃ごみ	15,317.29	62.9	13,909.91	61.8	-1,407.38	-1.0
粗大ごみ	465.40	1.9	407.70	1.8	-57.70	-0.1
可燃粗大	375.75	1.5	359.23	1.6	-16.52	-0.1
不燃粗大	89.65	0.4	48.47	0.2	-41.18	-0.2
不燃ごみ	803.91	3.3	617.81	2.8	-186.10	-0.6
金物類	344.58	1.4	199.47	0.9	-145.11	-0.5
ガラス類	115.35	0.5	109.00	0.5	-6.35	0.0
陶磁器類	343.98	1.4	309.34	1.4	-34.64	0.0
リサイクル資源	450.43	1.9	398.76	1.8	-51.67	-0.1
ビン	285.60	1.2	244.73	1.1	-40.87	-0.1
カン	42.84	0.2	36.47	0.2	-6.37	0.0
ペットボトル	62.54	0.3	66.96	0.3	4.42	0.0
発泡スチロール	12.45	0.1	9.87	0.0	-2.58	0.0
紙容器	47.00	0.2	40.73	0.2	-6.27	0.0
その他ごみ	42.67	0.2	47.63	0.2	4.96	0.0
使用済み小型家電	1.99	0.0	1.04	0.0	-0.95	0.0
廃乾電池	17.09	0.1	24.63	0.1	7.54	0.0
廃蛍光灯等	7.48	0.0	6.51	0.0	-0.97	0.0
廃食用油	3.97	0.0	3.58	0.0	-0.39	0.0
ペットボトルキャップ	1.28	0.0	1.31	0.0	0.03	0.0
無料パソコン回収	1.10	0.0	1.07	0.0	-0.03	0.0
特定ごみ	9.76	0.0	9.49	0.0	-0.27	0.0
事業系ごみ	6,350.84	26.1	6,262.33	27.8	-88.51	1.8
可燃ごみ	6,316.36	25.9	6,231.88	27.7	-84.48	1.8
粗大ごみ	34.39	0.1	30.35	0.1	4.04	0.0
可燃粗大	34.39	0.1	30.35	0.1	-4.04	0.0
リサイクル資源	0.09	0.0	0.10	0.0	0.01	0.0
ビン	0.04	0.0	0.04	0.0	0.00	0.0
カン	0.05	0.0	0.06	0.0	0.01	0.0
資源集団回収	941.02	3.9	857.56	3.8	-83.46	-0.1
新聞	263.74	1.1	228.31	1.0	-35.43	-0.1
雑誌等	368.52	1.5	324.62	1.4	-43.90	-0.1
牛乳パック	8.03	0.0	7.56	0.0	-0.47	0.0
ダンボール	249.44	1.0	257.90	1.2	8.46	0.1
繊維類	33.42	0.1	25.34	0.1	-8.08	0.0
カン	17.87	0.1	13.83	0.1	-4.04	0.0

第5章 ごみ処理基本計画

1) 計画の基本方針

(1) 基本理念

ごみの処理について目指すべき姿は、前計画時から引き続き「循環型社会構築」の実現である。

よって、基本理念は前計画を引き継ぎ、持続可能な循環型社会構築を目指すまちづくりとする。

《基本理念》

持続可能な循環型社会構築を目指す まちづくり

また、循環型社会を構築するには、環境に優しい持続的なまちづくりを進めていく必要があり、そのためには「持続可能な社会」や「脱炭素」に向けた取組が求められてくる。

そこで、基本理念の実現のために、以下の内容を踏まえた計画を策定する。

①主体性のある計画

国、県、その他の関連する諸計画との整合性を図り、本市の特性を加味する。

②市民・事業者・行政連携の計画

市民・事業者・行政がそれぞれの役割を認識し、互いに連携を図る。

③実効性・実現性のある計画

循環型社会を構築するために実効性と具体性を持たせる。

④現状の問題点に対応した計画

本市が抱える具体的な問題点の解決を目指す。

⑤持続可能性と環境へ配慮した計画

本市における地球温暖化対策や環境保全の重要性を踏まえ、持続可能な循環型社会の形成を目指す計画とする。

⑥将来変化への柔軟な対応を考慮した計画

人口構造や生活様式の変化、技術進展を見据え、長期的かつ柔軟に対応できる仕組みを構築する。

(2) 基本方針

基本理念を実現するため、本市のごみ処理における現状と課題を踏まえ、本計画における基本方針を以下のように設定する。

基本方針1 ごみの減量・リサイクルの推進

ごみそのものの削減を基本とし、排出されたごみに対して可能な限りの資源化を行う。

基本方針2 環境に配慮した適正な処理の推進

排出されたごみに対して、可能な限り環境負荷の少ない適正な処理を基本とする。

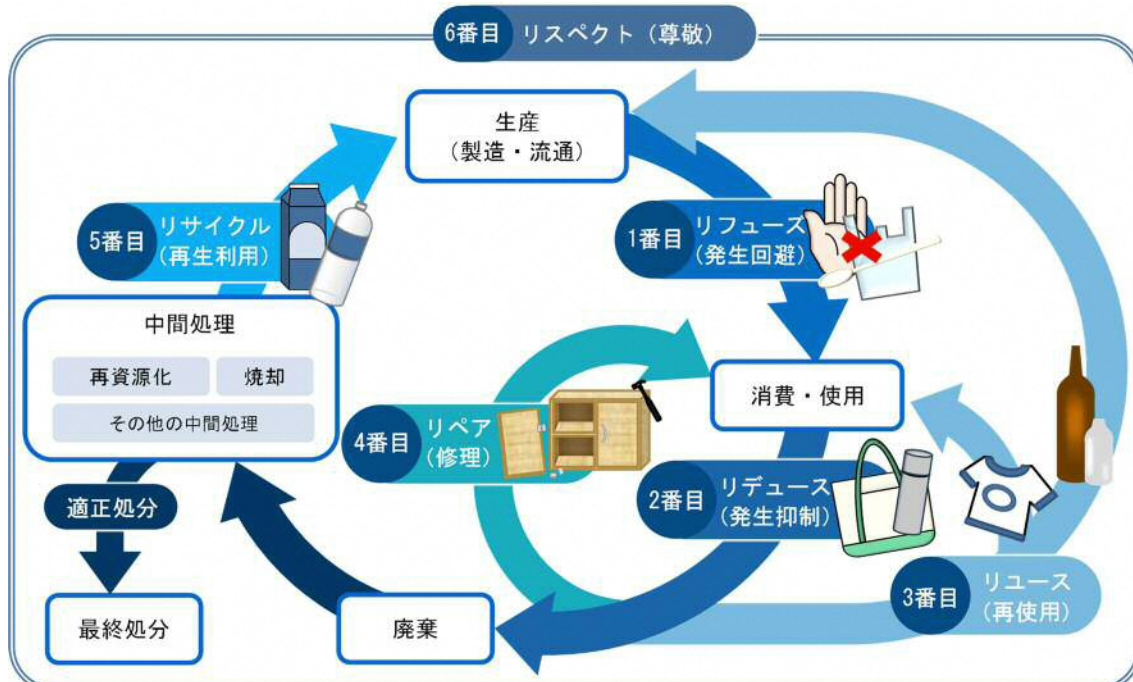
基本方針3 三者協働による取り組みの推進

市民・事業者・行政の役割を明確にし、三者協働による取り組みを推進する。

また、本計画では、環境基本計画の基本指針である6Rを推進することで、循環型社会の構築を目指していくこととする。

6Rの内容及び優先順位は以下の図のとおりとする。

図5-1 6Rの概念図



(3) 処理主体

現況におけるごみ分類の処理主体を表5-1に示す。なお、当面の間は現状の体制を維持していくが、今後、本市のごみ処理を取り巻く状況の変化に応じて、可茂衛生施設利用組合、その他関係機関と協議した上で見直していくこととする。

表5-1 ごみ分類別の処理主体

ごみの分類	排出抑制	分別	収集・運搬	処理・処分
可燃ごみ	排出者	排出者	委託業者 許可業者	組合※ 許可業者
不燃ごみ			委託業者 許可業者	市 組合※
粗大ごみ			委託業者 許可業者	組合※
リサイクル資源			委託業者 許可業者	組合※ 資源化業者
その他ごみ			市 資源化業者	組合※ 資源化業者

※組合：可茂衛生施設利用組合

2) 計画の基本目標

(1) 基本目標

令和7年2月に廃棄物処理法の基本方針が変更され、一般廃棄物処理については、表5-2に示す目標値が設定された。

この中で、③一般廃棄物の出口側循環利用率（リサイクル率）については、資源ごみが民間の店舗等に直接持ち込まれる割合が高く正確な数値を把握できないことから、目標として設定しない。また、⑤一般廃棄物の最終処分量については、令和6年度時点で最終処分率が1.7%程度と低く、これ以上の削減は望めないことから目標として設定しない。

このことから、表5-3に示す3つの指標を目標とする。

なお、基本方針の目標年度が令和12年度であるため、本計画の令和12年度の予測値が値を満たした上で、さらなる向上を目指し本計画の目標年度である令和17年度の目標値を設定する。

表5-2 廃棄物処理法の基本方針目標値

指標		目標値 令和12年度目標値
①	一般廃棄物の排出量	令和4年度比 約9%削減
②	一人一日当たりの家庭系ごみ排出量	約478グラム
③	一般廃棄物の出口側循環利用率	約26%
④	一人一日当たりごみ焼却量	約580グラム
⑤	一般廃棄物の最終処分量	令和4年度比 約5%削減

表5-3 本計画基本目標値

指標		廃棄物処理法 基本方針目標値	本計画目標値 【令和12年度】	本計画目標値 【令和17年度】
目標1	一般廃棄物の排出量	令和4年度比 【令和12年度】 約9%削減	11.5%削減	16.4%削減
目標2	一人一日当たりの 家庭系ごみ排出量	【令和12年度】 約478グラム	421グラム	390グラム
目標3	一人一日当たり ごみ焼却量	【令和12年度】 約580グラム	579グラム	546グラム

(2) 施策前後における目標項目の見込み

本計画では、各種の施策（P.64以降）を講ずることで、目標を達成していくこととする。

各種の施策を実施しない場合を「施策前」、実施した場合を「施策後」とし、目標の各項目の推移を表5-4及び図5-2～図5-4に示す。

表5-4 施策前後におけるごみ排出量の変化

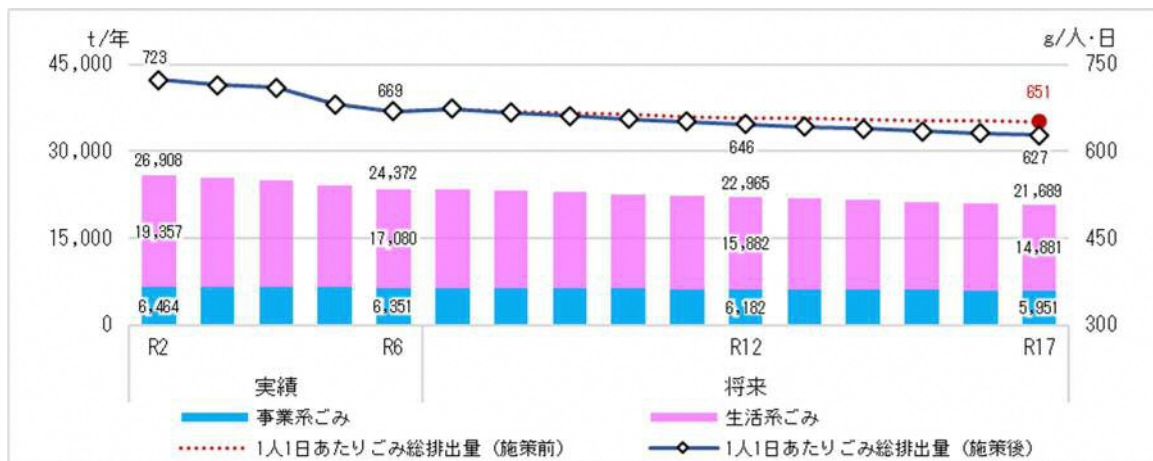
項目	実績値	推計値			
		施策前		施策後	
	R6 (t)	R17 (t)	R6からの 増減率 (%)	R17 (t)	R6からの 増減率 (%)
ごみ総排出量	24,371.56	22,511.70	-7.6	21,689.48	-11.0
生活系ごみ	17,079.70	15,381.81	-9.9	14,881.05	-12.9
家庭系ごみ	16,597.35	14,945.43	-10.0	13,470.98	-18.8
事業系ごみ	6,350.84	6,272.33	-1.2	5,950.87	-6.1

① ごみ総排出量

1人1日あたりごみ総排出量の施策前後の推計結果を図5-2に示す。

施策を実施することで、令和17年度において施策前から約24gのごみを削減することができる。

図5-2 1人1日あたりごみ総排出量の推計結果

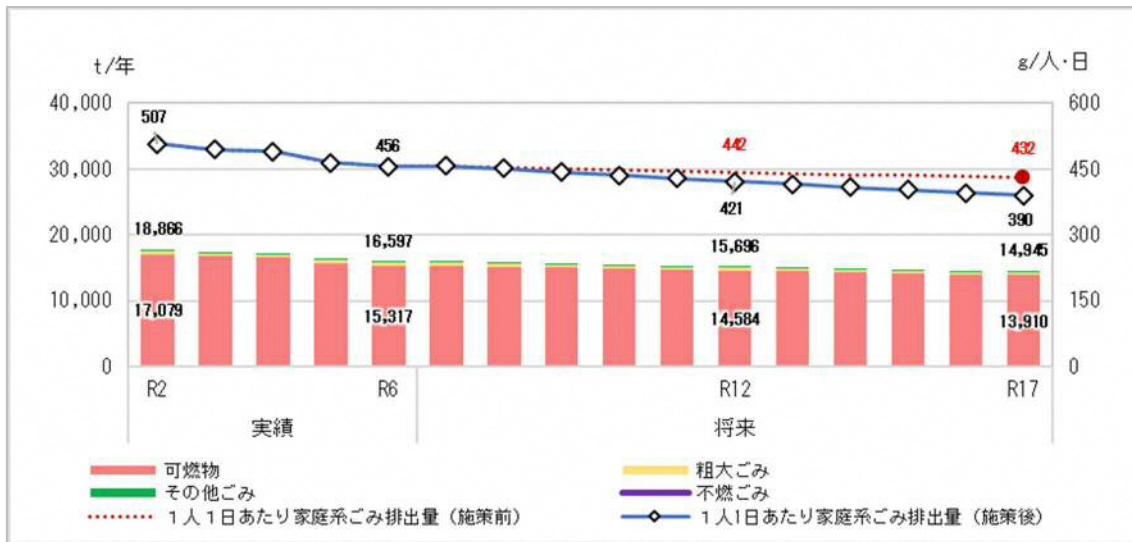


② 1人1日あたり家庭系ごみ排出量

1人1日あたり家庭系ごみ排出量の施策前後の推計結果を図5-3に示す。

施策を実施することで、令和17年度において施策前から約42gのごみを削減することができる。

図5-3 1人1日あたり家庭系ごみ排出量の推計結果

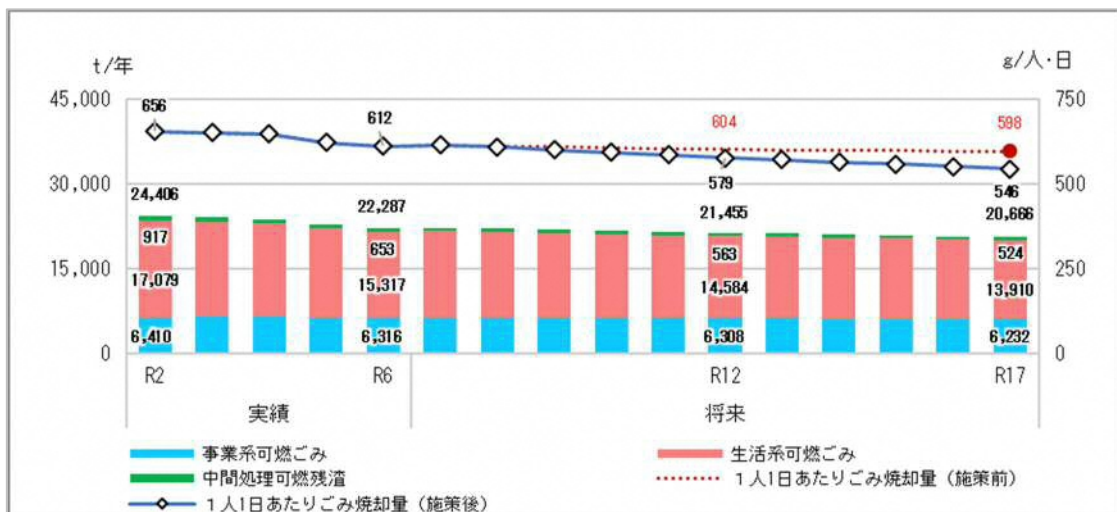


③ 1人1日あたりごみ焼却量

1人1日あたりごみ焼却量の施策前後の推計結果を図5-4に示す。

施策を実施することで、令和17年度において施策前から約52gのごみ焼却量を削減することができる。

図5-4 1人1日あたりごみ焼却量の推計結果



3) 基本施策

(1) 具体的な方策

本計画は基本方針に基づき、「ごみの減量・リサイクルのための取組」、「適正処理のための取組」及び「三者協働のための取組」を基本的な施策とし、表5-5～図5-7に示す施策を実施していく。

表5-5 (1) ごみの減量・リサイクルのための取組に関する施策

施策一覧			市民	事業所	行政
ごみの減量・リサイクルのための取組					
1	【継続】 情報提供の充実 及びPRの継続	ホームページ、広報かに、すぐメールかに、さんあー等の情報媒体やイベント等での情報提供及びPRを継続して実施し、引き続き、市民からのごみ減量・分別の協力を求める	-	-	○
2	【継続】 リサイクル施設 の利用促進	エコドームやエコサイクルプラザ等の利用促進のためのPRを継続し、状況に合わせた収集品目や日時の見直しを実施する	-	-	○
3	【継続】 学校等における 意識啓発	小中学校の児童への環境教育及び自治会などを対象とした出前講座を実施し、内容を充実することでごみに関する市民の関心を深める	-	-	○
4	【継続】 リサイクルの 促進	店頭回収実施店舗の調査及び市民への周知や資源集団回収の促進・啓発を実施することで、リサイクルされる量の増加を図る	-	-	○
5	【新規】 プラごみ 一括回収の実施	ごみ組成調査の結果から、可燃ごみに約20%のプラスチック製品が含まれていることが確認されているため、令和9年度からプラスチック製品の回収を実施し、焼却から資源化への移行を図る	○	-	○
6	【新規】 食品ロス削減	食品ロス削減のための取組を推進する (詳細は「第2部 食品ロス削減推進計画」)	○	-	○
7	【改善】 生ごみの減量	生ごみ処理機等の購入補助を継続して実施するほか、調理くずの水切り啓発を促進することで、ごみ量と焼却時の環境への負担の削減を軽減する	○	-	○

表5-5 (2) ごみの減量・リサイクルのための取組に関する施策

施策一覧			市民	事業所	行政
ごみの減量・リサイクルのための取組					
8	【継続】 バイオマス事業の継続	引き続き食品廃棄物を有効利用した堆肥化やメタン発酵を実施し、剪定枝等の市での分別収集や資源化について検討を行う	-	-	○
9	【新規】 外国人への対応の充実	ごみの出し方・分け方の多言語への対応を進め、スマートフォンに対応したアプリケーションを用いた分別の啓発の調査・研究を進める	-	-	○
10	【新規】 粗大ごみリユースの啓発	不用品リユース事業の周知を徹底し、ごみとして排出される物品の再使用を図る	○	-	○
11	【新規】 脱炭素のための取組の啓発	サステイナブルファッション※ ¹ やシェアリング・エコノミー※ ² 等、ごみの削減による脱炭素の取組について啓発を行う	○	-	○

※1 ファッション業界は、環境負荷が大きく、大量生産・大量消費の業界の中で、衣服1着をつくるのに排出されるCO₂は約25.5kg、排水は2,300Lが排出されます。
持続可能（サステイナブル）なファッション業界を実現するためには、政府や企業だけでなく、消費者も、「服を長く大切に着る」、「リユース（再使用）ファッションを楽しむ」、「環境に優しい作られ方がチェック」、「服を資源として再活用する」などの身近なアクションを意識することが求められています。

※2 シェアリングエコノミーは、個人等が所有する活用可能な資産等（スキルや時間等も含む）を、インターネット上のマッチングプラットフォームを介して他の個人等も利用可能とする経済活性化活動のことです。
例えば、フリマアプリにより「物」のシェアサービスを活用することにより、ごみの発生量が減少し、ごみ処理時のCO₂排出量も減少します。

表5-5 (3) ごみの減量・リサイクルのための取組に関する施策

施策一覧			市民	事業所	行政
ごみの減量・リサイクルのための取組					
12	【継続】 廃棄物減量計画書の提出要請	一定規模以上の事業所に対して「廃棄物減量計画書」の提出を要請し、中小規模の事業所にも自主的な作成を呼びかけ、事業者の自主的な活動により事業系ごみの減量化を図る	-	○	○
13	【継続】 自己処理責任の周知徹底、指導強化	事業者に対して、ごみの自己処理責任（排出者が責任をもって処理する義務）について周知徹底するとともに、生活系ごみに入る混入抑制を含め、事業系ごみの排出・分別についての指導を強化する	-	○	○
14	【継続】 事業系ごみの減量・資源化の推進	事業所から出るオフィスごみの減量・資源化の推進とともに、食品リサイクル法に基づき、食品廃棄物の有効利用を推進するため、今までごみとして処分されていたものを食品循環資源として再利用することを啓発する	-	○	○
15	【継続】 ごみ処理施設における不適物排除の指導強化	ささゆりクリーンパークに搬入される事業系ごみについて、分別の徹底や不適物の排除を行うため、可茂衛生施設利用組合と協議の上、排出事業者や許可業者に対して搬入時の受入検査・指導を強化する	-	○	○

表5-6 (1) 適正処理のための取組に関する施策

施策一覧			市民	事業所	行政
適正処理のための施策					
16	【改善】 効率的な収集・運搬体制の構築	現行の収集運搬体制の見直しに加え、令和9年度より新たに回収されるプラスチック製品の収集運搬方法を検討し、より効率的な収集運搬体制を構築する	-	-	○
17	【継続】 ごみステーションの適正な管理	可燃物・不燃物集積場やリサイクルステーションの設置・維持・管理に関して、市と市民がともに責任を持ち、清潔で安全かつ適正な管理ができるように、各自治会や賃貸住宅経営者（管理者）との協働による管理体制を構築する	○	○	○
18	【継続】 ごみ出しが困難な市民に対する支援の検討	高齢の方及び障がい等によって、自力でごみ出しが困難となる市民を支援するため、ボランティア等の協力によるごみの出しやすい環境整備について検討する	○	-	○
19	【継続】 中間処理施設の維持・整備	ごみの適正処理体制の構築を目指し、資源・エネルギーの有効利用や最終処分量の減量・減容化を図るため、可茂衛生施設利用組合と協議の上で、ささゆりクリーンパーク内の既存施設の維持・改修を計画的に実施する	-	-	○
20	【継続】 環境保全対策の推進	ごみ処理施設や最終処分場の環境保全対策を引き続き実施し、適正な維持管理を行う また、現有施設の更新時には、今後ますます強化される規制基準等を遵守できる公害防止設備を備えるものとし、稼働の際には規制物質等を定期的にモニタリングする等、二次公害防止に努め、地域住民の生活環境を保全する	-	-	○
21	【継続】 最終処分場の適正な管理	ささゆりクリーンパーク内にある最終処分場については、可茂衛生施設利用組合との連携により、今後も引き続き適正な管理を推進する また、陶磁器類等の直接埋立を行っている市瓦礫処分場について、今後の排出状況を見ながら施設の拡充を図る	-	-	○

表5-6 (2) 適正処理のための取組に関する施策

施策一覧			市民	事業所	行政
適正処理のための取組					
22	【継続】 適正処理困難物 への対応	タイヤや消火器をはじめとする適正な処理が困難な廃棄物や、医療系廃棄物、水銀等の人体や環境に深刻な影響を及ぼすおそれのある廃棄物については、市としての収集・処理を行わないものとするが、処理が可能な民間業者の紹介等、適正な処理方法の周知を図る	-	-	○
23	【継続】 災害ごみへの 対応	可児市災害廃棄物処理計画及び事業継続計画の見直しを定期的の実施し、常に最新の情報に更新していくこととし、災害時には可茂衛生施設利用組合や構成市町村と連携し、適切な処理ができる体制の整備に向けた検討を進める	-	-	○
24	【継続】 不法投棄の防止	不法投棄は、分別費用や分別ルールの複雑化及び悪質な業者の存在等が要因による増加、市外の住民、悪質業者が持ち込む場合も懸念されていることから、市民、事業者に対する啓発を進めて不法投棄の意識向上を図り、地域での監視体制への協力を呼びかけるとともに、違法行為に対して厳格に対応するよう努める	○	○	○
25	【新規】 火災廃棄物の混 入防止	可燃ごみ中にリチウムイオン電池が混入し、ごみ収集車や処理施設のごみピット（収集ごみを溜めておく場所）で火災が発生し、大きな被害につながる事例が全国的に急増している 本市では、ガスボンベやライターについてはすでに適切なごみの出し方をホームページ上で啓発しているが、今後はリチウムイオン電池についても、具体的な使用製品を示すとともに、適正な処理方法について啓発を行う。	○	○	○

表5-7 三者協働のための取組に関する施策

施策一覧			市民	事業所	行政
三者協働のための取組					
26	【継続】 市民参加型 イベントの開催	ごみの排出抑制及びリサイクル資源の再利用（リユース）を促進するためのPRを行うとともに、ごみや環境をテーマとしたセミナーやシンポジウム等、市民参加型のイベントを開催し、ごみに対する理解を深める機会を提供する	○	-	○
27	【継続】 各種活動団体 への支援	ごみの減量やリサイクルに自主的に取り組んでいるグループ・団体等の活動内容を紹介し、市民や事業者の活動へ参加を呼びかけるとともに、活動場所や情報の提供等の支援や、市民グループ、商業団体、消費者団体、NPO団体との連携により、市内における活動団体のネットワーク化を図る	○	-	○
28	【継続】 新たなごみ処理 技術の開発支援	ごみの多様化し複雑化に対応して、再生利用や環境に負荷をかけない適正な処理を重視した新たなごみ処理技術の情報収集及び調査研究を進め、事業者への技術開発の支援を行う	-	○	○
29	【継続】 拡大生産者責任 制度の導入検討	ごみの発生源である事業者に対して、製品の生産・使用段階から、廃棄・リサイクル段階まで責任を課す制度の導入について調査・検討を行う	-	○	○
30	【継続】 三者の調整役と して役割の推進	廃棄物処理に関する計画や目標の設定、市民への情報公開や環境教育、活動支援、事業者への減量・分別の指導など幅広い役割を担うとともに、市民・事業者・行政の三者が協働できる体制整備の調整役として、資源循環型社会の実現にむけた取り組みを推進する	-	-	○
31	【継続】 関連部署・関係 機関等との連携 強化	他の関連部署や関係機関等との連携を強化し、協力と理解を得ながら、円滑な事業の推進を図る	-	-	○

(2) 施策のスケジュール

各施策の実施スケジュールは、表5-8に示すとおりである。

表5-8 (1) 施策のスケジュール

		実施時期									
		R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
ごみの減量・リサイクルのための取組	1 情報提供の充実及びPRの継続	継続実施									
	2 リサイクル施設の利用促進	継続実施									
	3 学校等における意識啓発	継続実施									
	4 リサイクルの促進	継続実施									
	5 【新規】プラごみ一括回収の実施	検討									
	6 【新規】食品ロスの削減	実施									
	7 【改善】生ごみの減量	実施									
	8 バイオマス事業の継続	実施									
	9 【新規】外国人への対応の充実	実施									
	10 【新規】粗大ごみリユースの啓発	継続実施									
	11 【新規】脱炭素のための取り組みの啓発	実施									
	12 廃棄物減量計画書の提出要請	継続実施									
	13 自己処理責任の周知徹底、指導強化	継続実施									
	14 事業系ごみの減量・資源化の推進	継続実施									
	15 ごみ処理施設における不適物排除の指導強化	継続実施									

表5-8 (2) 施策のスケジュール

		実施時期										
		R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	
適正処理のための施策	16	【改善】効率的な収集・運搬体制の構築										
		実施										
	17	ごみステーションの適正な管理										
		継続実施										
	18	ごみ出しが困難な市民に対する支援の検討										
		継続実施										
	19	中間処理施設の維持・整備										
		継続実施										
	20	環境保全対策の推進										
		継続実施										
三者協働のための取組	21	最終処分場の適正な管理										
		継続実施										
	22	適正処理困難物への対応										
		継続実施										
	23	災害ごみへの対応										
		継続実施										
	24	不法投棄の防止										
		継続実施										
	25	【新規】火災廃棄物の混入防止										
		検討										実施
三者協働のための取組	26	市民参加型イベントの開催										
		継続実施										
	27	各種活動団体への支援										
		継続実施										
	28	新たなごみ処理技術の開発支援										
		継続実施										
三者協働のための取組	29	拡大生産者責任制度の導入検討										
		継続実施										
	30	三者の調整役として役割の推進										
	継続実施											
三者協働のための取組	31	関連部署・関係機関等との連携強化										
		継続実施										

4) 収集運搬計画

(1) 収集運搬計画に関する基本方針

本計画において、収集運搬については以下の基本方針に沿って実行する。

基本方針 効率的かつ持続可能な収集運搬体制の構築

プラスチック類の資源化に対応するため、収集ルートや運搬スケジュールの見直しを行い、効率的な運営を図る。

(2) ごみの収集量

施策を実施することによる、本市の計画目標年度までのごみの収集量については、図5-5及び表5-9示す。

図5-5 ごみの収集量の推移

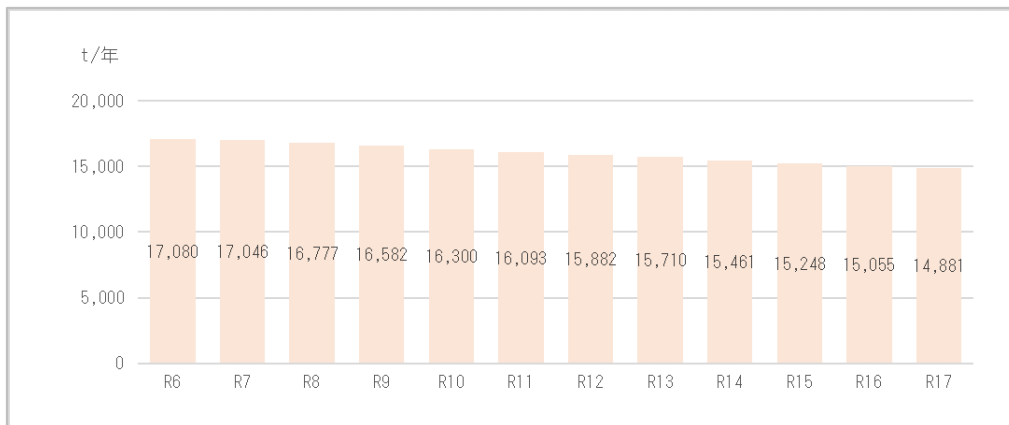


表5-9 ごみの収集量の推移

単位：t

	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
ごみ収集量	17,080	17,046	16,777	16,582	16,300	16,093	15,882	15,710	15,461	15,248	15,055	14,881
可燃ごみ	15,317	15,358	15,122	14,831	14,461	14,160	13,855	13,616	13,284	12,982	12,703	12,436
粗大ごみ	465	456	449	444	438	433	428	425	419	415	411	408
不燃ごみ	804	764	740	721	702	686	673	661	647	636	626	618
リサイクル資源	450	417	416	536	651	764	876	958	1,062	1,166	1,268	1,372
(内プラスチック類)	0	0	0	120	238	353	467	550	657	764	868	974
その他ごみ	43	50	50	50	50	49	49	49	48	48	48	48

(3) ごみの収集方法

本市の計画目標年度のごみの収集方法については、表5-10に示す。なお、現体制から変更する部分については赤字で示す。

表5-10 ごみの収集方法（令和17年）

区分		収集形態	収集回数	排出方法
可燃ごみ		委託	週2回	有料指定袋
不燃ごみ	ガラス類	委託	月1回	有料指定袋
	金物類			
	陶磁器類	委託	2ヶ月に1回	
粗大ごみ		委託	月1回	有料シール
その他ごみ	乾電池	直営	随時	回収ボックス
	蛍光管 水銀式体温計 水銀式血圧計	直営	随時	回収ボックス
	使用済み小型家電	直営	随時	回収ボックス
	充電式電池	直営	随時	回収ボックス
特定ごみ		委託	随時	(株)橋本・小森産業(株)
リサイクル資源	ビン4種類	委託	月1回	リサイクルボックス
	カン2種類			リサイクルネット
	ペットボトル			
	発泡スチロール・トレイ			
	紙容器			リサイクルボックス横
	プラスチック類	委託	計画中	計画中
「ボトル to ボトル」リサイクル		直営	随時	回収ボックス・リサイクルネット

5) 中間処理計画

(1) 中間処理計画に関する基本方針

本計画において、中間処理については以下の基本方針に沿って実行する。

基本方針 中間処理施設の効率的なごみ処理の実現に貢献する

ごみ減量・リサイクルのための施策を実行していくことで、組合施設へのごみの搬入の抑制及び可燃ごみの水分の削減等による、処理負荷の軽減と効率的なごみ処理の実現を目指す。

(2) 中間処理計画量

施策を実施することによる、本市の計画目標年度までのごみの収集量については、図5-6及び表5-11示す。

図5-6 中間処理量の推移

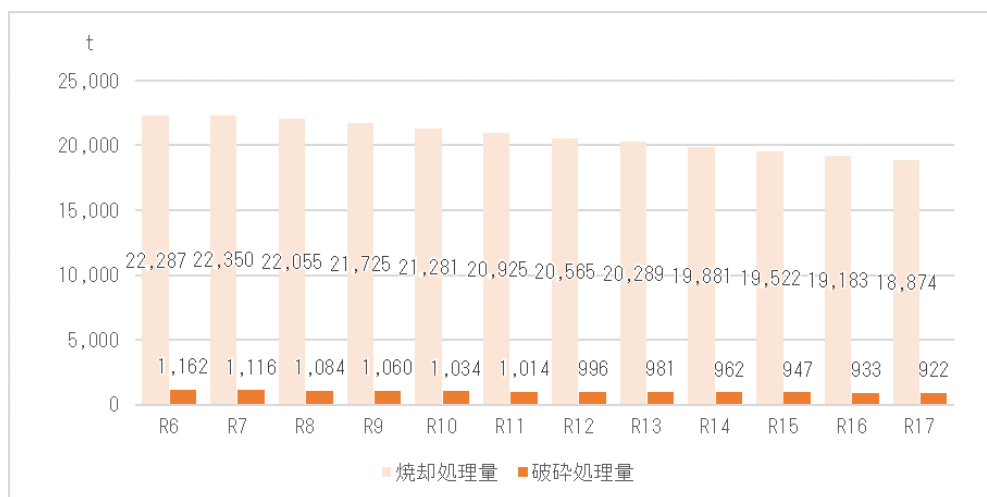


表5-11 中間処理量の推移

単位：t

	R6	R7	R8	R9	R10	R11
中間処理量	23,449	23,466	23,139	22,786	22,316	21,940
焼却処理量	22,287	22,350	22,055	21,725	21,281	20,925
破碎処理量	1,162	1,116	1,084	1,060	1,034	1,014

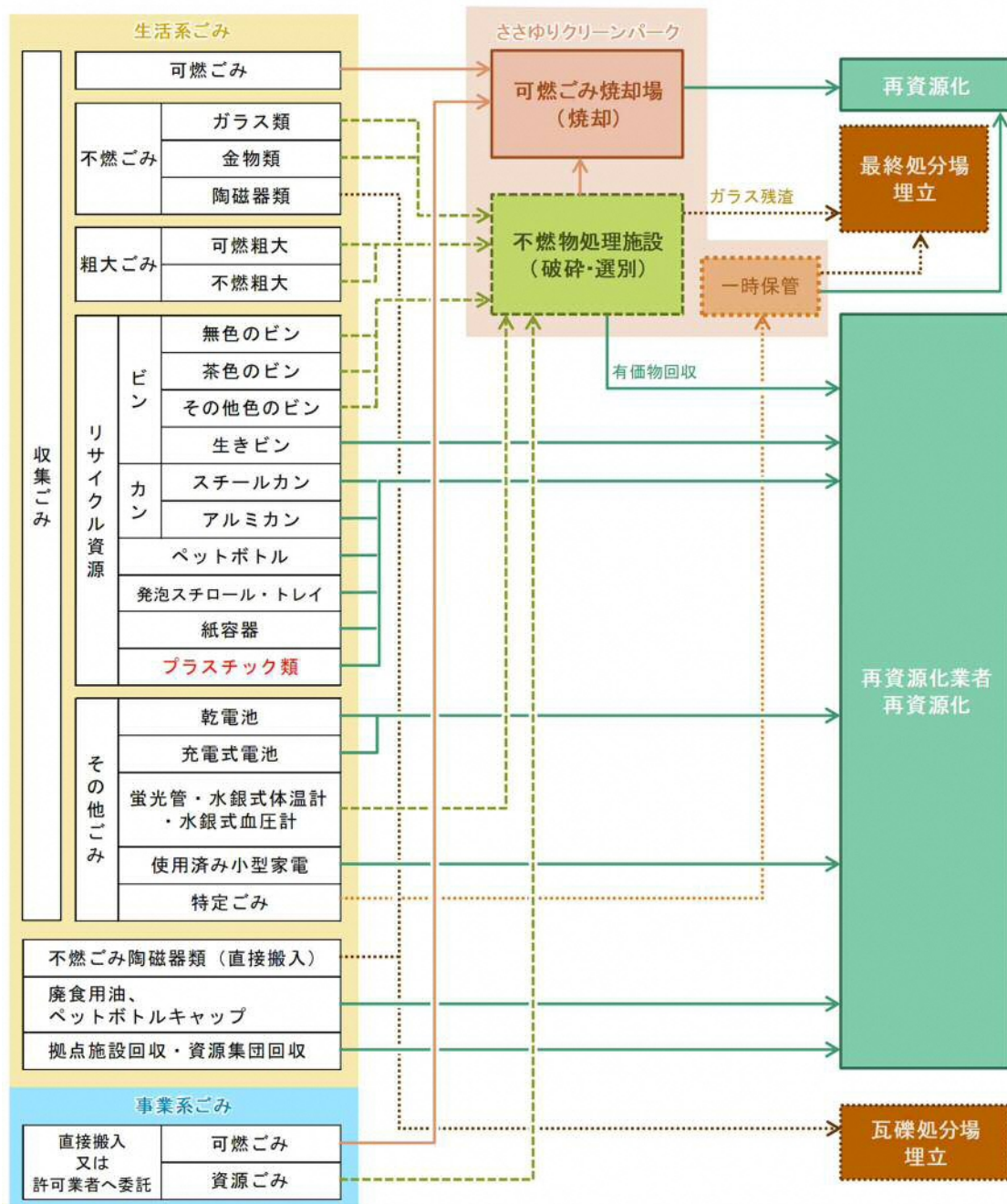
	R12	R13	R14	R15	R16	R17
中間処理量	21,561	21,270	20,843	20,469	20,116	19,796
焼却処理量	20,565	20,289	19,881	19,522	19,183	18,874
破碎処理量	996	981	962	947	933	922

(3) ごみ処理フロー

本市の計画目標年度のごみ処理フローについては、図5-7に示す。

なお、現体制から変更する部分（「プラスチック類」の項目追加）については赤字で示す。

図5-7 ごみ処理フロー予定（令和17年度）



6) 最終処分計画

(1) 最終処分計画に関する基本方針

本計画において、最終処分については以下の基本方針に沿って実行する。

基本方針 持続可能な最終処分体制の維持に努める

最終処分場の適正な管理を継続する。

(2) 最終処分計画量

施策を実施することによる、本市の計画目標年度までのごみの収集量については、図5－8及び表5－12に示す。

図5－8 最終処分量の推移

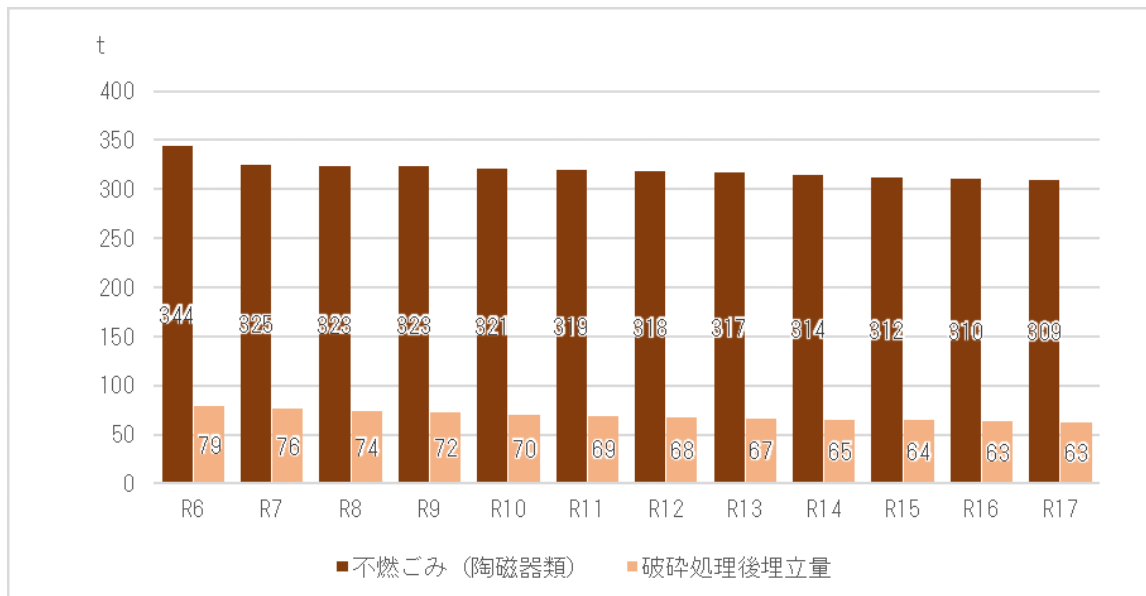


表5－12 最終処分量の推移

単位：t

	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
最終処分量	423	400	397	395	390	389	386	384	379	376	373	373
不燃ごみ (陶磁器類)	344	325	323	323	321	319	318	317	314	312	310	309
破碎処理 後埋立量	79	76	74	72	70	69	68	67	65	64	63	63

7) ごみ処理施設の整備

平成11年度に整備した「ささゆりクリーンパークエコサイクルプラザ」（焼却施設及びリサイクル施設。以下「既存施設」という。）の稼働期間は、地元住民との協定に基づき『40年間（令和20年度末まで）』としている。そのため、稼働期限の令和20年度末までに既存施設に代わる一般廃棄物処理施設（以下「次期ごみ処理施設」という。）を建設し、令和21年度から次期ごみ処理施設でのごみ処理を計画している。

なお、次期ごみ処理施設の処理体制については、岐阜県が定める「岐阜県ごみ処理広域化・集約化計画」との整合を図りながら建設計画を進めていく。

8) その他

（1）可児市廃棄物減量等推進審議会及び環境推進員

本市における廃棄物の減量化対策を実効あるものとするため、廃棄物減量等推進審議会による情報・意見交換を実施する。

（2）事業者の協力

ごみの発生抑制や資源循環の推進には、事業者の積極的な協力が不可欠である。

特に外食産業や小売業における食品ロスの削減や、環境に配慮した商品の開発・提供は、市全体のごみ削減効果に直結する。

市は事業者との情報共有や好事例の普及に努め、持続可能なライフスタイルと消費行動の定着を支援し、今後も、事業者と連携した取組を推進し、地域全体で循環型社会の形成を目指すこととする。

（3）災害廃棄物対策

近年、地震・風水害・土砂災害等が全国で多発しており、被災地では、ごみ処理行政の継続と災害廃棄物の迅速で適正な処理が求められている。

本市では、令和3年度に改定した「可児市災害廃棄物処理計画」に基づき、災害時に発生する大量の廃棄物を迅速かつ適正に処理し、災害時における地域の環境保全と公衆衛生を確保し、早期の復旧や復興を目指すこととする。

（４）不法投棄対策

不法投棄は市民生活の安全・安心を脅かす行為であるとともに、適正な廃棄物処理の妨げとなるものである。

近年は多くの自治体の努力によって全国的には減少傾向にあるもの、市民アンケートでは依然として不法投棄が多く確認されており、さらなる対策の強化が求められている。

今後は定期的な巡回や監視活動に加え、市民との情報共有による早期発見・通報体制の強化に努め、未然防止策として、啓発看板の設置や広報活動を継続的に実施するとともに、悪質な投棄には関係機関と連携し、厳正に対応していくこととする。

（５）温室効果ガス

ごみの焼却処理に伴い排出される温室効果ガスは、本市の環境負荷の主要因のひとつである。今後、可燃ごみ量の減少が見込まれることから、焼却由来のCO₂排出量についても一定の削減が期待される。

引き続き排出抑制・分別の徹底による焼却量の抑制を推進するとともに、広域的な焼却施設の効率的な運用や省エネルギー化の動向を注視しながら、温室効果ガスの排出抑制に取り組むこととする。

コラム ごみを減らすと、どのように温室効果ガスが減少するのか

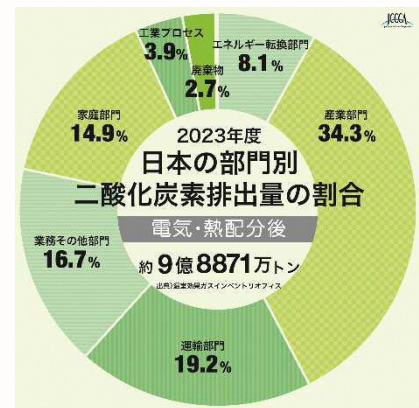
ごみ処理に伴う温室効果ガス排出量は、排出量全体の2.7%を占めており、そのほとんどが、可燃ごみの約20%を占めているプラスチックごみの焼却が原因である。

しかし、プラスチックごみ以外のごみを減らすことは、温室効果ガスの減少につながらないわけではない。

ごみそのものを減らす取組は、結果として製造の縮小や流通にかかるエネルギー及び資源の消費を抑えることにもなる。

一人ひとりがごみの減量に取り組むことで、結果として大きな温室効果ガスの削減が実現することになる。

本市は、令和12年に温室効果ガスを2013年度比で70%削減することを目標とする温室効果ガス削減計画を策定し、市全体の温室効果ガス排出量を削減に向けた取組を進めている。今後とも関係施策と連携しながら、ごみ減量と温室効果ガスの削減を一体的に進めていく。



出典：全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト
(<https://www.jccca.org/>)

第2部 食品ロス削減推進計画

第1章 食品ロス削減に関する基本的事項の整理

1) 食品ロスの概要

(1) 食品ロスとは

食品ロスとは、本来食べることができるにも関わらず捨てられてしまう食品のことで、その主な要因は、家庭においては「食べ残し」、「過剰除去」及び「消費・賞味期限切れ」であり、事業者においては「規格外品」、「返品」、「売れ残り」、「作りすぎ」及び「食べ残し」である。

食品ロスは、単に食品の無駄という身近な問題であるだけでなく、廃棄に伴う地球規模での気候変動や生産資源の無駄、貧困や飢餓問題などに大きく関係していることから、国際的な紛争につながる可能性があるかと懸念されている。

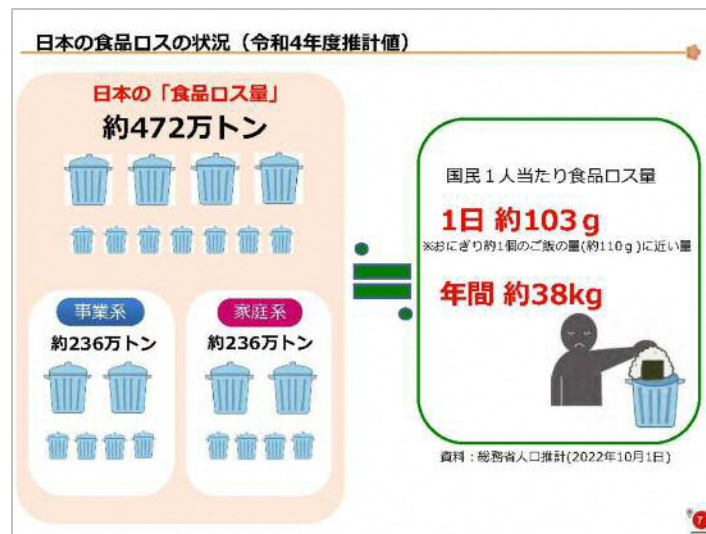
(2) 国内外の動向

国際的には、持続可能な開発目標（SDGs）の「目標12 つくる責任 つかう責任」で重要な柱の一つとして位置づけられるなど、世界的にも大きな課題となっている。

わが国においては、国・地方公共団体・事業者・消費者等の多様な主体が連携し、国民運動として食品ロスの削減を推進するため、令和元年に「食品ロスの削減の推進に関する法律」が施行され、令和2年3月には「食品ロスの削減の推進に関する基本的な方針」が通知された。

（３）食品ロスの発生状況

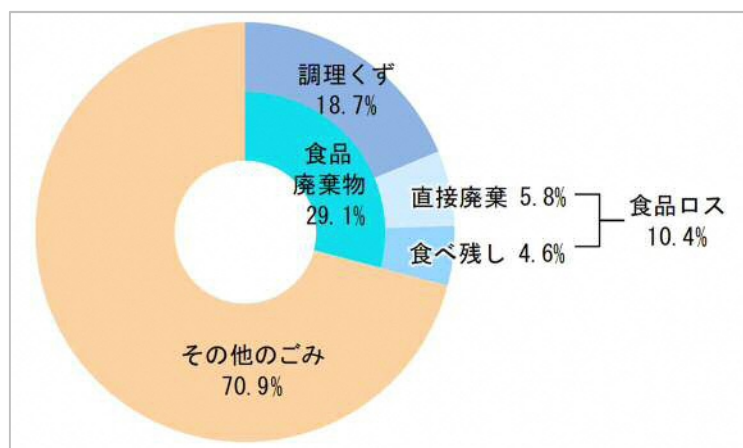
わが国において令和４年度に国内で発生した食品ロスは約 472 万 t（農林水産省推計）であり、日本人１人１日当たりに換算すると約 103g となり、１人１日あたりおにぎり約 1 個を廃棄していることとなる。なお、このうち家庭から出る食品ロスは半分の約 236 万 t、日本人１人１日当たりに換算すると各家庭で約 52g、卵約 1 個を廃棄している状態である。



出典：農林水産省「食品ロス及びリサイクルをめぐる情勢（令和7年4月版）」

本市では、令和６年度に実施したごみ組成調査によると、市全体では生活系可燃ごみの29.1%が食品廃棄物で、「食品ロス」は10.4%となっている。これは、令和５年度のごみ量に換算すると、１人１日当り約 52g となり、令和４年度における国の家庭での食品ロス排出状況と同等の排出状況であった。

図１－１ 令和６年度ごみ組成調査結果



2) 基礎調査の結果

(1) ごみ組成調査結果

本市は令和6年度に、市内の3つの地域を対象としてごみ組成調査を実施した。

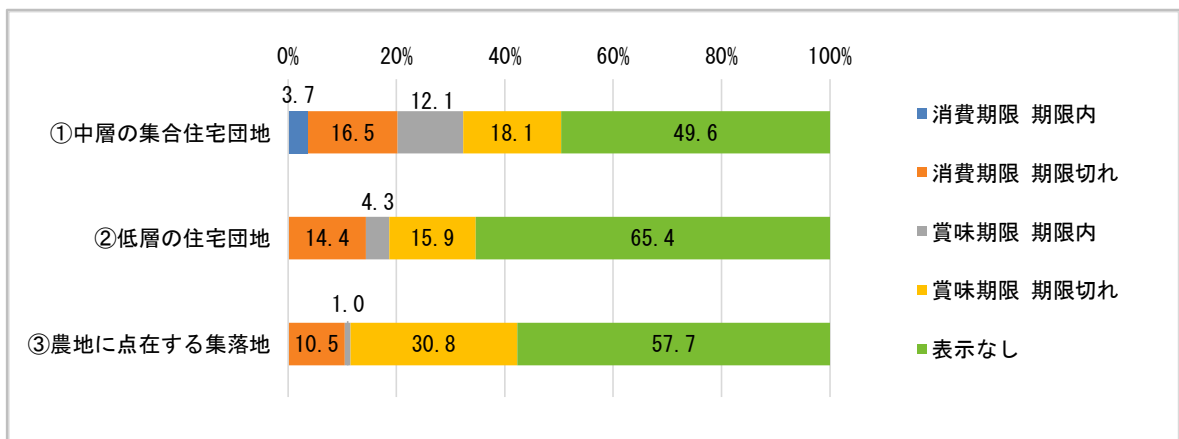
3地域を地域別にみると②低層の住宅団地の食品廃棄物中の食品ロスは19.0%と特に低い状況であった。一方で、①の地域の食品廃棄物中の食品ロスは52.9%と多く、地域別で差があることが確認できた。

なお、直接廃棄された食品のうち、消費・賞味期限の記載のあるものの中でも期限内に廃棄されたものは、①の地域で計15.8%とその他の地域よりも多い。

図1-2 食品廃棄物の内訳



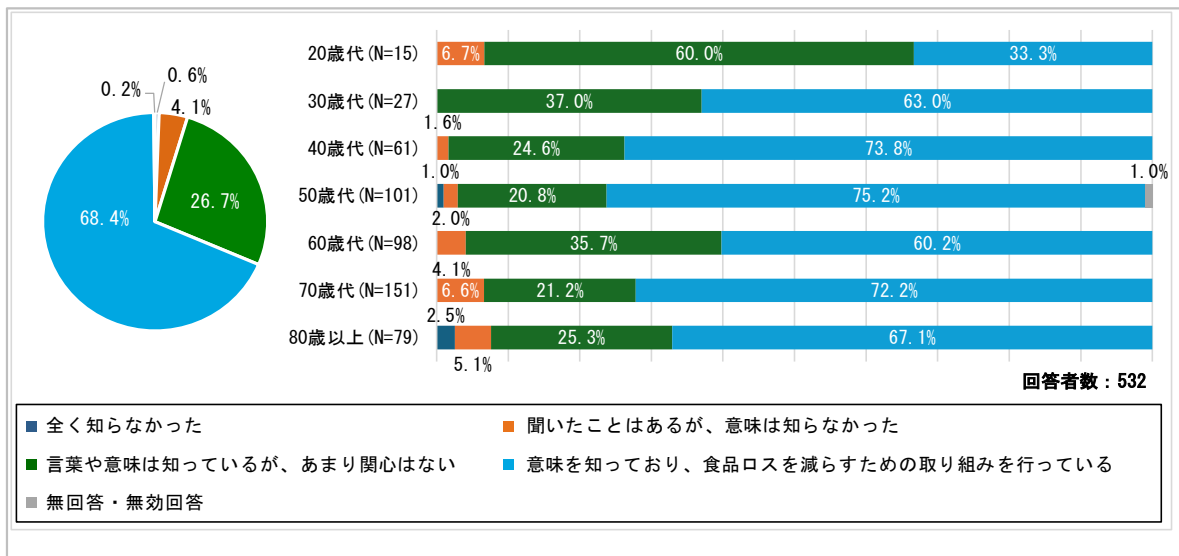
図1-3 直接廃棄された食品廃棄物の消費・賞味期限の記載状況



(2) アンケート調査結果

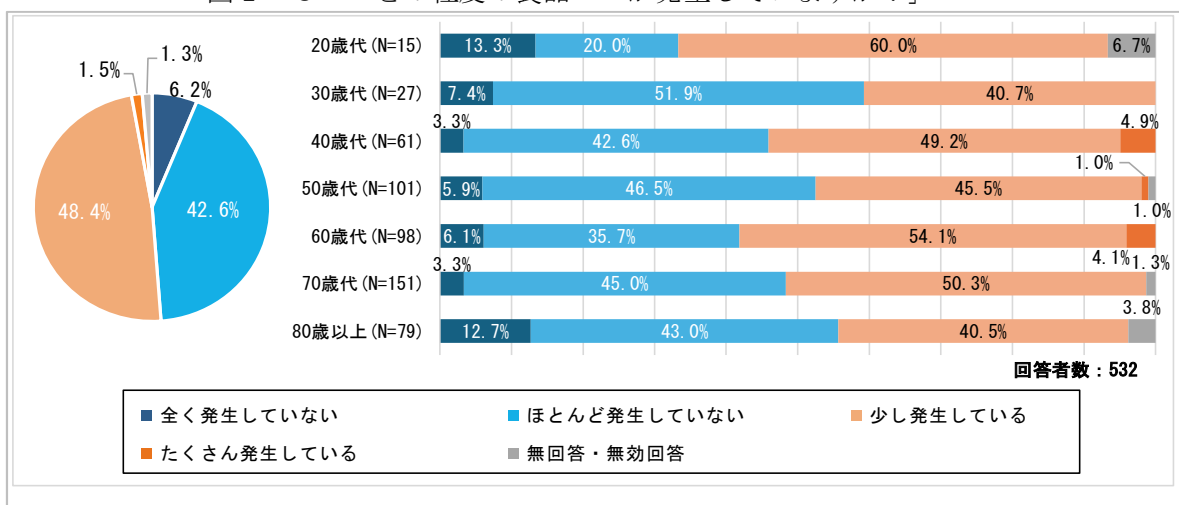
令和6年に実施した市民アンケート結果によると、食品ロスの意味を知っており、食品ロスを減らすための取組を行っているとの回答割合は68.4%であった。なお、年齢別の集計結果では、20代において「言葉や意味は知っているが、あまり関心がない」と回答した割合が高かった。

図1-4 「食品ロス」という言葉を知っていますか？」



また、家庭での食品ロスの発生状況については、「少し発生している」という回答が48.4%と最も高く、特に20代では他の年代に比べて回答割合が多かった。

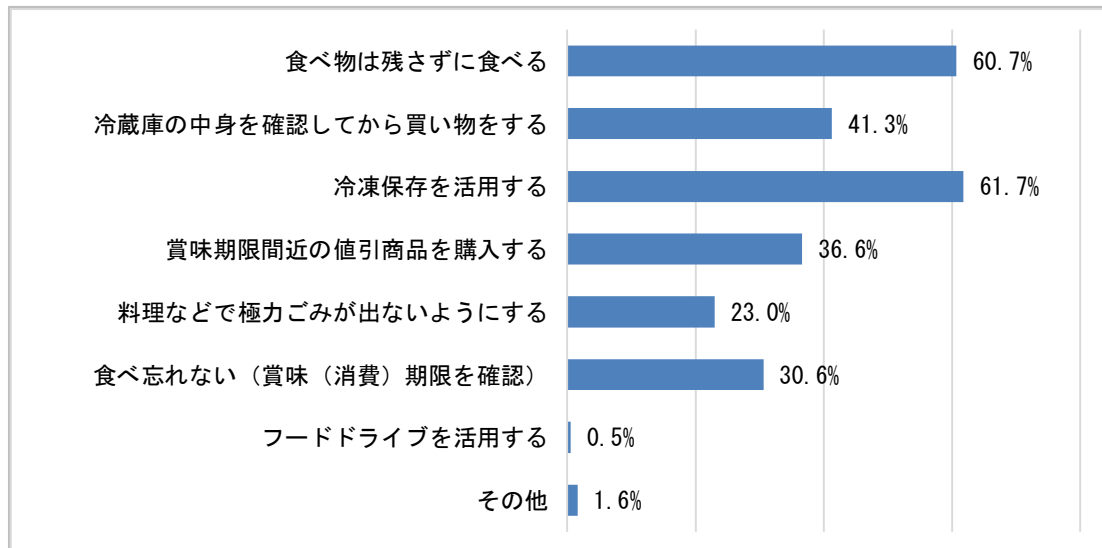
図1-5 「どの程度の食品ロスが発生していますか？」



食品ロスを減らすための取組については、「食べ物は残さずに食べる」と、「冷凍保存を活用する」という意見が多かった。

なお、「フードドライブを活用する」という回答は特に低く 0.5%であったことから、より市民にとって活用しやすい活動になるよう、工夫する必要がある。

図1-6 「食品ロスを減らすためにどのような取り組みを行っていますか？」



コラム 可児市のフードドライブの取り組みについて

■フードドライブとは

フードドライブとは、家庭で使い切れない未開封の食品を持ち寄って集め、必要としている人たちに提供する活動のこと。

■どこで参加できるのか

本市の一部のスーパーにフードドライブポストが設置されており、営業時間内なら誰でも持参可能である。



3) これまでの取組

岐阜県が推進する「ぎふ食べきり運動」に、市内の多くの飲食店が参加している。

また、本市は、令和6年度から家庭で食べきれない食料品を必要な方へ届けるフードドライブを開始し、令和6年度から市内の4店舗のスーパーに「フードドライブポスト」を設置して、家庭で余った食品の寄付を受け付けている。寄付された食品は、子ども食堂などの地域の支援活動に活用されており、食品ロスの削減と地域の支援活動の両立を目指している。

第2章 食品ロス削減に関する課題の整理

1) 家庭系食品ロス発生抑制に関する課題

(1) 食品ロス削減に向けた意識の醸成

本市における家庭系食品ロスの半分以上が直接廃棄である。計画的に食品を購入しないことによる買い過ぎや、ストック管理の不備及び賞味期限・消費期限の誤解や過剰な気にしすぎが要因と考えられる。

計画的に必要なもの・量だけを購入すること、冷蔵庫の中を整理すること、消費・賞味期限表示を正しく理解すること、無駄なく使い切ることなどの啓発を進める必要がある。

(2) ターゲットに向けた啓発の実施

令和7年2月のごみ組成調査では、集合住宅の地域における食品ロス排出状況がその他地域に比べて多かったことが判明し、食品ロスが発生しやすい環境が存在することが推測される。

また、令和6年のアンケート調査で、20代が「食品ロス」という言葉を知っていても関心が浅く、食品ロスが発生していることも分かったことから、特に若年層をターゲットとして啓発が効果的である。

(3) 食品ロスの排出抑制を推進するための環境の整備

本市では、市内のスーパーマーケットにてフードドライブを実施しているが、アンケート調査で「フードドライブを実施したことがある」の回答は0.5%と非常に低く、広く市民に認知されているとは言い難い状況である。

より多くの市民に認知され、参加しやすい環境の整備が必要である。

2) 事業系食品ロス発生抑制に関する課題

事業系食品ロスは業種ごとに排出形態・排出要因が異なるため、業種に合った方法で取り組む必要がある。

事業系食品ロスの発生要因と対策の方向について、表2-1に示す。

表2-1 事業系食品ロスの発生要因と対策の方向

	主な食品ロスの発生要因	対策の方向
食品製造業	○商慣習 ・食品小売業において賞味期間の1/3を 超えたものを 入荷しない、2/3を超えたものを販売しない ・先に入荷したものより前の賞味期限のものは入荷しない	商慣習の見直し 未利用食品の寄附促進
食品卸売業		
食品小売業	○販売機会の損失を恐れた多量の発注	需要に見合った販売の推進
	○消費者の賞味期限への理解不足	消費者への啓発
外食産業	○消費者の食べ残し	「食べきり」「持ち帰り」の促進

出典：農林水産省「食品ロス及びリサイクルをめぐる情勢（令和7年4月版）」

第3章 食品ロス削減推進計画

1) 計画の基本方針

(1) 計画理念

本市における家庭系食品ロスの半分以上が直接廃棄である。計画的に食品を購入しないことによる買い過ぎや、ストック管理の不備及び賞味期限・消費期限の誤解や過剰な気にしすぎが要因と考えられる。

そこで、日本らしい価値観である「もったいない」を意識し、ごみ処理基本計画でも理念として掲げた持続可能なまちづくりを目指すものとする。

《基本理念》

「もったいない」でつながる 持続可能なまち

(2) 基本方針

基本理念を実現するため、本市のごみ処理における現状と課題を踏まえ、本計画における基本方針を以下のように設定する。

基本方針1 食品ロスを出さない取り組みの推進

食品ロスは「出さない」ことが最も重要であるため、啓発と継続的に実践できる環境づくりを推進する。

基本方針2 三者協働による取り組みの推進

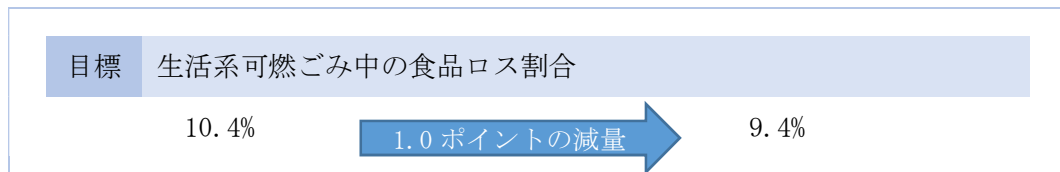
市民・事業者・行政の役割を明確にし、三者協働による取り組みを推進する。

2) 計画の基本目標

(1) 基本目標

本市では、令和6年度のごみ組成調査により、生活系可燃ごみ中に10.4%の食品ロスが確認された。

本計画では、このうち1%を計画期間内に削減することを目標とする。

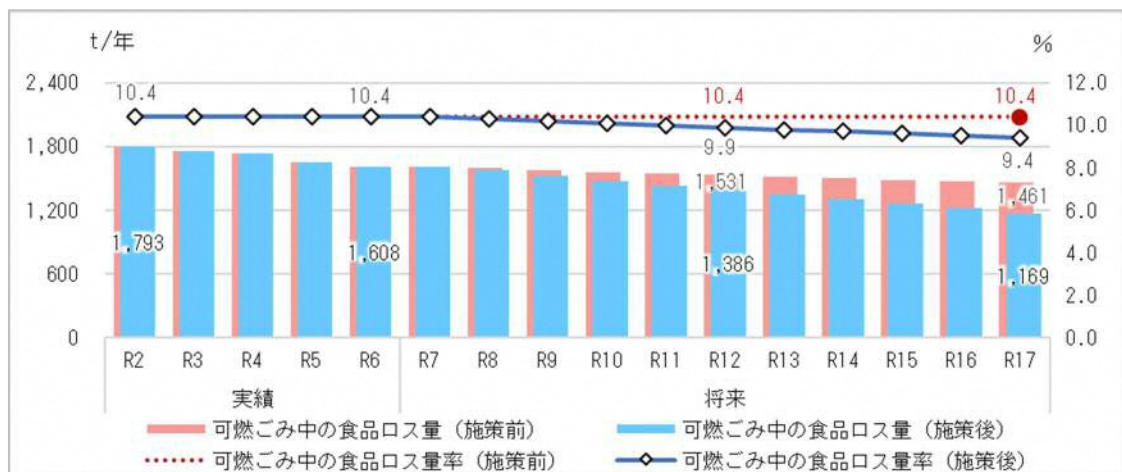


(2) 施策前後における目標項目の見込み

本計画では、新たな施策（P.91以降）を実施することで目標達成を目指す。

なお、新たな施策を実施しない場合を「施策前」、新たな施策を実施した場合を「施策後」とし、生活系可燃ごみ中の食品ロスの推移を図3-1に示す。

図3-1 生活系可燃ごみ中の食品ロスの推計結果



3) 計画の基本施策

(1) 具体的な方策

本計画は基本方針に基づき、「食品ロスを出さない取組」及び「三者協働のための取組」を基本的な施策とし、表3-1～3-2に示す施策を実施していく。

表3-1 ごみの減量・リサイクルのための取組に関する施策

施策一覧			市民	事業所	行政
食品ロスを出さない取組					
1	情報提供の充実 及びPRの継続	ホームページ、広報かに、すぐメールかに、さんあーる等の情報媒体やイベント等での情報提供 及びPRを実施し、市民の方からの食品ロスへの 関心を高める	-	-	○
2	家庭からの食 品ロスの削減	エコ・クッキングの情報提供や食品ロス削減に ついてのPRをするとともに、「家庭版30・10運 動」の周知を図る 冷蔵庫整理キャンペーンの啓発を行う	○	-	○
3	生ごみの減量 対策	生ごみ処理機等の購入補助を継続して実施する ことで、食品ロスを堆肥として活用できる環境を つくる	○	-	○
4	フードドライブ の推進	フードドライブ活動の周知及び推進をすること で、家に眠っている、ごみになる予定の食品の有 効利用を図る	○	-	○
5	ぎふ食べきり 運動の周知	食べきれる分だけ購入や、調理の啓発	○	-	○
		手前どりの推進や、規格外品の安価での販売等 の実施、食べ残した料理を持ち帰ることができる 仕組みの検討を行う	-	○	○
6	事業系ごみの 減量・資源化 の推進	食品廃棄物の有効利用を推進するため、今ま でごみとして処分されていたものを食品循環資 源として再利用することを啓発する。	-	○	○

表3-2 三者協働のための取組に関する施策

施策一覧			市民	事業所	行政
三者協働のための取組					
7	市民参加型イベントの開催	市民参加型のイベントを開催し、食品ロスに対する関心を高める機会を提供する	○	-	○
8	各種活動団体への活動場所の提供や情報発信などの支援	フードバンクやフードドライブに自主的に取り組んでいるグループ・団体等の活動内容を紹介し、市民や事業者の活動への参加を呼びかけるとともに、これらの団体の活動場所や情報の提供等の支援を行い、さらに市民グループ、商業団体、消費者団体、NPO団体と連携し、市内における活動団体のネットワーク化を図る	○	-	○
9	三者の調整役として役割の推進	食品ロス削減に関する計画や目標を策定し、市民に情報公開や環境教育、活動支援等を行い、事業者には食品ロス削減の啓発を行う等、市民・事業者・行政の三者が協働できる体制を整備し、資源循環型社会の実現に向けた取り組みを推進する	-	-	○

第 3 部 生活排水処理基本計画

第1章 生活排水処理に関する基本的事項の整理

1) 生活排水処理の体系

(1) 生活排水処理施設の概要

生活排水処理関係施設の概要を表1-1に、本市における処理体系を表1-2に示す。家庭から排出される生活排水には、し尿と台所、洗濯、風呂等からの生活雑排水に分けられ、処理方法には、し尿と生活雑排水をそれぞれ個別に処理する方式と併せて処理する方式がある。

表1-1 生活排水処理関係施設の概要

処理施設の種類あるいは事業名			設置 主体	所管省	対象区域
個別 処理	個人設置の浄化槽		個人	-	-
	浄化槽設置整備事業			環境省	下水道区域外
	浄化槽市町村整備推進事業		市町村		環境省
	個別排水処理施設整備事業			環境省	集合処理区域の周辺、 浄化槽市町村整備推進事業
集合 処理	下 水 道	流域下水道	都道府県	国土交通省	二以上の市町村にわたる地域
		公共下水道（流域関連含む）	市町村		主として、市街地
		特定環境保全公共下水道 簡易な公共下水道			市街地以外
	農業集落排水施設		市町村等	農林水産省	農業振興地域
	漁業集落排水施設				漁港の集落
	林業集落排水施設				林業の集落
	コミュニティ・プラント		市町村	環境省	-
	小規模集合排水処理施設 整備事業			総務省	農業振興地域
	個人設置の浄化槽 （団地等の集合処理）		個人等	-	-

コラム 生活排水処理とSDGsについて

生活排水を適切に処理することは、SDGsの目標6「安全な水とトイレを世界中に」や14「海の豊かさを守ろう」の達成に直結しています。

未処理の排水は水質悪化や海洋汚染を引き起こすため、私たち一人ひとりが排水の扱いに注意し、環境保全に努めることが大切です。

6 安全な水とトイレ
を世界中に



14 海の豊かさ
を守ろう



表1-2 生活排水の処理体系

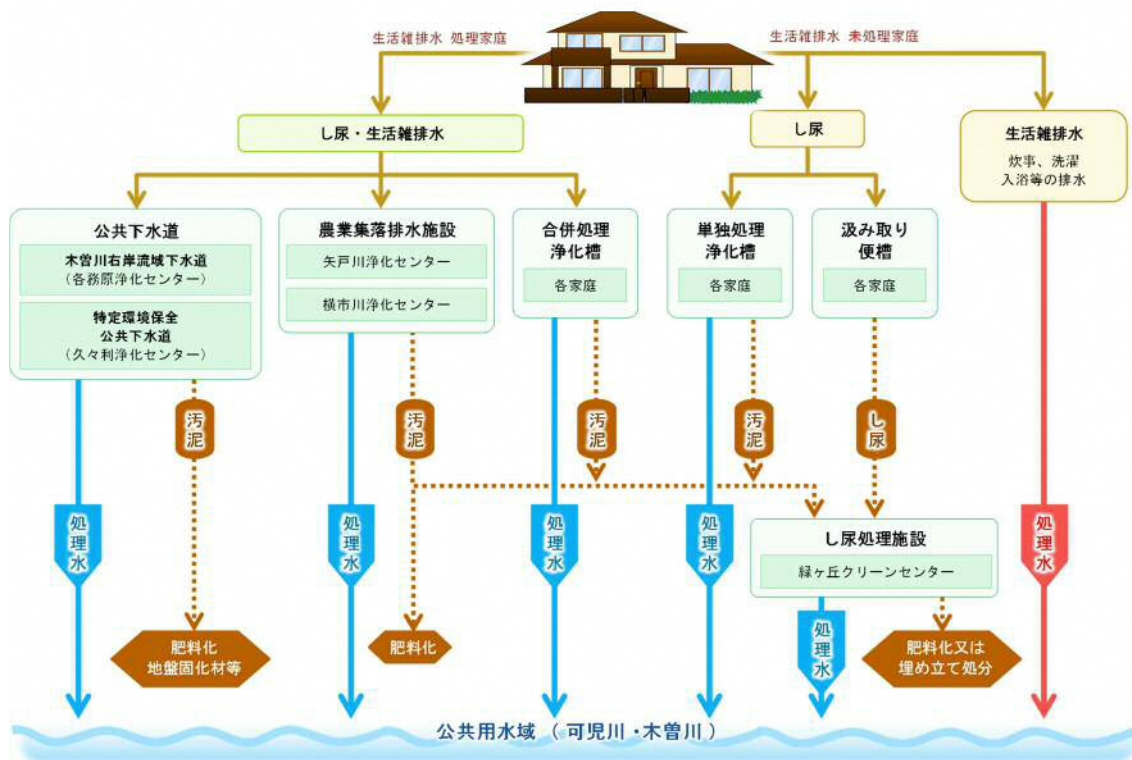
処理施設の種類	生活排水の種類	処理主体
(1) 公共下水道 (特定環境保全公共下水道を含む)	し尿及び生活雑排水	可児市
(2) 農業集落排水施設	し尿及び生活雑排水	可児市
(3) 合併処理浄化槽	し尿及び生活雑排水	個人等
(4) 単独処理浄化槽	し尿	個人等
(5) し尿処理施設	し尿及び浄化槽汚泥	可茂衛生施設利用組合

資料：下水道課

(2) 生活排水フロー

本市の生活排水処理フローを図1-1に示す。公共下水道、農業集落排水施設及び合併処理浄化槽を利用している家庭では、し尿と生活雑排水があわせて処理されている。一方で、単独処理浄化槽や汲み取り便槽を利用する家庭では、し尿のみの処理にとどまり、生活雑排水は未処理のまま排水され、河川等公共用水域を汚染する原因になっている。収集されたし尿及び浄化槽汚泥は、緑ヶ丘クリーンセンター（可茂衛生施設利用組合）で処理されている。

図1-1 生活排水処理現況フロー



2) 生活排水処理の整備状況

(1) 公共下水道の整備状況

本市における公共下水道及び特定環境保全公共下水道の概要を表1-3及び表1-4に示す。

木曽川右岸流域下水道へ接続する公共下水道（可児市流域関連公共下水道）の計画面積は、全体計画で約3,248ha、事業計画で約2,868haとなっている。また、計画人口は全体計画で約92,200人及び事業計画で約93,430人となっている。

久々利・柿下地区では、平成元年に本市で初めての特定環境保全公共下水道が供用され、計画処理人口は1,390人、令和6年度末の水洗化人口は852人となっている。なお、広見東地区及び大森地区は、流域関連公共下水道に接続する特定環境保全公共下水道として整備されている。

表1-3 流域関連公共下水道計画の概要

計 画 区 分	計画全体	事業計画
計 画 面 積	約 3,248ha	約 2,868.1ha
計 画 人 口	約 92,200 人	約 93,430 人
計画処理水量	約 45,708m ³ /日最大	約 44,905m ³ /日最大

資料：下水道課

表1-4 特定環境保全公共下水道の概要

名 称	久々利浄化センター
所 在 地	可児市久々利 1836
地 区 名	久々利・柿下地区
敷 地 面 積	2,745m ²
排 除 方 法	分流式
汚水処理方式	オキシデーション・ディッチ法
污泥処理方式	濃縮・天日乾燥・緑農地還元
放 流 先	久々利川
事 業 期 間	昭和 62 年 9 月～平成 3 年 3 月
供 用 開 始	平成元年 3 月 31 日
計画処理人口	1,390 人
処理区域面積	31.8ha
計画処理水量	440m ³ /日最大 320 m ³ /日平均
予 定 水 質	流入：BOD 200 mg/ℓ、SS 200 mg/ℓ 放流：BOD 20 mg/ℓ、SS 20 mg/ℓ

資料：下水道課

流域関連公共下水道及び特定環境保全公共下水道の普及状況を表 1－5 及び表 1－6 に示す。

流域関連公共下水道は、令和 6 年度末にほぼ整備が完了しており、処理区域内人口が 89,283 人、水洗化人口が 84,019 人で水洗化率は 94.1%となっている。

特定環境保全公共下水道も整備が完了しており、水洗化率等も横ばいで推移している。

表 1－5 流域関連公共下水道の普及状況（特環広見東地区、大森地区を含む）

	R2	R3	R4	R5	R6
全体計画区域面積 (ha)	3,135.1	3,139.4	3,139.4	3,139.4	3,139.4
事業計画区域面積 (ha)	2,828.0	2,836.3	2,836.3	2,836.3	2,836.3
処理区域面積 (ha)	2,796.2	2,773.8	2,773.8	2,773.8	2,773.8
処理区域内人口 (人)	91,009	90,120	89,973	89,744	89,283
接続世帯数 (戸)	36,154	36,222	36,829	37,423	37,849
水洗化人口 (人)	84,691	83,967	83,791	84,096	84,019
水洗化率 (%)	93.1	93.2	93.1	93.7	94.1

資料：下水道課

表 1－6 特定環境保全公共下水道の普及状況（久々利地区のみ）

	R2	R3	R4	R5	R6
全体計画区域面積 (ha)	31.8	31.8	31.8	31.8	31.8
事業計画区域面積 (ha)	31.8	31.8	31.8	31.8	31.8
処理区域面積 (ha)	31.8	31.8	31.8	31.8	31.8
処理区域内人口 (人)	945	937	922	884	864
接続世帯数 (戸)	372	379	374	369	366
水洗化人口 (人)	927	920	903	870	852
水洗化率 (%)	98.1	98.2	97.9	98.4	98.6

資料：下水道課

(2) 農業集落排水施設の整備状況

本市における農業集落排水施設の概要を表1-7に、農業集落排水施設の普及状況を表1-8に示す。長洞地区（長洞・室原・塩の一部、矢戸の一部）及び塩河地区（塩河・矢戸の一部）の2地区は、単独処理区域とすることが適当な地区として農業集落排水施設が整備され、供用が開始されている。2地区合計で計画処理人口は4,410人、処理区域面積は172.8haとなっている。なお、令和6年度末に処理区域内人口が2,275人、水洗化人口が2,234人、水洗化率は98.2%となっている。

表1-7 農業集落排水施設の概要

名 称	矢戸川センター	横市川浄化センター
所 在 地	可児市矢戸 394-1	可児市矢戸 1180-2
地 区 名	長洞地区	塩河地区
敷 地 面 積	6,260m ²	3,406m ²
排 除 方 法	分流式	分流式
汚水処理方式	オキシデーション・ディッチ法	オキシデーション・ディッチ法
污泥処理方式	濃縮・天日乾燥・緑農地還元	濃縮・天日乾燥・緑農地還元
放 流 先	農業用排水路～矢戸川	農業用排水路～横市川
事 業 期 間	平成4年4月～平成9年3月	平成2年4月～平成6年3月
供 用 開 始	平成9年4月1日	平成6年4月1日
計画処理人口	2,050人	2,360人
処理区域面積	122.2ha	50.6ha
計画処理水量	666m ³ /日最大 553m ³ /日平均	779m ³ /日最大 638m ³ /日平均
予 定 水 質	流入：BOD 200 mg/ℓ、SS 200 mg/ℓ 放流：BOD 20 mg/ℓ、SS 50 mg/ℓ	流入：BOD 200 mg/ℓ、SS 200 mg/ℓ 放流：BOD 20 mg/ℓ、SS 50 mg/ℓ

資料：下水道課

表1-8 農業集落排水施設の普及状況

	R2	R3	R4	R5	R6
全体計画区域面積 (ha)	172.8	172.8	172.8	172.8	172.8
事業計画区域面積 (ha)	172.8	172.8	172.8	172.8	172.8
処 理 区 域 面 積 (ha)	172.8	172.8	172.8	172.8	172.8
処理区域内人口 (人)	2,395.0	2,353.0	2,326.0	2,314.0	2,275.0
接 続 世 帯 数 (戸)	940.0	947.0	956.0	956.0	961.0
水 洗 化 人 口 (人)	2,371.0	2,330.0	2,301.0	2,272.0	2,234.0
水 洗 化 率 (%)	99.0	99.0	98.9	98.2	98.2

資料：下水道課

3) 生活排水の排出状況

(1) 生活排水処理形態別人口

令和6年度末の本市における生活排水処理形態別人口の実績を表1-9に示す。

構成比は、水洗化・生活雑排水処理人口が96.1%、水洗化・生活雑排水未処理人口が1.7%、非水洗化人口が2.2%となっている。また、水洗化率は97.8%、生活排水処理率は96.1%となっている。

表1-9 生活排水処理形態別人口の実績

区分	人口	構成比 (%)
①計画処理区域内人口 (人)	95,139	100.0
②水洗化・生活雑排水処理人口 (人)	91,423	96.1
合併処理浄化槽人口 (人)	4,318	4.5
下水道人口 (人)	84,871	89.2
農業集落排水施設人口 (人)	2,234	2.3
③水洗化・生活雑排水未処理人口 (人) (単独処理浄化槽人口)	1,578	1.7
④非水洗化人口 (汲み取り人口) (人)	2,138	2.2
水洗化率 (%) ((②+③) / ① × 100) ※	97.8	-
生活排水処理率 (%) (② / ① × 100)	96.1	-

※水洗化率については、し尿・浄化槽汚泥処理量の見込みを算出するために、合併処理浄化槽人口と単独処理浄化槽人口を含める。

資料:環境課

(2) 処理施設の概要

本市の行政区域内から収集されたし尿及び浄化槽汚泥は、可茂衛生施設利用組合の汚泥再生処理施設である緑ヶ丘クリーンセンターに搬入され、水処理及び汚泥処理を経て、放流または最終処分場において埋立を行っている。汚泥再生処理施設の概要を表1-10に示す。

表1-10 処理施設の概要

名 称	緑ヶ丘クリーンセンター
所 在 地	美濃加茂市牧野 1912-2
事 業 主 体	可茂衛生施設利用組合
構 成 市 町 村	美濃加茂市、可児市、坂祝町、富加町、川辺町、七宗町、八百津町、白川町、東白川村、御嵩町
敷 地 面 積	約 26,135m ²
延 床 面 積	4,520m ²
供用開始年月	平成 16 年 4 月
処 理 方 式	水処理方式：標準脱窒素処理方式＋高度処理方式 汚泥再生方式：脱水設備＋乾燥設備＋炭化設備
処 理 対 象 物	し尿及び浄化槽汚泥
公 称 能 力	100 kℓ/日（し尿：36 kℓ/日 浄化槽汚泥：64 kℓ/日） 下水汚泥受入量：1.32t/日
放 流 先	木曽川

(3) し尿・浄化槽汚泥処理量

本市から緑ヶ丘クリーンセンターに搬入されたし尿及び浄化槽汚泥の量を図1-2及び表1-11に示す。

処理量の経年変化を見てみると、し尿処理量は減少傾向を示しており、浄化槽汚泥処理量は令和5年度までは横ばい状態で、令和6年度に減少している。し尿と浄化槽汚泥の割合に大きな変動はなく、令和6年度は、し尿 10.9%、浄化槽汚泥 89.1%となっている。

図1-2 し尿及び浄化槽汚泥投入量の推移（合計）

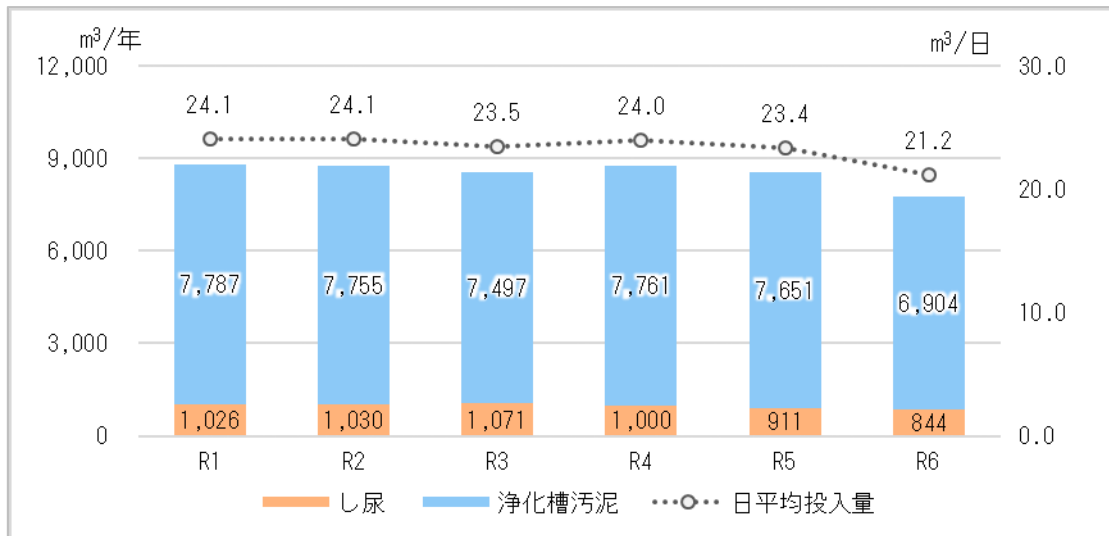


表1-11 し尿及び浄化槽汚泥投入量の推移

年度	し尿 (m³)	浄化槽汚泥※ (m³)	合計 (m³)	日平均投入量 (m³/日)	し尿割合 (%)	汚泥割合 (%)
R1	1,026	7,787	8,813	24.1	11.6	88.4
R2	1,030	7,755	8,786	24.1	11.7	88.3
R3	1,071	7,497	8,567	23.5	12.5	87.5
R4	1,000	7,761	8,761	24.0	11.4	88.6
R5	911	7,651	8,562	23.4	10.6	89.4
R6	844	6,904	7,748	21.2	10.9	89.1

資料：可茂衛生施設利用組合

(4) し尿処理費用

本市におけるし尿処理費用を表1-12に示す。公共下水道の接続に伴い、し尿処理に係る費用は概ね減少傾向である。令和6年度のし尿処理費用は82,836千円で、大部分を可茂衛生施設利用組合負担金が占めており、合併浄化槽補助金は1,902千円となっている。その他、合併浄化槽補助金は1,902千円である。

表1-12 し尿処理費用の推移

(単位:千円)

年度	し尿処理費用 合計	可茂衛生施設利用 組合負担金	合併浄化槽補助金	その他
R1	55,782	48,400	3,568	3,815
R2	63,945	56,800	3,710	3,435
R3	70,888	64,757	1,998	4,133
R4	75,924	69,921	1,998	4,005
R5	85,063	77,742	3,186	4,135
R6	82,836	76,928	1,902	4,006

資料:下水道課、環境課

第2章 前計画の目標達成状況

前計画の目標達成状況は、以下のとおりである。

表2-1 前計画の目標達成状況

	単位	実績値		目標値	評価
		H26	R6	R7	
①水洗化率	%	95.6	97.8	99.0	×
②生活排水処理率	%	91.7	96.1	98.0	×
③し尿処理量	kL/年	1,371	844	400	×
④浄化槽汚泥処理量	kL/年	7,691	6,904	3,800	×

「①水洗化率」及び「②生活排水処理率」は増加傾向にあるが、目標達成は困難である。
「③し尿処理量」は、し尿処理人口の減少もあり減少傾向だが、目標達成は困難である。
「④浄化槽汚泥処理量」も減少傾向だが、目標達成は困難である。

第3章 生活排水処理に関する課題の整理

1) 生活排水処理施設の整備に関する課題

(1) 公共下水道への接続促進

本市域内には、流域関連公共下水道と特定環境保全公共下水道が計画的に整備され、久々利地区の特定環境保全公共下水道は、接続率が98.6%となっている。

流域関連公共下水道も、ほぼ整備が完了しており、令和6年度の水洗化率は94.1%となっている(P.96 参照)。今後も、計画区域内において速やかな接続を促進する必要がある。

(2) 農業集落排水施設への接続促進

市内の2地区で農業集落排水施設が整備され、令和6年度の水洗化率は98.2%となっている(P.97 参照)。今後は、処理区域内の未接続の世帯に早期の接続を促し、水洗化率の向上をめざす。

(3) 合併処理浄化槽への転換

生活排水処理形態別人口は、単独処理浄化槽人口は1.7%、汲み取り人口は2.2%である(P.98 参照)。未処理のまま公共用水に排出される生活雑排水の量を減らすため、公共下水道及び農業集落排水施設の処理区域以外では、単独処理浄化槽や汲み取り便槽から合併処理浄化槽への転換を促進する必要がある。

2) し尿・浄化槽汚泥の排出・処理に関する課題

(1) 排出量に応じた収集・処理体制の確保

公共下水道の整備や合併処理浄化槽の普及により、し尿及び浄化槽汚泥の排出は、減少傾向となっている（P. 100 参照）。今後も、公共下水道への接続や合併処理浄化槽への転換を促進することで、し尿及び合併処理浄化槽の排出量に応じた適正な収集・処理体制を確保する必要がある。

(2) 浄化槽の適正な維持管理

令和6年度末の浄化槽人口は、単独処理浄化槽人口が1,578人、合併処理浄化槽人口が4,318人となっている（P. 98 参照）。浄化槽法では、「浄化槽管理者は、環境省令で定めるところにより、毎年一回（環境省令で定める場合にあっては、環境省令で定める回数）、浄化槽の保守点検及び浄化槽の清掃をしなければならない。」とされており、専門業者に定期点検や清掃を依頼する等、設置者の責任のもとで適正な維持管理を行うことを、啓発にする必要がある。

(3) 処理施設の適正な管理・運営

市内から排出されるし尿及び浄化槽汚泥は、可茂衛生施設利用組合が運営する緑ヶ丘クリーンセンターで適正に処理され、し尿汚泥肥料（乾燥汚泥肥料）も行っている。今後も、し尿及び浄化槽汚泥の排出量の変化にも対応し、引き続き適正な処理ができるよう、可茂衛生施設利用組合との連携により施設の管理・運営を行っていく必要がある。

第4章 生活排水処理基本計画

1) 計画の基本方針

(1) 基本理念

水は、自然を構成する重要な要素のひとつであるとともに、快適な環境を創出し、人々の心にうるおいややすらぎを与えてくれるものである。本市には、木曽川をはじめとしたいくつもの清流が流れており、市民にうるおいややすらぎを与え続けてきた。

しかし、人口の増加や都市化の進展等に伴い、家庭からの排水等による水質汚濁が問題になり、現在は地球規模で生活排水対策の推進が図られるなど、健全な水環境を取り戻すための対策が求められている。

このように、生活排水を適正に処理することは豊かな水環境を持続させるために重要な課題であり、その適正処理のあり方とその方向性を示す基本理念は前計画から引き継ぐこととし、以下のように設定する。

《基本理念》

豊かな水環境の創出に向けた 快適で潤いのあるまちづくり



(2) 基本方針

本市の生活排水処理における現状と課題を踏まえ、本計画における基本方針を以下のように設定する。

基本方針1 生活排水処理施設の整備推進

流域関連公共下水道への接続を推進するとともに、合併処理浄化槽の設置を促進する。

基本方針2 し尿・浄化槽汚泥の適正な処理の推進

排出されるし尿及び浄化槽汚泥について、排出量に応じた適正な処理を推進する。

基本方針3 普及啓発活動の推進

水環境の意識向上に向けた啓発を行うとともに、市民一人ひとりが発生源対策に取り組むように推進する。

(3) 処理主体

現況における生活排水処理施設別の処理主体を表4-1に示す。なお、当面の間は現状の体制を維持していくが、今後、本市の生活排水処理を取り巻く状況の変化に応じて、可茂衛生施設利用組合や、その他関係機関と協議した上で見直していくこととする。

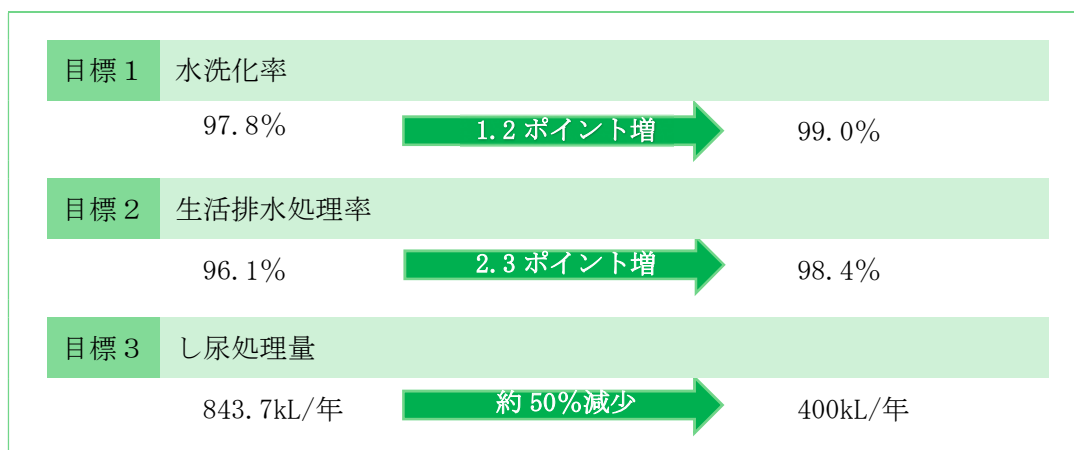
表4-1 処理施設別の処理主体

処理施設の種類	設置	収集・運搬	処理
合併処理浄化槽	個人等	許可業者	可茂衛生施設利用組合
農業集落排水施設	可児市		
単独処理浄化槽	個人等		
流域関連公共下水道	県及び可児市	産業廃棄物許可業者	各務原浄化センター
特定環境保全公共下水道	県及び可児市		各務原浄化センター 可児市
汲み取り便槽	個人等	許可業者	可茂衛生施設利用組合

2) 計画の基本目標

(1) 基本目標

基本目標については、令和6年度現在未達成である前計画の目標値を踏襲し、以下のよう
に設定する。



(2) し尿・浄化槽汚泥処理量の見込み

令和17年度までの処理形態別人口の推計結果を図4-1及び表4-2に示す。令和17年度には、水洗化・生活雑排水処理人口が88,540人、水洗化・生活雑排水未処理人口が542人、非水洗化人口が935人となり、水洗化が99.0%、生活排水処理率が98.4%まで上昇するものと見込まれる。

図4-1 生活排水処理形態別人口の推計結果

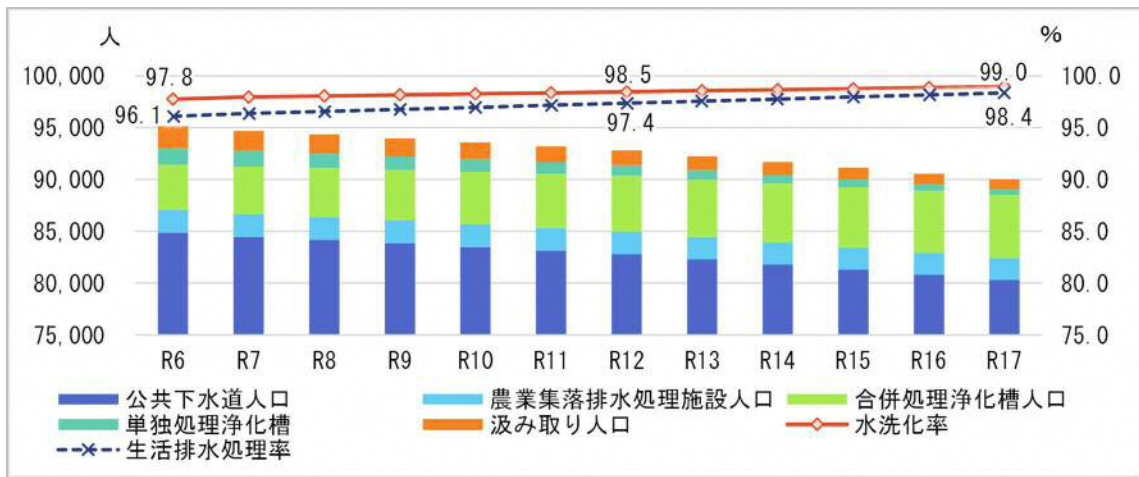


表4-2 生活排水処理形態別人口の推計結果

区分	実績値	推計値	
	R6	R17	R6からの増減率
① 計画処理区域内人口 (人)	95,139	90,017	-5.4
② 水洗化・生活雑排水処理人口 (人)	91,423	88,540	-3.2
合併処理浄化槽人口 (人)	4,318	6,124	41.8
下水道人口 (人)	84,871	80,302	-5.4
農業集落排水施設人口 (人)	2,234	2,114	-5.4
③ 水洗化・生活雑排水未処理人口 (人) (単独処理浄化槽人口)	1,578	542	-65.7
④ 非水洗化人口(汲み取り人口) (人)	2,138	935	-56.3
水洗化率 (%) ((②+③)/①×100) ※	97.8	99.0	1.2
生活排水処理率 (%) (②/①×100)	96.1	98.4	2.4

※水洗化率については、し尿・浄化槽汚泥処理量の見込みを算出するために、合併処理浄化槽人口と単独処理浄化槽人口を含める。

資料：環境課

令和17年度までのし尿及び浄化槽汚泥処理量の推計結果を図4-2及び表4-3に示す。なお、この推計は前頁の処理形態別人口の推計結果に基づき算出した、

令和17年度における処理量は、し尿が354kL/年、浄化槽汚泥が7,497kL/年で、合計7,851kL/年になるものと見込まれる。また、1日の平均処理量は、し尿が1.04kL/日まで減少し、浄化槽汚泥は2.34kL/日まで増加するものと見込まれる。

図4-2 し尿・浄化槽汚泥処理量の推計結果

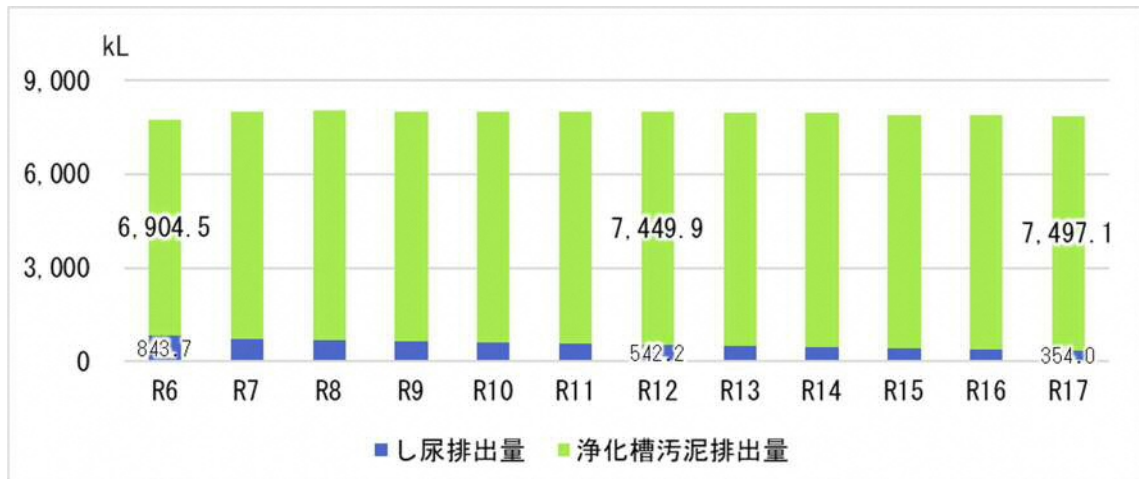


表4-3 し尿・浄化槽汚泥処理量の推計結果

区分		実績値	推計値	
		R6	R17	R6からの増減率
し尿処理量	(kL/年)	843.7	354.0	-58.0
	(kL/日)	1.08	1.04	-3.8
浄化槽汚泥処理量	(kL/年)	6,904.5	7,497.1	8.6
	(kL/日)	2.32	2.34	0.8
合 計	(kL/年)	7,748.2	7,851.1	1.3
	(kL/日)	3.4	3.4	-0.6

3) 基本施策

(1) 具体的な方策

本計画は基本方針に基づき、「生活排水処理施設の整備推進」、「し尿・浄化槽汚泥の適正な処理」及び「普及啓発活動」を基本的な施策とし、表4-4～表4-6に示す施策を実施していく。

表4-4 生活排水処理施設の整備推進

生活排水処理の整備推進のための施策		
1	流域関連 公共下水道の 接続促進	木曽川右岸流域下水道に接続する流域関連公共下水道は、概ね整備が完了しており、今後、下水道への接続を促進する。
2	農業集落 排水施設への 接続推進	農業集落排水施設が整備されている2地区の水洗化率の向上に向けて、農業集落排水施設未接続世帯に対して接続を促進する。
3	合併処理浄化槽の 設置促進	現在、下水道等の整備対象となっていない区域では、生活排水による公共用水域の汚濁を防止し、生活環境の保全を図るため、合併処理浄化槽の設置に対する補助を行っているが、今後もこの事業を継続的に実施し、制度の普及啓発をより一層推進し、合併処理浄化槽の設置を促進する。

表4-5 し尿・浄化槽汚泥の適正な処理

し尿・浄化槽汚泥の適正な処理のための施策		
4	効率的な 収集・運搬体制の 構築	し尿及び浄化槽汚泥の収集・運搬については、現行の体制を維持し、今後も許可業者が行うものとする。また、下水道への接続に伴う汲み取り便槽の減少等、今後の排出状況の変化にも対応した効率的な収集・運搬体制を構築する
5	適正な中間処理・ 最終処分への推進	し尿及び浄化槽汚泥の中間処理・最終処分については、可茂衛生施設利用組合が運営する緑ヶ丘クリーンセンターにおいて今後も引き続き適正な処理を行うとともに、定期的な環境保全対策を継続して実施し、安全な施設の維持・管理を行う。

表4－6 普及啓発活動

普及啓発活動の内容		
6	環境に対する意識の向上	子どもの頃から環境を大切にする気持ちを育てるため、小中学校で水の大切さを教える環境教育を推進する。また、生活排水が河川や海に与える影響を市民が理解できるよう、勉強会や講習会等の実施、各種イベントの開催等により、環境に対する意識の向上を図る
7	家庭でできる発生源対策の推進	生活排水対策の重要性を啓発し、各家庭での発生源対策を促進する。合併浄化槽設置者には、市が維持管理を代行する個別排水処理施設の帰属や管理事業を促進する

第4部 計画の推進

1) 脱炭素社会、循環経済に向けた取組

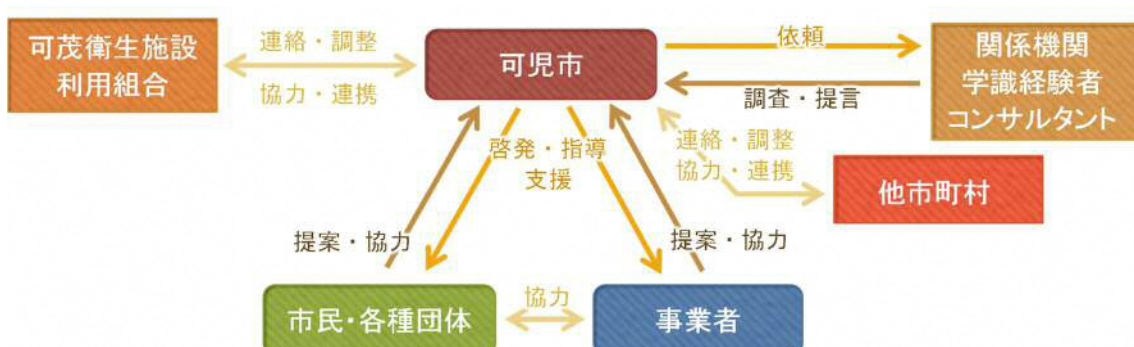
今日、SDGsの達成や脱炭素社会の実現は、地球規模で解決しなければならない喫緊の課題となっている。廃棄物分野においても環境負荷の低減と循環型社会の実現に向けた取組が実施されており、近年では令和4年4月にプラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律が施行される等、脱炭素社会や循環経済への移行が加速している。

本市は「可児市市政経営計画」、「可児市環境基本計画」、「可児市地球温暖化対策実行計画」、「ゼロカーボンシティ推進計画」及び「可児市版GX」などに基づき、再生可能エネルギーの導入や脱炭素社会に向けた取組を進め、市民や事業者に対する脱炭素への啓発やワークショップの開催などを通じて、地域全体での意識醸成を図っている。また、本計画によって資源化が促進されることで、循環経済への移行がさらに期待される。なお、本市は一般廃棄物の収集運搬、中間処理及び最終処分を可茂衛生施設利用組合及び民間業者に委託しており、今後もこれらの関係者と協力し化石燃料使用量の抑制などを進め、脱炭素社会の実現を目指す。

2) 計画の推進と公表

本計画の推進には、市民・事業者・行政が一体となって協働することが必要である。三者がごみ処理の現状と問題点を認識するとともに、本計画の基本理念や基本目標等を共有し、お互いに連携を図りながら、それぞれの役割と責務を果たすことが重要となる。また、計画を推進するにあたっては、施策の進捗状況や見直し内容等について広報紙やホームページを活用して広く公表し、それに対する市民や事業者からの意見を今後の施策に反映させていくこととする。

図 推進体制の概念図



資料編

資料 1. 現計画の事業評価結果

(1) 各施策の評価

○実施、△一部未実施、×未実施

大項目	中項目	小項目	主な取り組み内容	実施した取り組み	評価
ごみの減量・リサイクルの推進	ごみの減量・リサイクルに対する意識の啓発	1 市民の自主的な活動につながる PR の推進	・広報等によるごみに関する情報の提供	○環境フェスタでの PR ○広報かに、すぐメールかに、さんあーでの周知 ○ケーブルテレビ可児、FMらら等メディアを活用した情報提供の実施	○
		2 ホームページを活用した情報提供の充実	・ホームページにおけるごみ関連情報の充実 ・メールによるごみに関する質問等への対応	○ホームページの適宜の更新及び見直しの実施 ○可児市お問合せフォームを活用した質問事項への対応	○
		3 エコドームの利用促進	・エコドームの利用促進	○広報かにやホームページでの PR ○収集品目の多様化	○
		4 学校等における環境教育の充実	・学校における環境学習の内容充実 ・環境に関する生涯学習講座の開催	○学校や自治会を対象とした、出前講座の実施	○
		5 エコサイクルプラザ等の利用促進	・ささゆりクリーンパークの PR 推進 ・環境学習施設の利用状況の把握及び利用促進	○環境フェスタでの PR ○可茂衛生施設利用組合との連携による利用促進の実施	○
	生活系ごみの排出抑制	6 店頭回収実施店舗の調査及び情報提供	・店頭回収実施店舗の調査及び情報提供	○可児市資源回収ステーションマップの作製及びHPへの掲載	○
		7 資源集団回収の促進	・資源集団回収奨励金の交付 ・資源集団回収の利用に向けた啓発推進	○資源集団回収実施団体への奨励金交付 ○電子申請を活用した利用促進の実施 ○可児市資源回収ステーションマップへの掲載	○
		8 家庭からの食品ロスの削減	・エコ・クッキングに関する情報の提供 ・食品ロス削減についての PR	○EMボカシの販売、促進 ○市内企業、社会福祉協議会と連携したフードドライブの実施	○
		9 生ごみ処理機等の購入促進	・生ごみ処理機等の購入補助の継続実施 ・補助制度利用状況の把握及びPRの推進	○生ごみ処理機等の購入補助の継続実施 ○広報かにやホームページでの PR	○
		10 エコショップ（環境にやさしい店）の PR 推進	・各店舗における取り組み推進の働きかけ ・エコショップ紹介パンフレットの配布	○フードドライブの推進、検討を実施	△
		11 バイオマス事業の導入検討	・食品廃棄物を有効利用した堆肥化、メタン発酵の検討 ・バイオマス産業都市構想の策定 ・剪定枝資源化業者についての情報提供 ・剪定枝等の資源化技術の調査・研究	○ボカシを利用した食品廃棄物の堆肥化を促進○給食残渣の堆肥化促進	○

大項目	中項目	小項目	主な取り組み内容	実施した取り組み	評価
ごみの減量・リサイクルの推進	事業系ごみの排出量	12 廃棄物減量計画書の提出要請	・排出業者に対するごみ減量の指導 ・各事業所におけるごみ減量計画作成の呼びかけ	○延床面積 3,000 m ² 以上の事業所に減量計画書の提出要請 ○他課と連携した、事業所の抽出	○
		13 自己処理責任の周知徹底、指導強化	・事業系ごみの排出責任の周知徹底 ・事業系ごみの排出ルールの徹底・指導	○年 1 t 以上の廃棄物排出する事業者に事業系一般廃棄物処理申請の提出要請	○
		14 事業系ごみの減量・資源化の推進	・食品廃棄物有効利用に関する情報の提供、呼びかけ	○フードバンクの周知、啓発	○
		15 ごみ処理施設における不適物排除の指導強化	・ごみ搬入時における受入検査の徹底・指導	○不適切排出物があった場合は、処理困難物として持ち帰るよう指導	○
環境に配慮した適正な処理の推進	収集・運搬システムの適正化	16 効率的な収集・運搬体制の構築	・収集運搬体制の見直しの検討	○収集委託会社との意見、情報交換の実施 ○長期間未利用の集積場廃止対応	○
		17 ごみステーションの適正な管理	・ごみステーションの状況把握 ・地域住民との連携による管理体制の構築	○ごみステーションの定期的な見回り及び管理者への報告、指導、対応策の共有の実施 ○可児市自治会活動推進交付金の交付 ○持ち去り業者への対応方法共有	○
		18 ごみ出しが困難な市民に対する支援の検討	・高齢者等に対するボランティアによるごみだし援助の推進	○市地域支え合い活動助成制度実施 ○高齢者等に対するごみ出し支援検討中	○
	中間処理・最終処分システムの適正化	19 中間処理施設の維持・整備	・施設の維持・改修の計画的な実施	○施設の維持・改修に係る情報交換の実施	○
		20 環境保全対策の推進	・ごみ処理施設における環境保全対策の継続実施	○各種検査の実施 ・大森、兼山瓦礫処分場の水質検査（放流水、井戸水） ・ささゆりクリーンパークの水質、燃焼ガス、騒音振動、悪臭物質検査 ○関係者との各種検査結果の共有	○
		21 最終処分場の適正な管理	・最終処分場の適正な管理の推進 ・埋立処分場の延命化及び新規施設の検討	○可茂衛生施設利用組合との連携による、適正管理の実施 ○大森瓦礫処分場拡充に向けた、嵩上げ実施計画を策定	○
	その他の処理システムの適正化	22 適正処理困難物への対応	・適正処理困難物処理方法の情報提供	○ホームページによる啓発 ○リサイクル・ごみ百科事典 ○ごみ・リサイクル資源の分け方・出し方の作成 ○さんあーるによる啓発	○
		23 災害ごみへの対応	・災害ごみ集積場所の確保の検討 ・周辺市町村及び組合との連携の強化 ・災害廃棄物処理計画の見直し ・事業継続計画（BCP）※の検討	○災害ごみ集積場所の確保 ○可児市災害廃棄物処理計画の見直しを実施 ○事業継続計画（BCP）作成及び見直しを実施	○
		24 不法投棄の防止	・不法投棄監視体制の強化 ・不法投棄に対する厳格な指導・対応 ・不法投棄防止に向けた啓発資料の作成・配布	○パトロールの実施による監視の強化 ○不適正排出及び不法投棄物の内容物調査による指導	○

大項目	中項目	小項目	主な取り組み内容	実施した取り組み	評価
三者協働による取り組みの推進	市民の自主的な取り組みの促進	25 ごみの分別精度の向上	・ごみの出し方についての情報提供方法の工夫	○リサイクル・ごみ百科事典（ホームページ掲載） ○ごみ・リサイクル資源の分け方・出し方の作成 ○さんあーるの導入	○
		26 市民参加型イベントの開催	・ごみや環境問題に関するセミナー等の開催	○環境フェスタにて実施	○
		27 各種活動団体への支援	・ごみ減量・リサイクル団体の活動紹介	○広報・ホームページなどでPR ○エコドームでの活動団体募集、調整会議の開催	○
	事業者における取り組みの支援・促進	28 新たなごみ処理技術の開発支援	・新たなごみ処理技術の調査研究 ・事業者との連携によるバイオマス利用等の技術開発の支援（情報提供等）	○ソーラーパネルの処理に関する情報収集の実施	○
		29 拡大生産者責任制度の導入検討	・拡大生産者責任制度導入に向けた調査・検討	○事業者への引き渡しを促す、啓発の実施	△
	行政における連携体制の整備	30 三者の調整役として役割の推進	・市民・事業者・行政の協働体制の構築	○廃棄物減量等推進審議会の開催	○
		31 関連部署・関連機関等との連携強化	・庁内の関連部署との連携による事業の推進 ・関係機関等との連携体制の構築	○可茂地域廃棄物不適正処理対策連絡会議での情報、意見交換の実施 ○産業廃棄物不適正防止パトロールの実施	○

(2) 評価のまとめ

○実施、△一部未実施、×未実施

施策	○	△	×	計
1. ごみの減量・リサイクルに対する意識の啓発	14	1	0	15
①ごみの減量・リサイクルに対する意識の啓発	5	0	0	5
②生活系ごみの排出抑制	5	1	0	6
③事業系ごみの排出量	4	0	0	4
2. 環境に配慮した適正な処理の推進	9	0	0	9
①収集・運搬システムの適正化	3	0	0	3
②中間処理・最終処分システムの適正化	3	0	0	3
③その他の処理システムの適正化	3	0	0	3
3. 三者協働による取り組みの推進	6	1	0	7
①市民の自主的な取り組みの促進	3	0	0	3
②事業者における取り組みの支援・促進	1	1	0	2
③行政における連携体制の整備	2	0	0	2

資料 2. 本市の概況

(1) 沿革と位置・地勢

岐阜県中南部に位置する本市は、名古屋市や県庁所在地の岐阜市から 30km 圏内にあり、北部はおおむね平坦で、従来からある集落が発展した住宅地を主とした市街地が形成されており、南部は県下最大級の工業団地や住宅団地、ゴルフ場が点在する丘陵地となっている。また、市の北端部には日本ラインとして名高い木曽川、中央部には東西に可児川が流れており、豊かな水と緑に恵まれたまちである。

昭和 30 年の町村合併により可児町となった後、御嵩町・旧姫治村の一部を編入、さらに平成 17 年 5 月には旧兼山町と合併し、現在の市域となった。その間、高度経済成長期後半の昭和 40 年代初頭からは、車社会の発達や名古屋鉄道広見線の複線化などを契機に、南部の丘陵地を中心にゴルフ場の開発や名古屋都市圏のベッドタウンとしての宅地開発が進んだことで、急激な人口増加と都市化が進行した。そして昭和 57 年 4 月には全国 650 番目となる市制を施行した。近年は、平成 17 年に中部国際空港が開港し、東海環状自動車道可児御嵩 IC が開通したことで、可茂地域の拠点都市としてだけでなく、名古屋都市圏を支える拠点としての役割も期待されている。

資料 2 図－1 可児市の位置図



出典：岐阜県GIS

(2) 気象状況

本市の気候は夏期に雨が多い表日本式気候であるが、盆地に位置することから気温が上がりやすく、やや内陸性気候の特色もある。

過去10年間の気象状況は資料2 図-2に示すとおり、平均気温、最高気温及び最低気温のいずれも上昇傾向にある。令和6年は資料2 図-3に示すとおり、最高気温は8月の39.0℃、最低気温は1月の-4.2℃となっており、季節の寒暖差がはっきりしている。

資料2 図-2 各年度の気象状況



資料：可児市の統計

資料2 図-3 令和6年度の気象状況



資料：可児市の統計

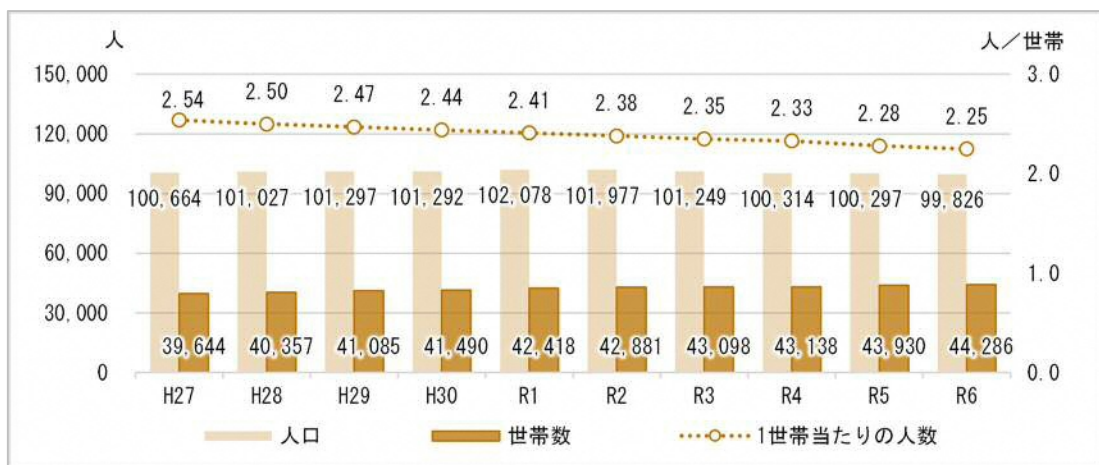
(3) 人口動向

本市の人口は、概ね横ばい傾向であるが、令和元年度をピークに徐々に減少している。一方で世帯数は増加傾向にあり、1世帯あたりの人口は減少傾向にある。

本市の人口ピラミッド（令和6年4月1日現在）は 資料2 図－5 に示すとおり、団塊の世代（70～79歳）と団塊ジュニア世代（45歳～54歳）が多い構成となっている。

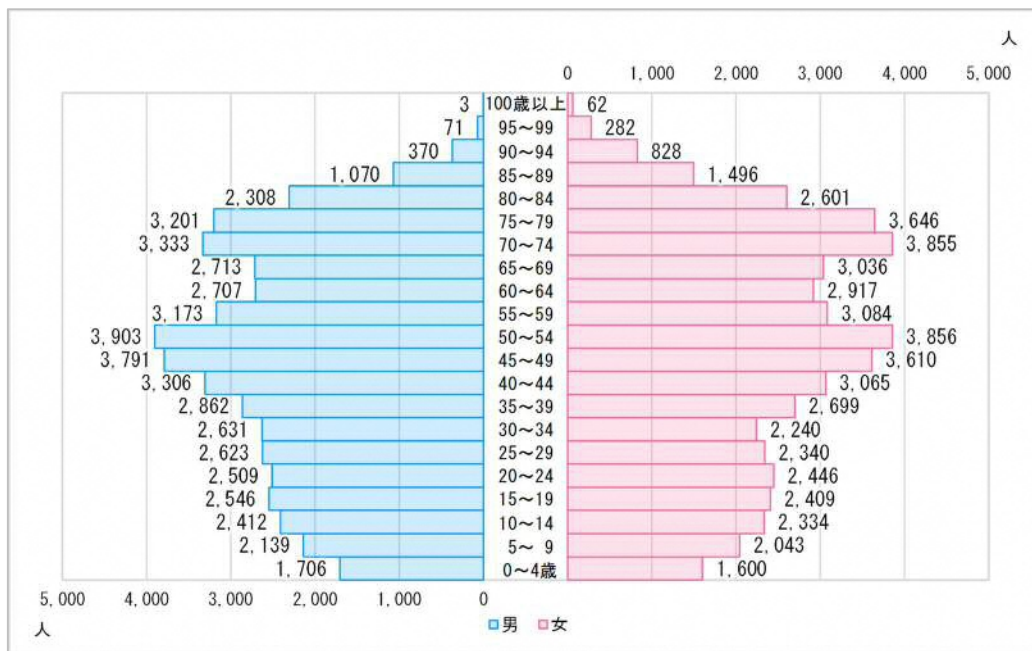
なお、令和6年度の外国人の割合は9.6%で、県内の自治体で2番目に高い割合となっている。

資料2 図－4 過去10年間の人口動向



資料：可児市の統計

資料2 図－5 令和6年度の男女別



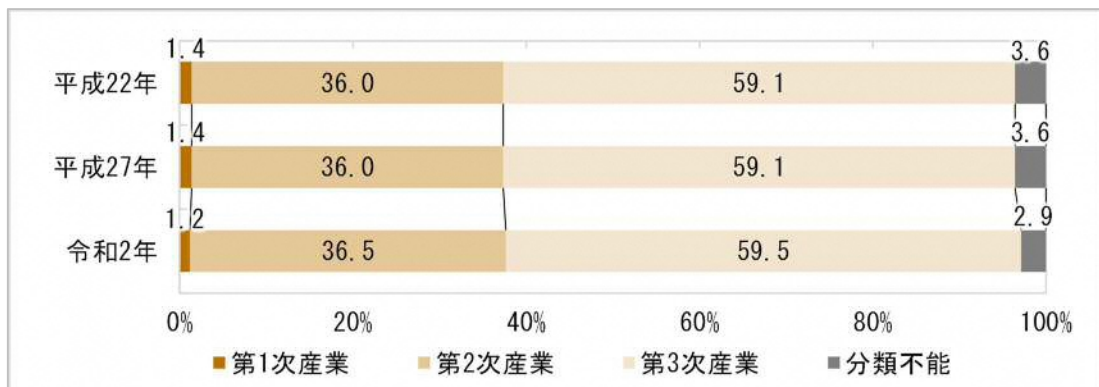
資料：可児市の統計

(4) 産業の動向

①産業別就業者数の推移

本市の産業大分類別就業人口をみると第2次産業及び第3次産業がそのほとんどを占め、就業割合も増加している。

資料2 図ー6 産業大分類別就業者割合

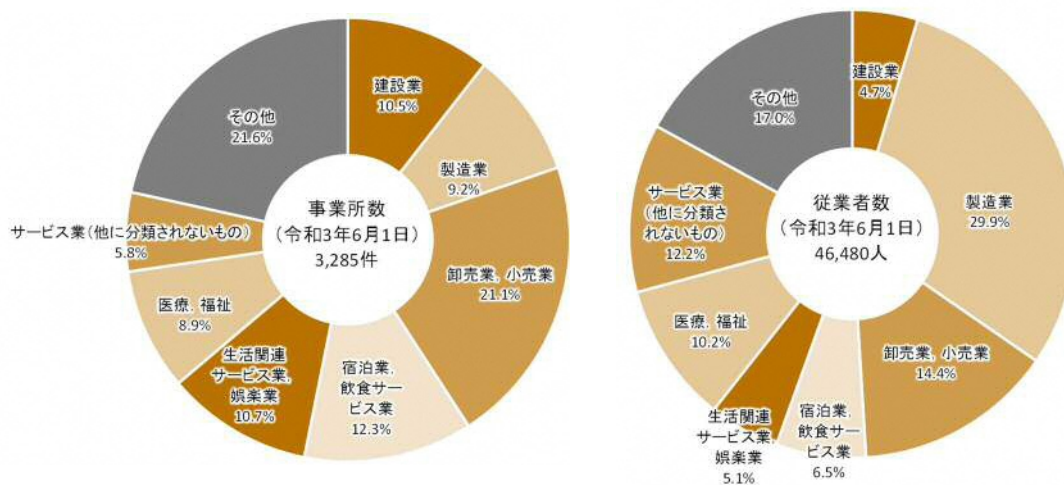


資料：可児市の統計

②産業分類別従業員数

本市の産業分類別事業所数は、卸売業・小売業が21.2%と最も多く、従業員数は、製造業が29.9%と最も多くなっている。

資料2 図ー7 令和3年度産業別事業所数及び就業者割合



資料：可児市の統計

③製造業

本市の製造業は、令和２年度以降、事業所数、従業員数及び製造品出荷額は増加傾向にあり、令和４年度の製造品出荷額は612億円である。

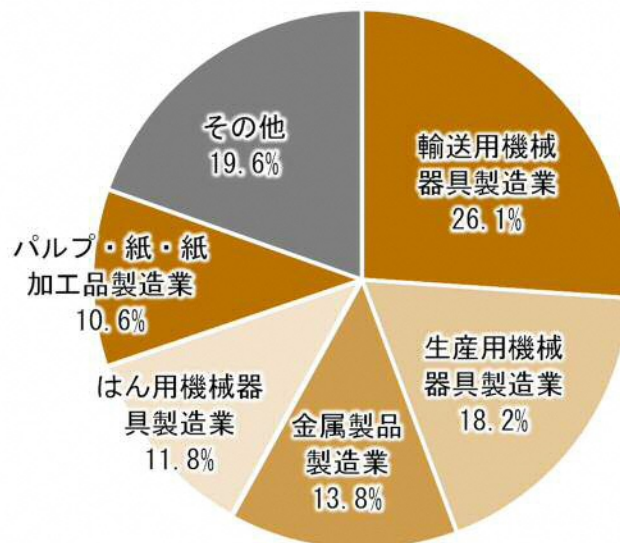
令和４年度の産業中分類別の製造品出荷額は、輸送用機械器具製造業が26.1%と最も多く、次いで生産用機械器具製造業が18.2%となっている。

資料２ 図－８ 製造業の推移



資料：可児市の統計

資料２ 図－９ 産業中分類別の製造品出荷額等の割合



資料：可児市の統計

④商業

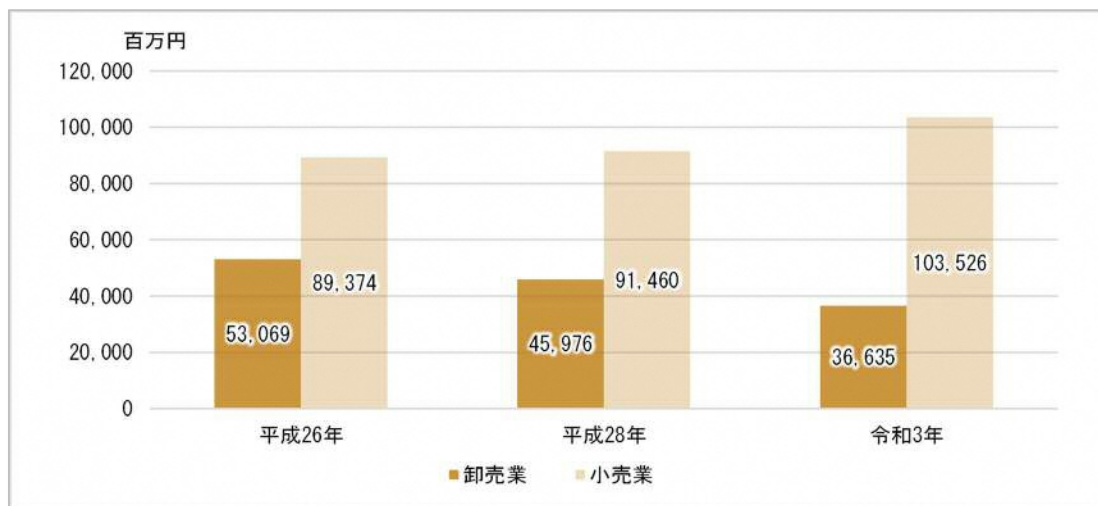
本市の商業の事業所数は概ね横ばいであるが、従業員数は増加傾向にある。
また、年間商販売額の推移は、卸売業が減少傾向に対し、小売業は増加傾向にある。

資料 2 図－10 商業の推移



資料：可児市の統計

資料 2 図－11 年間商販売額の推移



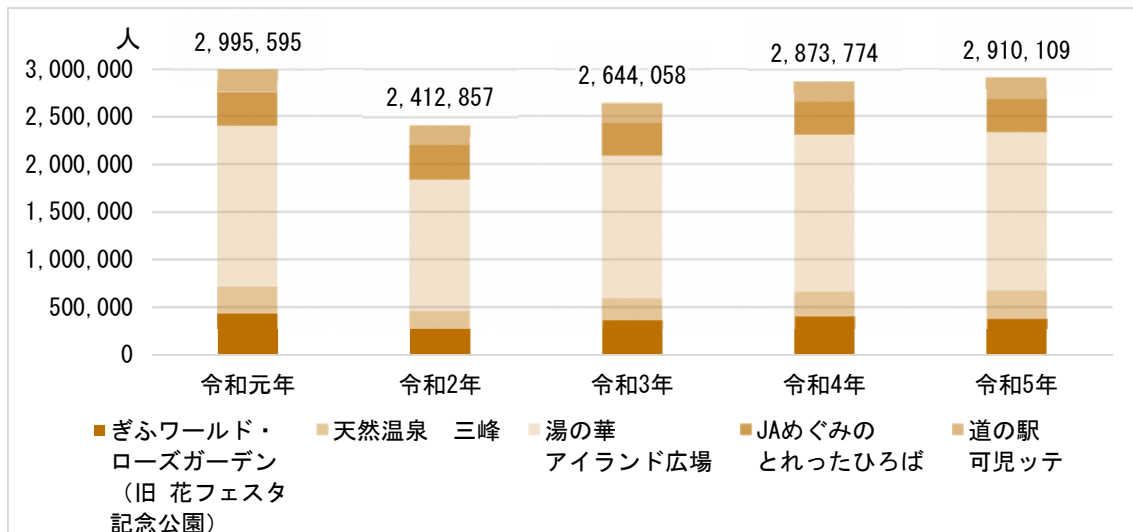
資料：可児市の統計

⑤観光

本市にある観光地へ訪れた観光客は、新型コロナウイルス感染症が流行しはじめた令和2年度に大きく減少したものの、その後は増加傾向にあり、令和5年度には令和元年度に近い人数となった。

観光地別に見ると、最も多く観光客数が訪れているのは湯の華アイランド広場で、各年度の総観光客数の約6割弱が訪れている。

資料2 図-12 観光客数の推移



資料：可児市の統計

資料2 表-1 観光客数の推移

単位：人

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
ぎふワールド・ローズガーデン (旧 花フェスタ記念公園)	434,957 14.5%	279,348 11.6%	363,700 13.8%	401,588 14.0%	376,139 12.9%
天然温泉 三峰	284,079 9.5%	177,800 7.4%	223,295 8.4%	258,000 9.0%	296,900 10.2%
湯の華アイランド広場	1,676,020 55.9%	1,376,215 57.0%	1,492,416 56.4%	1,641,858 57.1%	1,657,040 56.9%
JAめぐみのとれったひろば	355,071 11.9%	364,587 15.1%	346,825 13.1%	343,489 12.0%	342,727 11.8%
道の駅 可児ッテ	245,468 8.2%	214,907 8.9%	217,822 8.2%	228,839 8.0%	237,303 8.2%

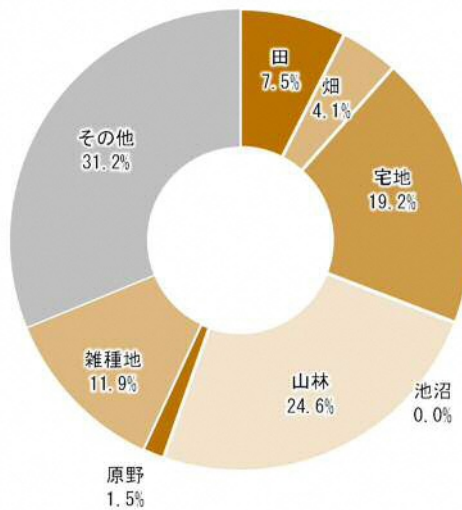
資料：可児市の統計

(5) 土地利用状況

地目別土地面積は、過去5年間で田、畑、池沼が減少し、宅地、雑種地が増加している。

令和6年度の地目別面積の割合では、その他が31.2%と最も多く、次いで山林が24.6%、宅地が19.2%となっている。

資料2 図-13 地目別面積の割合（令和6年1月1日）



資料：可児市の統計

資料2 表-2 地目別面積の推移（各年1月1日）

単位：m²

区 分		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
田		6,926,428	6,752,416	6,660,184	6,602,273	6,555,373
畑		3,744,508	3,691,127	3,673,908	3,637,446	3,584,283
宅 地		16,333,986	16,378,033	16,492,093	16,610,865	16,841,203
池 沼		26,639	25,395	25,395	25,395	25,395
山 林		21,677,249	21,595,204	21,536,322	21,501,743	21,506,144
原 野		1,336,034	1,330,469	1,327,258	1,325,506	1,328,908
雑種地	ゴルフ場の用地	7,008,563	7,008,563	7,008,563	7,008,563	7,008,563
	鉄軌道用地	231,752	231,752	246,850	247,739	247,729
	その他の雑種地	3,021,638	3,088,043	3,109,521	3,141,532	3,152,761
	計	10,261,953	10,328,358	10,364,934	10,397,834	10,409,053
そ の 他		27,263,203	27,468,998	27,489,906	27,468,938	27,319,641
合 計		87,570,000	87,570,000	87,570,000	87,570,000	87,570,000

資料：可児市の統計

資料 3. ごみ排出量の将来予測

(1) ごみ排出量の見通し

各ごみ種別の施策の効果については資料 3 表-1 に、現状の施策のままの見通しを資料 3 表-2 に、新たな施策を実施した場合の見通しを資料 3 表-3 に示す。

施策により可燃ごみの排出量が削減される。また、プラスチック製品の回収を行うことでリサイクル資源量が増加する。

資料 3 表-1

		令和 17 年度		増減	備考
		施策前 (t)	施策後 (t)		
生活系ごみ	可燃ごみ	13,910	12,436	-10.6%	①食品ロス対策 ②生ごみの水切り ③脱炭素のための取組 (サステイナブルファッション等の推進) ④プラスチック製品の回収
	粗大ごみ	408	408	0%	
	不燃ごみ	618	618	0%	
	リサイクル資源	399	1,372	243.9%	④プラスチック製品の回収
	その他ごみ	48	48	0.0%	
事業系ごみ	可燃ごみ	6,232	5,920	-5.0%	⑤可燃ごみ排出抑制 (食ロス等)
	粗大ごみ	40	40	0%	
	不燃ごみ	0	0	0%	
	リサイクル資源	0	0	0%	
集団回収		858	858	0%	
計		22,512	21,699	-3.6%	

資料3 表-2 可児市ごみ総排出量の見通し【施策前】

項目	単位	実績					見通し		
		2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9
年間日数	日	365	365	365	366	365	365	365	366
計画収集人口	人	101,977	101,249	100,314	100,297	99,826	99,360	99,019	98,613
一般廃棄物排出量削減化率（R4年度比）	%	3.62	1.68	0.00	-3.73	-6.15	-6.04	-6.93	-7.52
1人1日あたりごみ総排出量	g/人・日	722.91	714.50	709.24	681.00	668.88	672.79	668.73	665.41
1人1日あたり生活系ごみ排出量	g/人・日	520.06	506.48	502.62	477.14	468.75	470.02	465.88	462.36
1人1日あたり家庭系ごみ排出量	g/人・日	506.86	494.32	490.64	464.26	455.51	457.42	453.28	449.76
1人1日あたりごみ焼却量	g/人・日	655.69	653.03	649.41	622.88	611.66	616.26	612.79	609.96
リサイクル率	%	19.75	18.36	18.76	18.13	18.48	18.44	18.41	18.38
最終処分率	%	1.73	1.60	1.56	1.58	1.74	1.64	1.64	1.64
ごみ総排出量	t/年	26,907.90	26,404.99	25,968.59	24,998.75	24,371.56	24,399.54	24,169.09	24,016.32
生活系ごみ	t/年	19,357.30	18,717.28	18,403.31	17,515.06	17,079.70	17,045.88	16,837.89	16,687.69
可燃ごみ	t/年	17,078.80	16,725.98	16,549.32	15,752.20	15,317.29	15,358.31	15,182.97	15,056.87
粗大ごみ	t/年	576.10	533.45	496.54	447.40	465.40	455.94	449.10	444.19
可燃粗大	t/年	384.70	413.22	385.77	352.14	375.75	376.84	375.55	375.04
不燃粗大	t/年	191.40	120.23	110.77	95.26	89.65	79.10	73.55	69.15
不燃ごみ	t/年	1,209.40	1,008.12	905.50	833.75	803.91	764.13	739.86	721.27
金物類	t/年	729.80	561.16	462.96	393.95	344.58	325.56	302.65	284.59
ガラス類	t/年	143.60	125.89	119.20	118.46	115.35	114.06	113.81	113.73
陶磁器類	t/年	336.00	321.07	323.34	321.34	343.98	324.51	323.40	322.95
リサイクル資源	t/年	443.40	407.38	396.82	423.45	450.43	417.38	415.97	415.47
ビン	t/年	270.30	247.38	236.14	262.38	285.60	256.73	255.85	255.50
ささゆり搬入	t/年	188.40	179.52	173.10	190.23	202.46	184.33	183.71	183.45
行政リサイクル	t/年	10.40	8.36	8.11	8.15	10.70	8.99	8.95	8.94
エコドーム	t/年	71.50	59.50	54.93	64.00	72.44	63.41	63.19	63.11
カン	t/年	57.10	50.69	47.68	45.33	42.84	43.17	42.21	41.48
ささゆり搬入	t/年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
行政リサイクル	t/年	45.90	39.06	36.79	34.50	33.65	33.64	32.89	32.33
エコドーム	t/年	11.20	11.63	10.89	10.83	9.19	9.53	9.32	9.15
ペットボトル	t/年	55.00	51.00	58.47	62.53	62.54	62.70	63.61	64.50
プラスチック類	t/年	—	—	—	—	—	0.00	0.00	0.00
発泡スチロール	t/年	16.00	15.11	13.46	12.78	12.45	12.05	11.72	11.47
紙容器	t/年	45.00	43.20	41.07	40.43	47.00	42.73	42.58	42.52
その他ごみ	t/年	49.60	42.35	55.13	58.26	42.67	50.12	49.99	49.89
使用済み小型家電	t/年	3.90	1.22	2.35	1.66	1.99	1.53	1.45	1.38
廃乾電池	t/年	26.50	25.74	26.68	35.08	17.09	25.83	25.75	25.71
廃蛍光灯等	t/年	11.60	9.44	7.91	7.53	7.48	6.55	6.63	6.68
廃食用油	t/年	4.40	3.66	3.29	3.71	3.97	3.75	3.74	3.73
ペットボトルキャップ	t/年	1.20	1.68	1.52	1.27	1.28	1.37	1.37	1.36
無料パソコン回収	t/年	2.00	0.61	1.18	0.83	1.10	1.13	1.12	1.12
特定ごみ	t/年	—	—	12.20	8.18	9.76	9.96	9.93	9.91
事業系ごみ	t/年	6,463.60	6,626.25	6,535.45	6,479.43	6,350.84	6,400.28	6,390.18	6,396.61
可燃ごみ	t/年	6,410.20	6,576.29	6,497.62	6,436.91	6,316.36	6,364.14	6,355.02	6,362.18
粗大ごみ	t/年	53.00	49.85	37.74	42.42	34.39	36.04	35.06	34.33
可燃粗大	t/年	46.60	49.85	37.74	42.42	34.39	36.04	35.06	34.33
不燃粗大	t/年	6.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
不燃ごみ	t/年	0.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
金物類	t/年	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ガラス類	t/年	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
リサイクル資源	t/年	0.10	0.11	0.09	0.10	0.09	0.10	0.10	0.10
ビン	t/年	0.10	0.05	0.03	0.03	0.04	0.04	0.04	0.04
カン	t/年	0.00	0.06	0.06	0.07	0.05	0.06	0.06	0.06
集団回収	t/年	1,087.00	1,061.46	1,029.83	1,004.26	941.02	953.38	941.02	932.02
新聞	t/年	331.10	311.57	314.70	282.58	263.74	268.30	262.64	258.24
雑誌等	t/年	457.00	444.98	415.79	412.00	368.52	377.75	370.38	364.68
牛乳パック	t/年	9.30	9.20	8.60	9.24	8.03	8.35	8.26	8.19
ダンボール	t/年	223.00	233.20	233.99	246.14	249.44	249.91	252.20	254.56
繊維類	t/年	47.00	45.14	38.46	35.43	33.42	32.69	31.53	30.62
ビン	t/年	0.00	0.02	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
カン	t/年	19.60	17.35	18.24	18.87	17.87	16.38	16.01	15.73
ごみ処理量	t/年	26,097.30	25,583.19	25,067.51	24,057.60	23,449.04	23,465.60	23,231.78	23,075.29
焼却処理量	t/年	24,406.00	24,133.27	23,777.94	22,865.11	22,286.82	22,349.63	22,147.41	22,014.96
生活系可燃ごみ	t/年	17,078.80	16,725.98	16,549.32	15,752.20	15,317.29	15,358.31	15,182.97	15,056.87
事業系可燃ごみ	t/年	6,410.20	6,576.29	6,497.62	6,436.91	6,316.36	6,364.14	6,355.02	6,362.18
破碎可燃性残渣	t/年	917.00	831.00	731.00	676.00	653.17	627.18	609.42	595.91
破碎処理量	t/年	1,691.30	1,449.92	1,289.57	1,192.49	1,162.22	1,115.97	1,084.37	1,060.33
粗大ごみ	t/年	629.10	583.30	534.28	489.82	499.79	491.98	484.16	478.52
生活系	t/年	576.10	533.45	496.54	447.40	465.40	455.94	449.10	444.19
事業系	t/年	53.00	49.85	37.74	42.42	34.39	36.04	35.06	34.33
不燃ごみ	t/年	873.70	687.05	582.16	512.41	459.93	439.62	416.46	398.32
生活系	t/年	873.40	687.05	582.16	512.41	459.93	439.62	416.46	398.32
事業系	t/年	0.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ビン	t/年	188.50	179.57	173.13	190.26	202.50	184.37	183.75	183.49
生活系	t/年	188.40	179.52	173.10	190.23	202.46	184.33	183.71	183.45
事業系	t/年	0.10	0.05	0.03	0.03	0.04	0.04	0.04	0.04
資源化量	t/年	5,313.95	4,847.04	4,872.93	4,533.29	4,503.98	4,499.55	4,448.77	4,413.62
直接資源化量	t/年	1,389.65	1,331.12	1,295.36	1,286.80	1,220.96	1,225.89	1,212.68	1,203.39
生活系リサイクル資源量	t/年	255.00	227.86	223.72	233.22	247.97	233.05	232.26	232.02
生活系その他ごみ資源化量	t/年	47.65	41.74	41.75	49.25	31.92	39.40	39.34	39.29
集団回収量	t/年	1,087.00	1,061.46	1,029.83	1,004.26	941.02	953.38	941.02	932.02
事業系リサイクル資源量	t/年	0.00	0.06	0.06	0.07	0.05	0.06	0.06	0.06
中間処理資源化量	t/年	3,924.30	3,515.92	3,577.57	3,246.49	3,283.02	3,273.66	3,236.09	3,210.23
破碎処理資源化量	t/年	645.30	516.92	475.57	443.49	430.02	412.91	401.22	392.32
焼却灰資源化量	t/年	3,279.00	2,999.00	3,102.00	2,803.00	2,853.00	2,860.75	2,834.87	2,817.91
最終処分量	t/年	465.00	423.07	406.34	394.34	423.01	400.40	397.14	395.05
不燃ごみ（陶磁器類）	t/年	336.00	321.07	323.34	321.34	343.98	324.51	323.40	322.95
破碎処理後埋立量	t/年	129.00	102.00	83.00	73.00	79.03	75.89	73.74	72.10

資料編

見通し								算出方法
2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16	2035 R17	
365	365	365	366	365	365	365	366	(1)
98,206	97,799	97,385	96,799	96,213	95,628	95,042	94,456	(2)
-8.54	-9.26	-9.95	-10.47	-11.46	-12.18	-12.89	-13.35	(3)
662.58	660.09	657.89	656.22	654.71	653.35	652.07	650.89	(4) (10)÷(1)÷(2)×1,000,000
459.30	456.60	454.18	452.00	450.01	448.19	446.50	444.94	(5) (11)÷(1)÷(2)×1,000,000
446.70	444.00	441.58	439.39	437.40	435.57	433.88	432.31	(6) [(12)+(13)+(16)+(33)-(78)]÷(1)÷(2)×1,000,000
607.54	605.40	603.50	602.11	600.85	599.70	598.62	597.62	(7) (61)÷(1)÷(2)×1,000,000
18.35	18.33	18.31	18.30	18.28	18.26	18.25	18.24	(8) (75)÷(10)×100
1.65	1.65	1.65	1.65	1.65	1.65	1.65	1.65	(9) (84)÷(10)×100
23,750.38	23,563.12	23,384.91	23,248.79	22,992.11	22,804.56	22,620.65	22,501.70	(10) (11)+(41)+(52)
16,463.78	16,299.11	16,144.22	16,013.74	15,803.46	15,643.59	15,489.25	15,381.81	(11) (12)+(13)+(16)+(20)+(33)
14,862.17	14,719.44	14,584.40	14,470.53	14,283.83	14,142.21	14,005.04	13,909.91	(12)
437.60	432.78	428.36	424.68	418.96	414.66	410.53	407.70	(13) (14)+(15)
372.47	370.92	369.35	368.14	364.91	362.69	360.47	359.23	(14)
65.13	61.86	59.01	56.54	54.05	51.97	50.06	48.47	(15)
701.77	686.48	672.95	661.41	647.47	636.23	625.85	617.81	(16) (17)+(18)+(19)
268.05	254.55	242.81	232.69	222.51	213.86	206.06	199.47	(17)
112.98	112.52	112.08	111.71	110.73	110.05	109.38	109.00	(18)
320.74	319.41	318.06	317.01	314.23	312.32	310.41	309.34	(19)
412.70	411.09	409.43	408.22	404.75	402.36	400.01	398.76	(20) (21)+(25)+(29)+(30)+(31)+(32)
253.75	252.70	251.63	250.80	248.60	247.09	245.57	244.73	(21) (22)+(23)+(24)
182.19	181.44	180.67	180.07	178.50	177.41	176.32	175.71	(22)
8.88	8.84	8.81	8.78	8.70	8.65	8.59	8.57	(23)
62.68	62.42	62.15	61.95	61.40	61.03	60.66	60.45	(24)
40.59	39.90	39.27	38.74	38.01	37.42	36.90	36.47	(25) (26)+(27)+(28)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	(26)
31.63	31.09	30.60	30.19	29.62	29.16	28.76	28.42	(27)
8.96	8.81	8.67	8.55	8.39	8.26	8.14	8.05	(28)
64.95	65.47	65.90	66.36	66.41	66.56	66.67	66.96	(29)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	(30)
11.18	10.96	10.75	10.58	10.35	10.17	10.00	9.87	(31)
42.23	42.06	41.88	41.74	41.38	41.12	40.87	40.73	(32)
49.54	49.32	49.08	48.90	48.45	48.13	47.82	47.63	(33) (34)+(35)+(36)+(37)+(38)+(39)+(40)
1.32	1.26	1.22	1.18	1.14	1.10	1.07	1.04	(34)
25.53	25.43	25.32	25.24	25.02	24.86	24.71	24.63	(35)
6.68	6.68	6.66	6.65	6.60	6.57	6.53	6.51	(36)
3.71	3.69	3.68	3.66	3.63	3.61	3.59	3.58	(37)
1.35	1.35	1.34	1.34	1.33	1.32	1.31	1.31	(38)
1.11	1.11	1.10	1.10	1.09	1.08	1.08	1.07	(39)
9.84	9.80	9.76	9.73	9.64	9.59	9.53	9.49	(40)
6,367.48	6,354.45	6,340.03	6,341.89	6,307.32	6,288.66	6,267.84	6,262.33	(41) (42)+(43)+(46)+(49)
6,333.85	6,321.44	6,307.57	6,309.84	6,275.81	6,257.56	6,237.12	6,231.88	(42)
33.53	32.91	32.36	31.95	31.41	31.00	30.62	30.35	(43) (44)+(45)
33.53	32.91	32.36	31.95	31.41	31.00	30.62	30.35	(44)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	(45)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	(46) (47)+(48)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	(47)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	(48)
0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	(49) (50)+(51)
0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	(50)
0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	(51)
919.12	909.56	900.66	893.16	881.33	872.31	863.56	857.56	(52) (53)+(54)+(5)+(56)+(57)+(58)+(59)
253.03	248.91	245.12	241.87	237.54	234.10	230.79	228.31	(53)
357.70	352.25	347.28	342.95	337.10	332.43	327.96	324.62	(54)
8.08	8.00	7.93	7.86	7.76	7.68	7.61	7.56	(55)
255.25	256.37	257.24	258.20	257.62	257.59	257.44	257.90	(56)
29.66	28.89	28.19	27.59	26.89	26.31	25.77	25.34	(57)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	(58)
15.40	15.14	14.90	14.69	14.42	14.20	13.99	13.83	(59)
22,811.74	22,625.12	22,448.22	22,312.91	22,062.52	21,879.02	21,699.43	21,582.38	(60) (61)+(65)
21,777.35	21,610.88	21,451.90	21,331.77	21,100.37	20,932.00	20,766.48	20,660.11	(61) (62)+(63)+(64)
14,862.17	14,719.44	14,584.40	14,470.53	14,283.83	14,142.21	14,005.04	13,909.91	(62) = (12)
6,333.85	6,321.44	6,307.57	6,309.84	6,275.81	6,257.56	6,237.12	6,231.88	(63) = (42)
581.33	570.00	559.93	551.40	540.73	532.23	524.32	518.32	(64) (65)×破碎可燃性残渣割合 (R2~R5平均56.2%)
1,034.39	1,014.24	996.32	981.14	962.15	947.02	932.95	922.27	(65) (66)+(69)+(72)
471.13	465.69	460.72	456.63	450.37	445.66	441.15	438.05	(66) (67)+(68)
437.60	432.78	428.36	424.68	418.96	414.66	410.53	407.70	(67) = (13)
33.53	32.91	32.36	31.95	31.41	31.00	30.62	30.35	(68) = (43)
381.03	367.07	354.89	344.40	333.24	323.91	315.44	308.47	(69) (70)+(71)
381.03	367.07	354.89	344.40	333.24	323.91	315.44	308.47	(70) (17)+(18)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	(71) = (46)
182.23	181.48	180.71	180.11	178.54	177.45	176.36	175.75	(72) (73)+(74)
182.19	181.44	180.67	180.07	178.50	177.41	176.32	175.71	(73) = (22)
0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	(74) = (50)
4,358.95	4,319.62	4,282.67	4,253.44	4,202.73	4,165.01	4,128.37	4,104.02	(75) (76)+(81)
1,188.73	1,178.16	1,168.19	1,159.95	1,145.88	1,135.31	1,125.07	1,118.29	(76) (77)+(78)+(79)+(80)
230.51	229.65	228.76	228.15	226.25	224.95	223.69	223.05	(77) (20)-(22)-(26)
39.04	38.89	38.71	38.58	38.24	37.99	37.76	37.62	(78) (33)-((34)÷2+(40))
919.12	909.56	900.66	893.16	881.33	872.31	863.56	857.56	(79) = (52)
0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	(80) = (51)
3,170.22	3,141.46	3,114.48	3,093.49	3,056.85	3,029.70	3,003.30	2,985.73	(81) (82)+(83)
382.72	375.27	368.64	363.02	356.00	350.40	345.19	341.24	(82) (65)×破碎処理資源化割合 (R2~R5平均37%)
2,787.50	2,766.19	2,745.84	2,730.47	2,700.85	2,679.30	2,658.11	2,644.49	(83) (65)×焼却資源化割合 (R2~R5平均12.8%)
391.08	388.38	385.81	383.73	379.66	376.72	373.85	372.05	(84) (85)+(86)
320.74	319.41	318.06	317.01	314.23	312.32	310.41	309.34	(85) = (19)
70.34	68.97	67.75	66.72	65.43	64.40	63.44	62.71	(86) (65)×破碎処理後埋立割合 (R2~R5平均6.8%)

資料3 表-3 可児市ごみ総排出量の見通し【施策後】

項目	単位	実績					見通し		
		2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9
年間日数	日	365	365	365	366	365	365	365	366
計画収集人口	人	101,977	101,249	100,314	100,297	99,826	99,360	99,019	98,613
一般廃棄物排出量削減化率（R4年度比）	%	3.62	1.68	0.00	-3.73	-6.15	-6.04	-7.29	-8.17
1人1日あたりごみ総排出量	g/人・日	722.91	714.50	709.24	681.00	668.88	672.79	666.17	660.73
1人1日あたり生活系ごみ排出量	g/人・日	520.06	506.48	502.62	477.14	468.75	470.02	464.20	459.44
1人1日あたり家庭系ごみ排出量	g/人・日	506.86	494.32	490.64	464.26	455.51	457.42	451.60	443.50
1人1日あたりごみ焼却量	g/人・日	655.69	653.03	649.41	622.88	611.66	616.26	610.23	601.94
リサイクル率	%	19.75	18.36	18.76	18.13	18.48	18.44	18.43	18.86
最終処分率	%	1.73	1.60	1.56	1.58	1.74	1.64	1.65	1.66
ごみ総排出量	t/年	26,907.90	26,404.99	25,968.59	24,998.75	24,371.56	24,399.54	24,076.62	23,847.24
生活系ごみ	t/年	19,357.30	18,717.28	18,403.31	17,515.06	17,079.70	17,045.88	16,777.18	16,582.30
可燃ごみ	t/年	17,078.80	16,725.98	16,549.32	15,752.20	15,317.29	15,358.31	15,122.26	14,831.04
粗大ごみ	t/年	576.10	533.45	496.54	447.40	465.40	455.94	449.10	444.19
可燃粗大	t/年	384.70	413.22	385.77	352.14	375.75	376.84	375.55	375.04
不燃粗大	t/年	191.40	120.23	110.77	95.26	89.65	79.10	73.55	69.15
不燃ごみ	t/年	1,209.40	1,008.12	905.50	833.75	803.91	764.13	739.86	721.27
金物類	t/年	729.80	561.16	462.96	393.95	344.58	325.56	302.65	284.59
ガラス類	t/年	143.60	125.89	119.20	118.46	115.35	114.06	113.81	113.73
陶磁器類	t/年	336.00	321.07	323.34	321.34	343.98	324.51	323.40	322.95
リサイクル資源	t/年	443.40	407.38	396.82	423.45	450.43	417.38	415.97	535.91
ビン	t/年	270.30	247.38	236.14	262.38	285.60	256.73	255.85	255.50
ささゆり搬入	t/年	188.40	179.52	173.10	190.23	202.46	184.33	183.71	183.45
行政リサイクル	t/年	10.40	8.36	8.11	8.15	10.70	8.99	8.95	8.94
エコドーム	t/年	71.50	59.50	54.93	64.00	72.44	63.41	63.19	63.11
カン	t/年	57.10	50.69	47.68	45.33	42.84	43.17	42.21	41.48
ささゆり搬入	t/年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
行政リサイクル	t/年	45.90	39.06	36.79	34.50	33.65	33.64	32.89	32.33
エコドーム	t/年	11.20	11.63	10.89	10.83	9.19	9.53	9.32	9.15
ペットボトル	t/年	55.00	51.00	58.47	62.53	62.54	62.70	63.61	64.50
プラスチック類	t/年	—	—	—	—	—	0.00	0.00	120.44
発泡スチロール	t/年	16.00	15.11	13.46	12.78	12.45	12.05	11.72	11.47
紙容器	t/年	45.00	43.20	41.07	40.43	47.00	42.73	42.58	42.52
その他ごみ	t/年	49.60	42.35	55.13	58.26	42.67	50.12	49.99	49.89
使用済み小型家電	t/年	3.90	1.22	2.35	1.66	1.99	1.53	1.45	1.38
廃乾電池	t/年	26.50	25.74	26.68	35.08	17.09	25.83	25.75	25.71
廃蛍光灯等	t/年	11.60	9.44	7.91	7.53	7.48	6.55	6.63	6.68
廃食用油	t/年	4.40	3.66	3.29	3.71	3.97	3.75	3.74	3.73
ペットボトルキャップ	t/年	1.20	1.68	1.52	1.27	1.28	1.37	1.37	1.36
無料パソコン回収	t/年	2.00	0.61	1.18	0.83	1.10	1.13	1.12	1.12
特定ごみ	t/年	—	—	12.20	8.18	9.76	9.96	9.93	9.91
事業系ごみ	t/年	6,463.60	6,626.25	6,535.45	6,479.43	6,350.84	6,400.28	6,358.42	6,332.92
可燃ごみ	t/年	6,410.20	6,576.29	6,497.62	6,436.91	6,316.36	6,364.14	6,323.26	6,298.49
粗大ごみ	t/年	53.00	49.85	37.74	42.42	34.39	36.04	35.06	34.33
可燃粗大	t/年	46.60	49.85	37.74	42.42	34.39	36.04	35.06	34.33
不燃粗大	t/年	6.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
不燃ごみ	t/年	0.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
金物類	t/年	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ガラス類	t/年	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
リサイクル資源	t/年	0.10	0.11	0.09	0.10	0.09	0.10	0.10	0.10
ビン	t/年	0.10	0.05	0.03	0.03	0.04	0.04	0.04	0.04
カン	t/年	0.00	0.06	0.06	0.07	0.05	0.06	0.06	0.06
集団回収	t/年	1,087.00	1,061.46	1,029.83	1,004.26	941.02	953.38	941.02	932.02
新聞	t/年	331.10	311.57	314.70	282.58	263.74	268.30	262.64	258.24
雑誌等	t/年	457.00	444.98	415.79	412.00	368.52	377.75	370.38	364.68
牛乳パック	t/年	9.30	9.20	8.60	9.24	8.03	8.35	8.26	8.19
ダンボール	t/年	223.00	233.20	233.99	246.14	249.44	249.91	252.20	254.56
繊維類	t/年	47.00	45.14	38.46	35.43	33.42	32.69	31.53	30.62
ビン	t/年	0.00	0.02	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
カン	t/年	19.60	17.35	18.24	18.87	17.87	16.38	16.01	15.73
ごみ処理量	t/年	26,097.30	25,583.19	25,067.51	24,057.60	23,449.04	23,465.60	23,139.31	22,785.77
焼却処理量	t/年	24,406.00	24,133.27	23,777.94	22,865.11	22,286.82	22,349.63	22,054.94	21,725.44
生活系可燃ごみ	t/年	17,078.80	16,725.98	16,549.32	15,752.20	15,317.29	15,358.31	15,122.26	14,831.04
事業系可燃ごみ	t/年	6,410.20	6,576.29	6,497.62	6,436.91	6,316.36	6,364.14	6,323.26	6,298.49
破砕可燃性残渣	t/年	917.00	831.00	731.00	676.00	653.17	627.18	609.42	595.91
破砕処理量	t/年	1,691.30	1,449.92	1,289.57	1,192.49	1,162.22	1,115.97	1,084.37	1,060.33
粗大ごみ	t/年	629.10	583.30	534.28	489.82	499.79	491.98	484.16	478.52
生活系	t/年	576.10	533.45	496.54	447.40	465.40	455.94	449.10	444.19
事業系	t/年	53.00	49.85	37.74	42.42	34.39	36.04	35.06	34.33
不燃ごみ	t/年	873.70	687.05	582.16	512.41	459.93	439.62	416.46	398.32
生活系	t/年	873.40	687.05	582.16	512.41	459.93	439.62	416.46	398.32
事業系	t/年	0.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ビン	t/年	188.50	179.57	173.13	190.26	202.50	184.37	183.75	183.49
生活系	t/年	188.40	179.52	173.10	190.23	202.46	184.33	183.71	183.45
事業系	t/年	0.10	0.05	0.03	0.03	0.04	0.04	0.04	0.04
資源化量	t/年	5,313.95	4,847.04	4,872.93	4,533.29	4,503.98	4,499.55	4,436.93	4,497.01
直接資源化量	t/年	1,389.65	1,331.12	1,295.36	1,286.80	1,220.96	1,225.89	1,212.68	1,323.83
生活系リサイクル資源量	t/年	255.00	227.86	223.72	233.22	247.97	233.05	232.26	352.46
生活系その他ごみ資源化量	t/年	47.65	41.74	41.75	49.25	31.92	39.40	39.34	39.29
集団回収量	t/年	1,087.00	1,061.46	1,029.83	1,004.26	941.02	953.38	941.02	932.02
事業系リサイクル資源量	t/年	0.00	0.06	0.06	0.07	0.05	0.06	0.06	0.06
中間処理資源化量	t/年	3,924.30	3,515.92	3,577.57	3,246.49	3,283.02	3,273.66	3,224.25	3,173.18
破砕処理資源化量	t/年	645.30	516.92	475.57	443.49	430.02	412.91	401.22	392.32
焼却灰資源化量	t/年	3,279.00	2,999.00	3,102.00	2,803.00	2,853.00	2,860.75	2,823.03	2,780.86
最終処分量	t/年	465.00	423.07	406.34	394.34	423.01	400.40	397.14	395.05
不燃ごみ（陶磁器類）	t/年	336.00	321.07	323.34	321.34	343.98	324.51	323.40	322.95
破砕処理後埋立量	t/年	129.00	102.00	83.00	73.00	79.03	75.89	73.74	72.10

資料編

見通し								算出方法
2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16	2035 R17	
365	365	365	366	365	365	365	366	(1)
98,206	97,799	97,385	96,799	96,213	95,628	95,042	94,456	(2)
-9.54	-10.54	-11.57	-12.37	-13.63	-14.67	-15.64	-16.48	(3)
655.37	650.78	646.06	642.30	638.70	634.83	631.47	627.39	(4) (10)÷(1)÷(2)×1,000,000
454.74	450.83	446.80	443.42	440.25	436.84	433.99	430.45	(5) (11)÷(1)÷(2)×1,000,000
435.50	428.33	421.06	415.29	408.93	402.35	396.34	389.66	(6) ((12)+(13)+(16)+(33)-(78))÷(1)÷(2)×1,000,000
593.70	586.20	578.55	572.67	566.12	559.30	552.99	545.96	(7) (61)÷(1)÷(2)×1,000,000
19.30	19.74	20.19	20.52	20.97	21.43	21.88	22.36	(8) (75)÷(10)×100
1.66	1.67	1.68	1.69	1.69	1.70	1.71	1.72	(9) (84)÷(10)×100
23,491.99	23,230.75	22,964.69	22,755.66	22,429.55	22,158.18	21,905.82	21,689.48	(10) (11)+(41)+(52)
16,300.29	16,093.03	15,881.68	15,709.83	15,460.63	15,247.60	15,055.10	14,881.05	(11) (12)+(13)+(16)+(20)+(33)
14,460.88	14,160.11	13,855.15	13,616.74	13,283.95	12,982.55	12,702.59	12,435.46	(12)
437.60	432.78	428.36	424.68	418.96	414.66	410.53	407.70	(13) (14)+(15)
372.47	370.92	369.35	368.14	364.91	362.69	360.47	359.23	(14)
65.13	61.86	59.01	56.54	54.05	51.97	50.06	48.47	(15)
701.77	686.48	672.95	661.41	647.47	636.23	625.85	617.81	(16) (17)+(18)+(19)
268.05	254.55	242.81	232.69	222.51	213.86	206.06	199.47	(17)
112.98	112.52	112.08	111.71	110.73	110.05	109.38	109.00	(18)
320.74	319.41	318.06	317.01	314.23	312.32	310.41	309.34	(19)
650.50	764.34	876.14	958.10	1,061.80	1,166.03	1,268.31	1,372.45	(20) (21)+(25)+(29)+(30)+(31)+(32)
253.75	252.70	251.63	250.80	248.60	247.09	245.57	244.73	(21) (22)+(23)+(24)
182.19	181.44	180.67	180.07	178.50	177.41	176.32	175.71	(22)
8.88	8.84	8.81	8.78	8.70	8.65	8.59	8.57	(23)
62.68	62.42	62.15	61.95	61.40	61.03	60.66	60.45	(24)
40.59	39.90	39.27	38.74	38.01	37.42	36.90	36.47	(25) (26)+(27)+(28)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	(26)
31.63	31.09	30.60	30.19	29.62	29.16	28.76	28.42	(27)
8.96	8.81	8.67	8.55	8.39	8.26	8.14	8.05	(28)
64.95	65.47	65.90	66.36	66.41	66.56	66.67	66.96	(29)
237.80	353.25	466.71	549.88	657.05	763.67	868.30	973.69	(30)
11.18	10.96	10.75	10.58	10.35	10.17	10.00	9.87	(31)
42.23	42.06	41.88	41.74	41.38	41.12	40.87	40.73	(32)
49.54	49.32	49.08	48.90	48.45	48.13	47.82	47.63	(33) (34)+(35)+(36)+(37)+(38)+(39)+(40)
1.32	1.26	1.22	1.18	1.14	1.10	1.07	1.04	(34)
25.53	25.43	25.32	25.24	25.02	24.86	24.71	24.63	(35)
6.68	6.68	6.66	6.65	6.60	6.57	6.53	6.51	(36)
3.71	3.69	3.68	3.66	3.63	3.61	3.59	3.58	(37)
1.35	1.35	1.34	1.34	1.33	1.32	1.31	1.31	(38)
1.11	1.11	1.10	1.10	1.09	1.08	1.08	1.07	(39)
9.84	9.80	9.76	9.73	9.64	9.59	9.53	9.49	(40)
6,272.58	6,228.16	6,182.35	6,152.67	6,087.59	6,038.27	5,987.16	5,950.87	(41) (42)+(43)+(46)+(49)
6,238.95	6,195.15	6,149.89	6,120.62	6,056.08	6,007.17	5,956.44	5,920.42	(42)
33.53	32.91	32.36	31.95	31.41	31.00	30.62	30.35	(43) (44)+(45)
33.53	32.91	32.36	31.95	31.41	31.00	30.62	30.35	(44)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	(45)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	(46) (47)+(48)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	(47)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	(48)
0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	(49) (50)+(51)
0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	(50)
0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	(51)
919.12	909.56	900.66	893.16	881.33	872.31	863.56	857.56	(52) (53)+(54)+(5)+(56)+(57)+(58)+(59)
253.03	248.91	245.12	241.87	237.54	234.10	230.79	228.31	(53)
357.70	352.25	347.28	342.95	337.10	332.43	327.96	324.62	(54)
8.08	8.00	7.93	7.86	7.76	7.68	7.61	7.56	(55)
255.25	256.37	257.24	258.20	257.62	257.59	257.44	257.90	(56)
29.66	28.89	28.19	27.59	26.89	26.31	25.77	25.34	(57)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	(58)
15.40	15.14	14.90	14.69	14.42	14.20	13.99	13.83	(59)
22,315.55	21,939.50	21,561.29	21,269.90	20,842.91	20,468.97	20,116.30	19,796.47	(60) (61)+(65)
21,281.16	20,925.26	20,564.97	20,288.76	19,880.76	19,521.95	19,183.35	18,874.20	(61) (62)+(63)+(64)
14,460.88	14,160.11	13,855.15	13,616.74	13,283.95	12,982.55	12,702.59	12,435.46	(62) =(12)
6,238.95	6,195.15	6,149.89	6,120.62	6,056.08	6,007.17	5,956.44	5,920.42	(63) =(42)
581.33	570.00	559.93	551.40	540.73	532.23	524.32	518.32	(64) (65)×破碎可燃性残渣割合 (R2~R5平均56.2%)
1,034.39	1,014.24	996.32	981.14	962.15	947.02	932.95	922.27	(65) (66)+(69)+(72)
471.13	465.69	460.72	456.63	450.37	445.66	441.15	438.05	(66) (67)+(68)
437.60	432.78	428.36	424.68	418.96	414.66	410.53	407.70	(67) =(13)
33.53	32.91	32.36	31.95	31.41	31.00	30.62	30.35	(68) =(43)
381.03	367.07	354.89	344.40	333.24	323.91	315.44	308.47	(69) (70)+(71)
381.03	367.07	354.89	344.40	333.24	323.91	315.44	308.47	(70) (17)+(18)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	(71) =(46)
182.23	181.48	180.71	180.11	178.54	177.45	176.36	175.75	(72) (73)+(74)
182.19	181.44	180.67	180.07	178.50	177.41	176.32	175.71	(73) =(22)
0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	(74) =(50)
4,533.24	4,585.11	4,635.86	4,669.81	4,703.67	4,748.19	4,794.03	4,849.12	(75) (76)+(81)
1,426.53	1,531.41	1,634.90	1,709.83	1,802.93	1,898.98	1,993.37	2,091.98	(76) (77)+(78)+(79)+(80)
468.31	582.90	695.47	778.03	883.30	988.62	1,091.99	1,196.74	(77) (20)-(22)-(26)
39.04	38.89	38.71	38.58	38.24	37.99	37.76	37.62	(78) (33)-((34)÷2)+(40))
919.12	909.56	900.66	893.16	881.33	872.31	863.56	857.56	(79) =(52)
0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	(80) =(51)
3,106.71	3,053.70	3,000.96	2,959.98	2,900.74	2,849.21	2,800.66	2,757.14	(81) (82)+(83)
382.72	375.27	368.64	363.02	356.00	350.40	345.19	341.24	(82) (65)×破碎処理資源化割合 (R2~R5平均37%)
2,723.99	2,678.43	2,632.32	2,596.96	2,544.74	2,498.81	2,455.47	2,415.90	(83) (65)×焼却資源化割合 (R2~R5平均12.8%)
391.08	388.38	385.81	383.73	379.66	376.72	373.85	372.05	(84) (85)+(86)
320.74	319.41	318.06	317.01	314.23	312.32	310.41	309.34	(85) =(19)
70.34	68.97	67.75	66.72	65.43	64.40	63.44	62.71	(86) (65)×破碎処理後埋立割合 (R2~R5平均6.8%)

(2) ごみ種別の推計表と選定理由

ごみ種別のトレンド集計について、採用式の選定理由は資料3 表-4 に、推計表は資料1-1～1-23 及び資料2-1～2-4 に、示すとおりである。

資料3 表-4 (1) 採用式の推計表の選定理由

項目	採用式	選定理由
資料1-1 生活系可燃ごみ	べき曲線	実績値は、コロナ禍の影響によりR4頃まで通常より値が高いことを考慮すると、令和5年及び令和6年の傾向を重視すべきであり、その微減傾向を示す「べき曲線」を採用。
資料1-2 生活系可燃粗大	実績の平均値	実績値が増減しているが概ね横ばいのため、「実績の平均値」を採用。
資料1-3 生活系不燃粗大	べき曲線	実績値は、コロナ禍の影響によりR4頃まで通常より値が高いことを考慮すると、令和5年及び令和6年の傾向を重視すべきであり、その減少傾向を示す「べき曲線」を採用。
資料1-4 生活系金物類	べき曲線	実績値は、コロナ禍の影響によりR4頃まで通常より値が高いことを考慮すると、令和5年及び令和6年の傾向を重視すべきであり、その減少傾向を示す「べき曲線」を採用。
資料1-5 生活系ガラス類	ロジスティック曲線	実績値は、コロナ禍の影響によりR4頃まで通常より値が高いことを考慮すると、令和5年及び令和6年の傾向を重視すべきであり、その横ばい傾向を示す「ロジスティック曲線」を採用。
資料1-6 生活系陶磁器類	実績の平均値	実績値は、令和6年度が増加しているが概ね横ばいであり、陶磁器類が今後増加することは考えにくいため「実績の平均」を採用。
資料1-7 生活系ビン	実績の平均値	実績値が増減しており傾向がつかめないため、「実績の平均値」を採用。
資料1-8 生活系カン	べき曲線	実績値は、コロナ禍の影響によりR4頃まで通常より値が高いことを考慮すると、令和5年及び令和6年の傾向を重視すべきであり、その微減傾向を示す「べき曲線」を採用。

資料3 表-4 (2) ごみ種別の推計表の選定理由

項目	採用式	選定理由
資料1-9 ペットボトル	べき曲線	令和5年2月から開始されたPETボトルエコドーム以外の公共施設での回収により実績値は令和5年から増加している。今後もその微増傾向が予測されるため、それを示している「べき曲線」を採用。
資料1-10 発泡スチロール	べき曲線	実績値は、コロナ禍の影響によりR4頃まで通常より値が高いことを考慮すると、令和5年及び令和6年の傾向を重視すべきであり、その微減傾向を示す「べき曲線」を採用。
資料1-11 紙容器	実績の平均値	実績値は、令和6年度が増加している。「可児市資源回収ステーションマップ」公開の効果の可能性がある。ただし今後増加傾向が継続することは考えにくいため「実績の平均」を採用。
資料1-12 使用済み小型家電	べき曲線	実績値は、コロナ禍の影響によりR2～R3の値が特異と考えると、その後は概ね減少傾向であり、その傾向を示す「べき曲線」を採用。
資料1-13 廃乾電池	実績の平均値	実績値が直近2年が著しく増減しているため、除外した過去3年間の傾向を示している「実績の平均値」採用。
資料1-14 廃蛍光灯等	ロジスティック曲線	実績値は、コロナ禍の影響によりR4頃まで通常より値が高いことを考慮すると、令和5年及び令和6年の傾向を重視すべきであり、その横ばい傾向を示す「ロジスティック曲線」を採用。
資料1-15 廃食用油	実績の平均値	実績値が増減しており傾向がつかめないため、「実績の平均値」を採用。
資料1-16 ペットボトルキャップ	実績の平均値	実績値が増減しており傾向がつかめないため、「実績の平均値」を採用。
資料1-17 無料パソコン回収	実績の平均値	実績値が増減を繰り返しており傾向がつかめないため、「実績の平均値」を採用。

資料3 表-4 (3) ごみ種別の推計表の選定理由

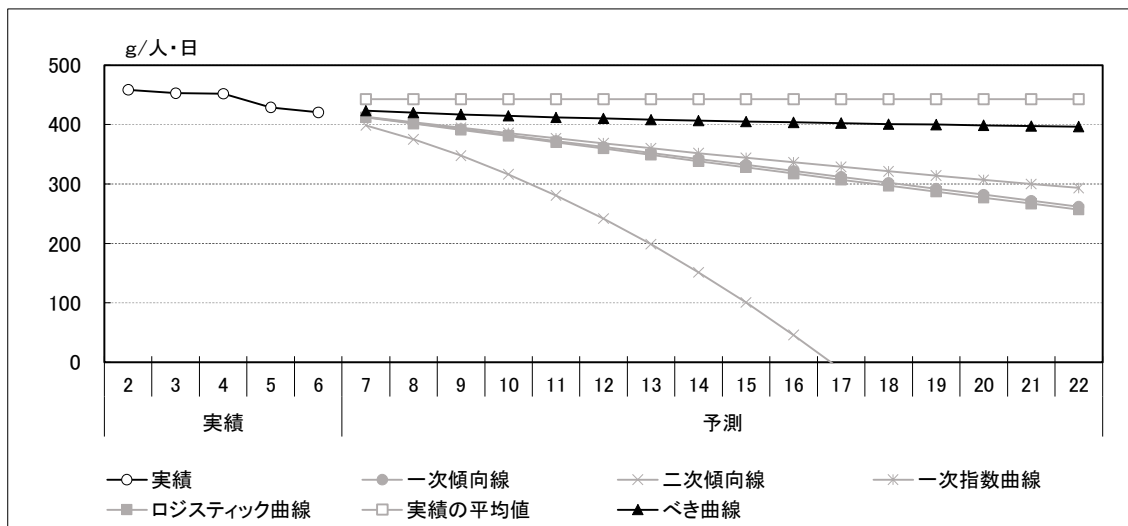
項目	採用式	選定理由
資料1-18 特定ごみ	実績の平均値	実績値が増減しており傾向がつかめないため、「実績の平均値」を採用。
資料1-19 新聞	べき曲線	実績値が減少傾向であり、新聞紙は購読者減少により今後も減少が予測される。その傾向を示している「べき曲線」を採用。
資料1-20 雑誌等	べき曲線	実績値が減少傾向であり、雑誌等は購読者減少により今後も減少が予測される。その傾向を示している「べき曲線」を採用。
資料1-21 牛乳パック	べき曲線	実績値が概ね微減傾向であり、その傾向を示している「べき曲線」を採用。
資料1-22 ダンボール	べき曲線	実績値が微増傾向にある。これは宅配による購入が増加したためであり、今後も同様の傾向が予測される。その傾向を示している「べき曲線」を採用。
資料1-23 繊維類	べき曲線	実績値は、コロナ禍の影響によりR4頃まで通常より値が高いことを考慮すると、令和5年及び令和6年の傾向を重視すべきであり、その微減傾向を示す「べき曲線」を採用。
資料2-1 事業系可燃ごみ	ロジスティック曲線	令和4年度の料金改定（増額）の効果により、実績値は減少傾向であり、その傾向を示している「ロジスティック曲線」を採用。
資料2-2 事業系可燃粗大	べき曲線	実績値が概ね減少傾向であるが、著しく減少することは考えにくいため、緩やかな減少傾向を示す「べき曲線」を採用。
資料2-3 事業系ビン	ロジスティック曲線	実績値が大きく変動しているため直近3年の傾向を重視し、その近似値である「ロジスティック曲線」を採用。
資料2-4 事業系カン	実績の平均値	実績値が増減しており傾向がつかめないため、「実績の平均値」を採用。

資料編

資料 1-1 生活系可燃ごみ

単位: g/人・日

年 度			一 次 傾 向 線		二 次 傾 向 線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の平均値
x			増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
実績	2	1	458.841	—	458.841	—	458.841	—	458.841	—	458.841	—	458.841
	3	2	452.593	-6.248	452.593	-6.248	452.593	-6.248	452.593	-6.248	452.593	-6.248	452.593
	4	3	451.987	-0.606	451.987	-0.606	451.987	-0.606	451.987	-0.606	451.987	-0.606	451.987
	5	4	429.114	-22.873	429.114	-22.873	429.114	-22.873	429.114	-22.873	429.114	-22.873	429.114
	6	5	420.383	-8.731	420.383	-8.731	420.383	-8.731	420.383	-8.731	420.383	-8.731	420.383
予測	7	6	412.465	-7.918	398.849	-21.534	413.040	-7.343	423.486	3.103	412.157	-8.226	442.584
	8	7	402.426	-10.039	375.193	-23.656	403.715	-9.325	420.093	-3.393	401.772	-10.385	
	9	8	392.386	-10.040	347.646	-27.547	394.601	-9.114	417.176	-2.917	391.316	-10.456	
	10	9	382.347	-10.039	316.209	-31.437	385.692	-8.909	414.621	-2.555	380.808	-10.508	
	11	10	372.307	-10.040	280.882	-35.327	376.985	-8.707	412.348	-2.273	370.265	-10.543	
	12	11	362.268	-10.039	241.664	-39.218	368.474	-8.511	410.302	-2.046	359.706	-10.559	
	13	12	352.228	-10.040	198.556	-43.108	360.156	-8.318	408.444	-1.858	349.148	-10.558	
	14	13	342.189	-10.039	151.558	-46.998	352.025	-8.131	406.741	-1.703	338.610	-10.538	
	15	14	332.149	-10.040	100.669	-50.889	344.078	-7.947	405.172	-1.569	328.109	-10.501	
	16	15	322.110	-10.039	45.889	-54.780	336.310	-7.768	403.716	-1.456	317.663	-10.446	
	17	16	312.070	-10.040	-12.781	-58.670	328.717	-7.593	402.359	-1.357	307.290	-10.373	
	18	17	302.031	-10.039	-75.341	-62.560	321.296	-7.421	401.088	-1.271	297.006	-10.284	
	19	18	291.991	-10.040	-141.792	-66.451	314.043	-7.253	399.893	-1.195	286.828	-10.178	
	20	19	281.952	-10.039	-212.133	-70.341	306.953	-7.090	398.767	-1.126	276.770	-10.058	
	21	20	271.912	-10.040	-286.364	-74.231	300.023	-6.930	397.701	-1.066	266.849	-9.921	
	22	21	261.873	-10.039	-364.486	-78.122	293.250	-6.773	396.690	-1.011	257.078	-9.771	
採 用									○				
予 測 式	y	=	ax + b		ax ² + bx + c		a・e ^{bx}		a・x ^b		$\frac{K}{1 + e^{b-ax}}$		
	a	=	-10.0395		-1.9452		473.6893		464.9856		-0.05859		
	b	=	472.70		1.6318		-0.0228		-0.0522		-0.6399		
	c	=			459.0856						721.06		
	K	=											
r			0.945604		0.970135		0.942582		0.864979		0.947309		

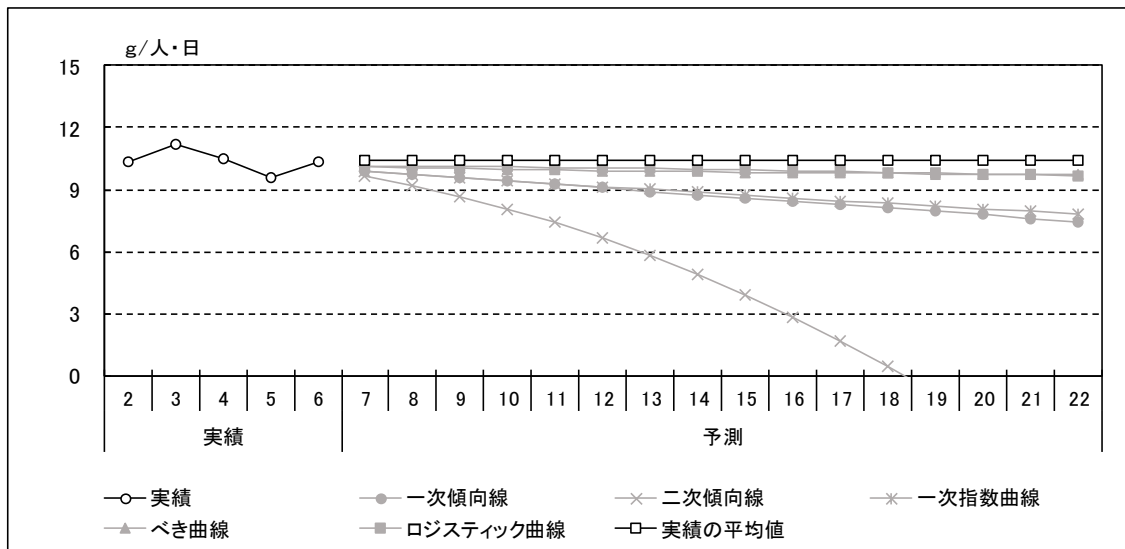


資料編

資料 1-2 生活系可燃粗大

単位: g/人・日

年 度			一 次 傾 向 線		二 次 傾 向 線		一 次 指 数 曲 線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の平均値	
x			増減数		増減数		増減数		増減数		増減数			
実績	2		1	10.335	—	10.335	—	10.335	—	10.335	—	10.335	—	10.335
	3		2	11.181	0.846	11.181	0.846	11.181	0.846	11.181	0.846	11.181	0.846	11.181
	4		3	10.536	-0.645	10.536	-0.645	10.536	-0.645	10.536	-0.645	10.536	-0.645	10.536
	5		4	9.593	-0.943	9.593	-0.943	9.593	-0.943	9.593	-0.943	9.593	-0.943	9.593
	6		5	10.312	0.719	10.312	0.719	10.312	0.719	10.312	0.719	10.312	0.719	10.312
予測	7		6	9.901	-0.411	9.625	-0.687	9.900	-0.412	10.107	-0.205	10.148	-0.164	10.391
	8		7	9.738	-0.163	9.186	-0.439	9.745	-0.155	10.057	-0.050	10.128	-0.020	
	9		8	9.574	-0.164	8.668	-0.518	9.592	-0.153	10.014	-0.043	10.107	-0.021	
	10		9	9.411	-0.163	8.070	-0.598	9.442	-0.150	9.977	-0.037	10.084	-0.023	
	11		10	9.248	-0.163	7.394	-0.676	9.295	-0.147	9.943	-0.034	10.060	-0.024	
	12		11	9.084	-0.164	6.640	-0.754	9.149	-0.146	9.913	-0.030	10.034	-0.026	
	13		12	8.921	-0.163	5.806	-0.834	9.006	-0.143	9.886	-0.027	10.006	-0.028	
	14		13	8.757	-0.164	4.893	-0.913	8.865	-0.141	9.861	-0.025	9.977	-0.029	
	15		14	8.594	-0.163	3.902	-0.991	8.727	-0.138	9.837	-0.024	9.945	-0.032	
	16		15	8.431	-0.163	2.832	-1.070	8.590	-0.137	9.816	-0.021	9.912	-0.033	
	17		16	8.267	-0.164	1.683	-1.149	8.456	-0.134	9.796	-0.020	9.877	-0.035	
	18		17	8.104	-0.163	0.455	-1.228	8.324	-0.132	9.777	-0.019	9.839	-0.038	
	19		18	7.940	-0.164	-0.852	-1.307	8.193	-0.131	9.759	-0.018	9.799	-0.040	
	20		19	7.777	-0.163	-2.238	-1.386	8.065	-0.128	9.742	-0.017	9.756	-0.043	
	21		20	7.614	-0.163	-3.702	-1.464	7.939	-0.126	9.726	-0.016	9.711	-0.045	
	22		21	7.450	-0.164	-5.246	-1.544	7.815	-0.124	9.711	-0.015	9.663	-0.048	
	採 用													
予 測 式	y =	ax + b		ax ² + bx + c		a・e ^{bx}		a・x ^b		$\frac{K}{1 + e^{b-ax}}$				
	a =	-0.1634		-0.0394		10.8816		10.7005		-0.06912				
	b =	10.88		0.0732		-0.0158		-0.0319		-3.9762				
	c =			10.6056						10.44				
	K =													
r =			0.454713		0.472884		0.453439		0.361985		0.458701			

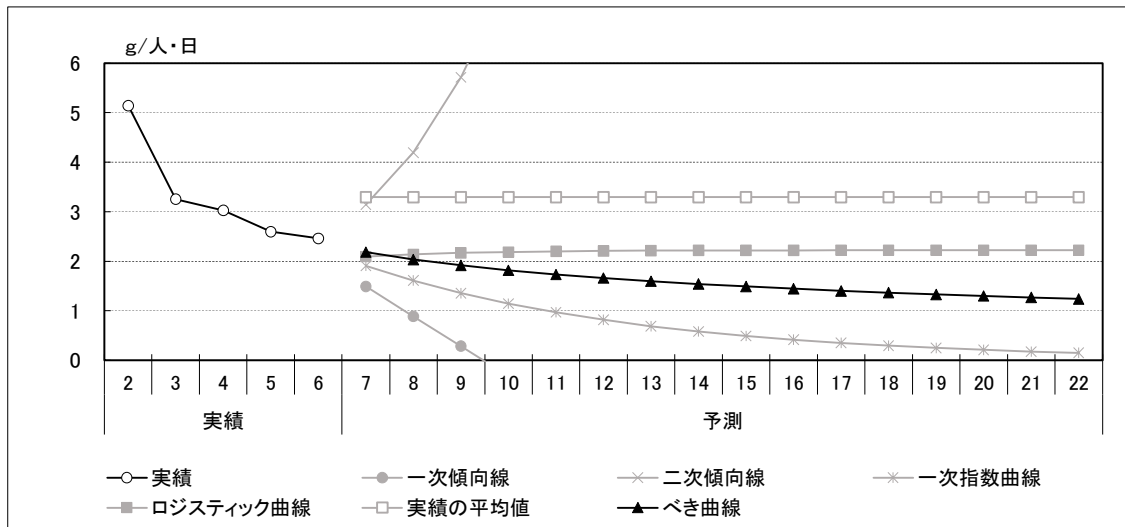


資料編

資料 1-3 生活系不燃粗大

単位: g/人・日

年 度			一 次 傾 向 線		二 次 傾 向 線		一 次 指 数 曲 線		ベ 基 曲 線		ロジスティック曲線		実績の平均値
x			増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
実績	2	1	5.142	—	5.142	—	5.142	—	5.142	—	5.142	—	5.142
	3	2	3.253	-1.889	3.253	-1.889	3.253	-1.889	3.253	-1.889	3.253	-1.889	3.253
	4	3	3.025	-0.228	3.025	-0.228	3.025	-0.228	3.025	-0.228	3.025	-0.228	3.025
	5	4	2.595	-0.430	2.595	-0.430	2.595	-0.430	2.595	-0.430	2.595	-0.430	2.595
	6	5	2.460	-0.135	2.460	-0.135	2.460	-0.135	2.460	-0.135	2.460	-0.135	2.460
予測	7	6	1.488	-0.972	3.141	0.681	1.907	-0.553	2.181	-0.279	2.092	-0.368	3.295
	8	7	0.886	-0.602	4.192	1.051	1.609	-0.298	2.035	-0.146	2.137	0.045	
	9	8	0.284	-0.602	5.715	1.523	1.357	-0.252	1.916	-0.119	2.167	0.030	
	10	9	-0.318	-0.602	7.711	1.996	1.145	-0.212	1.817	-0.099	2.186	0.019	
	11	10	-0.920	-0.602	10.178	2.467	0.966	-0.179	1.733	-0.084	2.199	0.013	
	12	11	-1.523	-0.603	13.118	2.940	0.815	-0.151	1.660	-0.073	2.208	0.009	
	13	12	-2.125	-0.602	16.530	3.412	0.687	-0.128	1.596	-0.064	2.213	0.005	
	14	13	-2.727	-0.602	20.415	3.885	0.580	-0.107	1.539	-0.057	2.217	0.004	
	15	14	-3.329	-0.602	24.772	4.357	0.489	-0.091	1.489	-0.050	2.219	0.002	
	16	15	-3.931	-0.602	29.601	4.829	0.413	-0.076	1.443	-0.046	2.221	0.002	
	17	16	-4.534	-0.603	34.902	5.301	0.348	-0.065	1.402	-0.041	2.222	0.001	
	18	17	-5.136	-0.602	40.676	5.774	0.294	-0.054	1.364	-0.038	2.222	0.000	
	19	18	-5.738	-0.602	46.922	6.246	0.248	-0.046	1.330	-0.034	2.223	0.001	
	20	19	-6.340	-0.602	53.640	6.718	0.209	-0.039	1.298	-0.032	2.223	0.000	
	21	20	-6.942	-0.602	60.831	7.191	0.176	-0.033	1.268	-0.030	2.223	0.000	
	22	21	-7.545	-0.603	68.493	7.662	0.149	-0.027	1.240	-0.028	2.223	0.000	
採 用									○				
予 測 式	y	=	ax + b		ax ² + bx + c		a・e ^{bx}		a・x ^b		$\frac{K}{1 + e^{b-ax}}$		
	a	=	-0.6022		0.2361		5.2894		4.8884		0.43450		
	b	=	5.10		-2.0191		-0.1701		-0.4505		-0.1628		
	c	=			6.7546								
	K	=									2.22		
r			0.880905		0.971106		0.918362		0.981940		-0.932103		

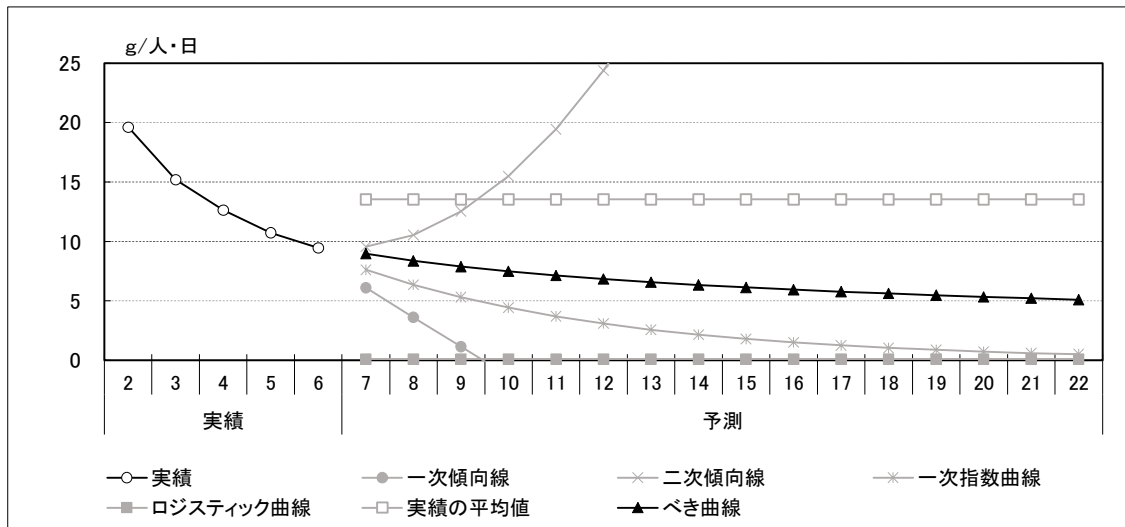


資料編

資料 1-4 生活系金物類

単位: g/人・日

年 度			一 次 傾 向 線		二 次 傾 向 線		一 次 指 数 曲 線		ベ 基 曲 線		ロジスティック曲線		実績の平均値
x			増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
実績	2	1	19.607	—	19.607	—	19.607	—	19.607	—	19.607	—	19.607
	3	2	15.185	-4.422	15.185	-4.422	15.185	-4.422	15.185	-4.422	15.185	-4.422	15.185
	4	3	12.644	-2.541	12.644	-2.541	12.644	-2.541	12.644	-2.541	12.644	-2.541	12.644
	5	4	10.732	-1.912	10.732	-1.912	10.732	-1.912	10.732	-1.912	10.732	-1.912	10.732
	6	5	9.457	-1.275	9.457	-1.275	9.457	-1.275	9.457	-1.275	9.457	-1.275	9.457
予測	7	6	6.099	-3.358	9.561	0.104	7.607	-1.850	8.977	-0.480	0.097	-9.360	13.525
	8	7	3.624	-2.475	10.547	0.986	6.351	-1.256	8.374	-0.603	0.097	0.000	
	9	8	1.149	-2.475	12.522	1.975	5.302	-1.049	7.885	-0.489	0.097	0.000	
	10	9	-1.327	-2.476	15.486	2.964	4.426	-0.876	7.478	-0.407	0.097	0.000	
	11	10	-3.802	-2.475	19.439	3.953	3.695	-0.731	7.131	-0.347	0.097	0.000	
	12	11	-6.277	-2.475	24.382	4.943	3.085	-0.610	6.831	-0.300	0.097	0.000	
	13	12	-8.753	-2.476	30.313	5.931	2.575	-0.510	6.568	-0.263	0.097	0.000	
	14	13	-11.228	-2.475	37.233	6.920	2.150	-0.425	6.336	-0.232	0.098	0.001	
	15	14	-13.703	-2.475	45.142	7.909	1.795	-0.355	6.127	-0.209	0.098	0.000	
	16	15	-16.179	-2.476	54.040	8.898	1.498	-0.297	5.940	-0.187	0.098	0.000	
	17	16	-18.654	-2.475	63.928	9.888	1.251	-0.247	5.770	-0.170	0.098	0.000	
	18	17	-21.129	-2.475	74.804	10.876	1.044	-0.207	5.614	-0.156	0.098	0.000	
	19	18	-23.605	-2.476	86.669	11.865	0.872	-0.172	5.471	-0.143	0.098	0.000	
	20	19	-26.080	-2.475	99.523	12.854	0.728	-0.144	5.340	-0.131	0.098	0.000	
	21	20	-28.555	-2.475	113.366	13.843	0.607	-0.121	5.218	-0.122	0.099	0.001	
	22	21	-31.030	-2.475	128.199	14.833	0.507	-0.100	5.104	-0.114	0.099	0.000	
採 用									○				
予 測 式	y	=	ax + b		ax ² + bx + c		a・e ^{bx}		a・x ^b		$\frac{K}{1 + e^{b-ax}}$		
	a	=	-2.4753		0.4945		22.4721		20.1302		0.00266		
	b	=	20.95		-5.4423		-0.1805		-0.4507		-0.0073		
	c	=			24.4124						0.19		
	K	=											
	r	=	0.971850		0.998631		0.990963		0.995060		-0.971853		

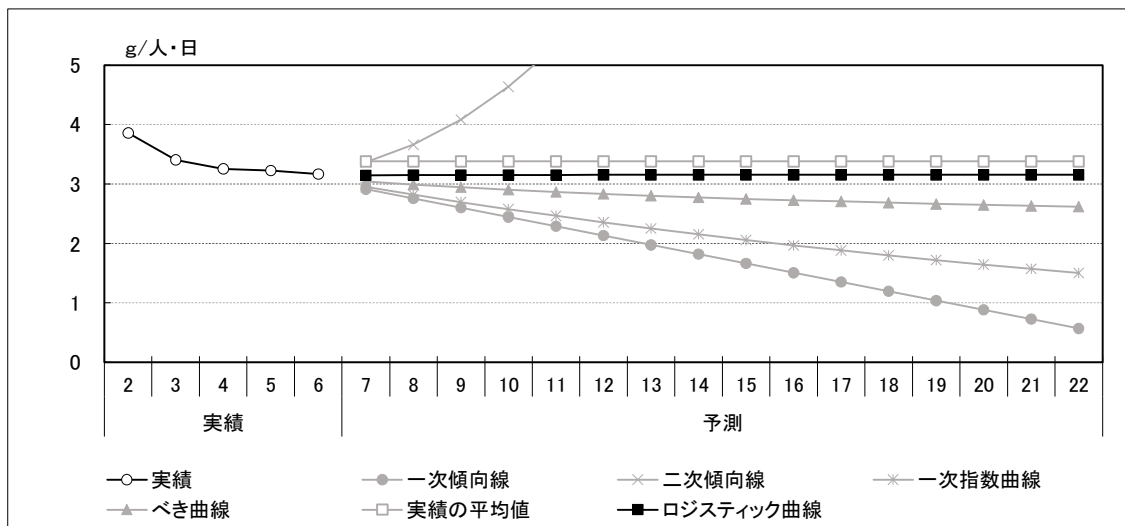


資料編

資料 1-5 生活系ガラス類

単位: g/人・日

年 度			一 次 傾 向 線		二 次 傾 向 線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の平均値	
x			増減数		増減数		増減数		増減数		増減数			
実績	2	1	3.858	—	3.858	—	3.858	—	3.858	—	3.858	—	3.858	
	3		2	3.406	-0.452	3.406	-0.452	3.406	-0.452	3.406	-0.452	3.406		
	4		3	3.256	-0.150	3.256	-0.150	3.256	-0.150	3.256	-0.150	3.256		
	5		4	3.227	-0.029	3.227	-0.029	3.227	-0.029	3.227	-0.029	3.227		
	6		5	3.166	-0.061	3.166	-0.061	3.166	-0.061	3.166	-0.061	3.166		
予測	7	6	2.914	-0.252	3.365	0.199	2.948	-0.218	3.048	-0.118	3.145	-0.021	3.383	
	8	7	2.757	-0.157	3.660	0.295	2.819	-0.129	2.992	-0.056	3.149	0.004		
	9	8	2.601	-0.156	4.085	0.425	2.695	-0.124	2.944	-0.048	3.151	0.002		
	10	9	2.445	-0.156	4.638	0.553	2.577	-0.118	2.902	-0.042	3.152	0.001		
	11	10	2.289	-0.156	5.320	0.682	2.463	-0.114	2.865	-0.037	3.152	0.000		
	12	11	2.132	-0.157	6.131	0.811	2.355	-0.108	2.832	-0.033	3.153	0.001		
	13	12	1.976	-0.156	7.071	0.940	2.252	-0.103	2.802	-0.030	3.153	0.000		
	14	13	1.820	-0.156	8.141	1.070	2.153	-0.099	2.775	-0.027	3.153	0.000		
	15	14	1.663	-0.157	9.339	1.198	2.058	-0.095	2.750	-0.025	3.153	0.000		
	16	15	1.507	-0.156	10.666	1.327	1.968	-0.090	2.727	-0.023	3.153	0.000		
	17	16	1.351	-0.156	12.122	1.456	1.881	-0.087	2.706	-0.021	3.153	0.000		
	18	17	1.194	-0.157	13.707	1.585	1.799	-0.082	2.686	-0.020	3.153	0.000		
	19	18	1.038	-0.156	15.422	1.715	1.719	-0.080	2.667	-0.019	3.153	0.000		
	20	19	0.882	-0.156	17.265	1.843	1.644	-0.075	2.650	-0.017	3.153	0.000		
	21	20	0.725	-0.157	19.237	1.972	1.572	-0.072	2.633	-0.017	3.153	0.000		
	22	21	0.569	-0.156	21.338	2.101	1.503	-0.069	2.618	-0.015	3.153	0.000		
採 用											○			
予 測 式	y	=	ax + b		ax ² + bx + c		a・e ^{bx}		a・x ^b		$\frac{K}{1 + e^{b-ax}}$			
	a	=	-0.1563		0.0645		3.8607		3.7904		0.87127			
	b	=	3.85		-0.5433		-0.0449		-0.1216		-0.7838			
	c	=			4.3030									
	K	=									3.15			
r			=	0.882463		0.982041		0.893674		0.972183		-0.992559		

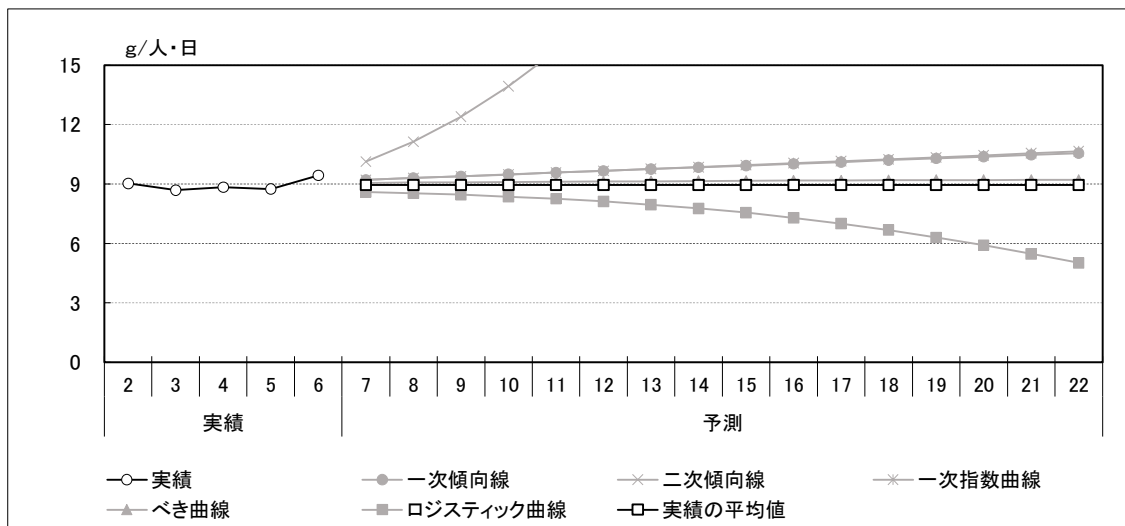


資料編

資料 1-6 生活系陶磁器類

単位: g/人・日

年 度			一 次 傾 向 線		二 次 傾 向 線		一 次 指 数 曲 線		ベ き 曲 線		ロ ジ ス テ ィ ッ ク 曲 線		実績の平均値	
x			増減数		増減数		増減数		増減数		増減数			
実績	2		1	9.027	—	9.027	—	9.027	—	9.027	—	9.027	—	9.027
	3		2	8.688	-0.339	8.688	-0.339	8.688	-0.339	8.688	-0.339	8.688	-0.339	8.688
	4		3	8.831	0.143	8.831	0.143	8.831	0.143	8.831	0.143	8.831	0.143	8.831
	5		4	8.754	-0.077	8.754	-0.077	8.754	-0.077	8.754	-0.077	8.754	-0.077	8.754
	6		5	9.441	0.687	9.441	0.687	9.441	0.687	9.441	0.687	9.441	0.687	9.441
予測	7		6	9.216	-0.225	10.132	0.691	9.209	-0.232	9.051	-0.390	8.597	-0.844	8.948
	8		7	9.306	0.090	11.138	1.006	9.299	0.090	9.071	0.020	8.534	-0.063	
	9		8	9.395	0.089	12.405	1.267	9.390	0.091	9.089	0.018	8.457	-0.077	
	10		9	9.485	0.090	13.934	1.529	9.482	0.092	9.104	0.015	8.365	-0.092	
	11		10	9.574	0.089	15.724	1.790	9.574	0.092	9.118	0.014	8.253	-0.112	
	12		11	9.663	0.089	17.777	2.053	9.668	0.094	9.130	0.012	8.119	-0.134	
	13		12	9.753	0.090	20.091	2.314	9.762	0.094	9.142	0.012	7.960	-0.159	
	14		13	9.842	0.089	22.666	2.575	9.858	0.096	9.152	0.010	7.772	-0.188	
	15		14	9.932	0.090	25.504	2.838	9.954	0.096	9.162	0.010	7.552	-0.220	
	16		15	10.021	0.089	28.603	3.099	10.051	0.097	9.171	0.009	7.296	-0.256	
	17		16	10.110	0.089	31.964	3.361	10.150	0.099	9.179	0.008	7.004	-0.292	
	18		17	10.200	0.090	35.586	3.622	10.249	0.099	9.187	0.008	6.673	-0.331	
	19		18	10.289	0.089	39.470	3.884	10.349	0.100	9.195	0.008	6.306	-0.367	
	20		19	10.379	0.090	43.616	4.146	10.450	0.101	9.202	0.007	5.905	-0.401	
	21		20	10.468	0.089	48.024	4.408	10.552	0.102	9.209	0.007	5.475	-0.430	
	22		21	10.557	0.089	52.693	4.669	10.655	0.103	9.215	0.006	5.024	-0.451	
採 用													○	
予 測 式	y	=	ax + b		ax ² + bx + c		a・e ^{bx}		a・x ^b		$\frac{K}{1 + e^{b-ax}}$			
	a	=	0.0894		0.1309		8.6870		8.8226		-0.21076			
	b	=	8.68		-0.6957		0.0097		0.0143		-4.6916			
	c	=			9.5960									
	K	=									8.88			
r			=	0.465894		0.931728		0.470531		0.281254		-0.559433		

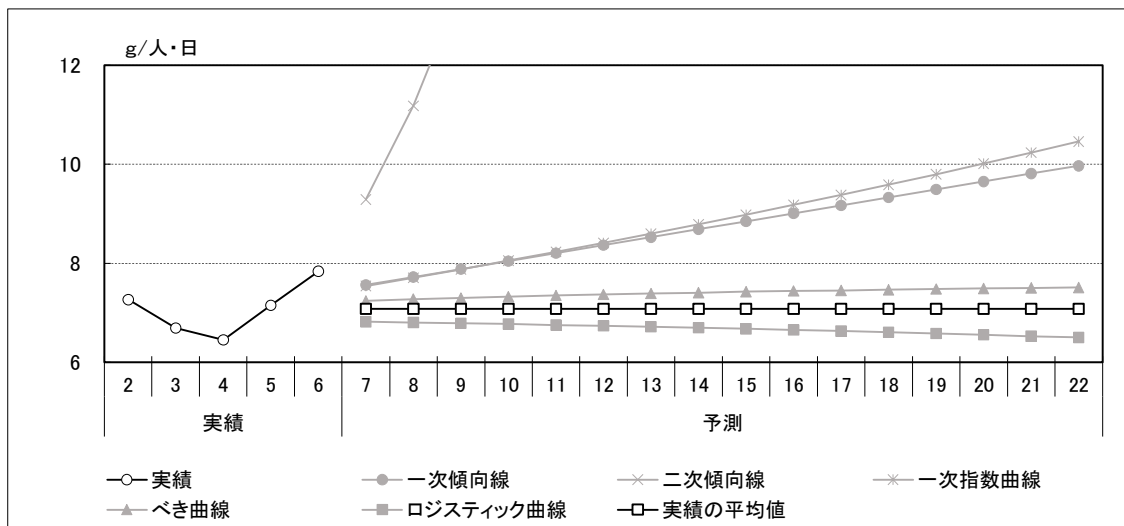


資料編

資料 1-7 生活系ビン

単位: g/人・日

年 度			一 次 傾 向 線		二 次 傾 向 線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の平均値
x			増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
実績	2	1	7.262	—	7.262	—	7.262	—	7.262	—	7.262	—	7.262
	3	2	6.694	-0.568	6.694	-0.568	6.694	-0.568	6.694	-0.568	6.694	-0.568	6.694
	4	3	6.451	-0.243	6.451	-0.243	6.451	-0.243	6.451	-0.243	6.451	-0.243	6.451
	5	4	7.148	0.697	7.148	0.697	7.148	0.697	7.148	0.697	7.148	0.697	7.148
	6	5	7.838	0.690	7.838	0.690	7.838	0.690	7.838	0.690	7.838	0.690	7.838
予測	7	6	7.560	-0.278	9.288	1.450	7.540	-0.298	7.239	-0.599	6.818	-1.020	7.079
	8	7	7.721	0.161	11.177	1.889	7.707	0.167	7.272	0.033	6.803	-0.015	
	9	8	7.882	0.161	13.559	2.382	7.877	0.170	7.301	0.029	6.787	-0.016	
	10	9	8.042	0.160	16.435	2.876	8.051	0.174	7.326	0.025	6.771	-0.016	
	11	10	8.203	0.161	19.805	3.370	8.228	0.177	7.349	0.023	6.753	-0.018	
	12	11	8.363	0.160	23.669	3.864	8.410	0.182	7.370	0.021	6.735	-0.018	
	13	12	8.524	0.161	28.026	4.357	8.595	0.185	7.389	0.019	6.716	-0.019	
	14	13	8.685	0.161	32.877	4.851	8.785	0.190	7.406	0.017	6.696	-0.020	
	15	14	8.845	0.160	38.221	5.344	8.979	0.194	7.423	0.017	6.675	-0.021	
	16	15	9.006	0.161	44.060	5.839	9.177	0.198	7.438	0.015	6.653	-0.022	
	17	16	9.166	0.160	50.392	6.332	9.380	0.203	7.452	0.014	6.631	-0.022	
	18	17	9.327	0.161	57.217	6.825	9.587	0.207	7.465	0.013	6.607	-0.024	
	19	18	9.488	0.161	64.537	7.320	9.798	0.211	7.478	0.013	6.582	-0.025	
	20	19	9.648	0.160	72.350	7.813	10.014	0.216	7.490	0.012	6.555	-0.027	
	21	20	9.809	0.161	80.657	8.307	10.235	0.221	7.501	0.011	6.528	-0.027	
	22	21	9.969	0.160	89.457	8.800	10.461	0.226	7.512	0.011	6.500	-0.028	
採 用													○
予 測 式	y	=	ax + b		ax ² + bx + c		a・e ^{bx}		a・x ^b		$\frac{K}{1 + e^{b-ax}}$		
	a	=	0.1606		0.2469		6.6147		6.8651		-0.05232		
	b	=	6.60		-1.3205		0.0218		0.0296		-3.4643		
	c	=			8.3248						7.11		
	K	=											
	r	=	0.472161		0.979972		0.483200		0.271374		-0.496601		

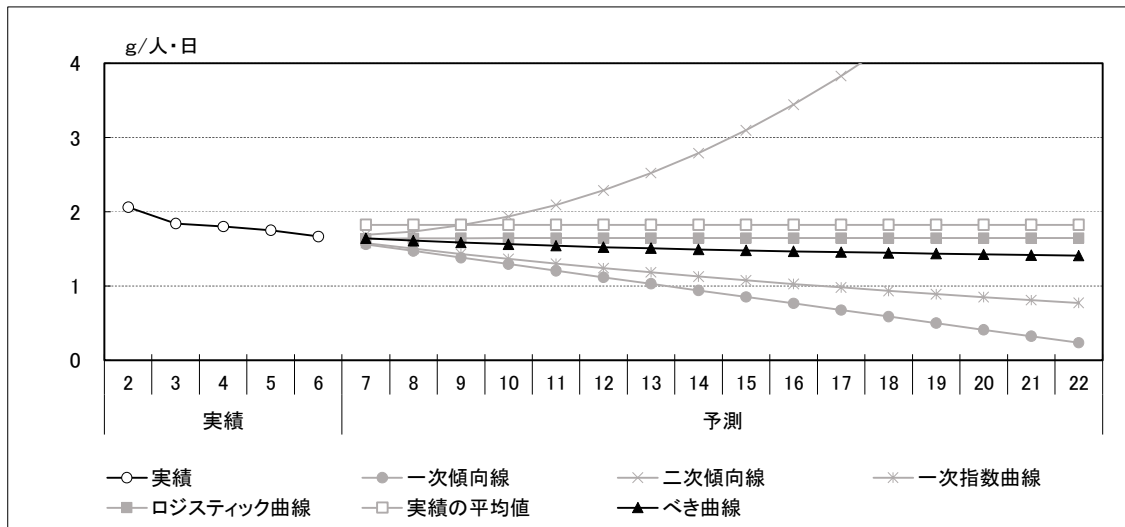


資料編

資料 1-8 生活系カン

単位: g/人・日

年 度			一 次 傾 向 線		二 次 傾 向 線		一 次 指 数 曲 線		ベ 基 曲 線		ロジスティック曲線		実績の平均値
x			増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
実績	2	1	2.061	—	2.061	—	2.061	—	2.061	—	2.061	—	2.061
	3		2	1.841	-0.220	1.841	-0.220	1.841	-0.220	1.841	-0.220	1.841	
	4		3	1.800	-0.041	1.800	-0.041	1.800	-0.041	1.800	-0.041	1.800	
	5		4	1.749	-0.051	1.749	-0.051	1.749	-0.051	1.749	-0.051	1.749	
	6		5	1.666	-0.083	1.666	-0.083	1.666	-0.083	1.666	-0.083	1.666	
予測	7	6	1.559	-0.107	1.691	0.025	1.576	-0.090	1.642	-0.024	1.633	-0.033	1.823
	8	7	1.471	-0.088	1.735	0.044	1.503	-0.073	1.611	-0.031	1.640	0.007	
	9	8	1.382	-0.089	1.816	0.081	1.433	-0.070	1.585	-0.026	1.644	0.004	
	10	9	1.294	-0.088	1.935	0.119	1.366	-0.067	1.562	-0.023	1.646	0.002	
	11	10	1.206	-0.088	2.092	0.157	1.303	-0.063	1.542	-0.020	1.647	0.001	
	12	11	1.118	-0.088	2.287	0.195	1.242	-0.061	1.524	-0.018	1.647	0.000	
	13	12	1.030	-0.088	2.519	0.232	1.184	-0.058	1.508	-0.016	1.648	0.001	
	14	13	0.941	-0.089	2.789	0.270	1.129	-0.055	1.493	-0.015	1.648	0.000	
	15	14	0.853	-0.088	3.097	0.308	1.076	-0.053	1.479	-0.014	1.648	0.000	
	16	15	0.765	-0.088	3.443	0.346	1.026	-0.050	1.467	-0.012	1.648	0.000	
	17	16	0.677	-0.088	3.826	0.383	0.979	-0.047	1.455	-0.012	1.648	0.000	
	18	17	0.589	-0.088	4.247	0.421	0.933	-0.046	1.445	-0.010	1.648	0.000	
	19	18	0.500	-0.089	4.706	0.459	0.890	-0.043	1.435	-0.010	1.648	0.000	
	20	19	0.412	-0.088	5.202	0.496	0.848	-0.042	1.425	-0.010	1.648	0.000	
	21	20	0.324	-0.088	5.736	0.534	0.809	-0.039	1.416	-0.009	1.648	0.000	
	22	21	0.236	-0.088	6.308	0.572	0.771	-0.038	1.408	-0.008	1.648	0.000	
採 用									○				
予 測 式	y	=	ax + b		ax ² + bx + c		a・e ^{bx}		a・x ^b		$\frac{K}{1 + e^{b-ax}}$		
	a	=	-0.0882		0.0189		2.0984		2.0457		0.64272		
	b	=	2.09		-0.2013		-0.0477		-0.1228		-0.8133		
	c	=			2.2200								
	K	=									1.65		
r			0.942245		0.971927		0.948691		0.985440		-0.979753		

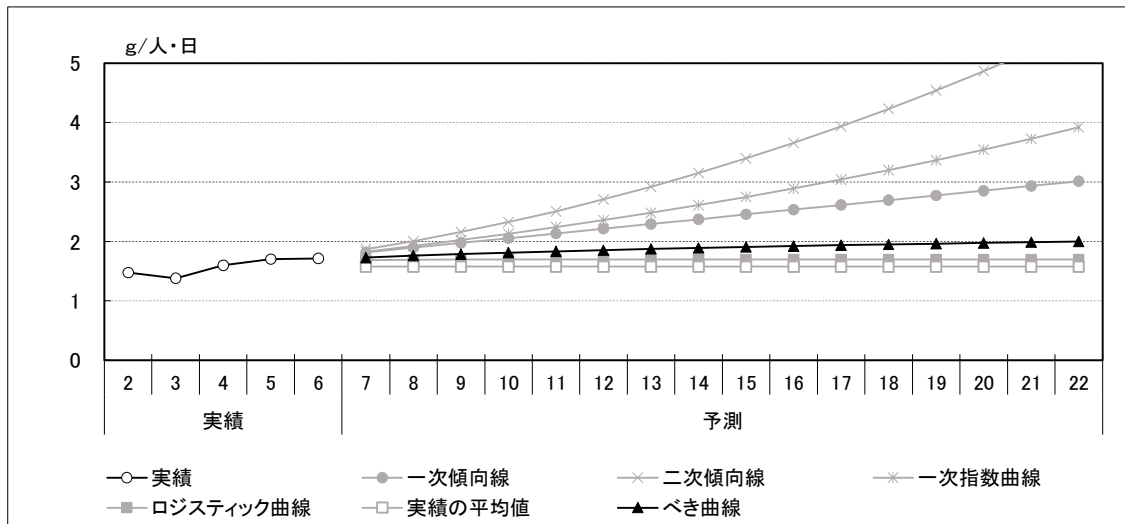


資料編

資料 1-9 ペットボトル

単位: g/人・日

年 度			一 次 傾 向 線		二 次 傾 向 線		一 次 指 数 曲 線		ベ 基 曲 線		ロジスティック曲線		実績の平均値
x			増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
実績	2	1	1.478	—	1.478	—	1.478	—	1.478	—	1.478	—	1.478
	3	2	1.380	-0.098	1.380	-0.098	1.380	-0.098	1.380	-0.098	1.380	-0.098	1.380
	4	3	1.597	0.217	1.597	0.217	1.597	0.217	1.597	0.217	1.597	0.217	1.597
	5	4	1.703	0.106	1.703	0.106	1.703	0.106	1.703	0.106	1.703	0.106	1.703
	6	5	1.716	0.013	1.716	0.013	1.716	0.013	1.716	0.013	1.716	0.013	1.716
予測	7	6	1.815	0.099	1.870	0.154	1.828	0.112	1.729	0.013	1.687	-0.029	1.575
	8	7	1.894	0.079	2.005	0.135	1.924	0.096	1.760	0.031	1.690	0.003	
	9	8	1.974	0.080	2.157	0.152	2.024	0.100	1.787	0.027	1.692	0.002	
	10	9	2.054	0.080	2.324	0.167	2.130	0.106	1.812	0.025	1.692	0.000	
	11	10	2.134	0.080	2.507	0.183	2.241	0.111	1.834	0.022	1.693	0.001	
	12	11	2.214	0.080	2.706	0.199	2.358	0.117	1.854	0.020	1.693	0.000	
	13	12	2.294	0.080	2.920	0.214	2.481	0.123	1.873	0.019	1.693	0.000	
	14	13	2.374	0.080	3.151	0.231	2.611	0.130	1.891	0.018	1.693	0.000	
	15	14	2.454	0.080	3.397	0.246	2.747	0.136	1.907	0.016	1.693	0.000	
	16	15	2.534	0.080	3.659	0.262	2.890	0.143	1.922	0.015	1.693	0.000	
	17	16	2.614	0.080	3.938	0.279	3.041	0.151	1.937	0.015	1.693	0.000	
	18	17	2.693	0.079	4.232	0.294	3.200	0.159	1.950	0.013	1.693	0.000	
	19	18	2.773	0.080	4.541	0.309	3.367	0.167	1.963	0.013	1.693	0.000	
	20	19	2.853	0.080	4.867	0.326	3.543	0.176	1.976	0.013	1.693	0.000	
	21	20	2.933	0.080	5.209	0.342	3.728	0.185	1.987	0.011	1.693	0.000	
	22	21	3.013	0.080	5.566	0.357	3.922	0.194	1.999	0.012	1.693	0.000	
採 用									○				
予 測 式	y	=	ax + b		ax ² + bx + c		a・e ^{bx}		a・x ^b		$\frac{K}{1 + e^{b-ax}}$		
	a	=	0.0799		0.0079		1.3471		1.4046		0.83882		
	b	=	1.34		0.0323		0.0509		0.1159		-0.6138		
	c	=			1.3906								
	K	=									1.69		
r			0.870833		0.876815		0.873286		0.810250		0.737895		

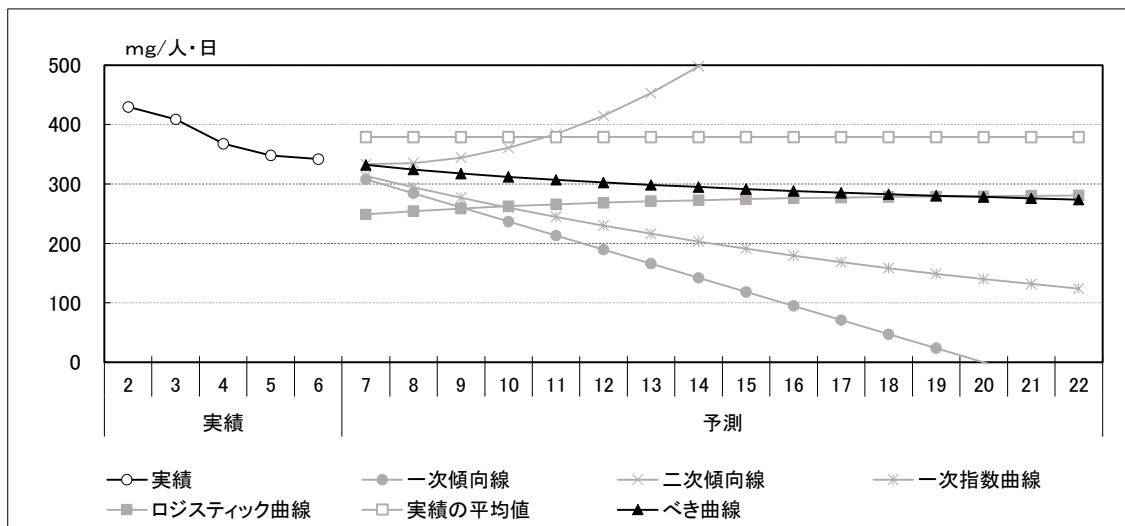


資料編

資料 1-10 発泡スチロール

単位: mg/人・日

年 度			一 次 傾 向 線		二 次 傾 向 線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の平均値	
x			増減数		増減数		増減数		増減数		増減数			
実績	2	1	429.858	—	429.858	—	429.858	—	429.858	—	429.858	—	429.858	
	3	2	408.866	-20.992	408.866	-20.992	408.866	-20.992	408.866	-20.992	408.866	-20.992	408.866	
	4	3	367.613	-41.253	367.613	-41.253	367.613	-41.253	367.613	-41.253	367.613	-41.253	367.613	
	5	4	348.146	-19.467	348.146	-19.467	348.146	-19.467	348.146	-19.467	348.146	-19.467	348.146	
	6	5	341.690	-6.456	341.690	-6.456	341.690	-6.456	341.690	-6.456	341.690	-6.456	341.690	
予測	7	6	308.118	-33.572	333.547	-8.143	313.600	-28.090	332.137	-9.553	249.037	-92.653	379.235	
	8	7	284.412	-23.706	335.270	1.723	294.752	-18.848	324.341	-7.796	254.243	5.206		
	9	8	260.707	-23.705	344.259	8.989	277.036	-17.716	317.737	-6.604	258.728	4.485		
	10	9	237.001	-23.706	360.513	16.254	260.384	-16.652	312.023	-5.714	262.570	3.842		
	11	10	213.295	-23.706	384.033	23.520	244.734	-15.650	306.999	-5.024	265.843	3.273		
	12	11	189.590	-23.705	414.818	30.785	230.024	-14.710	302.524	-4.475	268.619	2.776		
	13	12	165.884	-23.706	452.869	38.051	216.199	-13.825	298.495	-4.029	270.966	2.347		
	14	13	142.179	-23.705	498.185	45.316	203.204	-12.995	294.837	-3.658	272.944	1.978		
	15	14	118.473	-23.706	550.766	52.581	190.991	-12.213	291.490	-3.347	274.605	1.661		
	16	15	94.767	-23.706	610.613	59.847	179.511	-11.480	288.408	-3.082	275.999	1.394		
	17	16	71.062	-23.705	677.725	67.112	168.722	-10.789	285.554	-2.854	277.165	1.166		
	18	17	47.356	-23.706	752.103	74.378	158.581	-10.141	282.899	-2.655	278.140	0.975		
	19	18	23.651	-23.705	833.746	81.643	149.049	-9.532	280.419	-2.480	278.953	0.813		
	20	19	-0.055	-23.706	922.654	88.908	140.091	-8.958	278.093	-2.326	279.632	0.679		
	21	20	-23.761	-23.706	1,018.828	96.174	131.671	-8.420	275.904	-2.189	280.197	0.565		
	22	21	-47.466	-23.705	1,122.268	103.440	123.757	-7.914	273.838	-2.066	280.667	0.470		
採 用									○					
予 測 式	y	=	ax + b		ax ² + bx + c		a・e ^{bx}		a・x ^b		$\frac{K}{1 + e^{b-ax}}$			
	a	=	-23.7056		3.6327		454.8829		437.7291		0.18724			
	b	=	450.35		-45.5019		-0.0620		-0.1541		-0.8697			
	c	=			475.7804									
	K	=									282.97			
r			=	0.971679		0.987523		0.977374		0.971619		-0.981259		

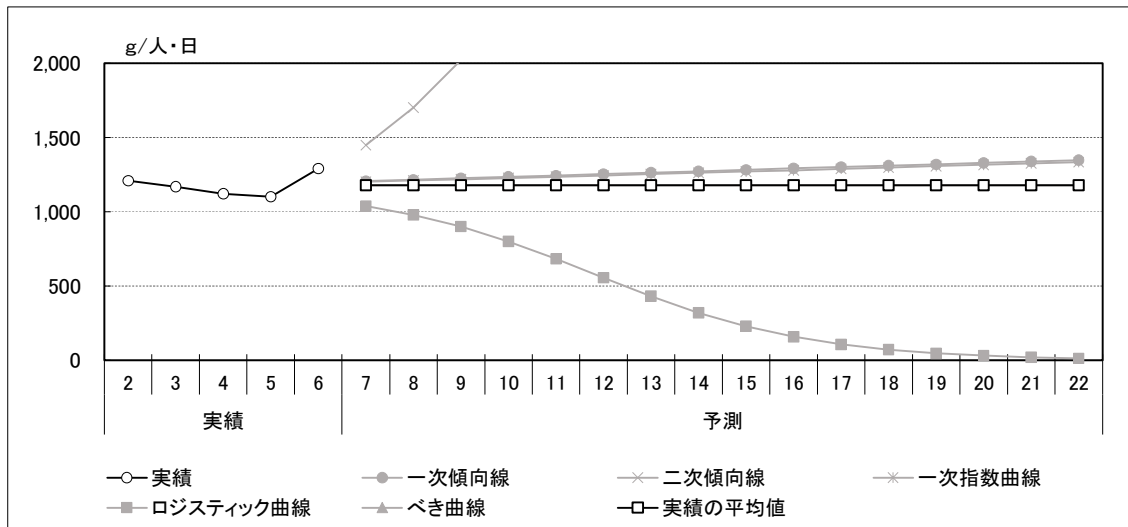


資料編

資料 1-11 紙容器

単位: mg/人・日

年 度			一 次 傾 向 線		二 次 傾 向 線		一 次 指 数 曲 線		ベ き 曲 線		ロジスティック曲線		実績の平均値
x			増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
実績	2	1	1,208.975	—	1,208.975	—	1,208.975	—	1,208.975	—	1,208.975	—	1,208.975
	3	2	1,168.961	-40.014	1,168.961	-40.014	1,168.961	-40.014	1,168.961	-40.014	1,168.961	-40.014	1,168.961
	4	3	1,121.683	-47.278	1,121.683	-47.278	1,121.683	-47.278	1,121.683	-47.278	1,121.683	-47.278	1,121.683
	5	4	1,101.374	-20.309	1,101.374	-20.309	1,101.374	-20.309	1,101.374	-20.309	1,101.374	-20.309	1,101.374
	6	5	1,289.916	188.542	1,289.916	188.542	1,289.916	188.542	1,289.916	188.542	1,289.916	188.542	1,289.916
予測	7	6	1,206.470	-83.446	1,448.511	158.595	1,201.278	-88.638	1,176.661	-113.255	1,037.262	-252.654	1,178.182
	8	7	1,215.900	9.430	1,699.981	251.470	1,209.723	8.445	1,176.729	0.068	978.680	-58.582	
	9	8	1,225.329	9.429	2,020.605	320.624	1,218.227	8.504	1,176.787	0.058	899.814	-78.866	
	10	9	1,234.759	9.430	2,410.384	389.779	1,226.791	8.564	1,176.838	0.051	799.793	-100.021	
	11	10	1,244.188	9.429	2,869.317	458.933	1,235.415	8.624	1,176.885	0.047	682.124	-117.669	
	12	11	1,253.618	9.430	3,397.405	528.088	1,244.100	8.685	1,176.926	0.041	555.330	-126.794	
	13	12	1,263.047	9.429	3,994.647	597.242	1,252.845	8.745	1,176.964	0.038	431.001	-124.329	
	14	13	1,272.477	9.430	4,661.044	666.397	1,261.653	8.808	1,176.999	0.035	319.865	-111.136	
	15	14	1,281.906	9.429	5,396.595	735.551	1,270.522	8.869	1,177.032	0.033	228.449	-91.416	
	16	15	1,291.336	9.430	6,201.300	804.705	1,279.453	8.931	1,177.062	0.030	158.257	-70.192	
	17	16	1,300.765	9.429	7,075.160	873.860	1,288.447	8.994	1,177.090	0.028	107.161	-51.096	
	18	17	1,310.195	9.430	8,018.174	943.014	1,297.505	9.058	1,177.117	0.027	71.390	-35.771	
	19	18	1,319.624	9.429	9,030.343	1,012.169	1,306.626	9.121	1,177.142	0.025	47.028	-24.362	
	20	19	1,329.054	9.430	10,111.666	1,081.323	1,315.811	9.185	1,177.165	0.023	30.746	-16.282	
	21	20	1,338.483	9.429	11,262.144	1,150.478	1,325.061	9.250	1,177.188	0.023	20.000	-10.746	
	22	21	1,347.913	9.430	12,481.776	1,219.632	1,334.376	9.315	1,177.209	0.021	12.966	-7.034	
採 用													○
予 測 式	y	=	ax + b		ax ² + bx + c		a・e ^{bx}		a・x ^b		$\frac{K}{1 + e^{b-ax}}$		
	a	=	9.4295		34.5772		1,151.8339		1,175.8778		-0.43948		
	b	=	1,149.89		-198.0338		0.0070		0.0004		-4.7434		
	c	=			1,391.9338						1,163.45		
	K	=											
r			0.198310		0.882977		0.201879		0.025643		-0.401613		

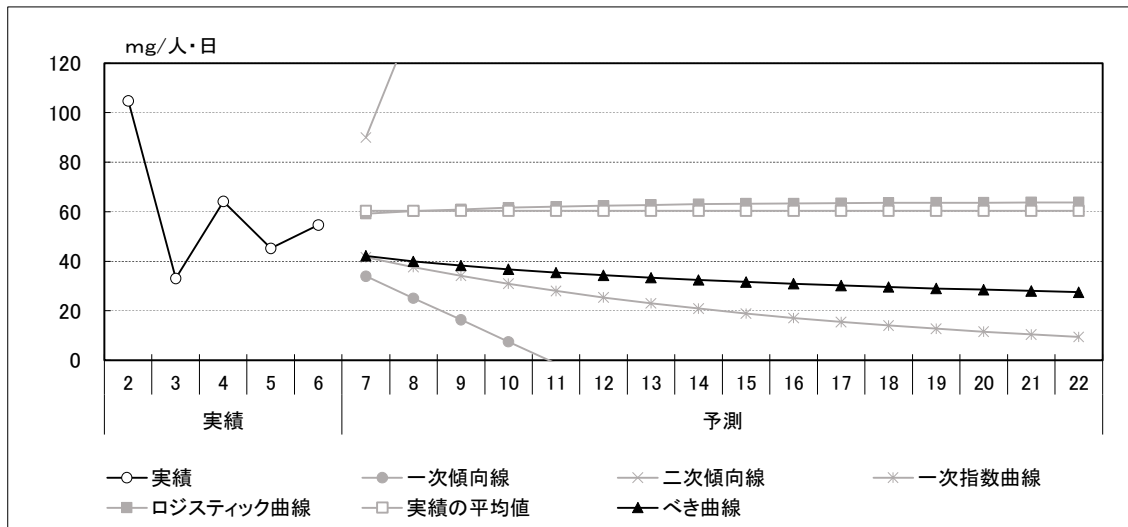


資料編

資料 1-12 使用済み小型家電

単位: mg/人・日

年 度			一 次 傾 向 線		二 次 傾 向 線		一 次 指 数 曲 線		ベ き 曲 線		ロ ー ス テ ッ ク 曲 線		実績の平均値
x			増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
実績	2	1	104.778	—	104.778	—	104.778	—	104.778	—	104.778	—	104.778
	3	2	33.012	-71.766	33.012	-71.766	33.012	-71.766	33.012	-71.766	33.012	-71.766	33.012
	4	3	64.182	31.170	64.182	31.170	64.182	31.170	64.182	31.170	64.182	31.170	64.182
	5	4	45.221	-18.961	45.221	-18.961	45.221	-18.961	45.221	-18.961	45.221	-18.961	45.221
	6	5	54.616	9.395	54.616	9.395	54.616	9.395	54.616	9.395	54.616	9.395	54.616
予測	7	6	33.927	-20.689	90.023	35.407	41.594	-13.022	42.140	-12.476	59.274	4.658	60.362
	8	7	25.116	-8.811	137.307	47.284	37.680	-3.914	39.990	-2.150	60.230	0.956	
	9	8	16.304	-8.812	200.618	63.311	34.134	-3.546	38.216	-1.774	60.998	0.768	
	10	9	7.493	-8.811	279.957	79.339	30.922	-3.212	36.717	-1.499	61.610	0.612	
	11	10	-1.319	-8.812	375.323	95.366	28.012	-2.910	35.426	-1.291	62.096	0.486	
	12	11	-10.130	-8.811	486.716	111.393	25.376	-2.636	34.297	-1.129	62.481	0.385	
	13	12	-18.942	-8.812	614.136	127.420	22.988	-2.388	33.298	-0.999	62.785	0.304	
	14	13	-27.753	-8.811	757.584	143.448	20.824	-2.164	32.404	-0.894	63.023	0.238	
	15	14	-36.565	-8.812	917.059	159.475	18.865	-1.959	31.599	-0.805	63.211	0.188	
	16	15	-45.376	-8.811	1,092.561	175.502	17.089	-1.776	30.866	-0.733	63.358	0.147	
	17	16	-54.188	-8.812	1,284.091	191.530	15.481	-1.608	30.197	-0.669	63.473	0.115	
	18	17	-62.999	-8.811	1,491.648	207.557	14.024	-1.457	29.581	-0.616	63.563	0.090	
	19	18	-71.811	-8.812	1,715.232	223.584	12.704	-1.320	29.012	-0.569	63.634	0.071	
	20	19	-80.622	-8.811	1,954.843	239.611	11.509	-1.195	28.484	-0.528	63.689	0.055	
	21	20	-89.434	-8.812	2,210.482	255.639	10.426	-1.083	27.992	-0.492	63.732	0.043	
	22	21	-98.245	-8.811	2,482.148	271.666	9.445	-0.981	27.532	-0.460	63.766	0.034	
採 用									○				
予 測 式	y	=	ax + b		ax ² + bx + c		a・e ^{bx}		a・x ^b		$\frac{K}{1 + e^{b-ax}}$		
	a	=	-8.8115		8.0136		75.2615		77.4630		0.24834		
	b	=	86.80		-56.8934		-0.0988		-0.3398		-1.0637		
	c	=			142.8918						63.89		
	K	=											
	r	=	0.508931		0.747616		0.540827		0.690523		-0.563869		



資料編

資料 1-13 廃乾電池

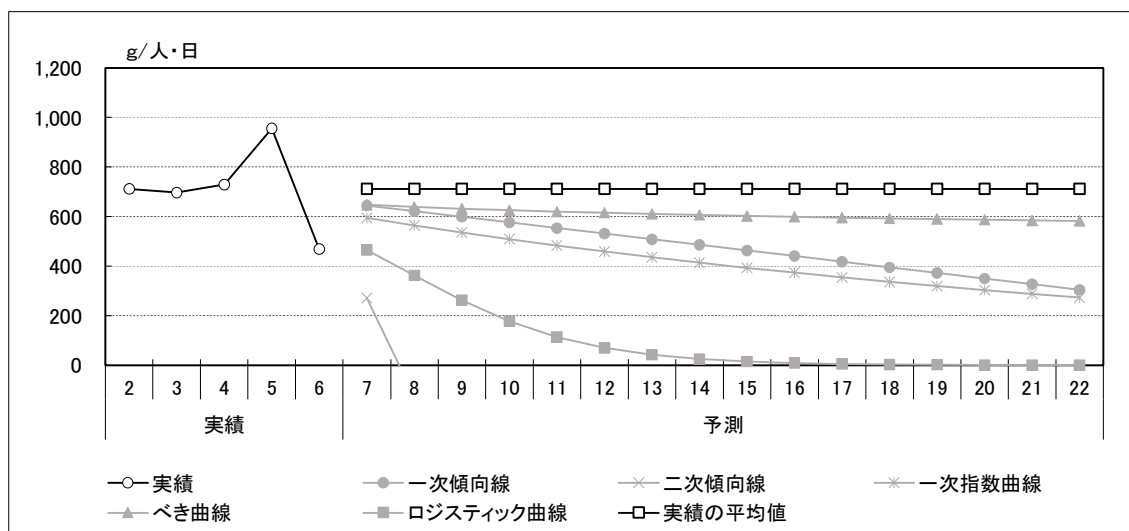
資料1-13

可児市

廃乾電池

単位: mg/人・日

年 度			一 次 傾 向 線		二 次 傾 向 線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の平均値
x			増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
実績	2	1	711.952	—	711.952	—	711.952	—	711.952	—	711.952	—	711.952
	3	2	696.506	-15.446	696.506	-15.446	696.506	-15.446	696.506	-15.446	696.506	-15.446	696.506
	4	3	728.671	32.165	728.671	32.165	728.671	32.165	728.671	32.165	728.671	32.165	728.671
	5	4	955.632	226.961	955.632	226.961	955.632	226.961	955.632	226.961	955.632	226.961	955.632
	6	5	469.035	-486.597	469.035	-486.597	469.035	-486.597	469.035	-486.597	469.035	-486.597	469.035
予測	7	6	644.347	175.312	270.594	-198.441	594.762	125.727	647.447	178.412	465.096	-3.939	712.359
	8	7	621.676	-22.671	-125.830	-396.424	564.717	-30.045	639.051	-8.396	362.542	-102.554	
	9	8	599.005	-22.671	-629.040	-503.210	536.189	-28.528	631.867	-7.184	262.176	-100.366	
	10	9	576.334	-22.671	-1,239.037	-609.997	509.103	-27.086	625.597	-6.270	177.069	-85.107	
	11	10	553.664	-22.670	-1,955.821	-716.784	483.385	-25.718	620.041	-5.556	113.246	-63.823	
	12	11	530.993	-22.671	-2,779.391	-823.570	458.966	-24.419	615.058	-4.983	69.656	-43.590	
	13	12	508.322	-22.671	-3,709.748	-930.357	435.781	-23.185	610.543	-4.515	41.754	-27.902	
	14	13	485.651	-22.671	-4,746.891	-1,037.143	413.767	-22.014	606.419	-4.124	24.627	-17.127	
	15	14	462.980	-22.671	-5,890.821	-1,143.930	392.865	-20.902	602.626	-3.793	14.384	-10.243	
	16	15	440.310	-22.670	-7,141.537	-1,250.716	373.019	-19.846	599.116	-3.510	8.352	-6.032	
	17	16	417.639	-22.671	-8,499.040	-1,357.503	354.175	-18.844	595.851	-3.265	4.833	-3.519	
	18	17	394.968	-22.671	-9,963.329	-1,464.289	336.283	-17.892	592.801	-3.050	2.792	-2.041	
	19	18	372.297	-22.671	-11,534.406	-1,571.077	319.296	-16.987	589.939	-2.862	1.610	-1.182	
	20	19	349.626	-22.671	-13,212.268	-1,677.862	303.166	-16.130	587.244	-2.695	0.928	-0.682	
	21	20	326.956	-22.670	-14,996.917	-1,784.649	287.851	-15.315	584.700	-2.544	0.535	-0.393	
	22	21	304.285	-22.671	-16,888.353	-1,891.436	273.310	-14.541	582.289	-2.411	0.308	-0.227	
	採 用												
予 測 式	y	=	ax + b		ax ² + bx + c		a・e ^{bx}		a・x ^b		$\frac{K}{1 + e^{b-ax}}$		
	a	=	-22.6708		-53.3933		811.7422		753.5095		-0.55167		
	b	=	780.37		297.6889		-0.0518		-0.0847		-3.7815		
	c	=			406.6186						755.35		
	K	=									0.349131		
r			0.207905		0.615535		0.190431		0.101054		0.349131		

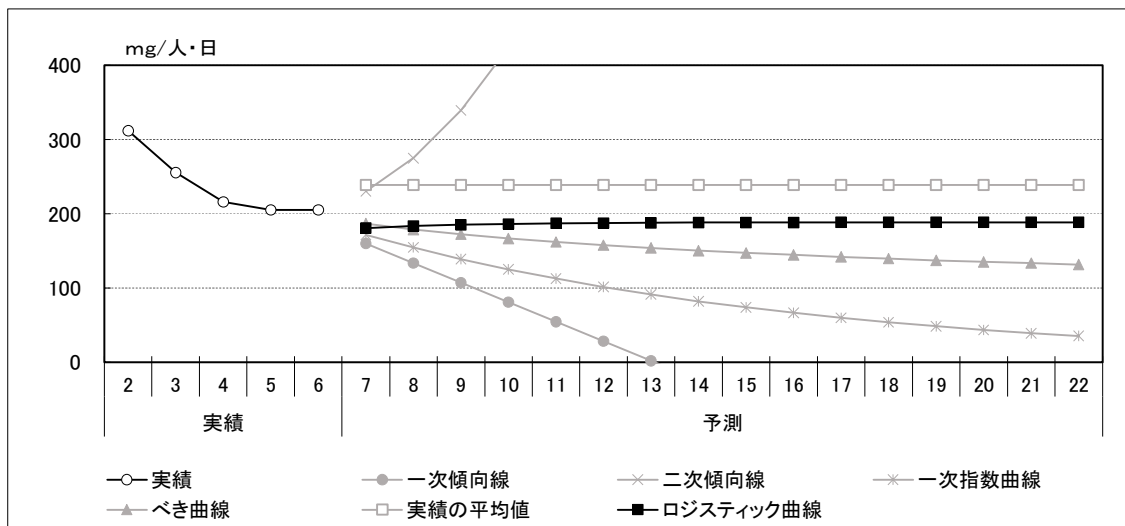


資料編

資料 1-14 廃蛍光灯等

単位: mg/人・日

年 度			一 次 傾 向 線		二 次 傾 向 線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の平均値
x			増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
実績	2	1	311.647	—	311.647	—	311.647	—	311.647	—	311.647	—	311.647
	3	2	255.440	-56.207	255.440	-56.207	255.440	-56.207	255.440	-56.207	255.440	-56.207	255.440
	4	3	216.034	-39.406	216.034	-39.406	216.034	-39.406	216.034	-39.406	216.034	-39.406	216.034
	5	4	205.128	-10.906	205.128	-10.906	205.128	-10.906	205.128	-10.906	205.128	-10.906	205.128
	6	5	205.289	0.161	205.289	0.161	205.289	0.161	205.289	0.161	205.289	0.161	205.289
予測	7	6	159.799	-45.490	230.417	25.128	171.639	-33.650	186.599	-18.690	180.744	-24.545	238.708
	8	7	133.496	-26.303	274.732	44.315	154.465	-17.174	178.745	-7.854	183.359	2.615	
	9	8	107.194	-26.302	339.224	64.492	139.009	-15.456	172.210	-6.535	185.100	1.741	
	10	9	80.891	-26.303	423.893	84.669	125.100	-13.909	166.644	-5.566	186.248	1.148	
	11	10	54.588	-26.303	528.737	104.844	112.583	-12.517	161.818	-4.826	187.002	0.754	
	12	11	28.285	-26.303	653.759	125.022	101.318	-11.265	157.572	-4.246	187.496	0.494	
	13	12	1.982	-26.303	798.957	145.198	91.180	-10.138	153.794	-3.778	187.817	0.321	
	14	13	-24.320	-26.302	964.332	165.375	82.057	-9.123	150.398	-3.396	188.027	0.210	
	15	14	-50.623	-26.303	1,149.883	185.551	73.846	-8.211	147.321	-3.077	188.164	0.137	
	16	15	-76.926	-26.303	1,355.611	205.728	66.457	-7.389	144.513	-2.808	188.252	0.088	
	17	16	-103.229	-26.303	1,581.515	225.904	59.808	-6.649	141.935	-2.578	188.310	0.058	
	18	17	-129.532	-26.303	1,827.596	246.081	53.823	-5.985	139.555	-2.380	188.348	0.038	
	19	18	-155.834	-26.302	2,093.853	266.257	48.438	-5.385	137.347	-2.208	188.372	0.024	
	20	19	-182.137	-26.303	2,380.287	286.434	43.591	-4.847	135.291	-2.056	188.388	0.016	
	21	20	-208.440	-26.303	2,686.898	306.611	39.230	-4.361	133.369	-1.922	188.398	0.010	
	22	21	-234.743	-26.303	3,013.685	326.787	35.304	-3.926	131.567	-1.802	188.405	0.007	
採 用											○		
予 測 式	y	=	ax + b		ax ² + bx + c		a・e ^{bx}		a・x ^b		$\frac{K}{1 + e^{b-ax}}$		
	a	=	-26.3028		10.0883		323.0952		307.5861		0.43116		
	b	=	317.62		-86.8325		-0.1054		-0.2789		-0.5724		
	c	=			388.2340						188.42		
	K	=											
	r	=	0.909777		0.999078		0.933705		0.986837		-0.967812		

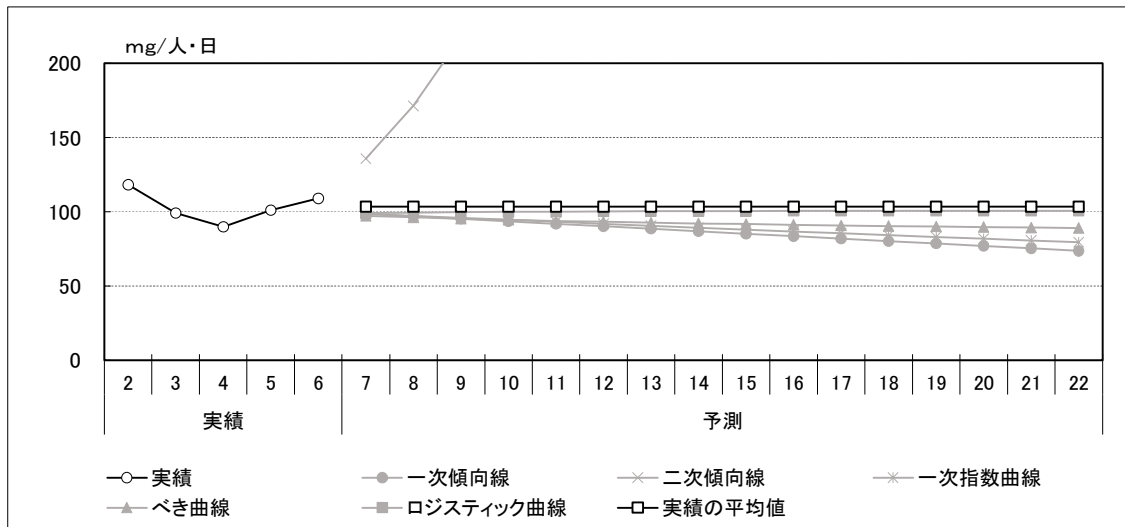


資料編

資料 1-15 廃食用油

単位: mg/人・日

年 度			一 次 傾 向 線		二 次 傾 向 線		一 次 指 数 曲 線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の平均値
x			増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
実績	2	1	118.211	—	118.211	—	118.211	—	118.211	—	118.211	—	118.211
	3		2	99.145	-19.066	99.145	-19.066	99.145	-19.066	99.145	-19.066	99.145	
	4		3	89.855	-9.290	89.855	-9.290	89.855	-9.290	89.855	-9.290	89.855	
	5		4	101.066	11.211	101.066	11.211	101.066	11.211	101.066	11.211	101.066	
	6		5	108.957	7.891	108.957	7.891	108.957	7.891	108.957	7.891	108.957	
予測	7	6	98.471	-10.486	135.678	26.721	98.656	-10.301	97.191	-11.766	99.017	-9.940	103.447
	8	7	96.812	-1.659	171.227	35.549	97.247	-1.409	96.153	-1.038	99.410	0.393	
	9	8	95.153	-1.659	217.407	46.180	95.858	-1.389	95.262	-0.891	99.711	0.301	
	10	9	93.495	-1.658	274.217	56.810	94.489	-1.369	94.484	-0.778	99.941	0.230	
	11	10	91.836	-1.659	341.658	67.441	93.140	-1.349	93.793	-0.691	100.116	0.175	
	12	11	90.177	-1.659	419.729	78.071	91.810	-1.330	93.172	-0.621	100.250	0.134	
	13	12	88.519	-1.658	508.432	88.703	90.499	-1.311	92.609	-0.563	100.353	0.103	
	14	13	86.860	-1.659	607.765	99.333	89.206	-1.293	92.094	-0.515	100.430	0.077	
	15	14	85.201	-1.659	717.729	109.964	87.932	-1.274	91.620	-0.474	100.490	0.060	
	16	15	83.542	-1.659	838.323	120.594	86.676	-1.256	91.181	-0.439	100.535	0.045	
	17	16	81.884	-1.658	969.548	131.225	85.438	-1.238	90.772	-0.409	100.569	0.034	
	18	17	80.225	-1.659	1,111.404	141.856	84.218	-1.220	90.389	-0.383	100.596	0.027	
	19	18	78.566	-1.659	1,263.891	152.487	83.016	-1.202	90.030	-0.359	100.616	0.020	
	20	19	76.908	-1.658	1,427.008	163.117	81.830	-1.186	89.691	-0.339	100.631	0.015	
	21	20	75.249	-1.659	1,600.756	173.748	80.661	-1.169	89.371	-0.320	100.642	0.011	
	22	21	73.590	-1.659	1,785.135	184.379	79.509	-1.152	89.068	-0.303	100.651	0.009	
採 用													○
予 測 式	y	=	ax + b		ax ² + bx + c		a・e ^{bx}		a・x ^b		$\frac{K}{1 + e^{b-ax}}$		
	a	=	-1.6587		5.3154		107.5493		110.1122		0.27343		
	b	=	108.42		-33.5508		-0.0144		-0.0697		-2.4469		
	c	=			145.6304								
	K	=									100.68		
r			=	0.245295		0.961877		0.253208		0.467922		-0.380315	

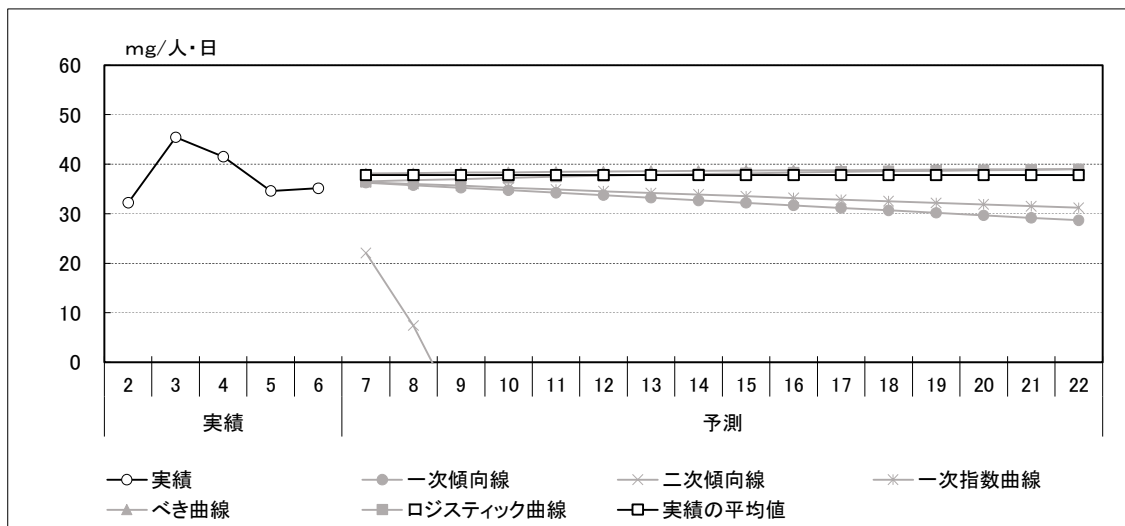


資料編

資料 1-16 ペットボトルキャップ

単位: mg/人・日

年 度			一 次 傾 向 線		二 次 傾 向 線		一 次 指 数 曲 線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の平均値
x			増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
実績	2	1	32.239	—	32.239	—	32.239	—	32.239	—	32.239	—	32.239
	3	2	45.460	13.221	45.460	13.221	45.460	13.221	45.460	13.221	45.460	13.221	45.460
	4	3	41.513	-3.947	41.513	-3.947	41.513	-3.947	41.513	-3.947	41.513	-3.947	41.513
	5	4	34.597	-6.916	34.597	-6.916	34.597	-6.916	34.597	-6.916	34.597	-6.916	34.597
	6	5	35.130	0.533	35.130	0.533	35.130	0.533	35.130	0.533	35.130	0.533	35.130
予測	7	6	36.264	1.134	22.091	-13.039	36.357	1.227	38.085	2.955	36.491	1.361	37.788
	8	7	35.755	-0.509	7.410	-14.681	35.990	-0.367	38.198	0.113	36.771	0.280	
	9	8	35.247	-0.508	-11.319	-18.729	35.627	-0.363	38.296	0.098	37.029	0.258	
	10	9	34.739	-0.508	-34.099	-22.780	35.268	-0.359	38.383	0.087	37.265	0.236	
	11	10	34.231	-0.508	-60.927	-26.828	34.913	-0.355	38.461	0.078	37.483	0.218	
	12	11	33.723	-0.508	-91.805	-30.878	34.561	-0.352	38.532	0.071	37.682	0.199	
	13	12	33.215	-0.508	-126.732	-34.927	34.212	-0.349	38.596	0.064	37.865	0.183	
	14	13	32.707	-0.508	-165.708	-38.976	33.868	-0.344	38.656	0.060	38.032	0.167	
	15	14	32.199	-0.508	-208.734	-43.026	33.526	-0.342	38.711	0.055	38.185	0.153	
	16	15	31.691	-0.508	-255.809	-47.075	33.188	-0.338	38.763	0.052	38.325	0.140	
	17	16	31.183	-0.508	-306.933	-51.124	32.854	-0.334	38.811	0.048	38.453	0.128	
	18	17	30.674	-0.509	-362.106	-55.173	32.523	-0.331	38.856	0.045	38.570	0.117	
	19	18	30.166	-0.508	-421.329	-59.223	32.195	-0.328	38.899	0.043	38.676	0.106	
	20	19	29.658	-0.508	-484.601	-63.272	31.870	-0.325	38.939	0.040	38.773	0.097	
	21	20	29.150	-0.508	-551.922	-67.321	31.549	-0.321	38.978	0.039	38.861	0.088	
	22	21	28.642	-0.508	-623.293	-71.371	31.231	-0.318	39.014	0.036	38.942	0.081	
採 用													○
予 測 式	y	=	ax + b		ax ² + bx + c		a・e ^{bx}		a・x ^b		$\frac{K}{1 + e^{b-ax}}$		
	a	=	-0.5081		-2.0246		38.6351		36.7943		0.09761		
	b	=	39.31		11.6398		-0.0101		0.0192		-1.8316		
	c	=			25.1396						39.74		
	K	=											
r			=	0.146205		0.704662		0.142057		0.046696		-0.114295	

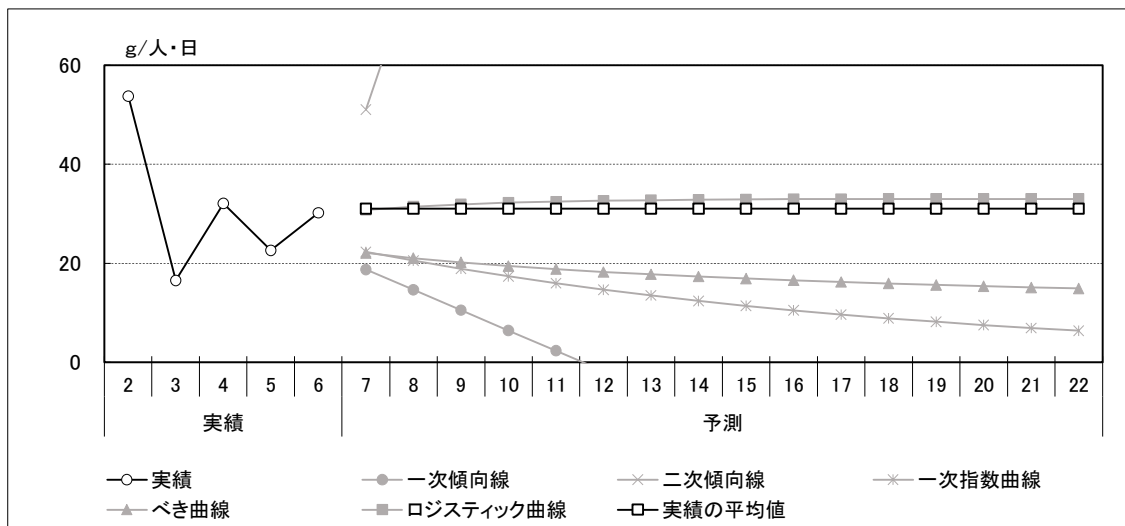


資料編

資料 1-17 無料パソコン回収

単位: mg/人・日

年 度			一 次 傾 向 線		二 次 傾 向 線		一 次 指 数 曲 線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の平均値	
x			増減数		増減数		増減数		増減数		増減数			
実績	2	1	53.732	—	53.732	—	53.732	—	53.732	—	53.732	—	53.732	
	3	2	16.506	-37.226	16.506	-37.226	16.506	-37.226	16.506	-37.226	16.506	-37.226	16.506	
	4	3	32.091	15.585	32.091	15.585	32.091	15.585	32.091	15.585	32.091	15.585	32.091	
	5	4	22.610	-9.481	22.610	-9.481	22.610	-9.481	22.610	-9.481	22.610	-9.481	22.610	
	6	5	30.190	7.580	30.190	7.580	30.190	7.580	30.190	7.580	30.190	7.580	30.190	
予測	7	6	18.732	-11.458	51.005	20.815	22.308	-7.882	22.070	-8.120	30.757	0.567	31.026	
	8	7	14.634	-4.098	79.180	28.175	20.514	-1.794	21.027	-1.043	31.408	0.651		
	9	8	10.536	-4.098	116.576	37.396	18.864	-1.650	20.162	-0.865	31.878	0.470		
	10	9	6.438	-4.098	163.192	46.616	17.347	-1.517	19.430	-0.732	32.214	0.336		
	11	10	2.340	-4.098	219.030	55.838	15.952	-1.395	18.797	-0.633	32.452	0.238		
	12	11	-1.758	-4.098	284.088	65.058	14.670	-1.282	18.242	-0.555	32.621	0.169		
	13	12	-5.856	-4.098	358.368	74.280	13.490	-1.180	17.750	-0.492	32.739	0.118		
	14	13	-9.954	-4.098	441.868	83.500	12.405	-1.085	17.309	-0.441	32.822	0.083		
	15	14	-14.052	-4.098	534.589	92.721	11.408	-0.997	16.911	-0.398	32.880	0.058		
	16	15	-18.150	-4.098	636.531	101.942	10.490	-0.918	16.548	-0.363	32.921	0.041		
	17	16	-22.248	-4.098	747.693	111.162	9.647	-0.843	16.216	-0.332	32.950	0.029		
	18	17	-26.346	-4.098	868.077	120.384	8.871	-0.776	15.909	-0.307	32.969	0.019		
	19	18	-30.444	-4.098	997.681	129.604	8.158	-0.713	15.626	-0.283	32.983	0.014		
	20	19	-34.542	-4.098	1,136.507	138.826	7.502	-0.656	15.363	-0.263	32.993	0.010		
	21	20	-38.640	-4.098	1,284.553	148.046	6.898	-0.604	15.117	-0.246	33.000	0.007		
	22	21	-42.738	-4.098	1,441.820	157.267	6.344	-0.554	14.887	-0.230	33.004	0.004		
採 用													○	
予 測 式	y	=	ax + b		ax ² + bx + c		a・e ^{bx}		a・x ^b		$\frac{K}{1 + e^{b-ax}}$			
	a	=	-4.0980		4.6104		36.8900		38.7596		0.36081			
	b	=	43.32		-31.7606		-0.0838		-0.3143		-0.4467			
	c	=			75.5928									
	K	=									33.02			
r			=	0.458441		0.763275		0.488639		0.654674		-0.534604		

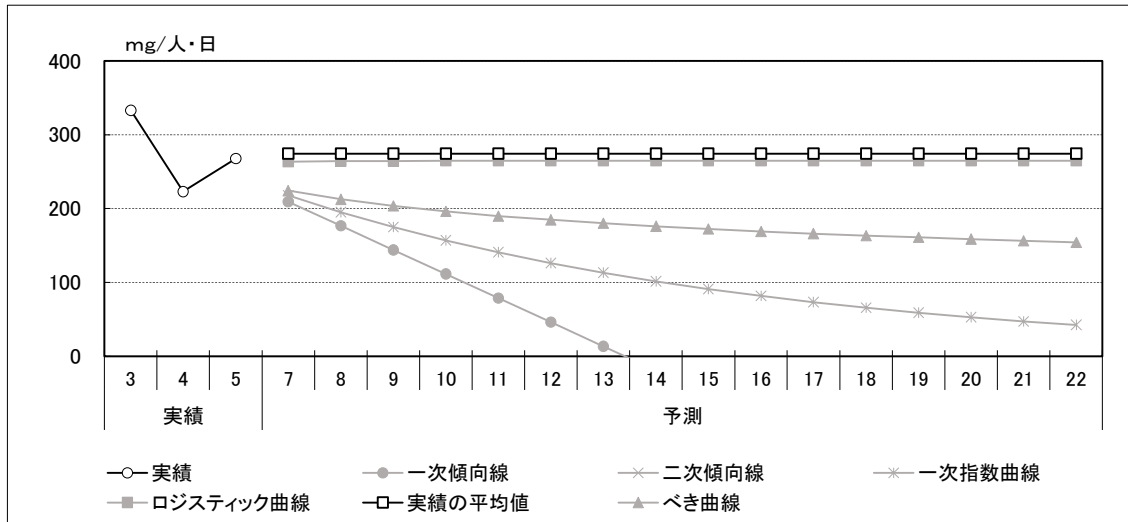


資料編

資料 1-18 特定ごみ

単位: mg/人・日

年 度			一 次 傾 向 線		二 次 傾 向 線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の平均値
x			増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
実績	3	1	333.200	—	333.200	—	333.200	—	333.200	—	333.200	—	333.200
	4	2	222.835	-110.365	222.835	-110.365	222.835	-110.365	222.835	-110.365	222.835	-110.365	222.835
	5	3	267.863	45.028	267.863	45.028	267.863	45.028	267.863	45.028	267.863	45.028	267.863
予測	7	4	209.296	-58.567	468.284	200.421	217.808	-50.055	224.233	-43.630	263.466	-4.397	274.633
	8	5	176.627	-32.669	824.098	355.814	195.289	-22.519	212.551	-11.682	264.365	0.899	
	9	6	143.959	-32.668	1,335.305	511.207	175.099	-20.190	203.459	-9.092	264.583	0.218	
	10	7	111.290	-32.669	2,001.905	666.600	156.995	-18.104	196.076	-7.383	264.636	0.053	
	11	8	78.622	-32.668	2,823.898	821.993	140.764	-16.231	189.897	-6.179	264.649	0.013	
	12	9	45.953	-32.669	3,801.284	977.386	126.210	-14.554	184.609	-5.288	264.652	0.003	
	13	10	13.285	-32.668	4,934.063	1,132.779	113.161	-13.049	180.003	-4.606	264.653	0.001	
	14	11	-19.384	-32.669	6,222.235	1,288.172	101.462	-11.699	175.936	-4.067	264.653	0.000	
	15	12	-52.052	-32.668	7,665.800	1,443.565	90.972	-10.490	172.304	-3.632	264.653	0.000	
	16	13	-84.721	-32.669	9,264.758	1,598.958	81.566	-9.406	169.028	-3.276	264.653	0.000	
	17	14	-117.389	-32.668	11,019.109	1,754.351	73.133	-8.433	166.051	-2.977	264.653	0.000	
	18	15	-150.058	-32.669	12,928.853	1,909.744	65.572	-7.561	163.327	-2.724	264.653	0.000	
	19	16	-182.726	-32.668	14,993.990	2,065.137	58.792	-6.780	160.819	-2.508	264.653	0.000	
	20	17	-215.395	-32.669	17,214.520	2,220.530	52.714	-6.078	158.498	-2.321	264.653	0.000	
21	18	-248.063	-32.668	19,590.443	2,375.923	47.264	-5.450	156.340	-2.158	264.653	0.000		
22	19	-280.732	-32.669	22,121.759	2,531.316	42.377	-4.887	154.327	-2.013	264.653	0.000		
採 用													○
予 測 式	y	=	ax + b		ax ² + bx + c		a・e ^{bx}		a・x ^b		$\frac{K}{1 + e^{b-ax}}$		
	a	=	-32.6685		77.6965		337.0228		312.6529		1.42147		
	b	=	339.97		-343.4545		-0.1091		-0.2398		0.2834		
	c	=			598.9580								
	K	=									264.65		
	r	=	0.588695		1.000000		0.613833		0.726685		-0.797355		

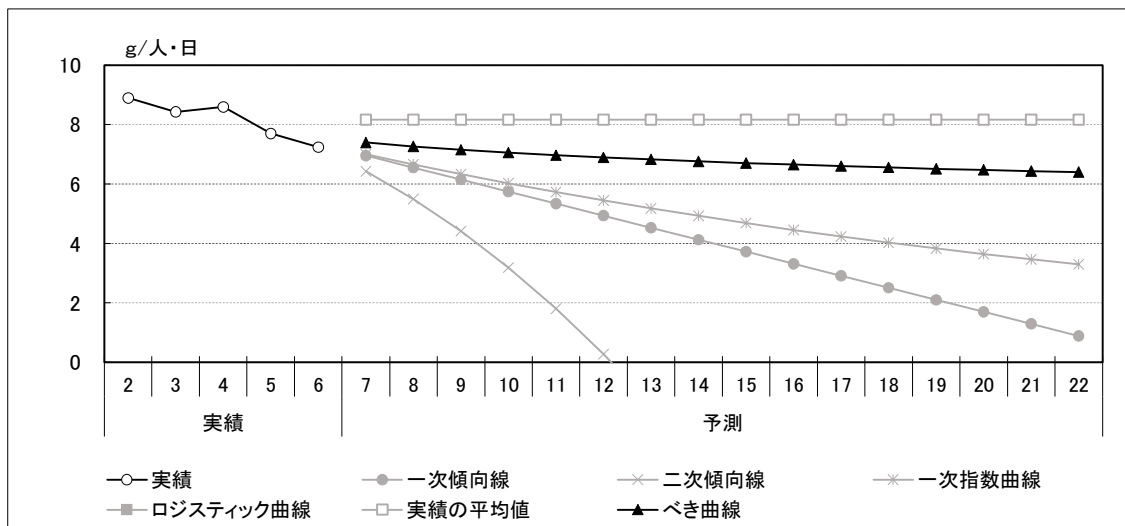


資料編

資料 1-19 新聞

単位: g/人・日

年 度			一 次 傾 向 線		二 次 傾 向 線		一 次 指 数 曲 線		ベ 基 曲 線		ロ ジ ス テ ィ ッ ク 曲 線		実績の平均値
x			増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
実績	2	1	8.895	—	8.895	—	8.895	—	8.895	—	8.895	—	8.895
	3	2	8.431	-0.464	8.431	-0.464	8.431	-0.464	8.431	-0.464	8.431	-0.464	8.431
	4	3	8.595	0.164	8.595	0.164	8.595	0.164	8.595	0.164	8.595	0.164	8.595
	5	4	7.698	-0.897	7.698	-0.897	7.698	-0.897	7.698	-0.897	7.698	-0.897	7.698
	6	5	7.238	-0.460	7.238	-0.460	7.238	-0.460	7.238	-0.460	7.238	-0.460	7.238
予測	7	6	6.957	-0.281	6.431	-0.807	7.006	-0.232	7.398	0.160	-2.060	-9.298	8.171
	8	7	6.553	-0.404	5.500	-0.931	6.662	-0.344	7.267	-0.131	-2.032	0.028	
	9	8	6.148	-0.405	4.418	-1.082	6.335	-0.327	7.155	-0.112	-2.004	0.028	
	10	9	5.743	-0.405	3.186	-1.232	6.024	-0.311	7.059	-0.096	-1.976	0.028	
	11	10	5.339	-0.404	1.803	-1.383	5.729	-0.295	6.973	-0.086	-1.949	0.027	
	12	11	4.934	-0.405	0.271	-1.532	5.448	-0.281	6.896	-0.077	-1.921	0.028	
	13	12	4.529	-0.405	-1.413	-1.684	5.180	-0.268	6.827	-0.069	-1.894	0.027	
	14	13	4.124	-0.405	-3.247	-1.834	4.926	-0.254	6.764	-0.063	-1.867	0.027	
	15	14	3.720	-0.404	-5.231	-1.984	4.684	-0.242	6.707	-0.057	-1.840	0.027	
	16	15	3.315	-0.405	-7.365	-2.134	4.454	-0.230	6.653	-0.054	-1.814	0.026	
	17	16	2.910	-0.405	-9.650	-2.285	4.236	-0.218	6.604	-0.049	-1.788	0.026	
	18	17	2.506	-0.404	-12.086	-2.436	4.028	-0.208	6.557	-0.047	-1.761	0.027	
	19	18	2.101	-0.405	-14.672	-2.586	3.830	-0.198	6.514	-0.043	-1.736	0.025	
	20	19	1.696	-0.405	-17.408	-2.736	3.642	-0.188	6.474	-0.040	-1.710	0.026	
	21	20	1.292	-0.404	-20.295	-2.887	3.463	-0.179	6.435	-0.039	-1.684	0.026	
	22	21	0.887	-0.405	-23.332	-3.037	3.293	-0.170	6.399	-0.036	-1.659	0.025	
採 用									○				
予 測 式	y	=	ax + b		ax ² + bx + c		a・e ^{bx}		a・x ^b		$\frac{K}{1 + e^{b-ax}}$		
	a	=	-0.4047		-0.0752		9.4759		9.1033		-0.02117		
	b	=	9.39		0.0466		-0.0503		-0.1158		0.4767		
	c	=			8.8590								
	K	=									-5.83		
r			0.936924		0.959310		0.930405		0.861488		-0.936237		

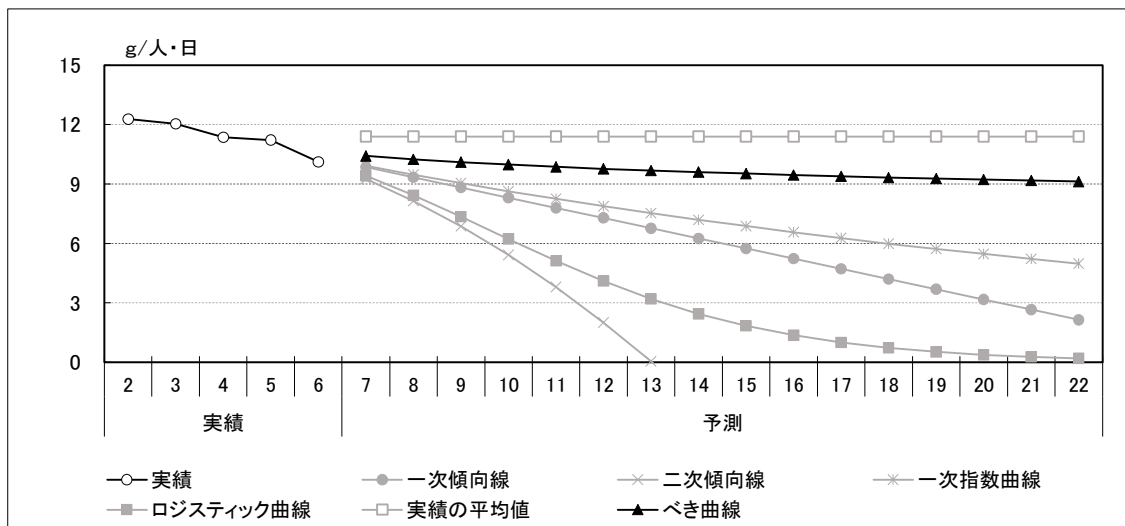


資料編

資料 1-20 雑誌等

単位: g/人・日

年 度			一 次 傾 向 線		二 次 傾 向 線		一 次 指 数 曲 線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の平均値	
x			増減数		増減数		増減数		増減数		増減数			
実績	2		1	12.278	—	12.278	—	12.278	—	12.278	—	12.278	—	12.278
	3		2	12.041	-0.237	12.041	-0.237	12.041	-0.237	12.041	-0.237	12.041	-0.237	12.041
	4		3	11.356	-0.685	11.356	-0.685	11.356	-0.685	11.356	-0.685	11.356	-0.685	11.356
	5		4	11.223	-0.133	11.223	-0.133	11.223	-0.133	11.223	-0.133	11.223	-0.133	11.223
	6		5	10.114	-1.109	10.114	-1.109	10.114	-1.109	10.114	-1.109	10.114	-1.109	10.114
予測	7		6	9.859	-0.255	9.263	-0.851	9.916	-0.198	10.416	0.302	9.414	-0.700	11.402
	8		7	9.344	-0.515	8.152	-1.111	9.472	-0.444	10.248	-0.168	8.431	-0.983	
	9		8	8.829	-0.515	6.871	-1.281	9.047	-0.425	10.104	-0.144	7.350	-1.081	
	10		9	8.315	-0.514	5.420	-1.451	8.642	-0.405	9.979	-0.125	6.227	-1.123	
	11		10	7.800	-0.515	3.798	-1.622	8.255	-0.387	9.868	-0.111	5.125	-1.102	
	12		11	7.286	-0.514	2.007	-1.791	7.886	-0.369	9.770	-0.098	4.103	-1.022	
	13		12	6.771	-0.515	0.045	-1.962	7.533	-0.353	9.680	-0.090	3.204	-0.899	
	14		13	6.256	-0.515	-2.088	-2.133	7.195	-0.338	9.599	-0.081	2.449	-0.755	
	15		14	5.742	-0.514	-4.390	-2.302	6.873	-0.322	9.524	-0.075	1.839	-0.610	
	16		15	5.227	-0.515	-6.863	-2.473	6.565	-0.308	9.454	-0.070	1.362	-0.477	
	17		16	4.713	-0.514	-9.506	-2.643	6.271	-0.294	9.390	-0.064	0.998	-0.364	
	18		17	4.198	-0.515	-12.320	-2.814	5.990	-0.281	9.330	-0.060	0.725	-0.273	
	19		18	3.683	-0.515	-15.303	-2.983	5.722	-0.268	9.274	-0.056	0.523	-0.202	
	20		19	3.169	-0.514	-18.457	-3.154	5.466	-0.256	9.221	-0.053	0.376	-0.147	
	21		20	2.654	-0.515	-21.782	-3.325	5.221	-0.245	9.171	-0.050	0.270	-0.106	
	22		21	2.140	-0.514	-25.276	-3.494	4.987	-0.234	9.124	-0.047	0.193	-0.077	
採 用									○					
予 測 式	y	=	ax + b		ax ² + bx + c		a・e ^{bx}		a・x ^b		$\frac{K}{1 + e^{b-ax}}$			
	a	=	-0.5146		-0.0851		13.0526		12.5884		-0.34158			
	b	=	12.95		-0.0037		-0.0458		-0.1057		-2.9616			
	c	=			12.3502						13.20			
	K	=												
	r	=	0.960771		0.979009		0.955365		0.887350		0.978468			

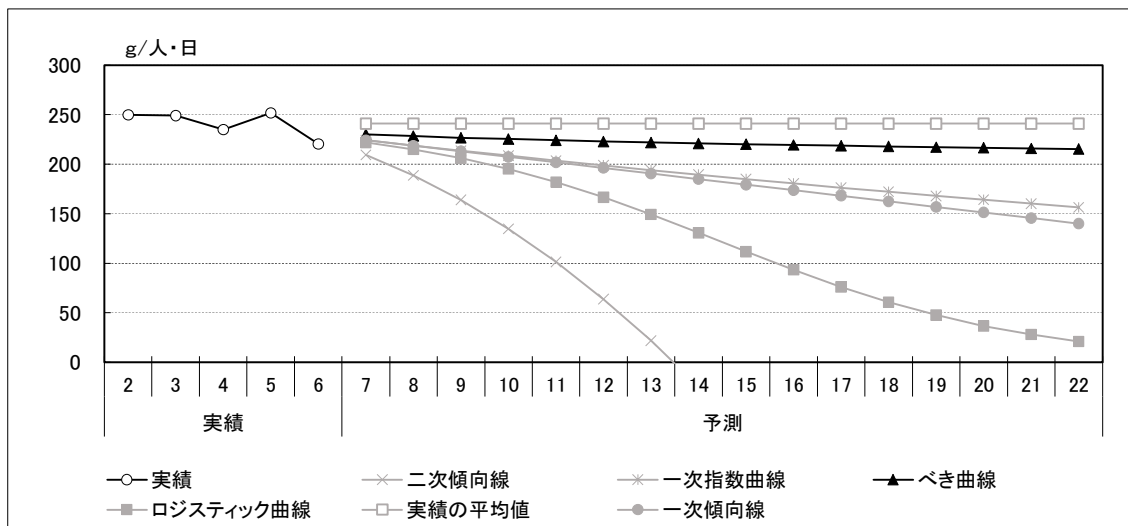


資料編

資料 1-21 牛乳パック

単位: mg/人・日

年 度			一 次 傾 向 線		二 次 傾 向 線		一 次 指 数 曲 線		ベ き 曲 線		ロ ジ ス テ ッ ク 曲 線		実績の平均値
x			増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
実績	2	1	249.855	—	249.855	—	249.855	—	249.855	—	249.855	—	249.855
	3	2	248.945	-0.910	248.945	-0.910	248.945	-0.910	248.945	-0.910	248.945	-0.910	248.945
	4	3	234.879	-14.066	234.879	-14.066	234.879	-14.066	234.879	-14.066	234.879	-14.066	234.879
	5	4	251.711	16.832	251.711	16.832	251.711	16.832	251.711	16.832	251.711	16.832	251.711
	6	5	220.383	-31.328	220.383	-31.328	220.383	-31.328	220.383	-31.328	220.383	-31.328	220.383
予測	7	6	224.301	3.918	209.332	-11.051	224.118	3.735	230.337	9.954	221.955	1.572	241.155
	8	7	218.683	-5.618	188.745	-20.587	218.804	-5.314	228.445	-1.892	215.025	-6.930	
	9	8	213.066	-5.617	163.882	-24.863	213.615	-5.189	226.819	-1.626	206.219	-8.806	
	10	9	207.448	-5.618	134.741	-29.141	208.550	-5.065	225.395	-1.424	195.280	-10.939	
	11	10	201.830	-5.618	101.324	-33.417	203.605	-4.945	224.128	-1.267	182.071	-13.209	
	12	11	196.212	-5.618	63.630	-37.694	198.777	-4.828	222.989	-1.139	166.653	-15.418	
	13	12	190.594	-5.618	21.659	-41.971	194.064	-4.713	221.953	-1.036	149.355	-17.298	
	14	13	184.977	-5.617	-24.589	-46.248	189.462	-4.602	221.005	-0.948	130.787	-18.568	
	15	14	179.359	-5.618	-75.114	-50.525	184.969	-4.493	220.131	-0.874	111.781	-19.006	
	16	15	173.741	-5.618	-129.916	-54.802	180.583	-4.386	219.320	-0.811	93.247	-18.534	
	17	16	168.123	-5.618	-188.994	-59.078	176.301	-4.282	218.564	-0.756	76.009	-17.238	
	18	17	162.505	-5.618	-252.350	-63.356	172.121	-4.180	217.856	-0.708	60.670	-15.339	
	19	18	156.888	-5.617	-319.982	-67.632	168.040	-4.081	217.191	-0.665	47.546	-13.124	
	20	19	151.270	-5.618	-391.891	-71.909	164.055	-3.985	216.564	-0.627	36.691	-10.855	
	21	20	145.652	-5.618	-468.077	-76.186	160.165	-3.890	215.971	-0.593	27.960	-8.731	
	22	21	140.034	-5.618	-548.540	-80.463	156.367	-3.798	215.408	-0.563	21.095	-6.865	
採 用									○				
予 測 式	y	=	ax + b		ax ² + bx + c		a・e ^{bx}		a・x ^b		$\frac{K}{1 + e^{b-ax}}$		
	a	=	-5.6178		-2.1384		258.8270		253.5047		-0.31315		
	b	=	258.01		7.2128		-0.0240		-0.0535		-4.2216		
	c	=			243.0390						243.28		
	K	=											
	r	=	0.662678		0.726790		0.658422		0.591370		0.709278		

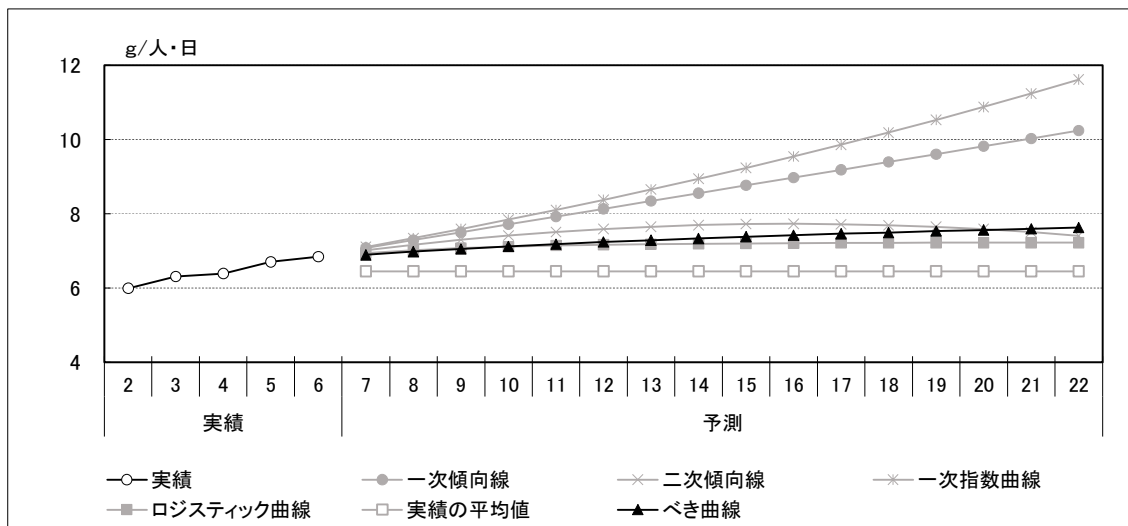


資料編

資料 1-22 ダンボール

単位: g/人・日

年 度			一 次 傾 向 線		二 次 傾 向 線		一 次 指 数 曲 線		ベ き 曲 線		ロ ジ ス テ ィ ッ ク 曲 線		実績の平均値	
x			増減数		増減数		増減数		増減数		増減数			
実績	2		1	5.991	—	5.991	—	5.991	—	5.991	—	5.991	—	5.991
	3		2	6.310	0.319	6.310	0.319	6.310	0.319	6.310	0.319	6.310	0.319	6.310
	4		3	6.391	0.081	6.391	0.081	6.391	0.081	6.391	0.081	6.391	0.081	6.391
	5		4	6.705	0.314	6.705	0.314	6.705	0.314	6.705	0.314	6.705	0.314	6.705
	6		5	6.846	0.141	6.846	0.141	6.846	0.141	6.846	0.141	6.846	0.141	6.846
予測	7		6	7.080	0.234	7.019	0.173	7.107	0.261	6.891	0.045	6.935	0.089	6.449
	8		7	7.291	0.211	7.168	0.149	7.343	0.236	6.978	0.087	7.013	0.078	
	9		8	7.501	0.210	7.299	0.131	7.588	0.245	7.053	0.075	7.071	0.058	
	10		9	7.712	0.211	7.413	0.114	7.840	0.252	7.121	0.068	7.113	0.042	
	11		10	7.922	0.210	7.509	0.096	8.101	0.261	7.182	0.061	7.144	0.031	
	12		11	8.133	0.211	7.588	0.079	8.371	0.270	7.237	0.055	7.166	0.022	
	13		12	8.343	0.210	7.649	0.061	8.650	0.279	7.288	0.051	7.182	0.016	
	14		13	8.554	0.211	7.693	0.044	8.938	0.288	7.336	0.048	7.194	0.012	
	15		14	8.764	0.210	7.719	0.026	9.235	0.297	7.380	0.044	7.202	0.008	
	16		15	8.975	0.211	7.727	0.008	9.543	0.308	7.421	0.041	7.208	0.006	
	17		16	9.185	0.210	7.718	-0.009	9.861	0.318	7.460	0.039	7.213	0.005	
	18		17	9.396	0.211	7.691	-0.027	10.189	0.328	7.497	0.037	7.216	0.003	
	19		18	9.606	0.210	7.647	-0.044	10.528	0.339	7.531	0.034	7.218	0.002	
	20		19	9.817	0.211	7.585	-0.062	10.879	0.351	7.564	0.033	7.220	0.002	
	21		20	10.027	0.210	7.506	-0.079	11.241	0.362	7.596	0.032	7.221	0.001	
	22		21	10.238	0.211	7.409	-0.097	11.615	0.374	7.626	0.030	7.222	0.001	
採 用									○					
予 測 式	y	=	ax + b		ax ² + bx + c		a・e ^{bx}		a・x ^b		$\frac{K}{1 + e^{b-ax}}$			
	a	=	0.2105		-0.0088		5.8387		5.9615		0.32557			
	b	=	5.82		0.2632		0.0328		0.0809		-1.2236			
	c	=			5.7556									
	K	=									7.22			
r			0.986197		0.987398		0.985075		0.976947		0.982768			

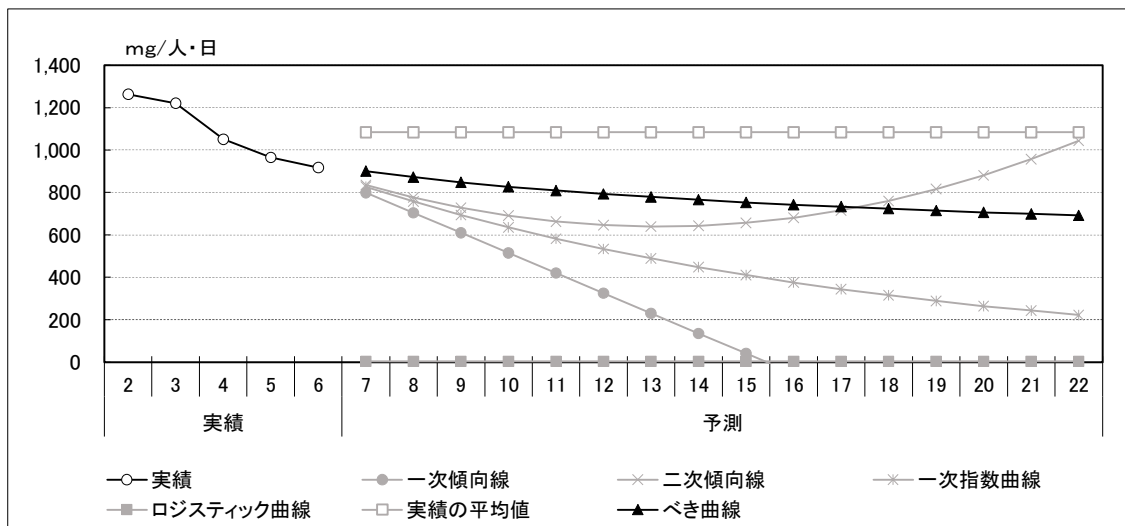


資料編

資料 1-23 繊維類

単位: mg/人・日

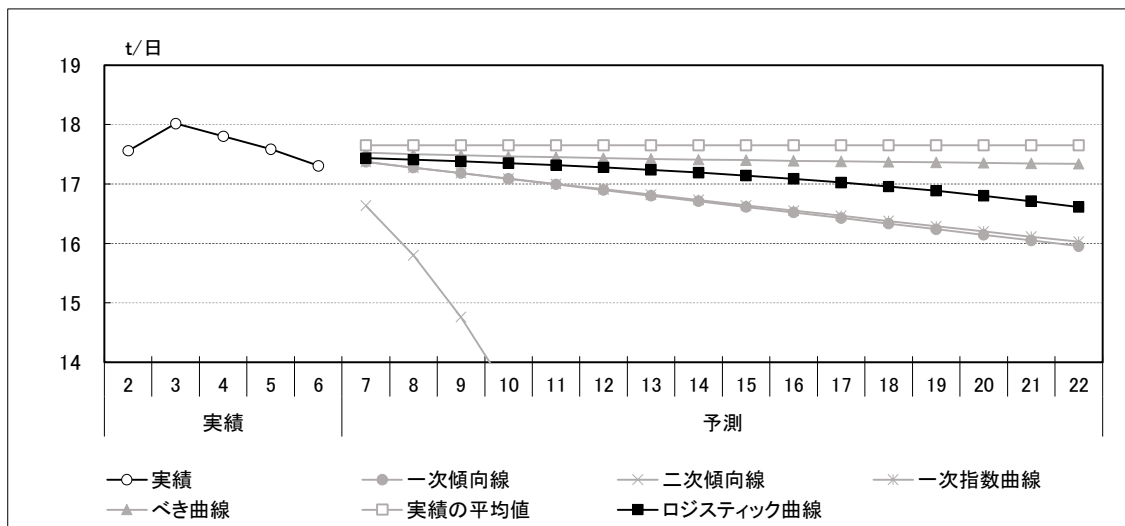
年 度			一 次 傾 向 線		二 次 傾 向 線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の平均値
x			増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
実績	2	1	1,262.708	—	1,262.708	—	1,262.708	—	1,262.708	—	1,262.708	—	1,262.708
	3	2	1,221.456	-41.252	1,221.456	-41.252	1,221.456	-41.252	1,221.456	-41.252	1,221.456	-41.252	1,221.456
	4	3	1,050.400	-171.056	1,050.400	-171.056	1,050.400	-171.056	1,050.400	-171.056	1,050.400	-171.056	1,050.400
	5	4	965.166	-85.234	965.166	-85.234	965.166	-85.234	965.166	-85.234	965.166	-85.234	965.166
	6	5	917.212	-47.954	917.212	-47.954	917.212	-47.954	917.212	-47.954	917.212	-47.954	917.212
予測	7	6	799.204	-118.008	835.413	-81.799	826.683	-90.529	901.326	-15.886	3.787	-913.425	1,083.388
	8	7	704.476	-94.728	776.894	-58.519	757.434	-69.249	872.484	-28.842	3.789	0.002	
	9	8	609.747	-94.729	728.720	-48.174	693.985	-63.449	848.248	-24.236	3.790	0.001	
	10	9	515.019	-94.728	690.891	-37.829	635.852	-58.133	827.429	-20.819	3.791	0.001	
	11	10	420.291	-94.728	663.409	-27.482	582.588	-53.264	809.239	-18.190	3.792	0.001	
	12	11	325.563	-94.728	646.271	-17.138	533.787	-48.801	793.130	-16.109	3.793	0.001	
	13	12	230.835	-94.728	639.479	-6.792	489.073	-44.714	778.703	-14.427	3.794	0.001	
	14	13	136.106	-94.729	643.032	3.553	448.104	-40.969	765.663	-13.040	3.796	0.002	
	15	14	41.378	-94.728	656.931	13.899	410.568	-37.536	753.785	-11.878	3.797	0.001	
	16	15	-53.350	-94.728	681.175	24.244	376.176	-34.392	742.892	-10.893	3.798	0.001	
	17	16	-148.078	-94.728	715.765	34.590	344.665	-31.511	732.846	-10.046	3.799	0.001	
	18	17	-242.806	-94.728	760.700	44.935	315.793	-28.872	723.532	-9.314	3.800	0.001	
	19	18	-337.535	-94.729	815.981	55.281	289.340	-26.453	714.859	-8.673	3.801	0.001	
	20	19	-432.263	-94.728	881.607	65.626	265.103	-24.237	706.751	-8.108	3.803	0.002	
	21	20	-526.991	-94.728	957.578	75.971	242.896	-22.207	699.144	-7.607	3.804	0.001	
	22	21	-621.719	-94.728	1,043.895	86.317	222.549	-20.347	691.985	-7.159	3.805	0.001	
採 用									○				
予 測 式	y	=	ax + b		ax ² + bx + c		a・e ^{bx}		a・x ^b		$\frac{K}{1 + e^{b-ax}}$		
	a	=	-94.7282		5.1727		1,397.3465		1,315.3850		0.00062		
	b	=	1,367.57		-125.7645		-0.0875		-0.2110		-0.0052		
	c	=			1,403.7820						7.54		
	K	=											
	r	=	0.977580		0.979618		0.979270		0.941996		-0.977580		



資料 2-1 事業系可燃ごみ

単位: t/日

年 度			一 次 傾 向 線		二 次 傾 向 線		一 次 指 数 曲 線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の平均値	
x			増減数		増減数		増減数		増減数		増減数			
実績	2	1	17.562	—	17.562	—	17.562	—	17.562	—	17.562	—	17.562	
	3		2	18.017	0.455	18.017	0.455	18.017	0.455	18.017	0.455	18.017		
	4		3	17.802	-0.215	17.802	-0.215	17.802	-0.215	17.802	-0.215	17.802		
	5		4	17.587	-0.215	17.587	-0.215	17.587	-0.215	17.587	-0.215	17.587		
	6		5	17.305	-0.282	17.305	-0.282	17.305	-0.282	17.305	-0.282	17.305		
予測	7	6	17.371	0.066	16.634	-0.671	17.371	0.066	17.527	0.222	17.436	0.131	17.655	
	8	7	17.277	-0.094	15.803	-0.831	17.278	-0.093	17.504	-0.023	17.411	-0.025		
	9	8	17.183	-0.094	14.761	-1.042	17.186	-0.092	17.484	-0.020	17.383	-0.028		
	10	9	17.088	-0.095	13.508	-1.253	17.094	-0.092	17.466	-0.018	17.353	-0.030		
	11	10	16.994	-0.094	12.045	-1.463	17.002	-0.092	17.451	-0.015	17.319	-0.034		
	12	11	16.899	-0.095	10.372	-1.673	16.911	-0.091	17.436	-0.015	17.281	-0.038		
	13	12	16.805	-0.094	8.487	-1.885	16.821	-0.090	17.423	-0.013	17.240	-0.041		
	14	13	16.711	-0.094	6.393	-2.094	16.731	-0.090	17.411	-0.012	17.194	-0.046		
	15	14	16.616	-0.095	4.087	-2.306	16.642	-0.089	17.400	-0.011	17.144	-0.050		
	16	15	16.522	-0.094	1.571	-2.516	16.552	-0.090	17.390	-0.010	17.088	-0.056		
	17	16	16.427	-0.095	-1.155	-2.726	16.464	-0.088	17.380	-0.010	17.027	-0.061		
	18	17	16.333	-0.094	-4.092	-2.937	16.376	-0.088	17.371	-0.009	16.959	-0.068		
	19	18	16.239	-0.094	-7.240	-3.148	16.288	-0.088	17.363	-0.008	16.885	-0.074		
	20	19	16.144	-0.095	-10.598	-3.358	16.201	-0.087	17.355	-0.008	16.803	-0.082		
	21	20	16.050	-0.094	-14.167	-3.569	16.114	-0.087	17.347	-0.008	16.713	-0.090		
	22	21	15.955	-0.095	-17.947	-3.780	16.028	-0.086	17.340	-0.007	16.614	-0.099		
採 用											○			
予 測 式	y	=	ax + b		ax ² + bx + c		a・e ^{bx}		a・x ^b		$\frac{K}{1 + e^{b-ax}}$			
	a	=	-0.0944		-0.1053		17.9393		17.7984		-0.10485			
	b	=	17.94		0.5373		-0.0054		-0.0086		-4.9626			
	c	=			17.2008									
	K	=									17.66			
r			=	0.555847		0.920342		0.553515		0.354468		0.598553		

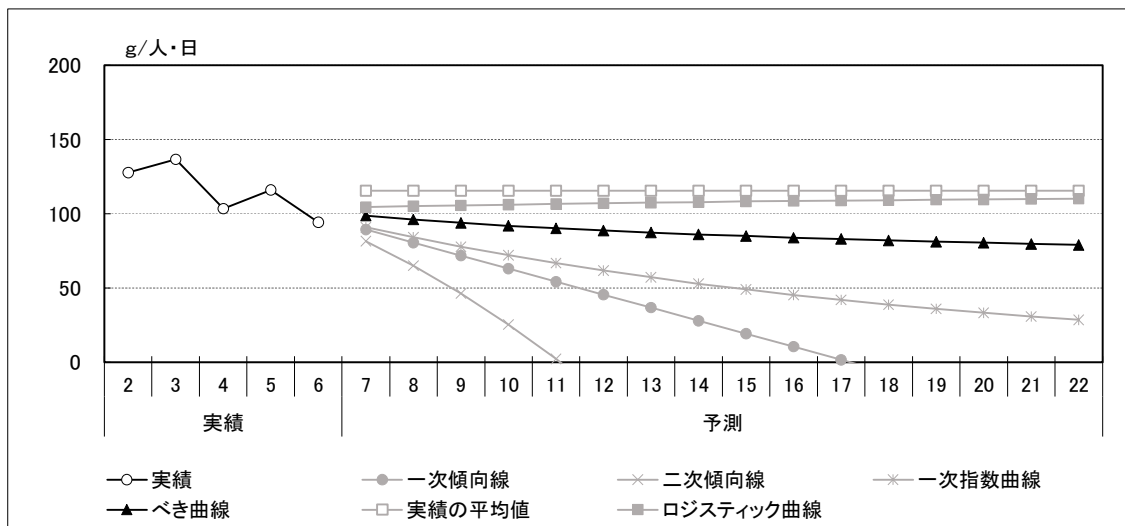


資料編

資料 2-2 事業系可燃粗大

単位: kg/日

年 度			一 次 傾 向 線		二 次 傾 向 線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の平均値
x			増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
実績	2	1	127.671	—	127.671	—	127.671	—	127.671	—	127.671	—	127.671
	3	2	136.575	8.904	136.575	8.904	136.575	8.904	136.575	8.904	136.575	8.904	136.575
	4	3	103.397	-33.178	103.397	-33.178	103.397	-33.178	103.397	-33.178	103.397	-33.178	103.397
	5	4	115.902	12.505	115.902	12.505	115.902	12.505	115.902	12.505	115.902	12.505	115.902
	6	5	94.219	-21.683	94.219	-21.683	94.219	-21.683	94.219	-21.683	94.219	-21.683	94.219
予測	7	6	89.280	-4.939	81.534	-12.685	90.841	-3.378	98.729	4.510	104.439	10.220	115.553
	8	7	80.522	-8.758	65.031	-16.503	84.094	-6.747	96.060	-2.669	105.038	0.599	
	9	8	71.764	-8.758	46.315	-18.716	77.848	-6.246	93.807	-2.253	105.595	0.557	
	10	9	63.007	-8.757	25.386	-20.929	72.066	-5.782	91.864	-1.943	106.115	0.520	
	11	10	54.249	-8.758	2.243	-23.143	66.713	-5.353	90.160	-1.704	106.598	0.483	
	12	11	45.491	-8.758	-23.112	-25.355	61.758	-4.955	88.645	-1.515	107.047	0.449	
	13	12	36.734	-8.757	-50.680	-27.568	57.170	-4.588	87.285	-1.360	107.465	0.418	
	14	13	27.976	-8.758	-80.461	-29.781	52.924	-4.246	86.052	-1.233	107.853	0.388	
	15	14	19.218	-8.758	-112.455	-31.994	48.993	-3.931	84.926	-1.126	108.213	0.360	
	16	15	10.460	-8.758	-146.663	-34.208	45.354	-3.639	83.891	-1.035	108.546	0.333	
	17	16	1.703	-8.757	-183.083	-36.420	41.985	-3.369	82.934	-0.957	108.856	0.310	
	18	17	-7.055	-8.758	-221.716	-38.633	38.867	-3.118	82.045	-0.889	109.143	0.287	
	19	18	-15.813	-8.758	-262.562	-40.846	35.980	-2.887	81.216	-0.829	109.409	0.266	
	20	19	-24.570	-8.757	-305.621	-43.059	33.307	-2.673	80.439	-0.777	109.655	0.246	
	21	20	-33.328	-8.758	-350.894	-45.273	30.833	-2.474	79.709	-0.730	109.883	0.228	
	22	21	-42.086	-8.758	-398.379	-47.485	28.543	-2.290	79.021	-0.688	110.094	0.211	
採 用									○				
予 測 式	y	=	ax + b		ax ² + bx + c		a・e ^{bx}		a・x ^b		$\frac{K}{1 + e^{b-ax}}$		
	a	=	-8.7577		-1.1065		144.3433		135.7530		0.08145		
	b	=	141.83		-2.1187		-0.0772		-0.1777		-2.0554		
	c	=			134.0804								
	K	=									112.64		
	r	=	0.802211		0.811125		0.795817		0.727799		-0.796830		

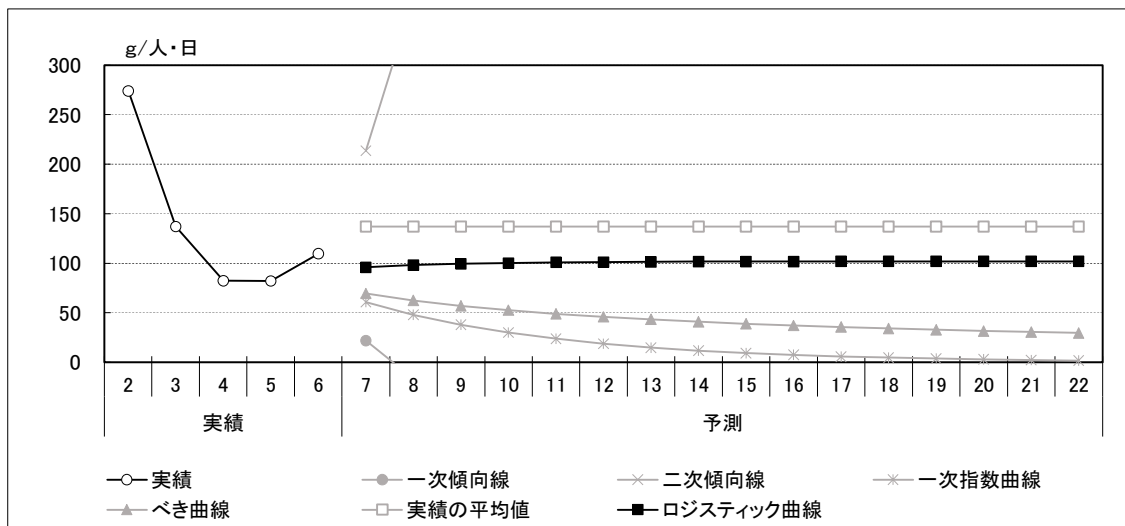


資料編

資料 2-3 事業系ビン

単位: g/日

年 度			一 次 傾 向 線		二 次 傾 向 線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の平均値
x			増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
実績	2	1	273.973	—	273.973	—	273.973	—	273.973	—	273.973	—	273.973
	3	2	136.986	-136.987	136.986	-136.987	136.986	-136.987	136.986	-136.987	136.986	-136.987	136.986
	4	3	82.192	-54.794	82.192	-54.794	82.192	-54.794	82.192	-54.794	82.192	-54.794	82.192
	5	4	81.967	-0.225	81.967	-0.225	81.967	-0.225	81.967	-0.225	81.967	-0.225	81.967
	6	5	109.589	27.622	109.589	27.622	109.589	27.622	109.589	27.622	109.589	27.622	109.589
予測	7	6	21.805	-87.784	213.699	104.110	60.652	-48.937	69.421	-40.168	95.988	-13.601	136.941
	8	7	-16.573	-38.378	367.214	153.515	47.969	-12.683	62.495	-6.926	98.011	2.023	
	9	8	-54.952	-38.379	575.555	208.341	37.937	-10.032	57.057	-5.438	99.355	1.344	
	10	9	-93.331	-38.379	838.723	263.168	30.004	-7.933	52.654	-4.403	100.238	0.883	
	11	10	-131.710	-38.379	1,156.718	317.995	23.729	-6.275	49.004	-3.650	100.814	0.576	
	12	11	-170.088	-38.378	1,529.540	372.822	18.767	-4.962	45.921	-3.083	101.187	0.373	
	13	12	-208.467	-38.379	1,957.188	427.648	14.842	-3.925	43.276	-2.645	101.428	0.241	
	14	13	-246.846	-38.379	2,439.663	482.475	11.738	-3.104	40.977	-2.299	101.583	0.155	
	15	14	-285.224	-38.378	2,976.965	537.302	9.284	-2.454	38.958	-2.019	101.683	0.100	
	16	15	-323.603	-38.379	3,569.094	592.129	7.342	-1.942	37.168	-1.790	101.747	0.064	
	17	16	-361.982	-38.379	4,216.049	646.955	5.807	-1.535	35.568	-1.600	101.789	0.042	
	18	17	-400.360	-38.378	4,917.831	701.782	4.592	-1.215	34.128	-1.440	101.815	0.026	
	19	18	-438.739	-38.379	5,674.440	756.609	3.632	-0.960	32.823	-1.305	101.832	0.017	
	20	19	-477.118	-38.379	6,485.875	811.435	2.872	-0.760	31.636	-1.187	101.843	0.011	
	21	20	-515.497	-38.379	7,352.137	866.262	2.272	-0.600	30.548	-1.088	101.850	0.007	
	22	21	-553.875	-38.378	8,273.226	921.089	1.797	-0.475	29.549	-0.999	101.855	0.005	
採 用											○		
予 測 式	y	=	ax + b		ax ² + bx + c		a・e ^{bx}		a・x ^b		$\frac{K}{1 + e^{b-ax}}$		
	a	=	-38.3787		27.4134		247.8561		235.5303		0.44293		
	b	=	252.08		-202.8588		-0.2346		-0.6818		-0.1360		
	c	=			443.9710						101.86		
	K	=											
	r	=	0.759334		0.994202		0.840682		0.944384		-0.847829		

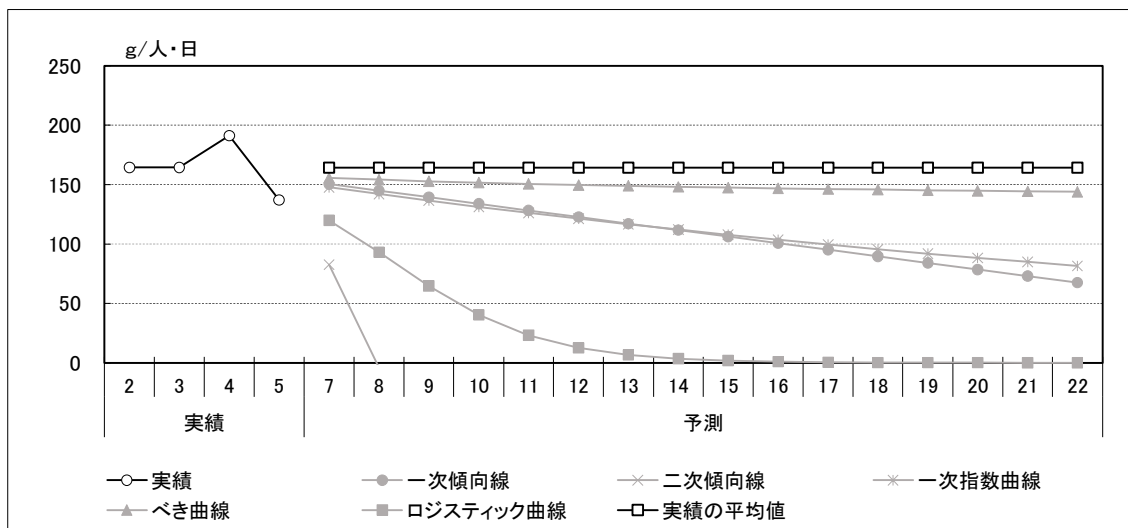


資料編

資料 2-4 事業系カン

単位: g/日

年 度			一 次 傾 向 線		二 次 傾 向 線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の平均値
x			増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
実績	2		1	164.384	—	164.384	—	164.384	—	164.384	—	164.384	164.384
	3		2	164.384	0.000	164.384	0.000	164.384	0.000	164.384	0.000	164.384	
	4		3	191.257	26.873	191.257	26.873	191.257	26.873	191.257	26.873	191.257	
	5		4	136.986	-54.271	136.986	-54.271	136.986	-54.271	136.986	-54.271	136.986	
予測	7		5	150.423	13.437	82.584	-54.402	147.759	10.773	155.709	18.723	119.889	164.253
	8		6	144.890	-5.533	-4.355	-86.939	142.029	-5.730	154.097	-1.612	93.091	-26.798
	9		7	139.358	-5.532	-118.429	-114.074	136.520	-5.509	152.748	-1.349	64.620	-28.471
	10		8	133.826	-5.532	-259.639	-141.210	131.225	-5.295	151.589	-1.159	40.315	-24.305
	11		9	128.294	-5.532	-427.984	-168.345	126.136	-5.089	150.574	-1.015	23.151	-17.164
	12		10	122.762	-5.532	-623.464	-195.480	121.244	-4.892	149.672	-0.902	12.587	-10.564
	13		11	117.230	-5.532	-846.080	-222.616	116.541	-4.703	148.860	-0.812	6.627	-5.960
	14		12	111.698	-5.532	-1,095.832	-249.752	112.021	-4.520	148.123	-0.737	3.427	-3.200
	15		13	106.166	-5.532	-1,372.719	-276.887	107.677	-4.344	147.448	-0.675	1.756	-1.671
	16		14	100.634	-5.532	-1,676.742	-304.023	103.500	-4.177	146.826	-0.622	0.895	-0.861
	17		15	95.102	-5.532	-2,007.900	-331.158	99.486	-4.014	146.249	-0.577	0.455	-0.440
	18		16	89.569	-5.533	-2,366.193	-358.293	95.628	-3.858	145.712	-0.537	0.231	-0.224
	19		17	84.037	-5.532	-2,751.622	-385.429	91.919	-3.709	145.209	-0.503	0.117	-0.114
	20		18	78.505	-5.532	-3,164.187	-412.565	88.354	-3.565	144.736	-0.473	0.060	-0.057
	21		19	72.973	-5.532	-3,603.887	-439.700	84.927	-3.427	144.290	-0.446	0.030	-0.030
	22		20	67.441	-5.532	-4,070.723	-466.836	81.633	-3.294	143.869	-0.421	0.015	-0.015
採 用													○
予 測 式	y	=	ax + b		ax ² + bx + c		a・e ^{bx}		a・x ^b		$\frac{K}{1 + e^{b-ax}}$		
	a	=	-5.5321		-13.5678		180.0741		170.6821		-0.67864		
	b	=	178.08		62.3067		-0.0396		-0.0570		-4.2577		
	c	=			110.2443						170.39		
	K	=											
	r	=	0.322338		0.777096		0.309882		0.194902		0.494200		



可児市一般廃棄物処理基本計画

発 行：可児市

編 集：可児市 市民文化部 環境課

〒509-0292

岐阜県可児市広見一丁目1番地

電 話 0574-62-1111（代表）

F A X 0574-63-6816

E-mail kankyo@city.kani.lg.jp

ホームページ <http://www.city.kani.lg.jp/>

発行年月：令和8年1月
